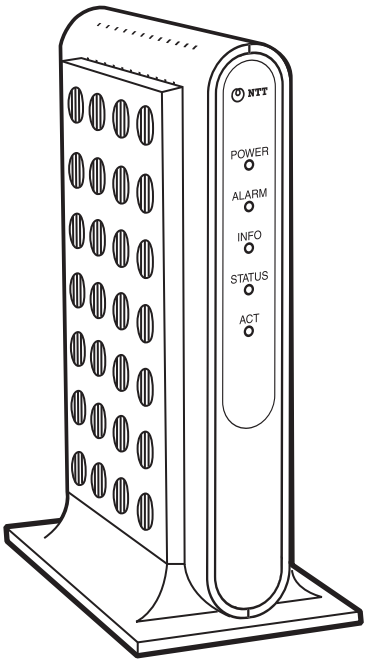
NTT

Netcommunity SYSTEM

WEBアドレス帳ボックス
取扱説明書

このたびは、ネットコミュニティシステム WEBアドレス帳ボックスをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご利用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

厳守事項

■パスワードの取り扱いについて

本商品の設定画面で入力していただくユーザ ID やパスワードはお客様の大切な個人情報です。入力は必ずお客様自身で行ってください。

■取扱説明書の内容について

機能追加などにより本書の内容は予告なく変更されることがあります。機能追加や変更などに関するサポート情報につきましては、以下のホームページの更新情報を定期的に閲覧していただくことをお薦めします。

・NTT 東日本のホームページ：　http://web116.jp/ced/
・NTT 西日本のホームページ：　http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

注意事項

本商品は、データを設定したときやα NX/NX Ⅱ主装置から音声メールデータがアップロードされたとき、保存が完了するまでに時間がかかる場合があります。そのため、電源を落としたとき（停電も含む）に設定またはアップロード直後のデータは保存されずに消失する場合があります。

■WEBアドレス帳ボックスに接続するPCの注意事項

- 本商品は、デスクトップアプリ版 Internet Explorer 8.0 以上に対応しています。それ以外のブラウザや UI アプリ版ブラウザの場合、正常に動作しない、または正しく表示されない場合があります。また、エンコードは「自動選択」を指定してください。
- 一時的に Web ブラウザが正常表示されない場合があります。そのときは、戻るボタンなどをクリックして表示し直すか、または Web ブラウザを終了し、再度アクセスしてください。
- 本取扱説明書に記載しているURLは、WEBアドレス帳ボックスと同一のLANから接続するときのものとしています。インターネット回線を利用して外部からアクセスする場合については、各サービス事業者にお問い合わせください。
- Web ブラウザの［戻る］は使用しないでください。前の画面に戻りたいときは、WEB アドレス帳ボックス画面の［戻る］や「プレゼンス」などのメニュー項目をクリックしてください。
- 右クリックによるブラウザ操作はできません。
- 休止モードやスリープモードの状態から戻ったとき、画面が正しく表示されない場合があります。そのときは再度表示し直してください。
- 複数の PC で WEB アドレス帳ボックスにログインし、電話帳ダウンロードなどを同時に行った場合、処理が混みあって正常に処理されない場合があります。そのときは時間をあけて再度操作してください。
- Web ブラウザの SmartScreen フィルター機能により、電話帳データのエクスポートができない場合があります。そのときは、SmartScreen フィルター機能を無効にして再度操作してください。

■WEBアドレス帳ボックスに接続するスマートフォンの注意事項

- 本商品は、Android2.2 以上の標準ブラウザに対応しています。それ以外のブラウザの場合、正常に動作しない、または正しく表示されない場合があります。
- WEB アドレス帳ボックスにアクセスしてセキュリティ警告が表示されたときは、「続行」をタップしてください。
- スマートフォンでモバイル用ログイン画面からログインしたときの電話発信（クリックツーコール）は、連携内線に設定されたα NX/NX Ⅱ主装置の内線電話機からの発信ではなく、スマートフォンの契約回線での発信となります。（携帯電話ご契約内容に基づき通話料が課金されます）
- Web ブラウザの［戻る］は使用しないでください。前の画面に戻りたいときは、WEB アドレス帳ボックス画面の［戻る］や「プレゼンス」などのメニュー項目をタップしてください。
- 無線の通信が混み合っている、または電波が不安定な状態で WEB アドレス帳ボックスに接続したとき、正常に動作しない、または正しく表示されない場合があります。
- アプリケーションなどスマートフォンの機能が動作している状態で WEB アドレス帳ボックスに接続したとき、正常に動作しない、または正しく表示されない場合があります。
- 一時的にWebブラウザが正常表示されない場合があります。そのときは、戻るボタンなどをタップして表示し直すか、または Web ブラウザを終了し、再度アクセスしてください。また、スマートフォンの再起動により動作が改善される場合もあります。
- スマートフォンの機種については、NTT docomo 携帯電話機「GALAXY SⅢ（SC-06D）」、「GALAXY S（SC-02B）」および「Xperia（SO-01B）」での動作を確認しています。
- ビジネスフォンαクライアントをお使いになる場合は、ビジネスフォンαクライアントの取扱説明書を参照してください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

■ その他注意事項

- 本商品を電源コンセントから抜くときは、Web ブラウザからシャットダウン操作し、１分以上経ってから行ってください。
- α NX/NX Ⅱ主装置の電源を入れたとき（再起動も含む）は、起動後に WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
- WEB アドレス帳ボックスのシステム時刻は管理者画面にて確認することができます。実際の時刻に合わせて正しく設定された状態で使用してください。システム時刻が不正な状態で使用すると動作に影響を及ぼす場合があります。
- α NX/NX Ⅱ主装置の日時を変更（NTP サーバによる微少な補正は除く）したときは、WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
- ログインしているユーザがいるときに NTP サーバによる時刻補正でシステム時刻が数分以上変更されたとき、ログイン中のユーザの自動ログアウト機能が正常動作しない場合があります。
- 設定する内線番号や外線の電話番号などのダイヤルは、すべて半角で入力してください。また、“-”はアナログ回線で発信するときのポーズダイヤルです。アナログ回線（アナログ PBX 含む）を利用しない主装置構成の場合、“-”を含めたダイヤルは登録しないでください。
- 名称などに設定する全角文字は文字コード：ISO-2022-JP に規定されているものを入力してください。ギリシア文字や丸文字などを入力した場合、正しく表示できない場合があります。また、主装置から受信した相手氏名などに表示できない文字が含まれていた場合、Web ブラウザに“※”と表示されます。
- 主装置の特番（回線を指定するダイヤルなど）が含まれる電話番号を指定して、クリックツーコールやコールバックを行った場合の動作は、接続した主装置の動作仕様に従います。
- クリックツーコールを行う場合、シングルライン電話機やコードレス電話機など、標準電話機以外の内線番号を連携内線に設定しないでください。
- 電話帳の内容などをα NX/NX Ⅱ主装置と合わせる場合は、α NX/NX Ⅱ主装置と通信するための操作が必要です。たとえば､WEB アドレス帳ボックスで電話帳を新規追加した状態ではα NX/NX Ⅱ主装置には反映されません。アップロードする操作が必要です。
- 電話帳やプレゼンスアイコンに画像ファイルを連続して指定したとき、Web ブラウザの表示に反映されない場合があります。
- WEB アドレス帳ボックスのブラウザ画面に表示されるボタンを連続してクリック（タップ）したり、読み出し中に他の画面に切り替える操作を連続して行うと、処理に負荷がかかり、動作が不安定になる場合があります。
- 登録した電話帳の件数が多いなど表示内容によっては、表示やスクロールに時間がかかったり、一時的に表示されなくなる場合があります。その場合は、再度表示し直してください。
- 一台の機器で複数のウィンドウやタブを開いて WEB アドレス帳ボックスに多重アクセスしないでください。一台の機器で多重アクセスすると、正常に表示されない場合があります。
- Web ブラウザを起動したままの状態が長時間継続したとき、または複数 PC からの操作や内部処理などのタイミングにより正常に表示されない場合があります。そのときは、Web ブラウザを終了し、再度アクセスしてください。
- 管理者がシステム設定などを変更したときに WEB アドレス帳ボックスにログインしているユーザがいた場合、画面上部のメニューやボタンなどをクリック（タップ）して別の画面に遷移したときに変更内容が反映されます。
- 工事保守作業者がお客様の環境でメンテナンスを行うとき、WEB アドレス帳ボックスへのログインが規制される場合があります。そのときはログイン画面にてメンテナンス中であることをお知らせします。
- 本商品の USB ポートに接続する機器は、FAT32 でフォーマットされた全容量が 2 TB 以内の外付けハードディスクとし、USB フラッシュメモリは使用しないでください。外付けハードディスクの機器メーカーからフォーマットツールが提供されている場合、フォーマット時は必ずそちらを使用してください。また、機器の仕様や FAT32 の制約により、書き込み可能なデータの数などが制限され、録音データが移動できない場合があります。
- 外部ストレージ機器は、必ず電源コンセントによる給電を行ってください。
- 本商品に接続して使用した外付けハードディスクを PC に接続して録音データファイルの参照や編集を行わないでください。録音データの再生や消去または PC にファイル保存したいときは外付けハードディスクを本商品に接続した状態でログインし、録音データ一覧画面より行ってください。
- 長期間の運用により、本商品に保存できる録音データや運用ログなどの容量が減少する場合があります。
- メディア IP 電話機でログアウト操作をしたときは、ブラウザ画面を閉じてください。メディア IP 電話機の操作方法については、メディア IP 電話機の取扱説明書を参照してください。

ご使用にあたってのお願い

注意
この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品は、お客様固有の情報を登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持された情報を消去する必要があります。本商品に登録または保持された情報の消去は、当社のサービス取扱所までご連絡ください（有料）。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書に他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- 本書および本商品のハードウェア、ソフトウェア、外観などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本商品および本商品に搭載されているソフトウェアについて改変、複製、販売、譲渡を禁止します。

記載している Web ブラウザなどの画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので詳細は実機にてご確認ください。
また、機能向上のため Web ブラウザなどの画面は予告なく変更される場合があります。
Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Windows® 8 は、Windows® 8、Windows® 8 Pro および Windows® 8 Enterprise の略です。
Windows® 7 は、Windows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise および Windows® 7 Ultimate の略です。
Windows Vista® は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の略です。
Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
なお、本文中に ™、® マークは明記しておりません。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

⚠警告

●本商品、電源アダプタ、LANケーブル、LANケーブルのコネクタのそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品、電源アダプタ、LANケーブル、LANケーブルのコネクタに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品や電源アダプタ、LANケーブルを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

●本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、本商品の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。

- 本商品を仰向けや横倒し、逆さまにする。
- 本商品を収納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
- 本商品をじゅうたんや布団の上に置く。
- 本商品にテーブルクロスなどをかける。
- 本商品の周りに物をおいて、通風孔をふさぐ。

お取り扱いについて

⚠警告

●電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグなどを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

●電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●本商品から異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

●万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または、本商品内部や電源アダプタ、LANのコネクタに異物や水などが入った場合は、電源プラグ、LANケーブルを抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。また、LANケーブルのコネクタがぬれた場合は、乾いても使用しないでください。

●本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

（次ページに続く）

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠警告

●本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。

●本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。

●本商品の電源コードや電源アダプタコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードや電源アダプタコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードや電源アダプタコードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●本商品の電源コードや電源アダプタコードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●本商品や電源アダプタ、LANケーブル、LANケーブルのコネクタに水をかけたり、ぬれた手で本商品の操作や電源プラグ、LANケーブルの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●本商品を移動するときは、電源プラグを電源コンセントから抜き、LANケーブルなど外部の接続線をすべて抜いたことを確認してから行ってください。電源アダプタ、LANケーブルなどが接続されたまま移動すると、電源コードや電源アダプタコード、LANケーブルなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。

●お客様が用意された機器を本商品に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。医療事故や、社会的に大きな混乱が発生する原因となることがあります。

●近くに雷が発生したときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。

⚠警告

●本商品や電源アダプタ類を熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品の電源アダプタには延長コードを使わないでください。火災の原因となることがあります。

●本商品をお手入れするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。

設置について

⚠注意

●本商品は次のような場所に置かないでください。また、指定された設置方法以外では設置しないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- 振動、衝撃の多い場所。

●本商品を重ね置きしないでください。また、本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。

- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。
- 風通しの悪い狭い場所に置く。
- 紙、本などをのせたり、立てかけたりする。

お取り扱いについて

⚠注意

●本書の接続方法に従って、LANケーブルの接続や回線の接続を行ってください。間違った接続をすると、接続機器や回線設備の故障の原因となることがあります。

●本商品のスタンド底面はゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

●本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

●本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

●本商品や電源アダプタを壁に取り付けるときは、本商品や電源アダプタの重みにより落下しないようしっかりと取り付け、設置してください。重みでネジが抜けて、けが、破損の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

STOP お願い

●本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。

●硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

お取り扱いについて

STOP お願い

●本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

●本商品をぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、LANケーブルのコネクタ部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。

●本商品の使用を停止する、または電源を落とすときは、当社のサービス取扱所までご連絡ください。

●本商品の電源を再投入する場合、電源を切った状態から5秒以上経ったあと、電源の再投入をしてください。5秒以内に電源の再投入をすると、故障の原因となることがあります。

●本商品のプラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック部品の製作過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

●本商品をご使用中、本体や電源アダプタをさわると温かく感じることがありますが、故障ではありませんので、安心してご使用ください。

●本商品に水滴が付いた場合は、乾いた布でふき取ってください。水滴が付いたまま使用すると、故障の原因となることがあります。

STOP お願い

●本商品の動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると故障や誤動作の原因となることがあります。本商品の動作中は、接続コード類には絶対に触れないでください。

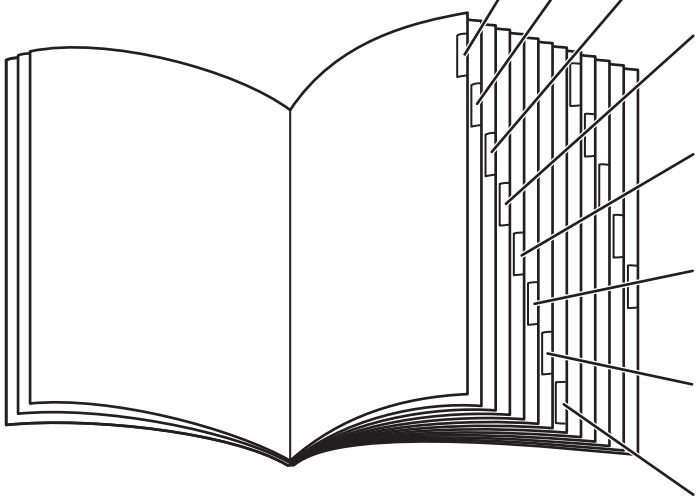
●ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示のご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

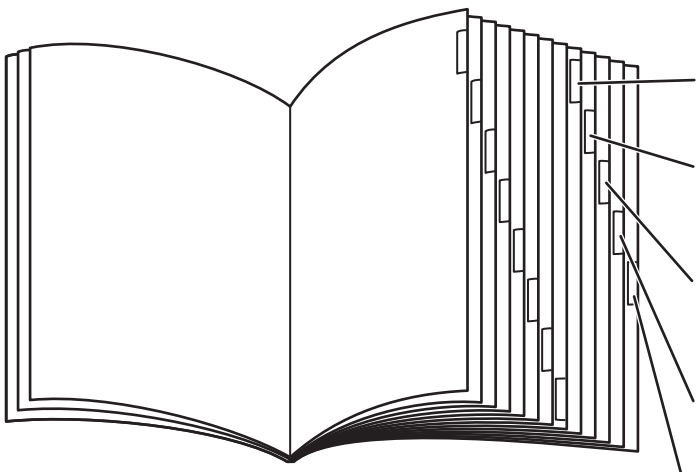
■廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本商品は、お客様固有の情報を登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、当社のサービス取扱所にご相談ください。

この取扱説明書の見方

この取扱説明書の構成





1 お使いになる前に
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

2 Webブラウザでアクセスする
Web画面の構成や設定データについて説明しています。

3 ログイン／ユーザ情報変更
ログイン／ユーザ情報変更するための操作の手順について説明しています。

4 他ユーザの状態を表示する（プレゼンス）
他ユーザの状態を表示するための操作・機能について説明しています。

5 電話帳を使う
電話帳を使うための基本操作について説明しています。

6 発信履歴／着信履歴を表示する
発信履歴や着信履歴を表示するための操作・機能について説明しています。

7 受付端末機能を使う
受付端末機能を使うための操作について説明しています。

8 電話／メールをする
WEBアドレス帳ボックスを使って相手に電話やメールをするための操作・機能について説明しています。

9 音声メール録音データを管理する
音声メールの操作・機能について説明しています。

10 より便利に使う
1～9章までの内容のほかに、利用できる便利な機能について説明しています。

11 機器を管理する
システム時刻の設定やバージョンアップについて説明しています。

12 ご参考に
こんな表示がでたら、故障かな？と思ったときの確認方法などを説明しています。

13 付録
用語集や保守サービスのご案内についてです。

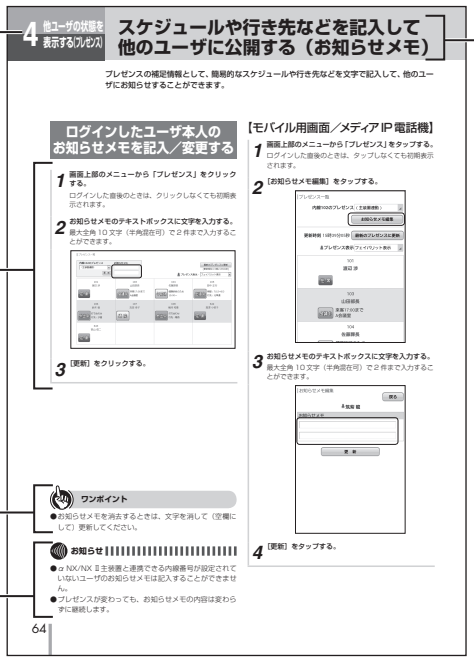
操作説明ページの構成

章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明
順番に操作を説明しています。

ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

お知らせ
本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。



タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

※ 本取扱説明書では、ユーザ情報や電話帳、各種設定などが行われた状態での画面写真を一例として掲載しています。
お客様が接続するα NX/NX Ⅱ主装置のタイプや環境構成、設定などにより表示されない項目やアイコンなどがあります。
※ 本取扱説明書では、主に PC での操作を説明しています。PC でのクリックと同様の手順をスマートフォンで操作するときは画面のタップにより行います。
※「モバイル用画面／メディア IP 電話機」と記載している箇所は、主にスマートフォンの画面写真を掲載しておりますが、メディア IP 電話機でも同一の手順で操作することができます。

目　次

安全にお使いいただくために必ずお読みください……2
この取扱説明書の見方……12
目次 ……14

1 お使いになる前に

特長 ……18
セットを確認してください …… 20
各部の名前 ……21
本商品を設置する…… 23
縦置きするには …… 23
壁に取り付けるには …… 24
電源アダプタを壁に取り付けるには …… 25
構成図 …… 26
機能一覧 …… 27
電話帳管理 …… 27
発信履歴 …… 27
着信履歴 …… 27
プレゼンス…… 28
クリックツーコール…… 28
ワンタッチコールバック…… 28
スマートフォン接続…… 29
メディアIP電話機接続 …… 29
受付端末機能 …… 29
音声メール…… 30
機器の管理 …… 30

2 Webブラウザでアクセスする

画面構成 ……31
管理者画面（PC）…… 32
一般ユーザ画面（PC）…… 34
モバイル用画面／メディアIP電話機…… 36
受付端末画面（PC ／メディアIP電話機 共通）…… 37
設定データー覧…… 38
管理者による設定項目…… 38
一般ユーザによる設定項目 …… 43
ユーザ情報の項目詳細…… 44
電話帳データの項目詳細…… 45

3 ログイン／ユーザ情報変更

PCからログインする …… 46
スマートフォンからログインする…… 47
ログアウトする …… 48
Webブラウザのセキュリティ警告や
証明書エラーを表示させないようにする …… 49
WEBアドレス帳ボックスの証明書をPCに
ダウンロードする …… 49
WEBアドレス帳ボックスの証明書を
Internet Explorerにインポートする …… 49
Internet Explorerの証明書警告の設定を
変更する……51
ユーザ情報を変更する…… 52

4 他ユーザの状態を表示する（プレゼンス）

他ユーザのプレゼンスを確認する …… 53
プレゼンス一覧表示…… 53
指定した相手のみ表示する
（フェイバリット表示）…… 55
相手を選択して連絡する …… 56
電話発信する…… 56
ワンタッチコールバック発信する…… 58
電子メールを送信する …… 59
相手側で指定された手段を使って連絡する …… 60
プレゼンス状態を手動で変更する…… 62
ログインしたユーザ本人のプレゼンスを手動で
セット／解除する…… 62
他のユーザのプレゼンスを手動で
セット／解除する…… 63
スケジュールや行き先などを記入して他のユーザに
公開する（お知らせメモ）…… 64
ログインしたユーザ本人のお知らせメモを
記入／変更する…… 64
他のユーザのお知らせメモを記入／変更する …… 65
プレゼンス状態ごとの連絡手段を指定する …… 66

5 電話帳を使う

共通・個別電話帳を利用する ····· 67
登録されている内容をすべて表示する ····· 67
新規追加する ····· 68
登録済みのユーザ情報を電話帳に追加する ····· 69
登録されている内容を編集する ····· 70
登録されている内容を削除する ····· 72
登録されている内容を複数まとめて削除する ···· 73
共通電話帳グループ名を変更する ····· 74
個別電話帳グループ名を変更する ····· 74
主装置の個別電話帳データを
WEBアドレス帳ボックスに取り込む ····· 75
WEBアドレス帳ボックスの電話帳データを
主装置に反映させる ····· 76
条件を指定して絞り込み表示する ····· 77
よく連絡する相手を登録する（ブックマーク）····· 79
ブックマークを作成する ····· 79
ブックマークを編集する ····· 79
ブックマークを削除する ····· 80
ブックマークによる電話帳絞り込み表示をする ···· 81
**個別電話帳データをPCで扱う
（インポート／エクスポート）····· 82**
電話帳データをファイルとしてPCに保存する
（エクスポート）····· 82
エクスポートした電話帳データファイルをPCで
編集する ····· 83
ファイルとしてPCに保存された個別電話帳データを
WEBアドレス帳ボックスに反映させる
（インポート）····· 86

6 発信履歴／着信履歴を表示する

発信履歴を表示する ····· 87
着信履歴を表示する ····· 88
最新の情報に更新する ····· 89
発信履歴／着信履歴から選択して電話をかける ···· 90
電話発信する ····· 90
ワンタッチコールバック発信する ····· 92
**発信履歴／着信履歴から選択して電話帳に
登録する ····· 93**

7 受付端末機能を使う

受付端末にログインする ····· 94
受付端末からログアウトする ····· 95
条件を指定してユーザを検索する ····· 96
IDグループでユーザを検索する ····· 96
五十音でユーザを検索する ····· 97
検索結果から内線呼び出しする ····· 98

8 電話／メールをする

電話発信する ····· 99
相手を選択して連携内線電話機から発信する ···· 99
相手の電話番号を入力して連携内線電話機から
発信する ····· 99
相手を選択して携帯電話回線を使って
発信する ····· 100
ワンタッチコールバック発信する ····· 101
相手を選択してワンタッチコールバック
発信する ····· 102
相手の電話番号を入力してワンタッチコールバック
発信する ····· 103
電子メールを送信する（メーラ起動）····· 104

9 音声メール録音データを管理する

録音内容を一覧表示する ····· 105
録音内容を再生する ····· 107
**録音内容をファイルで保存する
（録音データダウンロード）····· 108**
録音内容を選択して消去する ····· 109

（次ページに続く）

目　次

10 より便利に使う

管理者画面にログインする ····· 110

WEBアドレス帳ボックスの証明書を管理者画面からPCにダウンロードする ····· 111

ユーザ情報やログイン状態を管理する ····· 112

ユーザを新規登録する ····· 112

登録されているユーザの一覧を表示する ····· 113

ログイン中のユーザを強制ログアウトさせる ···· 113

登録されているユーザ情報を編集する ····· 114

登録されているユーザを削除する ····· 115

IDグループを管理する ····· 116

IDグループ名を設定する ····· 116

IDグループの表示順を設定する ····· 116

無操作状態が継続したときの自動ログアウト時間を設定する ····· 117

共通電話帳を管理する（管理者） ····· 118

登録されている内容を表示する ····· 118

新規登録する ····· 119

登録済みのユーザ情報を共通電話帳として登録する ····· 120

登録されている内容を編集する ····· 121

登録されている内容を削除する ····· 122

ユーザごとに共通電話帳の編集許可／不許可を設定する ····· 123

共通電話帳グループ名を設定する ····· 124

主装置の共通電話帳データをWEBアドレス帳ボックスに取り込む ····· 125

WEBアドレス帳ボックスの共通電話帳データを主装置に反映させる ····· 126

共通電話帳データをPCで扱う（インポート／エクスポート） ····· 127

電話帳データをファイルとしてPCに保存する（エクスポート） ····· 127

エクスポートした電話帳データファイルをPCで編集する ····· 128

ファイルとしてPCに保存された共通電話帳データをWEBアドレス帳ボックスに反映させる（インポート） ····· 131

すべての電話帳を管理する ····· 132

主装置のすべての内線の個別電話帳データをWEBアドレス帳ボックスに取り込む ····· 132

WEBアドレス帳ボックスのすべての内線の個別電話帳データを主装置に反映させる ····· 133

主装置の電話帳データを一日一回自動でWEBアドレス帳ボックスに取り込むようにする ····· 134

電話帳自動ダウンロード結果を確認する ····· 135

プレゼンス表示を管理する ····· 136

プレゼンス表示に使用する画像を変更する ····· 136

プレゼンスアイコンのベース画像（文字なし画像ファイル）をダウンロードする ····· 137

プレゼンスの状態名やプレゼンスごとのアイコンを変更する ····· 137

プレゼンスの定義を変更する ····· 138

ワンタッチコールバック機能を設定する ····· 139

WEBアドレス帳ボックスからワンタッチコールバック機能を利用できるように設定する ····· 139

ワンタッチコールバック機能を主によく使う発信機能として設定する ····· 140

内線名称などの内線情報を主装置から取得する ··· 141

内線名称などの内線情報を主装置から取得する ····· 141

WEBアドレス帳ボックスシステムを管理する ····· 142

WEBアドレス帳ボックスのバージョンを確認する ····· 142

WEBアドレス帳ボックスをシャットダウンする ····· 142

WEBアドレス帳ボックスを再起動する ····· 143

自動メンテナンス日時を変更する ····· 143

録音データメンテナンスの設定をする ····· 144

録音データメンテナンス時刻を設定する ····· 144

録音データ再生可能時間を設定する ····· 145

録音データの保存日数を設定する ····· 146

USBポートに外部ストレージを接続して運用する ····· 147

外部ストレージを接続する ····· 147

外部ストレージの接続を解除する ····· 148

一日一回自動で外部ストレージに録音データを移動する ····· 149

管理者の操作により外部ストレージに録音データを移動する ····· 150

外部ストレージ内に生成するフォルダ名を変更する ····· 151

受付端末機能を管理する ····· 152

受付端末IDを設定する ····· 153

受付端末に表示しないユーザを設定する（IDグループ） ····· 154

受付端末に表示しないユーザを設定する（ユーザ）…… 154
プレゼンスアイコンを表示しないようにする …… 155
壁紙を設定する…… 155
ボタンの表示を変更する…… 156

11 機器を管理する

システム時刻を設定する …… 157
NTPサーバを設定する …… 157
時刻を指定してセットする…… 157
運用ログを確認する…… 158
ファームウェアをバージョンアップする …… 159
最新ファームウェアのチェックを手動で行う …… 159
ファイルを指定してファームウェアを更新する… 159

12 ご参考に

こんな表示がでたら…… 160
故障かな?と思ったら…… 165

13 付録

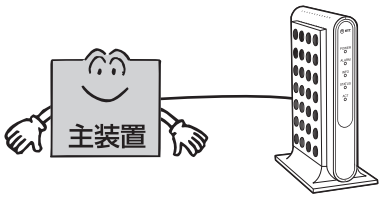
パソコンの設定（設定の流れ）…… 173
パソコンの設定（Windows 8の場合）…… 174
ネットワークの設定 …… 176
ネットワークの設定を確認する …… 179
パソコンの設定（Windows 7の場合）…… 180
ネットワークの設定 …… 182
ネットワークの設定を確認する …… 185
パソコンの設定（Windows Vistaの場合）…… 186
ネットワークの設定 …… 188
ネットワークの設定を確認する …… 191
パソコンの設定（Windows XPの場合）…… 192
ネットワークの設定 …… 194
ネットワークの設定を確認する …… 197
Webブラウザの設定 …… 198
用語の説明 ……200
索引 ……203
仕様 ……204
搭載されているソフトウェアの著作権と使用許諾に関する情報……205
保守サービスのご案内……207

特　長

WEB アドレス帳ボックスには、次のような特長があります。

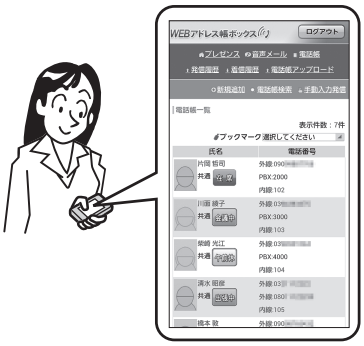
α NX/NX Ⅱ主装置とデータ連携

α NX/NX Ⅱ主装置と連携動作することにより、電話帳データや発信履歴、着信履歴などを Web ブラウザで確認することができます。



スマートフォンアクセス

外出先からアクセスし、スマートフォン向けに最適化された画面で WEB アドレス帳ボックスを使うことができます。



ユーザの状態を一覧表示（プレゼンス）

WEB アドレス帳ボックスのユーザ ID とα NX/NX Ⅱ主装置の内線番号を連携させることにより、ユーザの状態を一覧で確認することができます。また、各ユーザが自分のプレゼンスを手動で「食事中」などにセットして、簡単なメモとともに他のユーザにお知らせすることもできます。

100 ○○部長	120 △△課長	200 ××係長
外出中 □□商事 15時戻り	在 席 来週出張 予定	通 院

α NX/NX Ⅱ主装置の音声メール録音をバックアップ

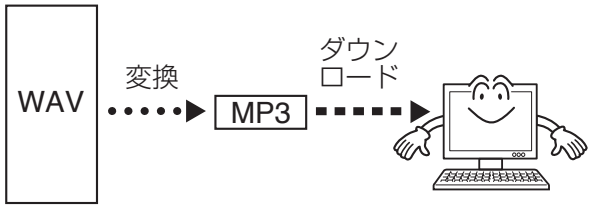
α NX/NX Ⅱ主装置の音声メール録音を約 1200 時間分バックアップ保存することができます。また、USB ポートに外部ストレージ機器（外付けハードディスク）を接続して保存容量を拡張することもできます。

α NX/NX Ⅱ主装置の音声メール録音を一覧表示

α NX/NX Ⅱ主装置の音声メール録音の一覧を Web ブラウザで確認することができます。また、一覧の中から選択して再生したり、削除することもできます。

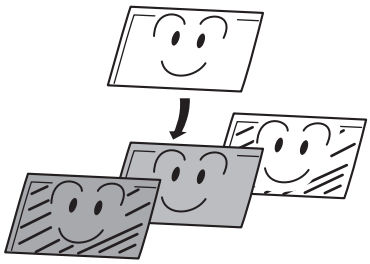
音声メール MP3 変換

α NX/NX Ⅱ主装置で録音された音声メールデータを MP3 形式に変換することにより、容量をコンパクト化して PC にダウンロードすることができます。



カスタマイズ可能な受付端末機能

初めて操作する来客者でも簡単に操作できる、受付端末向けのブラウザ画面を表示できます。
設置する場所や環境に合わせて、表示する画面の壁紙やボタン色などをカスタマイズすることもできます。



メディア IP 電話機対応

メディア IP 電話機からのかんたん操作により、WEB アドレス帳ボックスを使うことができます。
電話機のディスプレイからタッチ操作で相手を選び、ハンドセットでお話しすることができます。

かんたん操作でコールバック発信

あらかじめ携帯電話番号などを登録しておくことにより、かんたんな操作でコールバック機能を使い、主装置側の課金で電話をかけることができます。

携帯電話の通話料
負担ナシ！

内線電話機と連携した電話発信

WEB アドレス帳ボックスに表示された一覧の中から相手を選択してクリックするだけで、自席の内線電話機から電話をかけることができます。

PCで電話帳編集

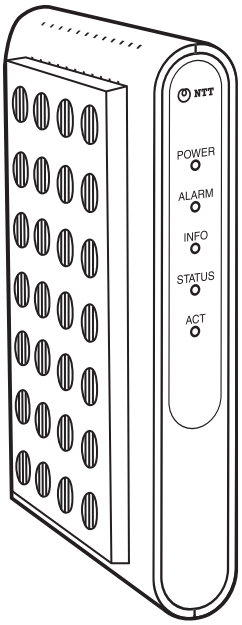
WEB アドレス帳ボックスにログインした PC で電話帳の内容を追加または編集し、α NX/NX Ⅱ主装置に反映させることができます。
α NX/NX Ⅱの電話帳にはない「企業名」や画像なども登録して、相手の詳細な情報を管理することができます。

自分への連絡方法を相手に指定

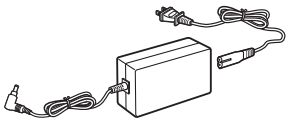
自分の状態（プレゼンス）ごとに自分への連絡手段を WEB アドレス帳ボックスを使う他のユーザへお知らせすることができます。
相手ユーザはプレゼンス一覧画面からのクリック操作のみで連絡することができます。

セットを確認してください

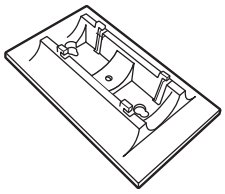
■ 本体



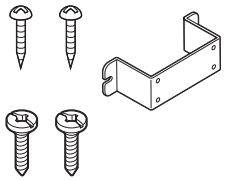
■ 付属品



電源アダプタ
（1組）

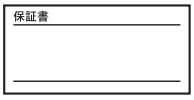


専用スタンド
（1組）

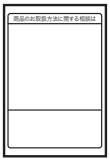


壁掛け用品
（1式）

CD-ROM（1枚）
専用CD-ROMの使い方



保証書（1枚）

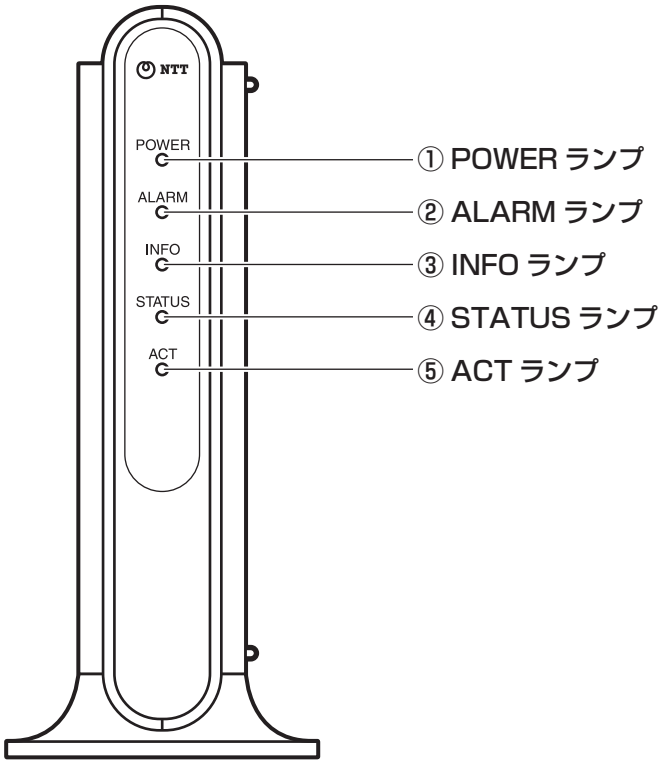


NTT通信機器
お取扱相談センタシール
（1枚）

●セットに足りないものがあったり、印刷物に乱丁、落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
●付属品の形状は一例です。

各部の名前

■ 前面

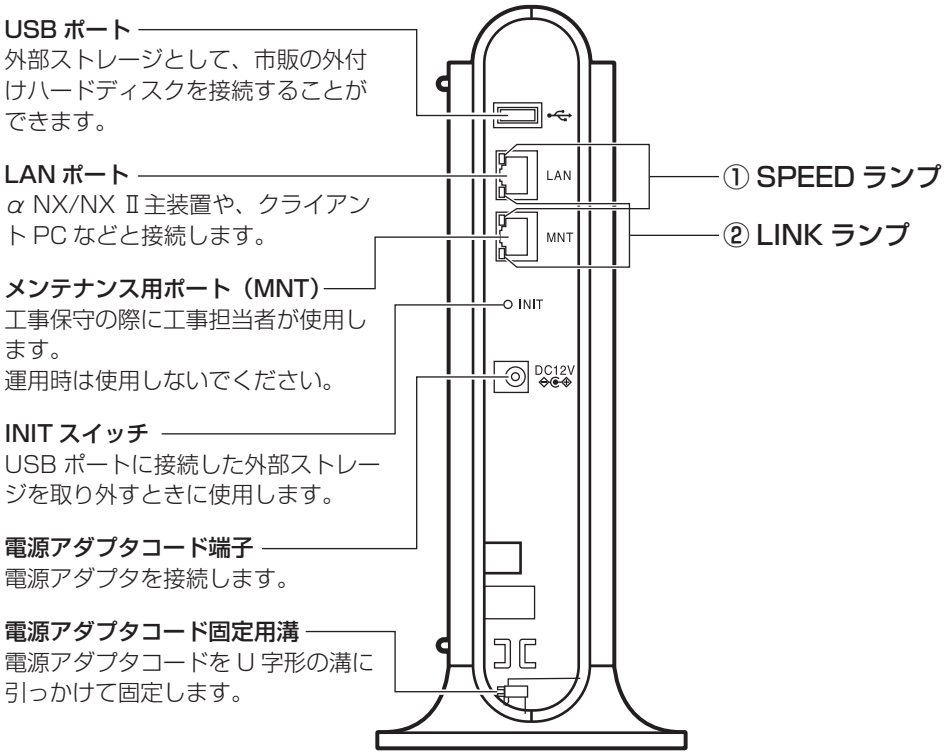


【ランプ表示】

名 称	色	状態	説　明
① POWER ランプ	緑	消灯	電源が入っていない、またはシャットダウンにより本商品の動作が停止した状態
		緑点灯	電源が入っている状態
② ALARM ランプ	赤	消灯	正常な状態
		赤点灯	本商品が故障している状態、または本商品が起動中の状態
		赤点滅	ファームウェアファイルを本商品にダウンロードしている状態
③ INFO ランプ	赤／緑	消灯	正常な状態
		赤点灯	ファームウェアファイルのダウンロードが完了し、再起動により適用できる状態
		赤 FAST 点滅	USB ポートから機器を取り外しできるようになった状態 （10 秒間のみ点滅します）
		緑点滅	録音データを保存するための容量が残り 30%以下になった状態
		緑 FAST 点滅	録音データを保存するための容量が残り 10%以下になった状態
④ STATUS ランプ	緑／橙	消灯	α NX/NX Ⅱ主装置との通信接続ができていない状態
		緑点灯	α NX/NX Ⅱ主装置との通信接続ができている状態
		緑 FAST 点滅	電話帳インポートなど、時間がかかる処理が行われている状態
		橙点灯	USB ポートに機器を接続し使えるようになった状態（10 秒間のみ点灯します）
⑤ ACT ランプ	緑	消灯	LAN 回線が未接続またはネットワークが利用できない状態
		緑点灯	LAN 回線が接続されている状態
		緑点滅（周期はデータ量による）	LAN ポートでデータ通信している状態

各部の名前

■ 背面



【ランプ表示】

名 称	色	状態	説　明
① SPEED ランプ	黄	消灯	LAN ポートにパソコンなどを接続していないとき、または 10Mbps で通信しているとき
		黄点灯	100 M または 1000 Mbps で通信しているとき
② LINK ランプ	緑	消灯	LAN ポートにパソコンなどを接続していないとき
		緑点灯	LAN ポートにパソコンなどを接続しているとき
		緑点滅	LAN ポートに接続したパソコンなどとデータ通信しているとき

ワンポイント

●本商品のネットワーク設定を変更したい場合や、お買い求め時の状態に戻すには

工事担当者が行いますので、当社のサービス取扱所までご連絡ください（有料）。

本商品に保存されたユーザ情報や電話帳、音声メール録音データは、管理者の操作により消去することができます。

●停電時のデータ消失を防ぐためには

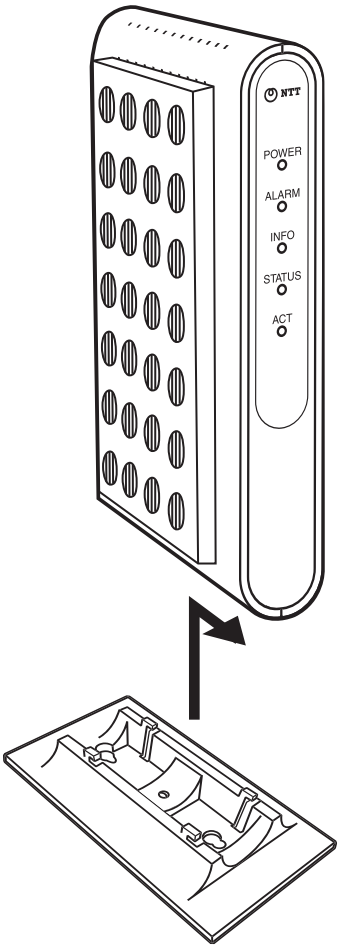
本商品は電源を落としたときに、保存が完了していないデータが消失する場合があります。バックアップ電源装置（UPS 等）を接続することにより、停電時のデータ消失を避けることができます。詳しくは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください（有償となる場合があります）。

本商品を設置する

本商品はスタンドを取り付けて縦置きで設置するほかに、壁に取り付けることができます。
どの設置方法でも必ず専用スタンドを使用の上設置します。

縦置きするには

付属品の専用スタンドを使用して、本商品を縦置きすることができます。



⚠注意

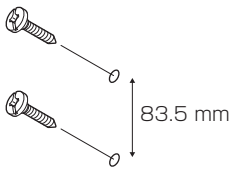
本商品の周辺には、パソコンや壁などのものがないように設置してください。
換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因になります。

本商品を設置する

壁に取り付けるには

本商品を壁に取り付けて使用することができます。付属品の壁掛け用ネジ（長さ 19 mm）2 本を使って壁や柱などに取り付けてください。

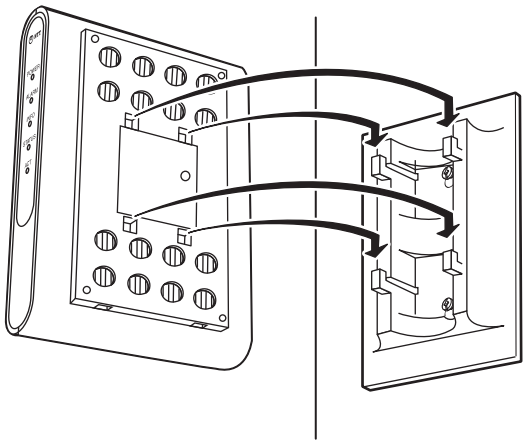
1 2 本の壁掛け用ネジの取り付け位置（上下幅 83.5 mm）を決める。



2 ネジを壁に仮締めする。

3 仮締めしたネジにスタンドの穴を引っ掛け、ネジを本締めする。

4 本商品を、壁に取り付けたスタンドに引っ掛ける。



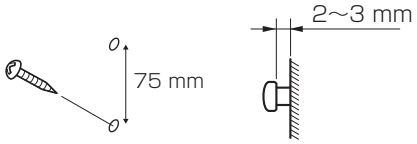
⚠注意

ドアの近くやベニヤ板などの薄い板壁、ボード板（石膏板）などの壁に本商品を取り付けないでください。振動や自らの重みで落下して、けが、破損の原因となることがあります。

電源アダプタを壁に取り付けるには

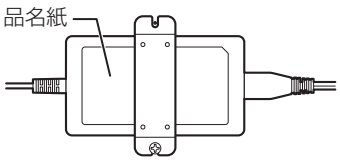
電源アダプタを壁に取り付けて使用することができます。
付属品の電源アダプタ取り付け用ブラケットと固定ネジ（長さ 16 mm）2 本を使って壁や柱などに取り付けてください。

1 2 本のブラケット用ネジの取り付け位置（上下幅 75 mm）を決める。

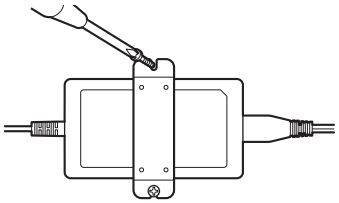


2 下側のネジ（長さ 16 mm）を壁に仮締めする。
このとき、ネジの頭を壁より約 2 〜 3 mm 程度出した状態にしてください。

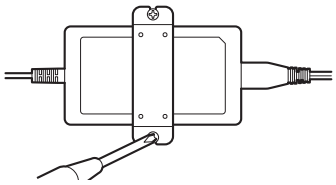
3 電源アダプタの品名紙を表にして、電源アダプタ取り付け用ブラケットを電源アダプタにかぶせ、下側の U 字穴を壁に取り付けたネジに引っかける。



4 上側のネジを締める。



5 下側のネジを本締めする。



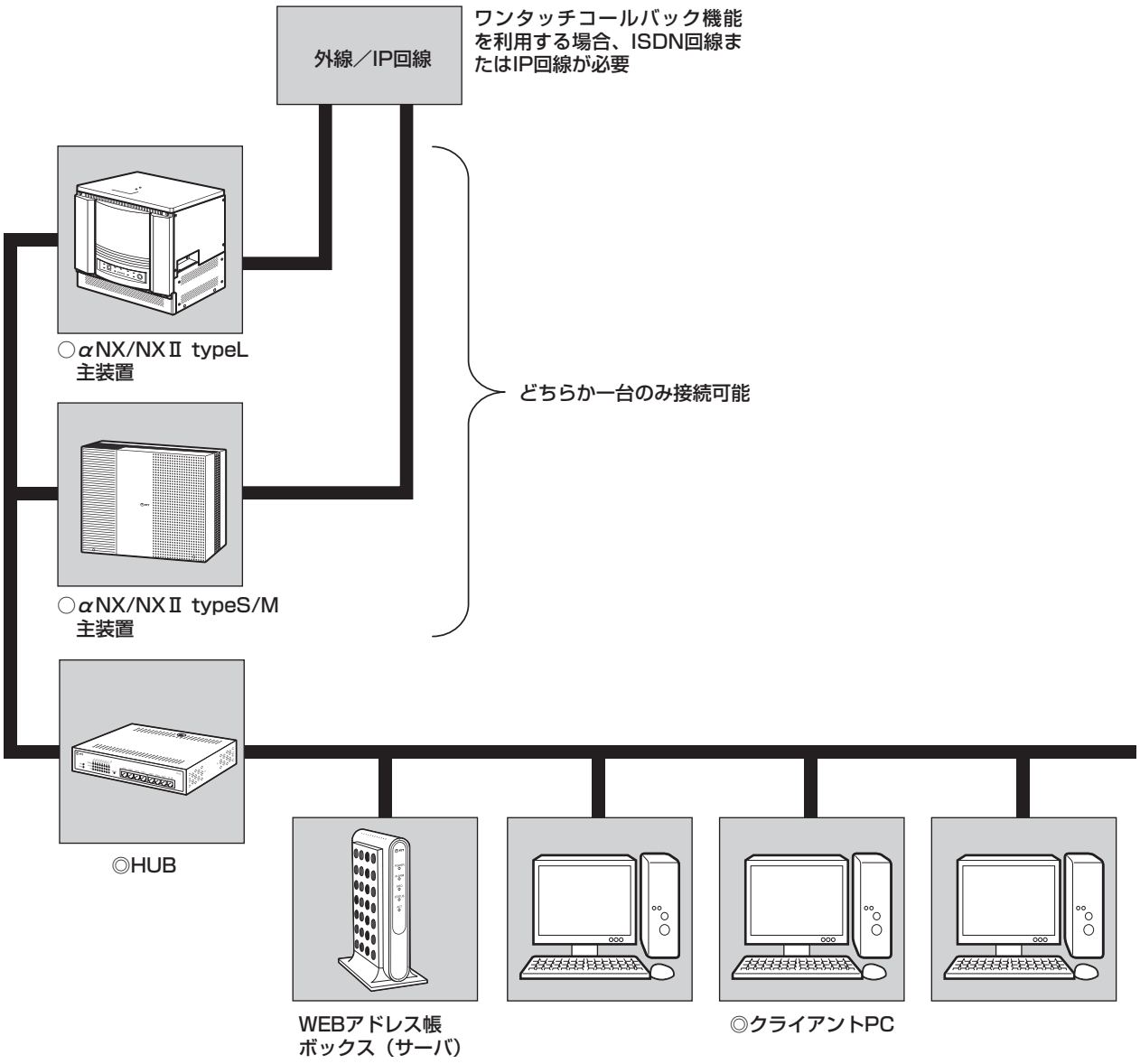
⚠注意

- ドアの近くやベニヤ板などの薄い板壁、ボード板（石膏板）などの壁に電源アダプタを取り付けないでください。振動や自らの重みで落下して、けが、破損の原因となることがあります。
- 電源アダプタは水平に取り付けてください。垂直に取り付けた場合、コードを引いたときに電源アダプタが落下して、けが、破損の原因となることがあります。
- 電源アダプタは動かないようにしっかりと固定してください。電源アダプタが落下して、けが、破損の原因となることがあります。

STOP お願い

- 電源アダプタは品名紙が表になるように取り付けてください。

構成図



ワンポイント

●オプションについて

○：当社で用意しています。

◎：当社で用意していますが、お客さまでご用意していただいてもかまいません。

機能一覧

電話帳管理

機能名	概　要	モバイル画面／メディアIP電話機
電話帳表示	Webブラウザで電話帳データを表示することができます。	○
電話帳検索	共通電話帳と個別電話帳の両方から電話帳検索を行うことができます。	○
ブックマーク	共通電話帳と個別電話帳の両方からよく連絡する相手を登録し、簡単に表示することができます。	△（表示のみ）
共通電話帳編集	共通電話帳を編集することができます。	○
個別電話帳編集	αNX/NXⅡ主装置の内線番号と連携されたユーザが各内線の個別電話帳を編集することができます。	○
共通電話帳ダウンロード	αNX/NXⅡ主装置の共通電話帳データをWEBアドレス帳ボックスに取り込むことができます。	—
個別電話帳ダウンロード	αNX/NXⅡ主装置の個別電話帳データをWEBアドレス帳ボックスに取り込むことができます。	—
全内線個別電話帳ダウンロード	αNX/NXⅡ主装置のすべての内線の個別電話帳データをWEBアドレス帳ボックスに取り込むことができます。	–
電話帳自動ダウンロード	一日一回、指定した時刻に共通電話帳と全内線個別電話帳のダウンロードを自動で行うことができます。	—
共通電話帳アップロード	WEBアドレス帳ボックスで編集した共通電話帳データをαNX/NXⅡ主装置に反映させることができます。	○
個別電話帳アップロード	WEBアドレス帳ボックスで編集した個別電話帳データをαNX/NXⅡ主装置に反映させることができます。	○
全内線個別電話帳アップロード	WEBアドレス帳ボックスで編集したすべての内線の個別電話帳データをαNX/NXⅡ主装置に反映させることができます。	–
インポート	PCのファイルに保存された電話帳データをWEBアドレス帳ボックスに取り込むことができます。	—
エクスポート	WEBアドレス帳ボックスの電話帳データをファイルとしてPCに保存することができます。	—

発信履歴

機能名	概　要	モバイル画面／メディアIP電話機
発信履歴表示	α NX/NX Ⅱ主装置の発信履歴情報を取得して Web ブラウザに表示することができます。	○
電話帳登録	発信履歴情報から選択して電話帳に登録することができます。	○

着信履歴

機能名	概　要	モバイル画面／メディアIP電話機
着信履歴表示	α NX/NX Ⅱ主装置の着信履歴情報を取得して Web ブラウザに表示することができます。	○
電話帳登録	着信履歴情報から選択して電話帳に登録することができます。	○

機能一覧

プレゼンス

機能名	概　要	モバイル画面／メディアIP電話機
プレゼンス表示	ユーザ状態（プレゼンス）を一覧で表示することができます。	○
お知らせメモ表示	他のユーザのお知らせメモをプレゼンスとともに表示することができます。	○
グループ別表示	ユーザ ID をグループに分けて、グループごとにプレゼンス表示することができます。	○
フェイバリット表示	すべてのユーザ ID グループの中から、プレゼンス表示したい相手を各ユーザが自由に選択できます。	○
連絡手段選択	自分のプレゼンスに応じて、自分への連絡手段を相手に指定することができます。	—
プレゼンス手動設定	ユーザ状態（プレゼンス）を手動でセットし、他のユーザに知らせることができます。	○
お知らせメモ	プレゼンスの補足情報として、他のユーザにお知らせしたい簡易的なスケジュールやメモを記入することができます。	○
プレゼンス編集	Web 画面に表示されるプレゼンスアイコンなどを自由に変更することができます。	—
プレゼンスアイコンダウンロード	プレゼンスアイコンを作成するためのベースとなる素材画像ファイルをダウンロードすることができます。	—

クリックツーコール

機能名	概　要	モバイル画面／メディアIP電話機
プレゼンス表示からの発信	プレゼンス一覧で表示した相手にクリック操作で連携内線機から発信することができます。	○（※注）
電話帳からの発信	電話帳に表示された相手にクリック操作で連携内線機から発信することができます。	○（※注）
履歴発信	発信履歴／着信履歴表示画面からクリック操作で連携内線機から発信することができます。	○（※注）

※注　携帯電話契約回線を利用した発信となります。

ワンタッチコールバック

機能名	概　要	モバイル画面／メディアIP電話機
WEB アドレス帳ボックスからのワンタッチコールバック発信	各ユーザごとに設定した外線電話番号にα NX/NX Ⅱ主装置からコールバック着信させ、応答することにより、その電話機を使って相手とお話しすることができます。	○（※注）
プレゼンス表示からの発信	プレゼンス一覧で表示した相手にクリック操作でワンタッチコールバック発信することができます。	○（※注）
電話帳からの発信	電話帳に表示された相手にクリック操作でワンタッチコールバック発信することができます。	○（※注）
履歴発信	発信履歴／着信履歴表示画面からクリック操作でワンタッチコールバック発信することができます。	○（※注）

※注　メディア IP 電話機は対象外

スマートフォン接続

機能名	概　要	モバイル画面／メディアIP電話機
モバイル用 Web 表示	モバイル端末用のログイン操作により、スマートフォン向けに最適化された Web 画面で WEB アドレス帳ボックスを使うことができます。	○（※注）
モバイル回線発信	WEB アドレス帳ボックスに表示された電話番号のタップ操作で自契約回線（携帯電話契約回線）から発信することができます。	○（※注）
ビジネスフォンαクライアント接続	ビジネスフォンαクライアントが動作するために必要な設定データをα NX/NX Ⅱ 主装置から取得し、ビジネスフォンαクライアントに送信することができます。	○（※注）
ビジネスフォンαクライアントからのログイン	ビジネスフォンαクライアントからアクセスするとき、ユーザ ID、パスワードの入力なしでログインすることができます。	○（※注）
ビジネスフォンαクライアント外線発信	クリックツーコールと同じ操作で、ビジネスフォンαクライアントの外線発信を行うことができます。	○（※注）

※注　モバイル画面のみ対象

メディアIP電話機接続

機能名	概　要	モバイル画面／メディアIP電話機
メディア IP 電話機からのログイン	メディア IP 電話機からアクセスするとき、ユーザ ID、パスワードの入力なしでログインすることができます。	○（※注）
メディア IP 電話機用 Web 表示	メディア IP 電話機のログイン操作により、メディア IP 電話機向けに最適化された Web 画面で WEB アドレス帳ボックスを使うことができます。	○（※注）

※注　メディア IP 電話機のみ対象

受付端末機能

機能名	概　要	モバイル画面／メディアIP電話機
受付端末 ID 設定	受付端末 ID でログインすることにより、PC またはメディア IP 電話機を来客者向けの受付端末として使うことができます。	○（※注）
受付端末画面カスタマイズ	受付端末の Web 画面の壁紙画像やボタン色などをカスタマイズすることができます。	○（※注）
受付端末からのユーザ呼び出し	受付端末から簡単な操作でユーザを検索（グループ検索または五十音検索）し、連携内線電話機から内線呼び出しすることができます。	○（※注）

※注　モバイル画面は対象外

機能一覧

音声メール

機能名	概　要	モバイル画面／メディアIP電話機
録音データ一覧表示	α NX/NX Ⅱ主装置からアップロードされた音声メール録音データの一覧をブラウザ画面に表示することができます。また、条件を指定して絞り込み表示することもできます。	○
録音データファイル再生	一覧表示された録音データから選択して、再生することができます。	○
録音データファイルダウンロード	一覧表示された録音データから選択して、ファイルとしてクライアント PC にダウンロードすることができます。	—
録音データファイル消去	一覧表示された録音データから選択して、WEB アドレス帳ボックスから消去することができます。	○
録音データ移動	α NX/NX Ⅱ主装置からアップロードされた音声メール録音データを外部ストレージに移動することができます。	—

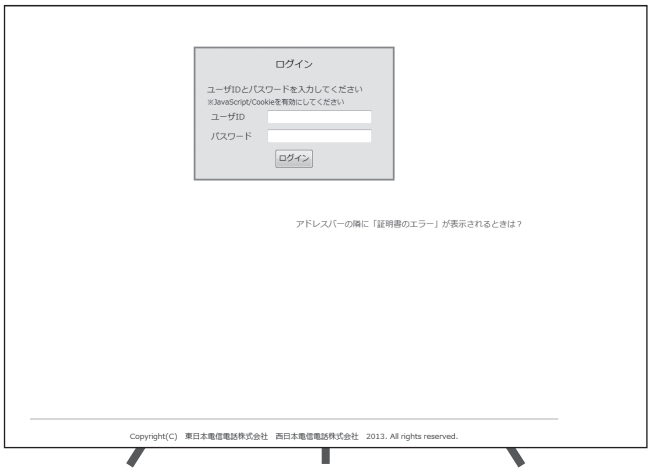
機器の管理

機能名	概　要	モバイル画面／メディアIP電話機
ファームウェアバージョンアップ	最新のファームウェアにバージョンアップすることができます。	—
再起動	Web 画面の操作で WEB アドレス帳ボックスを再起動することができます。	−
運用ログ表示	WEB アドレス帳ボックスの運用状態のログを表示することができます。	—

画面構成

WEB アドレス帳ボックスは、以下の画面により構成されています。

■PCからのログイン（https://（本商品のIPアドレス）/telbook/）



●**管理者としてログインする場合**
管理者 ID と管理者パスワードを入力

●**一般ユーザとしてログインする場合**
管理者より登録されたユーザ ID とパスワードを入力

●**受付端末としてログインする場合**
管理者より登録された管理者 ID とパスワードを入力

管理者IDで
ログイン

一般ユーザIDで
ログイン

受付端末IDで
ログイン

管理者画面へ（☛P32）

一般ユーザ画面へ（☛P34）

受付端末画面へ（☛P37）

■スマートフォンからのログイン（https://（本商品のIPアドレス）/telbook/m.html）

●**一般ユーザとしてログインする場合**
管理者より登録されたユーザ ID とパスワードを入力

一般ユーザIDで
ログイン

モバイル用画面へ（☛P36）

ワンポイント

●PC からログインするときのユーザ ID とスマートフォンからログインするときのユーザ ID を別々に用意する必要はありません。同じユーザ ID をお使いいただけます。

●ビジネスフォンαクライアントからアクセスするときは、ユーザ ID、パスワードの入力なしでログインすることができます。詳細については、ビジネスフォンαクライアントの取扱説明書を参照してください。

●メディア IP 電話機からアクセスするときは、本ページ記載のログイン画面からログインせず、メディア IP 電話機の操作でログインしてください。
詳細については、メディア IP 電話機の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

●WEB アドレス帳ボックスの URL を PC のお気に入りやブックマークに入れるときは、ログイン画面が表示されている状態で登録してください。

●モバイル用ログイン画面から管理者 ID でログインすることはできません。

●複数の機器から同じユーザ ID で同時にログインすることはできません。

画面構成

管理者画面（PC）

- **プレゼンス**
  WEBアドレス帳ボックスで登録されたユーザ氏名と連携内線、プレゼンスを一覧で確認することができます。
  - **プレゼンス詳細**
    プレゼンス一覧画面で選択したユーザの詳細情報を確認することができます。
    また、プレゼンスを手動で変更したり、お知らせメモを記入することもできます。
- **音声メール**
  WEBアドレス帳ボックスに保存された音声メール録音データを一覧表示することができます。
  また、一覧表示された録音データから選択して再生、削除、クライアントPCにダウンロードすることができます。
- **共通電話帳管理**
  WEBアドレス帳ボックスに登録されている共通電話帳の一覧が表示されます。
  条件を指定して検索し、絞り込み表示したり、複数の電話帳を選択してまとめて削除することもできます。
  - **共通電話帳 新規追加**
    共通電話帳にデータを新規追加することができます。
  - **共通電話帳詳細**
    共通電話帳データの詳細を確認することができます。
    - **共通電話帳編集**
      共通電話帳データの内容を変更することができます。
    - **共通電話帳 削除確認**
      共通電話帳データを削除する場合、確認のために内容が表示されます。
  - **ユーザを検索して 共通電話帳に登録**
    WEBアドレス帳ボックスに登録されているユーザから条件を指定して検索し、ユーザ情報を共通電話帳データとしてコピーすることができます。
  - **共通電話帳 一括削除確認**
    共通電話帳のデータを一括で削除する場合、確認のために氏名と電話番号が表示されます。
- **ユーザ管理**
  登録済みのユーザから条件を指定して表示することができます。
  - **ユーザ追加**
    ユーザIDとパスワードを登録し、WEBアドレス帳ボックスユーザを追加することができます。
  - **ユーザ詳細**
    ユーザの詳細情報を確認することができます。
    - **ユーザ情報編集**
      ユーザ情報を変更することができます。
    - **ユーザ削除確認**
      ユーザを削除する場合、確認のために内容が表示されます。

システム管理

プレゼンスアイコンのカスタマイズなどプレゼンスの設定や、電話帳データの主装置との通信、電話帳データのバックアップなどの管理をメニューから選択することができます。
また、この画面からWEBアドレス帳ボックスの再起動を行うこともできます。

- **管理者基本設定**
  管理者パスワードの変更、電話帳自動ダウンロード時刻の設定などができます。
- **システム時刻設定**
  WEBアドレス帳ボックスの時刻を設定することができます。
- **IDグループ名設定**
  IDグループの名前を設定することができます。
- **音声メール設定**
  WEBアドレス帳ボックスの音声メール関連の設定をすることができます。
- **受付端末設定**
  受付端末IDや受付端末に表示する内容を設定することができます。
- **プレゼンスアイコン設定**
  画像ファイルをプレゼンスアイコンとして設定することができます。
- **プレゼンス設定**
  プレゼンスの状態名や表示されるアイコンをカスタマイズすることができます。
- **プレゼンス定義**
  αNX/NXⅡ主装置の内線電話機の各状態からどのプレゼンス状態に判定するかの条件を設定することができます。
- **共通電話帳グループ名設定**
  共通電話帳グループの名前を編集することができます。
- **主装置電話帳データ転送**
  αNX/NXⅡ主装置の電話帳データをWEBアドレス帳ボックスに取り込んだり、WEBアドレス帳ボックスの電話帳データを主装置へ反映させることができます。
- **共通電話帳データファイルPC転送**
  PCに保存された共通電話帳データファイルをWEBアドレス帳ボックスに取り込んだり（インポート）、WEBアドレス帳ボックスの電話帳データをファイルとしてPCに保存（エクスポート）することができます。
- **手動ファームウェア更新**
  PC上のファームウェアファイルを使用して、WEBブラウザ画面からWEBアドレス帳ボックスのファームウェアを更新することができます。
  また、ネットワーク経由での更新を手動で行うこともできます。
- **運用ログ**
  WEBアドレス帳ボックスの運用状態のログを表示することができます。

画面構成

一般ユーザ画面（PC）

- **プレゼンス**
  WEBアドレス帳ボックスで登録されたユーザ氏名と連携内線、プレゼンスを一覧で確認することができます。ログインしたユーザが自分のプレゼンスを手動でセットしたり、お知らせメモを記入することもできます。
  - **プレゼンス詳細**
    プレゼンス一覧画面で選択したユーザの詳細情報を確認することができます。また、プレゼンスを手動で変更したり、お知らせメモを記入することもできます。
- **音声メール**
  WEBアドレス帳ボックスに保存された音声メール録音データを一覧表示することができます。また、一覧表示された録音データから選択して再生、削除、クライアントPCにダウンロードすることができます。
- **電話帳**
  WEBアドレス帳ボックスに登録されている電話帳の一覧を表示することができます。条件を指定して検索し、絞り込み表示することもできます。電話帳に登録されていない相手に手動でダイヤルを入力して発信することもできます。
  - **電話帳新規追加**
    電話帳にデータを新規追加することができます。
  - **電話帳詳細**
    電話帳データの詳細を確認することができます。
    - **電話帳編集**
      電話帳データの内容を変更することができます。
    - **電話帳削除確認**
      電話帳データを削除する場合、確認のために内容が表示されます。
  - **ユーザを検索して電話帳に登録**
    WEBアドレス帳ボックスに登録されているユーザから条件を指定して検索し、ユーザ情報を電話帳データとしてコピー（新規追加）することができます。
  - **電話帳一括削除確認**
    電話帳のデータを一括で削除する場合、確認のために氏名と電話番号が表示されます。
  - **ブックマーク新規作成**
    よく連絡する相手を登録するためのブックマークを作成することができます。
  - **ブックマーク編集**
    電話帳データの中から相手を選んでブックマークに追加、またはブックマークから削除することができます。ブックマーク名を変更することもできます。
  - **ブックマーク削除確認**
    作成したブックマークを削除する場合、確認のために内容が表示されます。

- **発信履歴**
  αNX/NXⅡ主装置から発信履歴情報を取得して表示することができます。
- **着信履歴**
  αNX/NXⅡ主装置から着信履歴情報を取得して表示することができます。
- **ユーザ設定**
  ユーザ情報の変更や個別電話帳データなどの管理をメニューから選択することができます。
  - **ユーザ情報設定**
    ユーザIDやパスワード、電話番号などを設定することができます。
  - **共通電話帳 グループ名設定**
    共通電話帳グループの名前を編集することができます。
  - **個別電話帳 グループ名設定**
    （αNX主装置type-L接続時のみ）
    個別電話帳グループの名前を編集することができます。
  - **主装置電話帳 データ転送**
    αNX/NXⅡ主装置の電話帳データをWEBアドレス帳ボックスに取り込んだり、WEBアドレス帳ボックスの電話帳データを主装置へ反映させることができます。
  - **個別電話帳データ ファイルPC転送**
    PC に保存された個別電話帳データファイルを WEB アドレス帳ボックスに取り込んだり（インポート）、WEB アドレス帳ボックスの電話帳データをファイルとして PC に保存（エクスポート）することができます。

画面構成

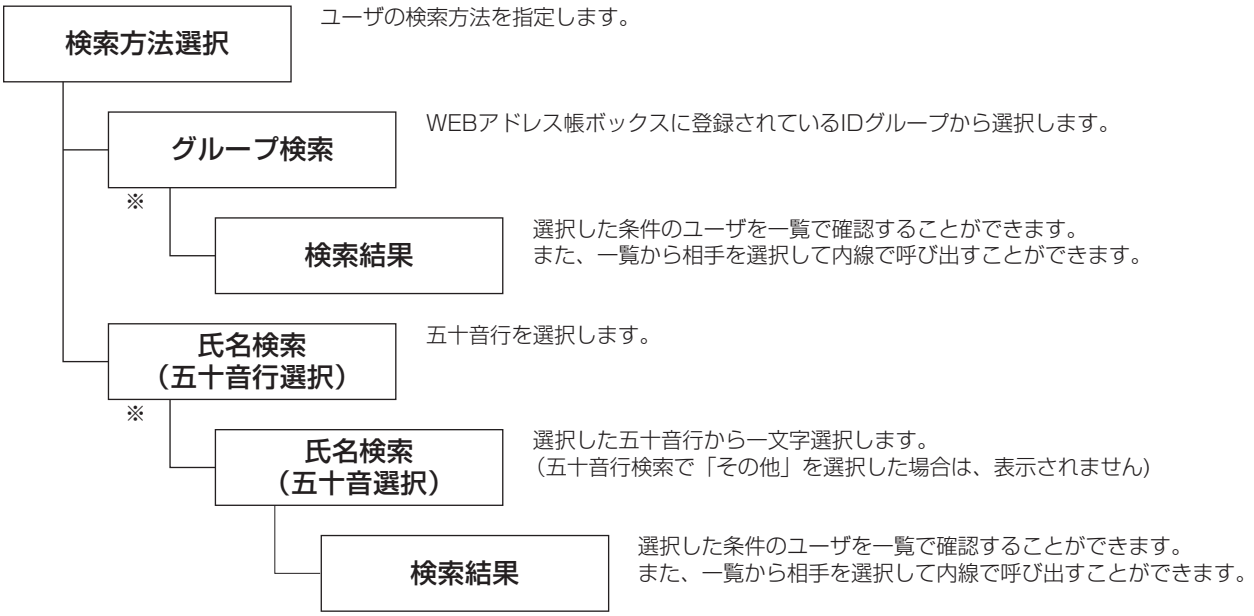
モバイル用画面／メディアIP電話機

- **プレゼンス**
  WEBアドレス帳ボックスで登録されたユーザ氏名と連携内線、プレゼンスを一覧で確認することができます。
  プレゼンスを手動でセットすることもできます。
  - **ログインユーザ お知らせメモ編集**
    ログインしたユーザのお知らせメモを記入することができます。
  - **プレゼンス詳細**
    プレゼンス一覧画面で選択したユーザの詳細を確認することができます。
    また、そのユーザのプレゼンスを変更することができます。
    - **他ユーザ お知らせメモ編集**
      プレゼンス一覧画面で選択したユーザのお知らせメモを記入することができます。
- **音声メール**
  WEBアドレス帳ボックスに保存された音声メール録音データを一覧表示することができます。
  また、一覧表示された録音データから選択して再生、削除することができます。
  - **音声メール検索**
    条件を指定して音声メールを検索し、絞り込み表示することができます。
- **電話帳**
  WEBアドレス帳ボックスに登録されている電話帳の一覧が表示されます。
  - **電話帳新規追加**
    電話帳にデータを新規追加することができます。
  - **電話帳詳細**
    電話帳の詳細を確認することができます。
    - **電話帳編集**
      電話帳データの内容を変更することができます。
    - **電話帳削除確認**
      電話帳データを削除する場合、確認のために内容が表示されます。
  - **電話帳検索**
    条件を指定して電話帳を検索し、絞り込み表示することができます。
  - **手動入力発信**
    （ワンタッチコールバック機能が設定されている場合のみ）
    相手の電話番号を入力してワンタッチコールバック発信することができます。

※モバイル用画面のみ

- **発信履歴**
  αNX/NXⅡ主装置から発信履歴情報を取得して表示することができます。
- **着信履歴**
  αNX/NXⅡ主装置から着信履歴情報を取得して表示することができます。
- **電話帳 アップロード**
  WEBアドレス帳ボックスの電話帳データをαNX/NXⅡ主装置へ反映させることができます。

受付端末画面（PC ／メディアIP電話機 共通）



※ 管理者の設定により、表示名を変更することができます。
（例：「グループ検索」→「部署名検索」）

設定データー覧

管理者による設定項目

■ 管理者基本設定

設定名	概　要	設定範囲	初期値
管理者パスワード	管理者 ID でログインするためのパスワード（工事保守者による変更も可）	5 ～ 16 文字（半角英数）	admin
自動ログアウトタイマ（システム一括）	ログイン状態のまま一定時間操作がなかったときにログアウトさせる時間	無期限／ 5 分／ 10 分／ 15 分／ 30 分／ 1 時間／ 3 時間／ 6 時間／ 12 時間／ 24 時間	15 分
CallBack 機能	ワンタッチコールバック機能を使うかどうかの設定	する／しない ※お客様のα NX/NX Ⅱ主装置の構成や工事設定内容によっては「しない」のみの選択となります	しない
クリック発信機能（PC）	（CallBack 機能が「する」に設定されている場合のみ設定可） 電話帳一覧画面で相手電話番号をクリックしたとき、および、連絡先電話番号が設定されたプレゼンスアイコンをクリックしたときの発信動作（PC 用画面ログイン時の動作）	電話発信／ CallBack	（設定なし）
クリック発信機能（モバイル）	（CallBack 機能が「する」に設定されている場合のみ設定可） 電話帳一覧画面で相手電話番号をクリックしたとき、および、連絡先電話番号が設定されたプレゼンスアイコンをクリックしたときの発信動作（モバイル用画面ログイン時の動作）	電話発信／ CallBack	（設定なし）
自動メンテナンス日時	WEB アドレス帳内のデータを最適化するための自動メンテナンス起動日時	毎月 DD 日 HH 時 （DD：1 ～ 31、HH：0 ～ 23）	毎月 28 日 3 時
電話帳自動ダウンロード時刻	主装置の電話帳データを自動ダウンロードする時刻	ダウンロードしない／ HH 時 MM 分 （HH：0 ～ 23、MM：00 ～ 59）	4 時 00 分

■ システム時刻設定

設定名	概　要	設定範囲	初期値
システム時刻	機器内部の時刻	20YY 年 MM 月 DD 日 HH 時 mm 分 SS 秒 （YY：13 ～ 35、MM：1 ～ 12、DD：1 ～ 31、HH：0 ～ 23、mm：00 ～ 59、SS：00 ～ 59）	2013/1/1 0:00
NTP サーバ設定	NTP サーバの「IP アドレス」、もしくは「ドメイン名」のどちらか、または「NTP サーバなし」	最大 128 文字 （半角英数、- _ . / :）	192.168.1.1

■ IDグループ設定

設定名	概　要	設定範囲	初期値
ID グループ名 （ID グループ毎）	ID グループごとの名称	最大全角 10 文字 （半角混在可）	1：グループ 1 ⋮ 20：グループ 20
表示順 （ID グループ毎）	ID グループを選択する画面における表示順番（値の小さいものを上に表示）	1 ～ 20	1：01 ⋮ 20：20
受付端末への表示／非表示（ID グループ毎）	受付端末からの検索時に表示対象とするかどうかの設定 「非表示」設定時は、受付端末からの検索で表示されない	受付端末 1：表示／非表示 受付端末 2：表示／非表示 受付端末 3：表示／非表示	受付端末 1：表示 受付端末 2：表示 受付端末 3：表示

■ 音声メール設定

設定名	概　要	設定範囲	初期値
録音データ メンテナンス時刻	WEB アドレス帳ボックスに蓄積された音声メール録音データについて、再生用ファイルの生成や自動消去などを行う時刻	HH 時 MM 分（HH：0 ～ 23、MM：00 ～ 59）	3 時 00 分
録音データ保存日数	自動消去するまでの録音後、保存日数 「指定なし」設定時は、自動消去は行わない	指定なし／1／2／3／4／5／6／7／10／20／30／60／90／120／240／365 日	90
録音データ自動 ストレージ移動	WEB アドレス帳ボックスに蓄積された音声メール録音データの外部ストレージデバイスへの自動移動機能の有無	する／しない	しない
録音データ移動先 フォルダ名	WEB アドレス帳ボックスに蓄積された音声メール録音データの外部ストレージデバイスへの移動先フォルダ名	1 ～ 30 文字（半角英数、記号 . @ _( ) - # スペース）	NX_VMdata
録音データ再生 可能時間	クライアント PC で再生またはダウンロード可能な MP3 エンコードファイルのサイズ（録音時間）	1／2／3／5／10／20／30／45／60 分	1 分

設定データー覧

■受付端末設定

設定名	概　要	設定範囲	初期値
受付端末有効／無効（受付端末毎）	受付端末 1 ～ 3 を使用するかどうかの設定	有効／無効	受付端末 1 ～ 3：無効
ユーザ ID（受付端末毎）	受付端末としてログインするための ID	ユーザ ID：1 ～ 8 文字（半角英数）	（設定なし）
パスワード（受付端末毎）	受付端末としてログインするためのパスワード	パスワード：8 ～ 16 文字（半角英数）	（設定なし）
連携内線番号（受付端末毎）	受付端末と連携する内線番号	1 ～ 4 桁（半角数字、*、#）	なし
受付端末への表示（受付端末毎）	受付端末からの検索時に表示対象とするか否か	表示／非表示	表示
ID グループ（受付端末毎）	受付端末が所属する ID グループ	ID グループ 1 ～ 20	ID グループ 1
氏名（受付端末毎）	受付端末の氏名	「主装置の内線名称を適用する」または、最大全角 10 文字（半角混在可）	（設定なし）
氏名（カナ）（受付端末毎）	受付端末のカナ	最大半角 12 文字（半角英数カタカナ、半角スペース、半角記号 . @ ( ) _ - # *	（設定なし）
壁紙（受付端末毎）	受付端末ログイン時の壁紙画像	サイズ 3MB 以下の JPEG/PNG 形式画像ファイル	（設定なし）
壁紙配置方法（受付端末毎）	（壁紙が設定されている場合のみ設定可）壁紙画像の配置方法	中央に表示／並べて表示	中央に表示
プレゼンスアイコン表示（受付端末毎）	受付端末からのユーザ検索結果画面に各ユーザのプレゼンスアイコン画像を表示するか否か	表示／非表示	表示
グループ検索ボタン表示文字（受付端末毎）	受付端末から ID グループ検索を行うときにクリックするボタンの表示文字列	最大全角 10 文字（半角混在可）	グループ検索
氏名検索ボタン表示文字（受付端末毎）	受付端末から氏名検索を行うときにクリックするボタンの表示文字列	最大全角 10 文字（半角混在可）	氏名検索
ボタン配置パターン（受付端末毎）	ID グループを表示するときのボタン表示レイアウト	1 列／ 2 列	1 列
ボタン背景色（受付端末毎）	受付端末に表示するボタンの背景色 ※マウスオーバー時、クリック時の色は PC でログインしたときのみ適用	（カラーパレットから選択） ※ マウスオーバー時、クリック時は「指定なし」も設定可	薄い水色 マウスオーバー時：水色 クリック時：青
ボタン外枠色（受付端末毎）	受付端末に表示するボタンの外枠色 マウスオーバー時、クリック時の色を個別に設定可 ※マウスオーバー時、クリック時の色は PC でログインしたときのみ適用	（カラーパレットから選択） ※ マウスオーバー時、クリック時は「指定なし」も設定可	濃い青
ボタン文字色（受付端末毎）	受付端末に表示するボタンの文字色 ※マウスオーバー時、クリック時の色は PC でログインしたときのみ適用	（カラーパレットから選択） ※ マウスオーバー時、クリック時は「指定なし」も設定可	黒

■ プレゼンスアイコン設定

設定名	概　要	設定範囲	初期値
プレゼンスアイコン設定	プレゼンス機能で使用するアイコン 21 ～ 40 の画像イメージの設定 （画像ファイルアップロードにより設定） 標準サイズは、横 70 ×縦 50（ピクセル）	アイコン 21 ～ 40：アップロードによる追加／削除 サイズ 500KB 以下の JPEG/PNG 形式画像ファイル	アイコン 21 ～ 40：設定なし

■ プレゼンス設定

設定名	概　要	設定範囲	初期値
プレゼンス設定 （システム一括）	WEB アドレス帳で使用するプレゼンス状態の種別（名称）とアイコン画像の選択	名称：最大全角 10 文字 （半角混在可） アイコン：アイコン 1 ～ 40	在席、アイコン 1 電話中、アイコン 2 離席、アイコン 3 外出中、アイコン 4 会議中、アイコン 5 食事中、アイコン 6 休憩中、アイコン 7 出張中、アイコン 8 非活性、アイコン 9 未定義、アイコン 10 不在、アイコン 11 留守、アイコン 12 退社、アイコン 13 午前休、アイコン 14 午後休、アイコン 15 早退、アイコン 16 通院、アイコン 17 年休、アイコン 18 公休、アイコン 19 産休、アイコン 20

設定データー覧

■ プレゼンス定義

設定名	概　要	設定範囲	初期値
プレゼンス定義 （システム一括）	内線状態情報（α NX/NX Ⅱ主装置から取得）に対するプレゼンス状態（WEB アドレス帳で集約）の定義の編集（判定項目と判定順位の変更）	判定順位ごとに「判定項目」「値」「プレゼンス」を設定、および判定一致なし時のプレゼンスを設定 判定項目： 端末状態／ 留守番電話設定状態／ 不在着信転送設定状態／ サービスロック設定状態／ （α NX/NX Ⅱ主装置 type-S/M 接続時）転送電話設定状態 状態： 空き／使用中／未定義／非活性／起動中／解除中／閉塞中 プレゼンス： 在席／電話中／離席／外出中／会議中／食事中／休憩中／出張中／非活性／未定義／不在／留守／退社／午前休／午後休／早退／通院／有休／公休／産休	判定順位 1： 判定項目＝端末状態 状態＝非活性 プレゼンス＝非活性 判定順位 2： 判定項目＝端末状態 状態＝閉塞中 プレゼンス＝非活性 判定順位 3： 判定項目＝端末状態 状態＝未定義 プレゼンス＝未定義 判定順位 4： 判定項目＝端末状態 状態＝使用中 プレゼンス＝電話中 判定順位 5： 判定項目＝留守番電話設定状態 状態＝起動中 プレゼンス＝離席 判定順位 6： 判定項目＝不在着信転送設定状態 状態＝起動中 プレゼンス＝離席 判定順位 7： 判定項目＝サービスロック設定状態 状態＝起動中 プレゼンス＝外出中 判定順位 8 ～ 10： （設定なし） 全判定不一致時 プレゼンス＝在席

■ 共通電話帳グループ名設定

設定名	概　要	設定範囲	初期値
共通電話帳グループ名 （グループ毎）	共通電話帳のグループ名称 ※α NX/NX Ⅱ主装置 type-S/M 接続時は、個別電話帳のグループ名としても適用されます。	（α NX/NX Ⅱ主装置 type-L 接続時）最大全角 10 文字（半角混在可） （α NX/NX Ⅱ主装置 type-S/M 接続時）最大全角 8 文字（半角混在可）	0：指定なし 1：ｸﾞﾙｰﾌﾟ 1 　　⋮ 9：ｸﾞﾙｰﾌﾟ 9

■ ユーザ情報

「ユーザ情報の項目詳細」（☛P44）参照

一般ユーザによる設定項目

■ ユーザ情報

「ユーザ情報の項目詳細」（☛P44）参照

■ 電話帳管理

設定名	説明	設定範囲	初期値
個別電話帳グループ名	（α NX/NX Ⅱ主装置 type-L 接続時のみ設定可） 個別電話帳のグループ名称	最大全角 10 文字 （半角混在可）	0：指定なし 1：ｸﾞﾙｰﾌﾟ 1 ⋮ 9：ｸﾞﾙｰﾌﾟ 9
共通電話帳グループ名	（共通電話帳編集「可」に設定されたユーザのみ可） 共通電話帳のグループ名称	（α NX/NX Ⅱ主装置 type-L 接続時）最大全角 10 文字（半角混在可） （α NX/NX Ⅱ主装置 type-S/M 接続時）最大全角 8 文字（半角混在可）	0：指定なし 1：ｸﾞﾙｰﾌﾟ 1 ⋮ 9：ｸﾞﾙｰﾌﾟ 9

■ プレゼンスでセットできる項目

設定名	説明	設定範囲	初期値
手動プレゼンス指定	連携設定されている内線のプレゼンス状態を手動でセットする	（主装置連動） 在席 電話中 離席 外出中 会議中 食事中 休憩中 出張中 非活性 未定義 不在 留守 退社 午前休 午後休 早退 通院 年休 公休 産休 ※ プレゼンス状態名が変更されている場合は、変更された名称から選択	全内線：（主装置連動）
お知らせメモ	他のユーザにお知らせしたい簡易的なスケジュールやメモを入力する	最大全角 10 文字 （半角混在可） ※ 2 件まで可	（登録なし）

設定データー覧

ユーザ情報の項目詳細

項目	備考	必須
ユーザ ID	半角 1 ～ 8 文字（英数）	○
パスワード	半角 8 ～ 16 文字（英数）	○
連携内線番号	最大半角 4 桁（数字 * #） 管理者のみ変更可	
共通電話帳編集	可／不可 管理者のみ変更可	○
受付端末への表示	表示／非表示	○
ID グループ	グループ 1 ～ 20 管理者のみ変更可	○
氏名	主装置の内線名称を適用、または最大全角 10 文字（半角混在可）	○
氏名（カナ）	最大半角 12 文字（英数カタカナ記号 . @ _ ( ) - # * スペース）	
電話番号（最大 3 番号） （※注 1）	属性：内線／外線／ PBX （属性が内線のとき）　番号：最大半角 4 桁（数字 * #） （属性が内線以外のとき）番号：最大半角 32 桁（数字 * #） 電話番号を他のユーザに公開：する／しない 他ユーザへの表示文字：最大全角 20 文字 （全半角混在可）（※注 2）	
メールアドレス （最大 4 アドレス）	最大半角 128 文字 （英数、スペース、記号 ! # $ % & ' * + - / = ? ^ _ ` { | } ~ . ( ) < > [ ] : ; @ , " ¥）	
連絡手段 （プレゼンス状態ごと）	設定なし／発信（連携内線、電話番号 1 ～ 3）／メール送信（メール 1 ～ 4）	

※注 1　連携内線番号を登録した場合、プレゼンス詳細画面などで連携内線番号が電話番号 1 として表示され、電話番号 1、電話番号 2、電話番号 3 は、それぞれ電話番号 2、電話番号 3、電話番号 4 として表示されます。

※注 2　電話番号を他のユーザに公開しない設定の場合、電話番号の代わりに表示する文字として必ず設定する必要があります。

電話帳データの項目詳細

項目	備考	必須
電話帳グループ	（α NX/NXⅡ主装置 type-L 接続時） 共通電話帳の場合は共通電話帳グループ名から選択 個別電話帳の場合は各個別電話帳グループ名から選択 （α NX/NXⅡ主装置 type-S/M 接続時） 共通電話帳グループ名として設定されたグループ名から選択	
氏名	最大全角 10 文字（半角混在可）	
氏名（カナ）	最大半角 12 文字（英数カタカナ記号 . @ _ ( ) - # * スペース）	
企業名（※注 1）	最大全角 10 文字（半角混在可）	
部署名（※注 1）	最大全角 10 文字（半角混在可）	
画像（※注 1）	標準サイズは、横 72 ×縦 96（ピクセル） サイズ 500KB 以下の JPEG/PNG 形式画像ファイル	
電話番号（最大 4 番号）	（α NX/NXⅡ主装置 type-L 接続時）　属性 ：内線／外線／ PBX （α NX/NXⅡ主装置 type-S/M 接続時）属性 ：外線／ PBX （属性が内線のとき）　番号 ：最大半角 32 桁（数字 * #） （属性が内線以外のとき）　番号 ：最大半角 32 桁(数字 * # -)	○ （※注2）
メールアドレス(最大 4 アドレス)（※注 1）	最大半角 128 文字（英数、スペース、記号 ! # $ % & ' * + - / = ? ^ _ ` { | } ~ . ( ) < > [ ] : ; @ , " ¥）	
URL（※注 1）	最大半角 256 文字（半角英数、半角スペース、半角記号 ! # $ % & ' * + - / = ? ^ _ ` { | } ~ . ( ) < > [ ] : ; @ , "¥） “http://”または“https://”で始まる文字列のみ登録可	
備考（※注 1）	最大全角 128 文字（半角混在可）、改行は半角 1 文字として数える	

※注 1　WEB アドレス帳ボックスのみで使用します。（α NX/NXⅡ主装置の電話帳には存在しない項目です）
※注 2　電話番号 1 は必ず登録する必要があります。

お知らせ

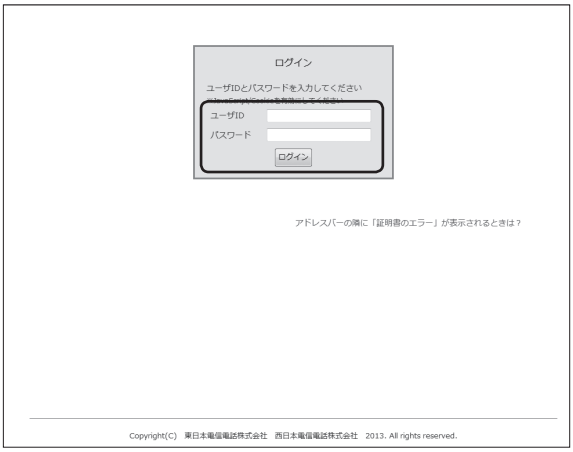
- α NX/NX Ⅱ主装置で電話機などに表示されるメモリ番号と電話番号アイコンは、WEB アドレス帳ボックスでは表示されません。
- α NX/NX Ⅱ主装置からダウンロードした電話帳データに WEB アドレス帳ボックスの WEB 画面から新規登録して α NX/NX Ⅱ主装置へアップロードした場合、以下のようになります。
  - メモリ番号：空いているメモリ番号の中で最も小さい番号
  - 電話番号アイコン：一般電話アイコン

PCからログインする

ユーザ ID とパスワードを入力し、WEB アドレス帳ボックスにログインすることができます。

1 Web ブラウザを起動し、https://（本商品の IP アドレス）/telbook/ にアクセスする。

2 ユーザ ID とパスワードを入力し、[ログイン]をクリックする。



ワンポイント

- 各ユーザ ID は管理者が登録することができます。（「ユーザを新規登録する」（☛P112）参照）
- WEB アドレス帳ボックスの URL を PC のお気に入りやブックマークに入れるときは、ログイン画面が表示されている状態で登録してください。
- スマートフォンからログインすると、録音データが再生できないなど一部の機能が動作しない場合があります。スマートフォンではモバイル用ログイン画面からログインしてください。

スマートフォンからログインする

モバイル用のログイン画面からWEBアドレス帳ボックスにログインすることにより、スマートフォン向けに最適化された画面で WEB アドレス帳ボックスを表示することができます。また、WEB アドレス帳ボックスに表示された相手へスマートフォンの契約電話回線を使って電話をかけることもできます。

【モバイル用画面】

1 Web ブラウザを起動し、https://（本商品の IP アドレス）/telbook/m.html にアクセスする。

2 ユーザ ID とパスワードを入力し、［ログイン］をタップする。

ワンポイント

- PC からログインするときと同じユーザ ID でログインすることができます。
- ビジネスフォンαクライアントからアクセスするときは、ユーザ ID、パスワードの入力なしでログインすることができます。詳細については、ビジネスフォンαクライアントの取扱説明書を参照してください。

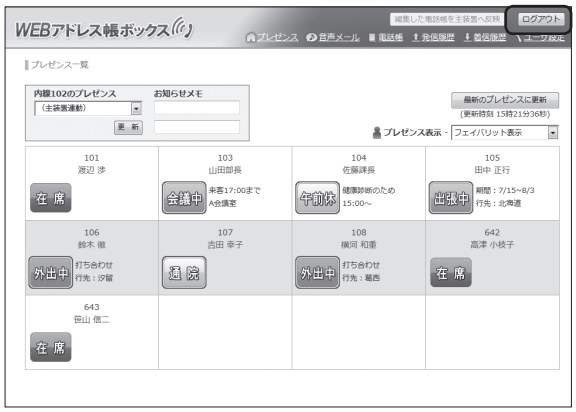
お知らせ

- モバイル用ログイン画面から管理者 ID でログインすることはできません。
- モバイル用ログイン画面からログインした場合、ユーザ情報編集や電話帳登録など一部の機能がお使いいただけません。
- セキュリティ警告が表示されたときは、「続行」をタップしてください。
- WEB アドレス帳ボックスの URL をお気に入りやブックマークに入れるときは、ログイン画面が表示されている状態で登録してください。
- PC からモバイル用ログイン画面にログインした場合、表示が乱れたり、一部の機能が動作しなくなります。PC ではモバイル用ログイン画面からログインしないでください。
- ビジネスフォンαクライアントやメディア IP 電話機を使うときは、本手順でログインしないでください。
  すでにログインしている場合は、ログアウトしてウィンドウを閉じてから使用してください。

ログアウトする

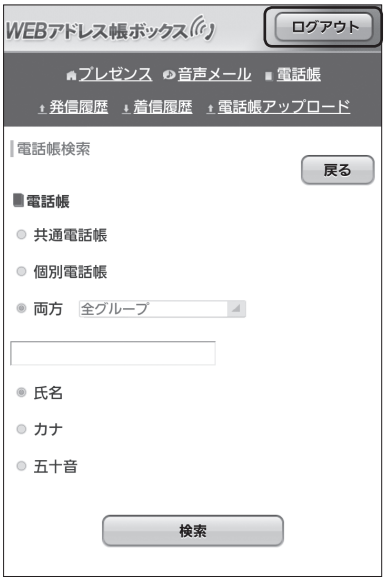
WEB アドレス帳ボックスからログアウトします。

1 画面右上に表示される［ログアウト］をクリックする。



【モバイル用画面／メディア IP 電話機】

1 画面右上に表示される［ログアウト］をタップする。



ワンポイント

●自動ログアウトの時間が設定されている場合は、［ログアウト］をクリックまたはタップしなくてもログイン状態のまま、一定時間操作がなかったときに自動でログアウト状態となります。（「無操作状態が継続したときの自動ログアウト時間を設定する」（☛P117））参照）

お知らせ

●メディア IP 電話機でログアウト操作をしたときは、ブラウザ画面を閉じてください。

Webブラウザのセキュリティ警告や証明書エラーを表示させないようにする

WEB アドレス帳ボックスにアクセスしたとき、Internet Explorer のセキュリティ警告画面が表示されたり、アドレスバーの隣に証明書のエラーが表示される場合があります。
PC に証明書をダウンロードし、Internet Explorer のセキュリティ設定を変更することにより、これらを表示させないようにすることができます。

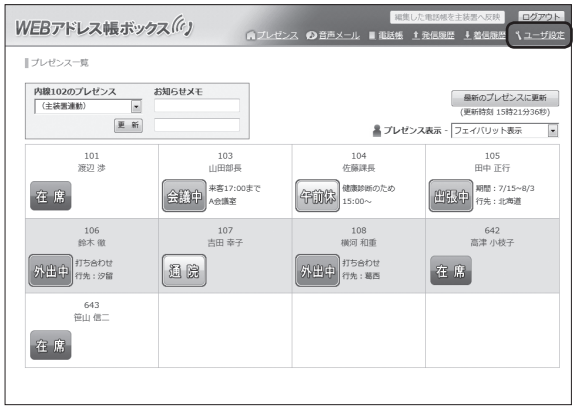
お知らせ

- セキュリティ警告や証明書エラーが表示される状態でも、問題なく WEB アドレス帳ボックスをお使いいただくことができます。
- セキュリティ設定を変更することにより、なりすましなど悪意のある外部サイトに対する Internet Explorer のセキュリティが低下する恐れがあります。本操作を行うときは、PC の利用者（複数ユーザの利用有無）や用途、ネットワーク構成などを考慮し、慎重に判断してください。
- 本取扱説明書は、Internet Explorer 9 での設定方法を記載しています。

WEBアドレス帳ボックスの証明書をPCにダウンロードする

WEB アドレス帳ボックスにログインしたあと、以下の手順で証明書を PC にダウンロードすることができます。

1 画面上部のメニューから「ユーザ設定」をクリックする。



2 [証明書ダウンロード] をクリックする。

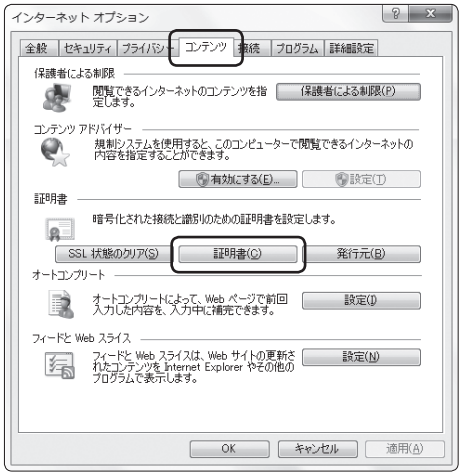
3 Windows で表示される手順に従って、証明書ファイル（Rootca.cer）をダウンロードする。

WEBアドレス帳ボックスの証明書をInternet Explorerにインポートする

PC にダウンロードした証明書を以下の手順で Internet Explorer にインポートすることができます。

1 Internet Explorer のインターネットオプションを開く。

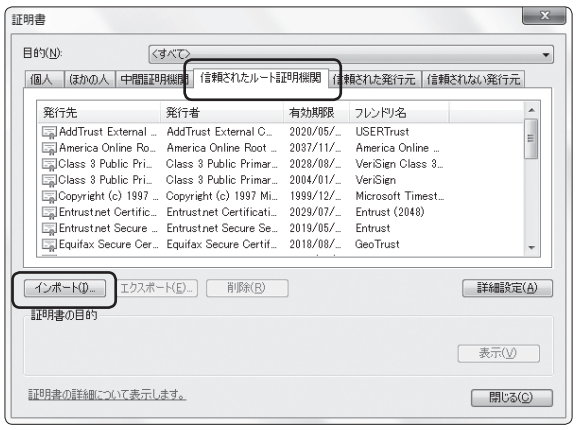
2 「コンテンツ」タブを選択し、[証明書] をクリックする。



（次ページに続く）

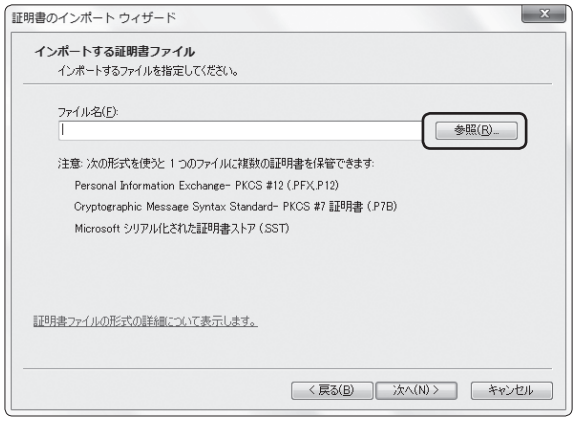
Webブラウザのセキュリティ警告や証明書エラーを表示させないようにする

3 「信頼されたルート証明機関」タブを選択し、［インポート］をクリックする。



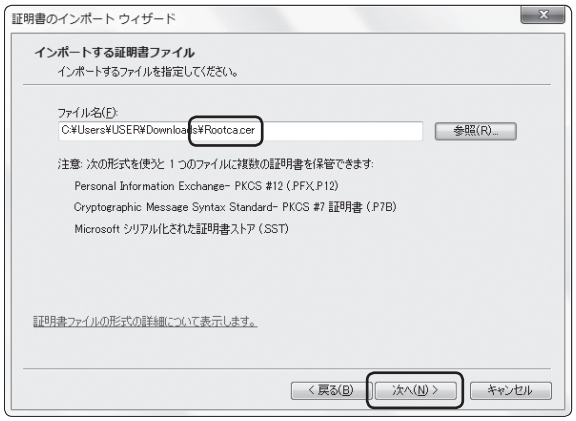
4 証明書のインポートウィザードが開始されたら、［次へ］をクリックする。

5 ［参照］をクリックする。

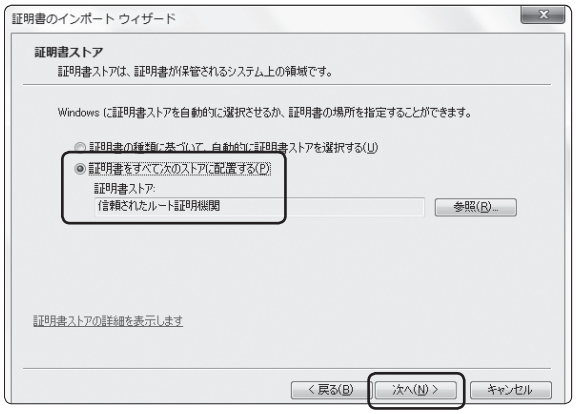


6 WEB アドレス帳ボックスからダウンロードした証明書ファイル（Rootca.cer）を指定し、［開く］をクリックする。

7 ファイル名が“Rootca.cer”と表示されていることを確認し、［次へ］をクリックする。



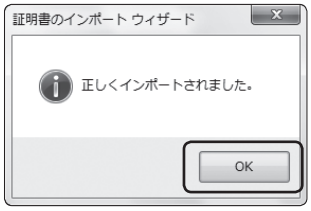
8 「証明書をすべて次のストアに配置する」が選択され、「証明書ストア」に「信頼されたルート証明機関」と表示されていることを確認し、［次へ］をクリックする。



9 ウィザードの完了画面が表示されたら、[完了] をクリックする。

10 セキュリティ警告が表示されたら、[はい] をクリックする。

以下のダイアログが表示されたら［OK］をクリックし、インポート完了です。



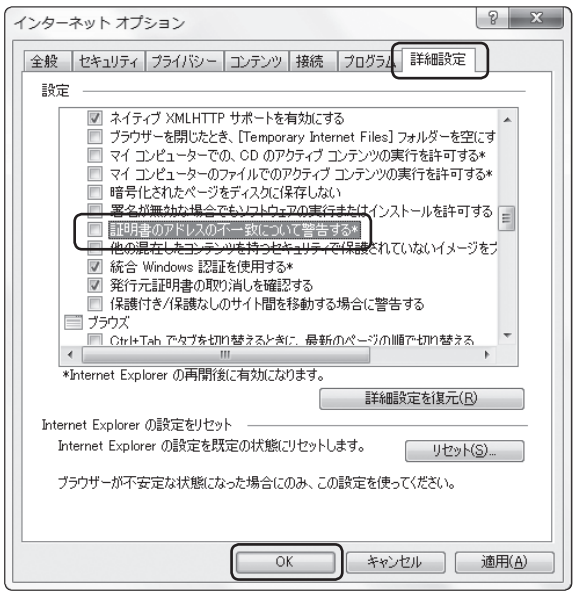
Internet Explorerの証明書警告の設定を変更する

お知らせ

●セキュリティ設定を変更することにより、なりすましなど悪意のある外部サイトに対する Internet Explorer のセキュリティが低下する恐れがあります。本操作を行うときは、PCの利用者（複数ユーザの利用有無）や用途、ネットワーク構成などを考慮し、慎重に判断してください。

1 Internet Explorer のインターネットオプションを開く。

2 「詳細設定」タブを選択し、「証明書のアドレスの不一致について警告する」のチェックを外したあと、[OK] をクリックする。

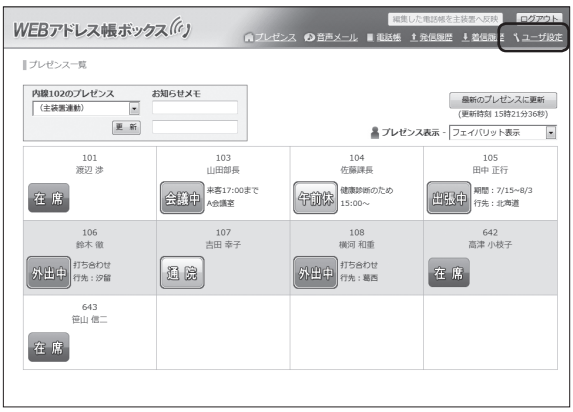


変更した内容は、Internet Explorer の再開後に有効になります。

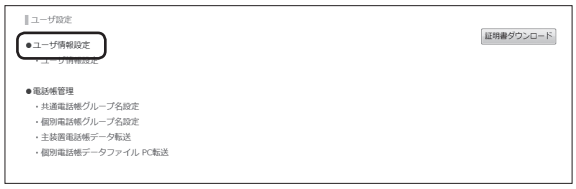
ユーザ情報を変更する

管理者により設定されたユーザ情報を変更することができます。

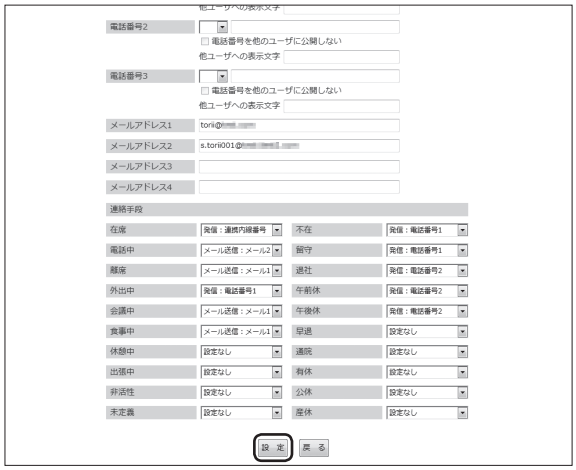
1 画面上部のメニューから「ユーザ設定」をクリックする。



2「ユーザ情報設定」をクリックする。



3 内容を変更し、［設定］をクリックする。



ワンポイント

●ユーザ情報についての詳細は、「ユーザ情報の項目詳細」（☛P44）を参照してください。

4 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

ワンポイント

●パスワードは、現在設定されている文字数に関係なく“●●●●●●●●”と表示されます。

●パスワードを変更する場合は、「パスワード（確認用）」に同じものを入力する必要があります。

●電話番号を登録するときは、電話番号１から順に入力してください。電話番号１を空欄のまま電話番号２に入力した場合、［設定］をクリックしたときに電話番号１として登録されます。メールアドレスについても同様にメールアドレス１を空欄のままメールアドレス２に入力すると、［設定］をクリックしたときにメールアドレス１として登録されます。（若番に詰めて登録されます）

●電話番号を「他のユーザに公開しない」として登録した場合、管理者以外の他ユーザに非表示となります。このとき、「他ユーザへの表示文字」で指定した文字が代わりに表示されます。

●連絡手段を設定するときは、［設定］をクリックしたあと、再度ユーザ情報表示を行い、電話番号やメールアドレスの登録内容を再確認してください。

お知らせ

●氏名を「主装置の内線名称を適用する」に設定しているとき、α NX/NX Ⅱから取得した氏名に変更があった場合、設定していた氏名（カナ）は消去されます。

●［設定］をクリックせずに他の画面に移動、または Web ブラウザを終了した場合、最後に変更されたときの内容に戻ります。

●連携内線番号と ID グループは変更できません。変更するには管理者による設定が必要です。

●電話番号を「他のユーザに公開しない」として登録しても、発信履歴や、α NX/NX Ⅱ主装置の電話機などへ電話番号が表示される場合があります。

他ユーザのプレゼンスを確認する

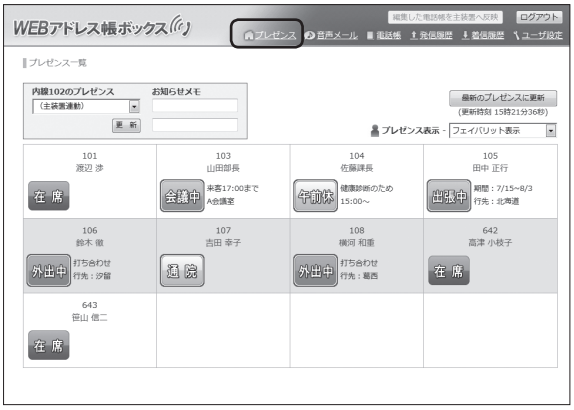
WEB アドレス帳ボックスでは、他のユーザの状態をプレゼンスとして表示することができます。
主装置に接続している内線電話機の状態や転送設定などをもとに、「電話中」などのプレゼンスアイコンとして表示します。

プレゼンス一覧表示

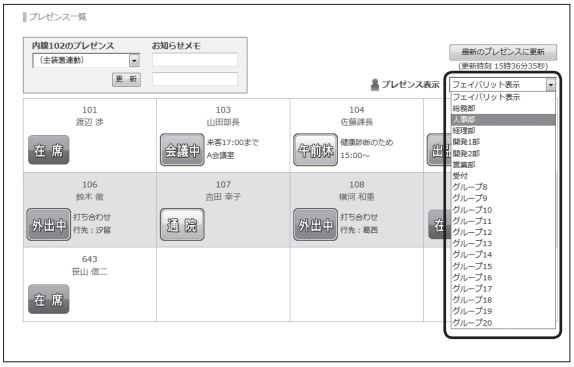
他のユーザ（内線電話機）のプレゼンスを一覧表示することができます。

1 画面上部のメニューから「プレゼンス」をクリックする。

ログインした直後は、クリックしなくても初期表示されます。



2 「プレゼンス表示」のプルダウンメニューより、表示したいグループを選択する。



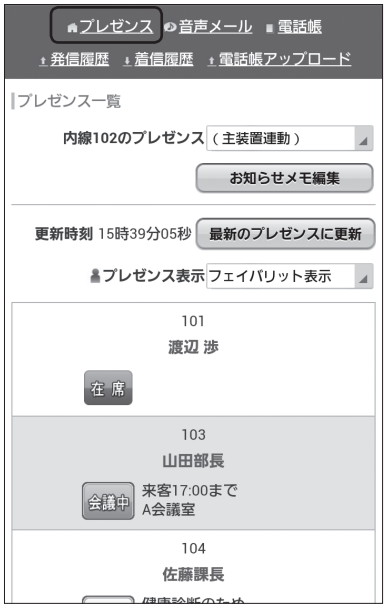
お知らせ

- プレゼンスが表示されるのは、α NX/NX Ⅱ主装置からプレゼンス情報を受信できる内線番号と連携設定されているユーザのみです。
- α NX/NX Ⅱ主装置から周期的に取得したプレゼンスを表示するため、すぐに反映されません。たとえば、α NX/NX Ⅱ主装置の内線が通話中になった場合、プレゼンスアイコンが「電話中」に切り替わるまでに時間がかかります。（時間はα NX/NX Ⅱ主装置のタイプ、内線の数や工事設定などによって変わります）
- 表示したプレゼンスを更新するには［最新のプレゼンスに更新］ボタンをクリックする必要があります。
- プレゼンス表示している状態で相手ユーザが電話番号などを変更した場合は、プレゼンス一覧を再表示したときに反映されます。

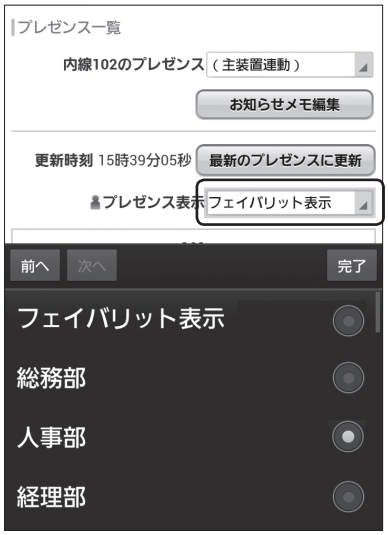
他ユーザのプレゼンスを確認する

【モバイル用画面／メディアIP電話機】

1 **画面上部のメニューから「プレゼンス」をタップする。**
ログインした直後は、タップしなくても初期表示されます。



2 **「プレゼンス表示」のプルダウンメニューより、表示したいグループを選択する。**

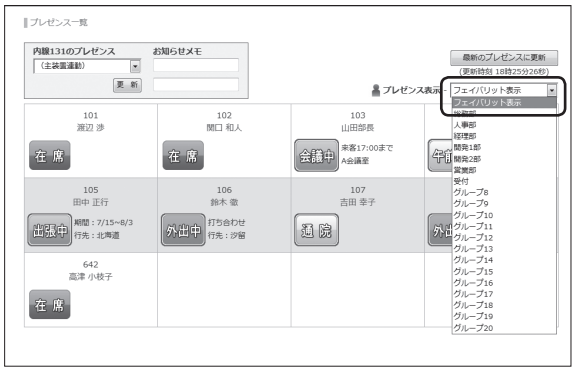


お知らせ

- プレゼンスが表示されるのは、α NX/NX Ⅱ主装置からプレゼンス情報を受信できる内線番号と連携設定されているユーザのみです。
- α NX/NX Ⅱ主装置から周期的に取得したプレゼンスを表示するため、すぐに反映されません。たとえば、α NX/NX Ⅱ主装置の内線が通話中になった場合、プレゼンスアイコンが「電話中」に切り替わるまでに時間がかかります。（時間はα NX/NX Ⅱ主装置のタイプ、内線の数や工事設定などによって変わります）
- 表示したプレゼンスを更新するには［最新のプレゼンスに更新］ボタンをタップする必要があります。
- プレゼンス表示している状態で相手ユーザが電話番号などを変更した場合は、プレゼンス一覧を再表示したときに反映されます。

指定した相手のみ表示する（フェイバリット表示）

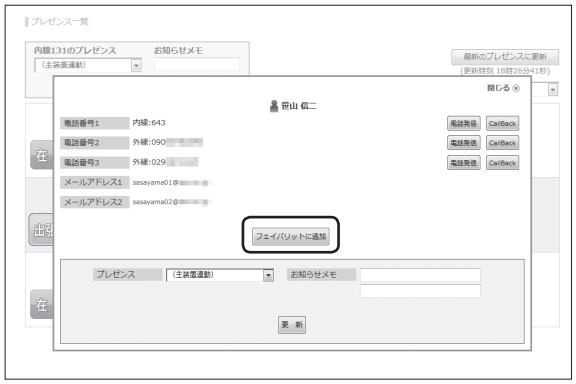
プレゼンス一覧表示で「フェイバリット表示」を選択すると、指定したユーザ（内線電話機）のみのプレゼンスを表示することができます。



■ フェイバリットに登録する

1 プレゼンス一覧表示を行い、フェイバリットに登録したい相手の氏名をクリックする。

2 ［フェイバリットに追加］をクリックする。



■ フェイバリットから削除する

1 プレゼンス一覧表示で「フェイバリット表示」を選択し、削除したい相手の氏名をクリックする。

2 ［フェイバリットから削除］をクリックする。

相手を選択して連絡する

プレゼンス一覧から相手を選択し、電話発信や電子メールアプリケーションを起動して相手にメールを送信することができます。

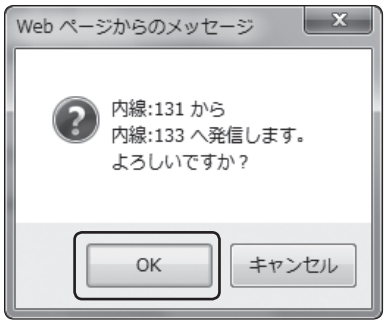
電話発信する

■ 連携内線電話機から発信する

1 プレゼンス一覧表示を行い、電話をかけたい相手の氏名をクリックする。

2 [電話発信] をクリックする。

3 ダイアログに表示された内容を確認し、[OK] をクリックする。

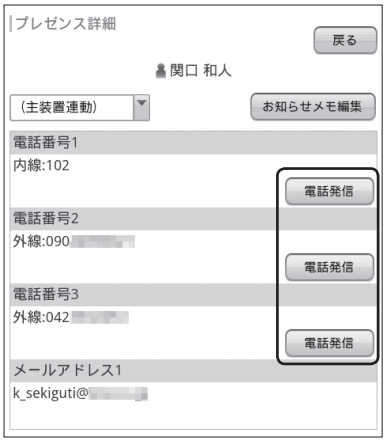


4 連携内線に設定された内線電話機のハンドセットをとり、相手の方が応答したらお話しする。

■ メディアIP電話機から発信する【メディア IP 電話機】

1 プレゼンス一覧表示を行い、電話をかけたい相手の氏名をタップする。

2 [電話発信] をタップする。



3 ダイアログに表示された内容を確認し、[OK] をタップする。

4 ハンドセットをとり、相手の方が応答したらお話しする。

ワンポイント

●電話番号を「他のユーザに公開しない」として登録されている場合、電話番号の代わりに文字が表示されますが、選択して電話をかけることができます。

お知らせ

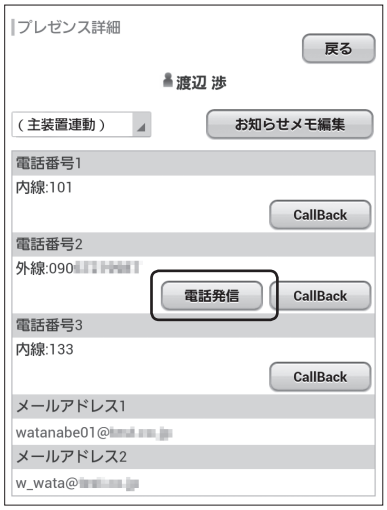
●本機能を行うには、メディア IP 電話機の操作によりログインしている必要があります。

■ 携帯電話回線を使って発信する

【モバイル用画面】

1 プレゼンス一覧表示を行い、電話をかけたい相手の氏名をタップする。

2 ［電話発信］をタップする。



3 スマートフォンの操作手順に従って発信する。

お知らせ

- 本機能を行うには、モバイル用画面にログインしている必要があります。
- ビジネスフォンαクライアントからアクセスしたときは、携帯電話回線ではなく、ビジネスフォンαクライアントを使った発信となります（内線または PBX への発信も可能です）。詳細については、ビジネスフォンαクライアントの取扱説明書を参照してください。
- ビジネスフォンαクライアントからアクセスしたとき以外は、内線または PBX として登録された電話番号に発信することはできません。
- スマートフォンの操作については、スマートフォンの取扱説明書を参照してください。

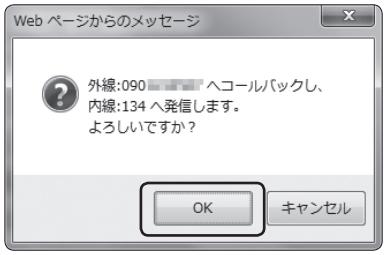
相手を選択して連絡する

ワンタッチコールバック発信する

1 プレゼンス一覧表示を行い、電話をかけたい相手の氏名をクリックする。

2 [CallBack] をクリックする。

3 ダイアログに表示された内容を確認し、[OK] をクリックする。



4 主装置からの着信に応答する。

5 相手の方が応答したら、お話しする。

ワンポイント

●詳細については、「ワンタッチコールバック発信する」（☛P101）を参照してください。

お知らせ

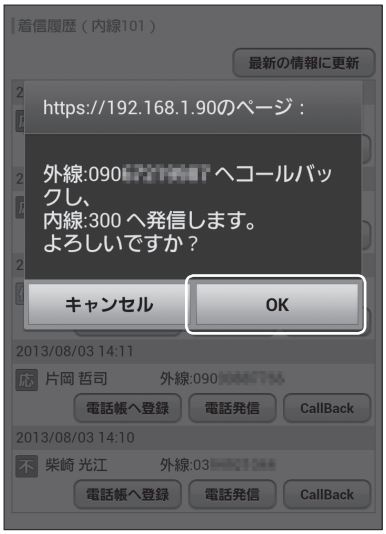
●ワンタッチコールバック機能をお使いになるには、特別な工事や設定が必要です。

【モバイル用画面】

1 プレゼンス一覧表示を行い、電話をかけたい相手の氏名をタップする。

2 [CallBack] をタップする。

3 ダイアログに表示された内容を確認し、[OK] をタップする。



4 主装置からの着信に応答する。

5 相手の方が応答したら、お話しする。

電子メールを送信する

1 プレゼンス一覧表示を行い、電子メールを送信したい相手の氏名をクリックする。

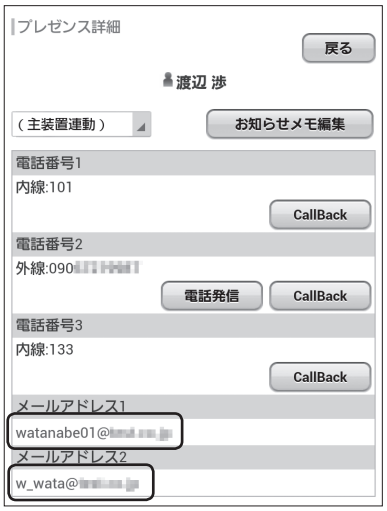
2 メールアドレスをクリックする。

3 起動した電子メールアプリケーションを確認し、件名や本文を入力してメールを送信する。

【モバイル用画面】

1 プレゼンス一覧表示を行い、電子メールを送信したい相手の氏名をタップする。

2 メールアドレスをタップする。



3 起動した電子メールアプリケーションを確認し、件名や本文を入力してメールを送信する。

ワンポイント

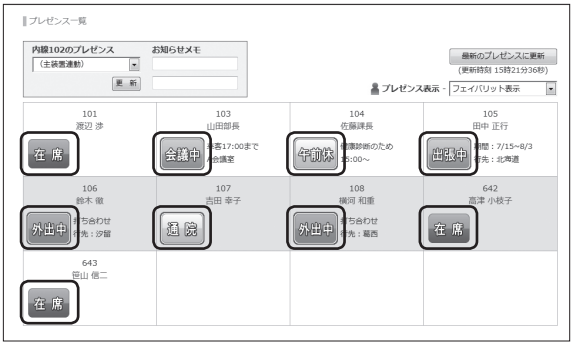
●詳細については、「電子メールを送信する（メーラ起動）」（☛P104）を参照してください。

相手を選択して連絡する

相手側で指定された手段を使って連絡する

相手側でプレゼンスごとの連絡手段が指定されている場合、プレゼンスアイコンをクリックすることにより、電話発信または電子メールアプリケーションが起動します。

1 プレゼンス一覧表示を行い、連絡をしたい相手のプレゼンスアイコンをクリックする。



ワンポイント

●連絡手段が設定されていない場合は、ダイアログにてその旨表示されます。

2 （電話の場合）

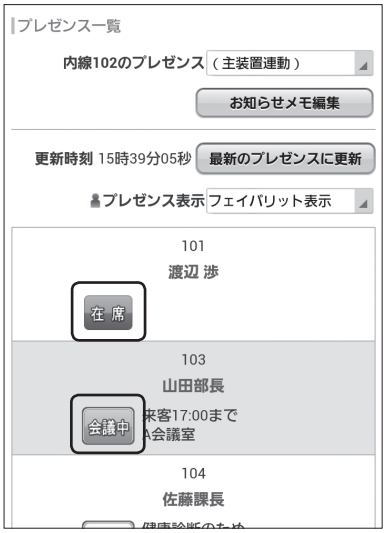
ダイアログに表示された内容を確認し、[OK] をクリックする。続けて、クリックツーコールまたはワンタッチコールバックの電話機操作を行って相手の方とお話しする。

（メールの場合）

起動した電子メールアプリケーションを確認し、件名や本文を入力してメールを送信する。

【モバイル用画面】

1 プレゼンス一覧表示を行い、連絡をしたい相手のプレゼンスアイコンをタップする。



ワンポイント

●連絡手段が設定されていない場合は、ダイアログにてその旨表示されます。

2 （電話の場合）

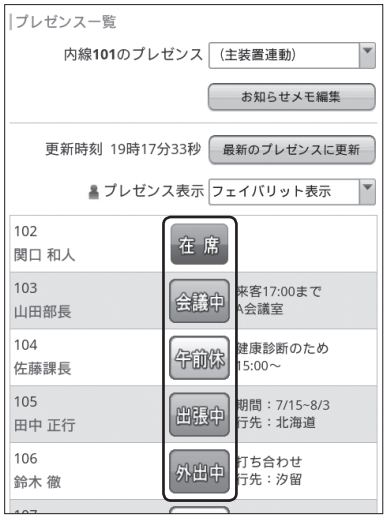
ダイアログに表示された内容を確認し、[OK] をタップする。

（メールの場合）

起動した電子メールアプリケーションを確認し、件名や本文を入力してメールを送信する。

【メディア IP 電話機】

1 プレゼンス一覧表示を行い、連絡をしたい相手のプレゼンスアイコンをタップする。



ワンポイント

●連絡手段が設定されていない場合は、ダイアログにてその旨表示されます。

2 ダイアログに表示された内容を確認し、[OK] をタップする。

お知らせ

●メディア IP 電話機ではメールアドレスをタップして電子メールアプリケーションを起動させることはできません。電話発信のみタップにより行うことができます。

プレゼンス状態を手動で変更する

プレゼンスを手動でセットすることができます。これにより、内線電話機の状態にかかわらず、「食事中」や「会議中」などを WEB アドレス帳ボックスにログインしている他のユーザにお知らせすることができます。

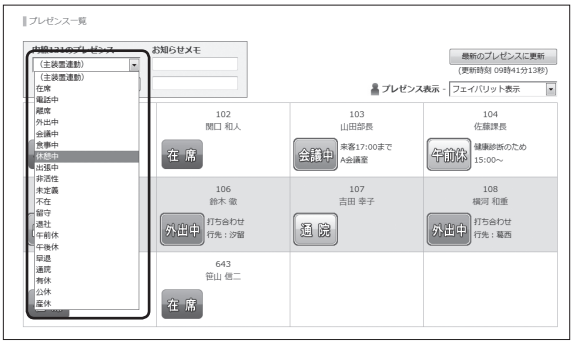
ログインしたユーザ本人のプレゼンスを手動でセット／解除する

1 画面上部のメニューから「プレゼンス」をクリックする。

ログインした直後のときは、クリックしなくても初期表示されます。

2 「内線 XXXX のプレゼンス」のプルダウンメニューより、プレゼンスを選択する。

手動セットを解除するときは、“(主装置連動)”を選択します。



3 [更新] をクリックする。

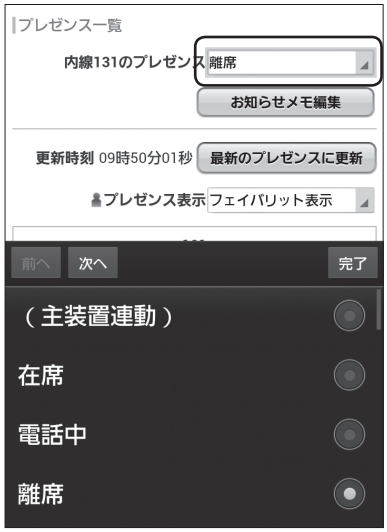
【モバイル用画面／メディア IP 電話機】

1 画面上部のメニューから「プレゼンス」をタップする。

ログインした直後のときは、タップしなくても初期表示されます。

2 「内線 XXXX のプレゼンス」のプルダウンメニューより、プレゼンスを選択する。

手動セットを解除するときは、“(主装置連動)”を選択します。



ワンポイント

- 手動でセットしたプレゼンスを解除すると、プレゼンスは内線電話機の状態により「電話中」などに切り替わるようになります。

お知らせ

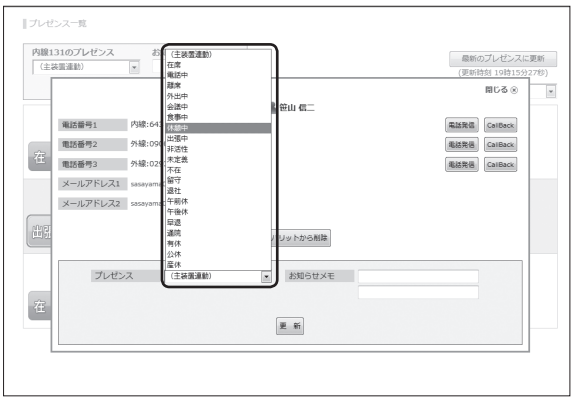
- 手動でプレゼンスをセットした場合、赤い枠で囲まれたプレゼンスアイコンが表示されます。
- プレゼンスを手動セットした場合、連携設定されている内線電話機の状態や転送設定などの登録状態が変わっても、手動セットされたプレゼンスが継続します。
- WEB アドレス帳ボックスをログアウトしても、手動でセットしたプレゼンスは継続されます。

他のユーザのプレゼンスを手動でセット／解除する

1 プレゼンス一覧表示を行い、プレゼンスを手動セットしたい相手の氏名をクリックする。

2 「プレゼンス」のプルダウンメニューより、プレゼンスを選択する。

手動セットを解除するときは、“（主装置連動）”を選択します。



3 [更新] をクリックする。

【モバイル用画面／メディアIP電話機】

1 プレゼンス一覧表示を行い、プレゼンスを手動セットしたい相手の氏名をタップする。

2 「プレゼンス」のプルダウンメニューより、プレゼンスを選択する。

手動セットを解除するときは、“（主装置連動）”を選択します。

ワンポイント

●手動でセットしたプレゼンスを解除すると、プレゼンスは内線電話機の状態により「電話中」などに切り替わるようになります。

お知らせ

●手動でプレゼンスをセットした場合、赤い枠で囲まれたプレゼンスアイコンが表示されます。

●プレゼンスを手動セットした場合、連携設定されている内線電話機の状態や転送設定などの登録状態が変わっても、手動セットされたプレゼンスが継続します。

●WEB アドレス帳ボックスをログアウトしても、手動でセットしたプレゼンスは継続されます。

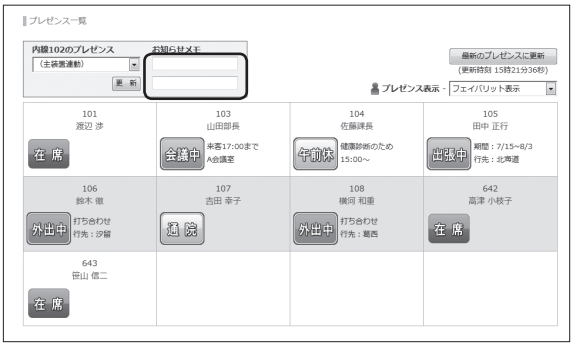
スケジュールや行き先などを記入して他のユーザに公開する（お知らせメモ）

プレゼンスの補足情報として、簡易的なスケジュールや行き先などを文字で記入して、他のユーザにお知らせすることができます。

ログインしたユーザ本人のお知らせメモを記入／変更する

1 **画面上部のメニューから「プレゼンス」をクリックする。**
ログインした直後のときは、クリックしなくても初期表示されます。

2 **お知らせメモのテキストボックスに文字を入力する。**
最大全角 10 文字（半角混在可）で 2 件まで入力することができます。



3 **［更新］をクリックする。**

ワンポイント

●お知らせメモを消去するときは、文字を消して（空欄にして）更新してください。

お知らせ

●α NX/NX Ⅱ主装置と連携できる内線番号が設定されていないユーザのお知らせメモは記入することができません。

●プレゼンスが変わっても、お知らせメモの内容は変わらずに継続します。

【モバイル用画面／メディア IP 電話機】

1 **画面上部のメニューから「プレゼンス」をタップする。**
ログインした直後のときは、タップしなくても初期表示されます。

2 **［お知らせメモ編集］をタップする。**

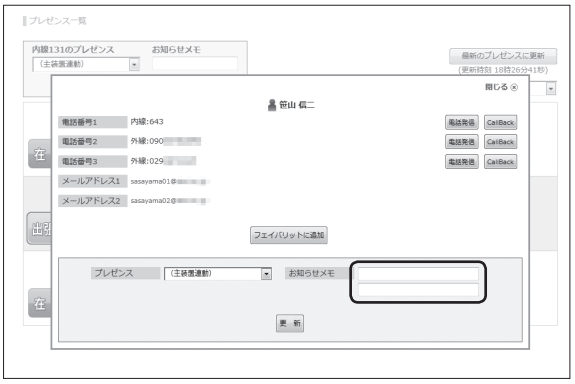
3 **お知らせメモのテキストボックスに文字を入力する。**
最大全角 10 文字（半角混在可）で 2 件まで入力することができます。

4 **［更新］をタップする。**

他のユーザのお知らせメモを記入／変更する

1 プレゼンス一覧表示を行い、お知らせメモを記入／変更したい相手の氏名をクリックする。

2 お知らせメモのテキストボックスに文字を入力する。
最大全角 10 文字（半角混在可）で 2 件まで入力することができます。

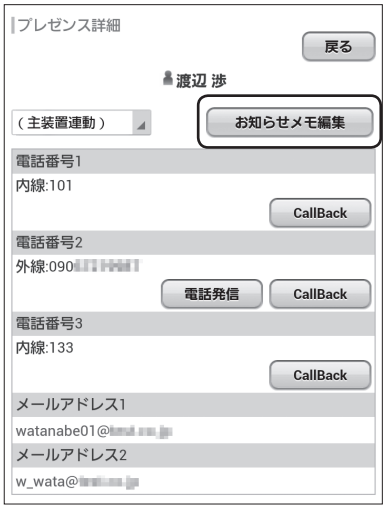


3 ［更新］をクリックする。

【モバイル用画面／メディア IP 電話機】

1 プレゼンス一覧表示を行い、お知らせメモを記入／変更したい相手の氏名をタップする。

2 ［お知らせメモ編集］をタップする。



3 お知らせメモのテキストボックスに文字を入力する。
最大全角 10 文字（半角混在可）で 2 件まで入力することができます。

4 ［更新］をタップする。

ワンポイント

●お知らせメモを消去するときは、文字を消して（空欄にして）更新してください。

お知らせ

●α NX/NX Ⅱ主装置と連携できる内線番号が設定されていないユーザのお知らせメモは記入することができません。

●プレゼンスが変わっても、お知らせメモの内容は変わらずに継続します。

プレゼンス状態ごとの連絡手段を指定する

自分のプレゼンス状態ごとに他ユーザが自分に連絡をとるための手段（電話／メール）を選択することができます。これにより、以下のようなことができます。

- （不在転送設定などにより）プレゼンスが離席中となったときは、携帯電話の方へ連絡してもらう
- プレゼンス手動設定でプレゼンスを食事中としたときは、メールで連絡してもらう

1 画面上部のメニューから「ユーザ設定」をクリックする。

2 「ユーザ情報設定」をクリックする。

3 プレゼンスごとに連絡手段を指定し、[設定] をクリックする。

4 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

ワンポイント

- [設定] をクリックせずに他の画面に移動、または Web ブラウザを終了した場合、最後に変更されたときの内容に戻ります。

お知らせ

- 電話番号やメールアドレスが何も入力されていない場合、指定した連絡手段は無効となります。
- 受付端末 ID には連絡手段を設定することはできません。

共通・個別電話帳を利用する

共通電話帳は全ユーザが利用することができます。
また、一般ユーザは、連携設定された内線の個別電話帳を利用することができます。
連携設定は管理者のみ行うことができます。
（「ユーザ情報やログイン状態を管理する」（☛P112）参照）

登録されている内容をすべて表示する

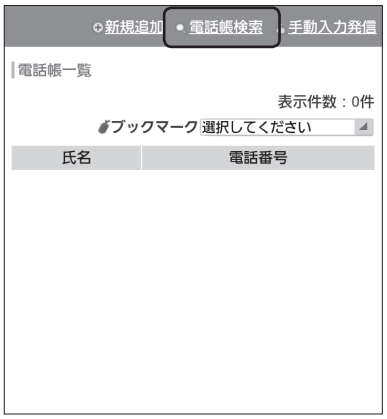
1 画面上部のメニューから「電話帳」をクリックする。

2 ［検索］をクリックする。

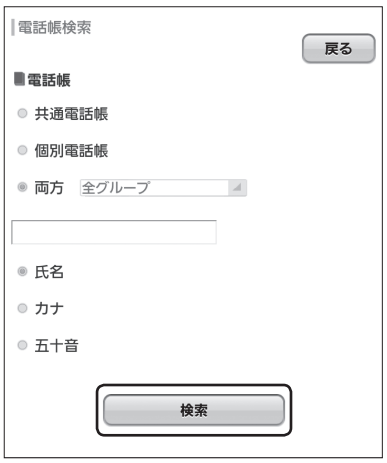
【モバイル用画面／メディアIP電話機】

1 画面上部のメニューから「電話帳」をタップする。

2 「電話帳検索」をタップする。



3 ［検索］をタップする。



ワンポイント

- 氏名が登録されていない電話帳データは、“（氏名未登録）”と表示されます。
- α NX/NX Ⅱ主装置 type-L と接続していてプレゼンス取得内線と電話帳登録した内線番号が一致した場合のみプレゼンスアイコンが表示されます。
- 電話帳一覧画面では、電話番号は 12 桁、メールアドレスは 21 文字まで表示します。それよりも長い内容が登録されている場合、氏名をクリックして詳細表示することにより確認することができます。

共通・個別電話帳を利用する

新規追加する

1 画面上部のメニューから「電話帳」をクリックする。

2 ［新規追加］をクリックする。

3 内容を入力し、［追加］をクリックする。

4 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

ワンポイント

- 登録できる内容や件数は、接続するα NX/NX Ⅱ主装置タイプや設定によって異なります。
- 管理者より許可されていないユーザは、共通電話帳を選択できません。（「ユーザごとに共通電話帳の編集許可／不許可を設定する」（☛P123）参照）
- 画像として登録できるのは、ファイルサイズ 500KB 以下の JPEG または PNG 形式の画像ファイルで、横 72×縦 96 ピクセルのサイズを標準としています。

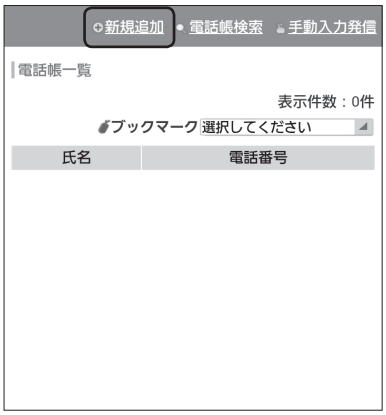
お知らせ

- 追加した内容は WEB アドレス帳ボックスに保存されますが、主装置の電話帳データには反映されません。主装置へ反映させるにはデータ転送を行う必要があります。（「WEB アドレス帳ボックスの電話帳データを主装置に反映させる」（☛P76）参照）
- モバイル用画面／メディア IP 電話機から画像を設定することはできません。
- 連携内線番号が設定されていないユーザは電話帳の新規追加はできません。

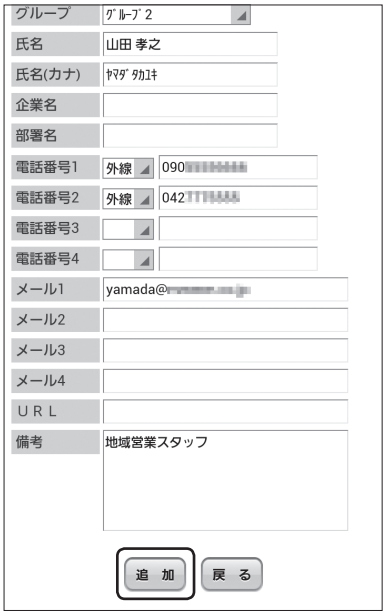
【モバイル用画面／メディア IP 電話機】

1 画面上部のメニューから「電話帳」をタップする。

2 ［新規追加］をタップする。



3 内容を入力し、［追加］をタップする。



4 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をタップする。

登録済みのユーザ情報を電話帳に追加する

1 画面上部のメニューから「電話帳」をクリックする。

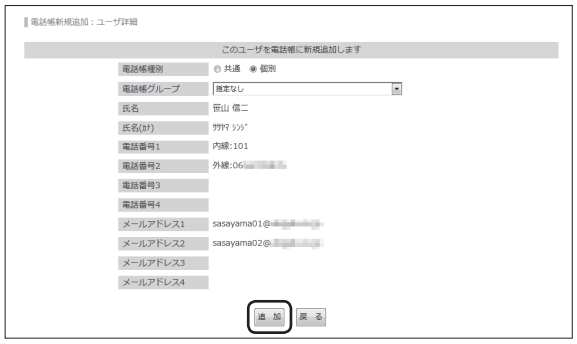
2 ［ユーザを検索して新規追加］をクリックする。

3 ［検索］をクリックする。

絞り込み表示を行う場合は、氏名やメールアドレスを入力してから［検索］をクリックします。

4 登録したいユーザ氏名をクリックする。

5 ［追加］をクリックする。



6 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

お知らせ

●電話番号を「他のユーザに公開しない」として登録されている場合、その電話番号は電話帳に登録されません。

共通・個別電話帳を利用する

登録されている内容を編集する

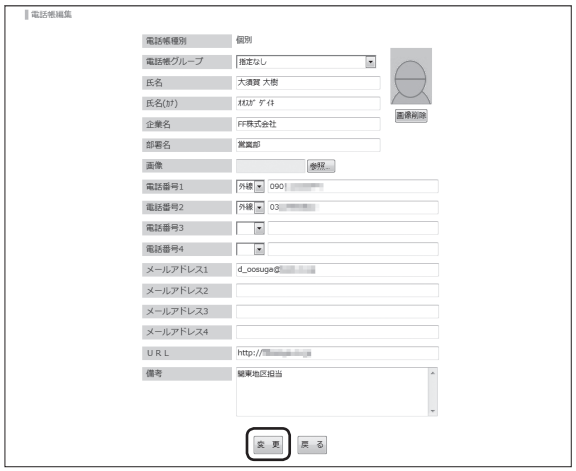
1 画面上部のメニューから「電話帳」をクリックする。

2 [検索] をクリックする。

3 編集したいデータの氏名をクリックする。

4 [編集] をクリックする。

5 内容を変更し、[変更] をクリックする。



6 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

ワンポイント

- 管理者より許可されていないユーザは、共通電話帳を選択できません。（「ユーザごとに共通電話帳の編集許可／不許可を設定する」（☛P123）参照）
- 画像として登録できるのは、ファイルサイズ 500KB 以下の JPEG または PNG 形式の画像ファイルで、横 72 ×縦 96 ピクセルのサイズを標準としています。

お知らせ

- 電話帳種別（共通／個別）は変更できません。
- 編集した内容は WEB アドレス帳ボックスに保存されますが、主装置の電話帳データには反映されません。主装置へ反映させるにはデータ転送を行う必要があります。（「WEB アドレス帳ボックスの電話帳データを主装置に反映させる」（☛P76）参照）

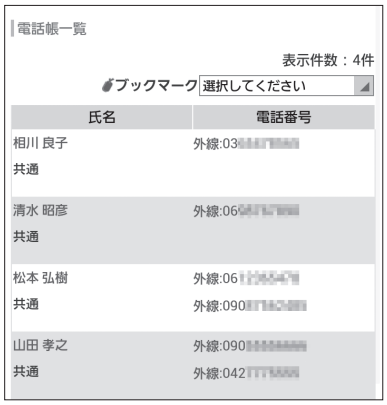
【モバイル用画面／メディアIP電話機】

1 画面上部のメニューから「電話帳」をタップする。

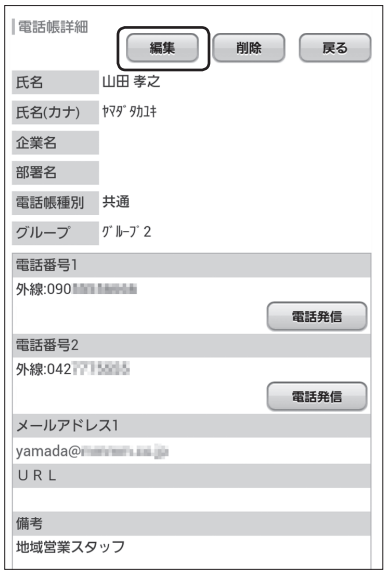
2 ［電話帳検索］をタップする。

3 ［検索］をタップする。

4 編集したいデータの氏名をタップする。



5 ［編集］をタップする。



6 内容を変更し、［変更］をタップする。

7 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をタップする。

ワンポイント

●管理者より共通電話帳の編集を許可されていないユーザは、共通電話帳を選択できません。（「ユーザごとに共通電話帳の編集許可／不許可を設定する」（☛P123）参照）

お知らせ

●モバイル用画面／メディアIP電話機から画像を変更・削除することはできません。

●電話帳種別（共通／個別）は変更できません。

●編集した内容はWEBアドレス帳ボックスに保存されますが、主装置の電話帳データには反映されません。主装置へ反映させるにはデータ転送を行う必要があります。（「WEBアドレス帳ボックスの電話帳データを主装置に反映させる」（☛P76）参照）

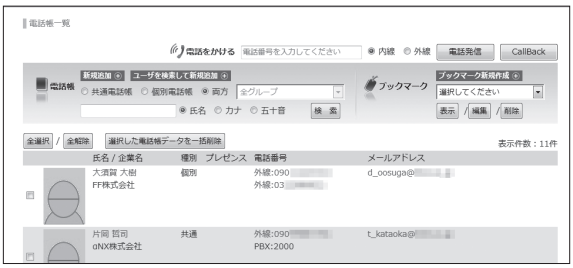
共通・個別電話帳を利用する

登録されている内容を削除する

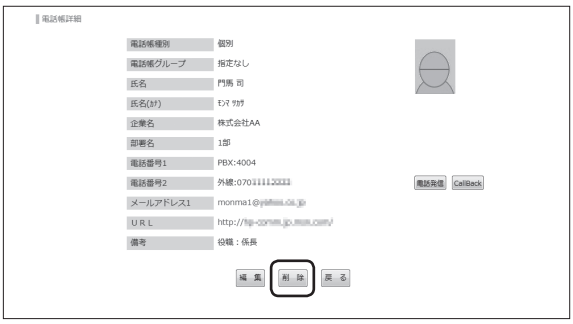
1 画面上部のメニューから「電話帳」をクリックする。

2 [検索] をクリックする。

3 削除したいデータの氏名をクリックする。



4 [削除] をクリックする。



5 削除してもよいか再度内容を確認し、[削除] をクリックする。

6 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

ワンポイント

●管理者により共通電話帳の編集を許可されていないユーザは、共通電話帳を削除することはできません。(「ユーザごとに共通電話帳の編集許可／不許可を設定する」(☛P123) 参照)

お知らせ

●削除した内容は WEB アドレス帳ボックスからは削除されますが、主装置の電話帳データからは削除されません。主装置の電話帳データも削除するには電話帳データ転送を行う必要があります。(「WEB アドレス帳ボックスの電話帳データを主装置に反映させる」(☛P76) 参照)

【モバイル用画面／メディア IP 電話機】

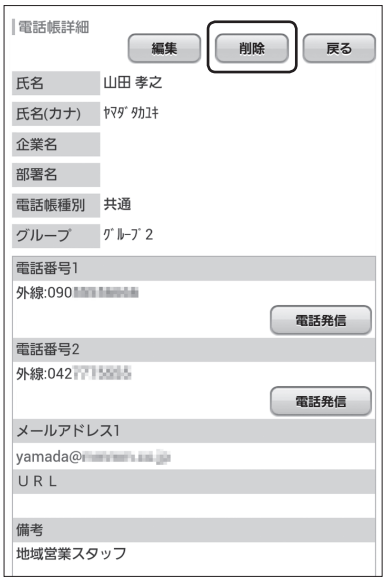
1 画面上部のメニューから「電話帳」をタップする。

2 [電話帳検索] をタップする。

3 [検索] をタップする。

4 削除したいデータの氏名をタップする。

5 [削除] をタップする。



6 削除してもよいか再度内容を確認し、[削除] をタップする。

7 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をタップする。

登録されている内容を複数まとめて削除する

1 画面上部のメニューから「電話帳」をクリックする。

2 「検索」をクリックする。

3 氏名ごとのチェックボックスの中から削除したいデータを選択し、チェックを入れ、［選択した電話帳データを一括削除］をクリックする。

ワンポイント

●管理者により共通電話帳の編集を許可されていないユーザは、共通電話帳を削除することはできません。（「ユーザごとに共通電話帳の編集許可／不許可を設定する」（☛P123）参照）

4 削除してもよいか再度内容を確認し、［OK］をクリックする。

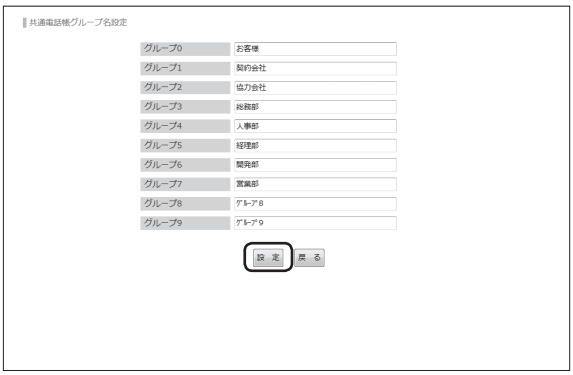
共通・個別電話帳を利用する

共通電話帳グループ名を変更する

1 画面上部のメニューから「ユーザ設定」をクリックする。

2 「共通電話帳グループ名設定」をクリックする。

3 内容を編集し、［設定］をクリックする。



4 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

ワンポイント

- α NX/NX Ⅱ主装置 type-S/M 接続時は、ここで設定した共通電話帳グループ名が個別電話帳のグループ名にも適用されます。
- 管理者により共通電話帳の編集を許可されていないユーザは、共通電話帳グループ名を変更することはできません。（「ユーザごとに共通電話帳の編集許可／不許可を設定する」（☛P123）参照）

お知らせ

- 連携内線番号が設定されていないユーザは共通電話帳グループ名の変更はできません。
- 編集した内容は WEB アドレス帳ボックスには保存されますが、主装置のデータには反映されません。主装置へ反映させるにはデータ転送を行う必要があります。（「WEB アドレス帳ボックスの電話帳データを主装置に反映させる」（☛P76）参照）

個別電話帳グループ名を変更する

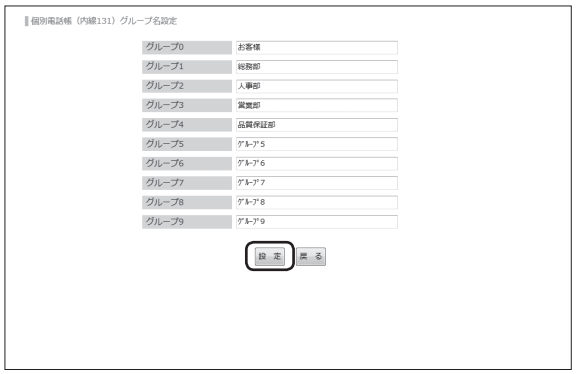
お知らせ

- 本機能は、α NX/NX Ⅱ主装置 type-L 接続時のみお使いいただけます。α NX/NX Ⅱ主装置 type-S/M 接続時は、共通電話帳グループ名が個別電話帳グループ名にも適用されます。

1 画面上部のメニューから「ユーザ設定」をクリックする。

2 「個別電話帳グループ名設定」をクリックする。

3 内容を編集し、［設定］をクリックする。



4 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

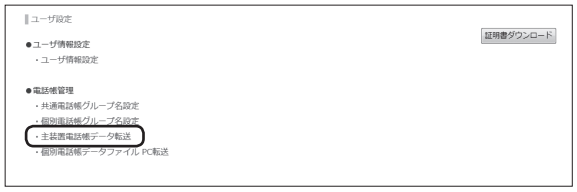
お知らせ

- 編集した内容は WEB アドレス帳ボックスには保存されますが、主装置のデータには反映されません。主装置へ反映させるにはデータ転送を行う必要があります。（「WEB アドレス帳ボックスの電話帳データを主装置に反映させる」（☛P76）参照）

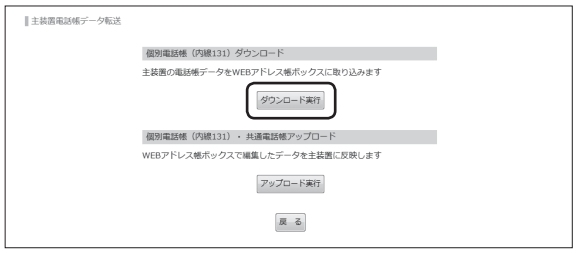
主装置の個別電話帳データをWEBアドレス帳ボックスに取り込む

1 画面上部のメニューから「ユーザ設定」クリックする。

2 「主装置電話帳データ転送」をクリックする。



3 [ダウンロード実行] をクリックする。



4 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

お知らせ

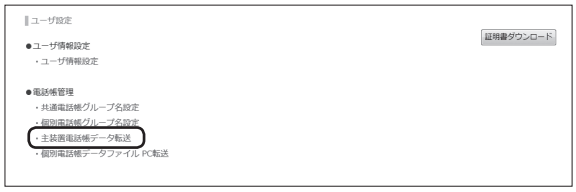
- 共通電話帳データは、管理者のみが WEB アドレス帳ボックスに取り込むことができます。（「主装置の共通電話帳データをWEBアドレス帳ボックスに取り込む」（☛P125）参照）
- 電話帳データに WEB アドレス帳ボックスでのみ使用するデータ（「電話帳データの項目詳細」（☛P45）参照）が登録されている状態で主装置から電話帳データを取り込んだとき、以下のいずれかに該当する場合、WEB アドレス帳ボックスでのみ使用するデータは削除されます。
  - 対象となる電話帳データが主装置に反映されていない、または主装置側で削除された場合
  - 対象となる電話帳データの「氏名」が主装置と WEB アドレス帳ボックスで一致しない場合
- 主装置から電話帳データを取り込むと、WEB アドレス帳ボックスに登録された電話帳データは、主装置から取り込んだデータに書き換わります。そのため、電話帳の内容を WEB アドレス帳ボックスで変更したときは、主装置へ反映させてから本操作を行ってください。（「WEB アドレス帳ボックスの電話帳データを主装置に反映させる」（☛P76）参照）
- 主装置の電話帳データのうち、電話番号が 1 つも登録されていないデータは、取り込まれません。

共通・個別電話帳を利用する

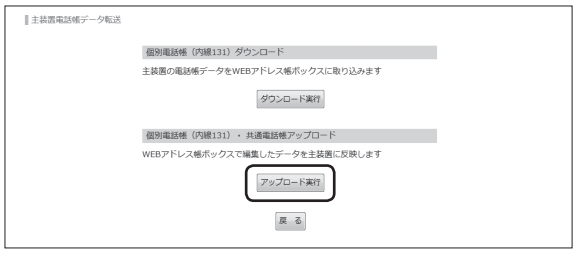
WEBアドレス帳ボックスの電話帳データを主装置に反映させる

1 画面上部のメニューから「ユーザ設定」クリックする。

2 「主装置電話帳データ転送」をクリックする。



3 [アップロード実行] をクリックする。



4 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

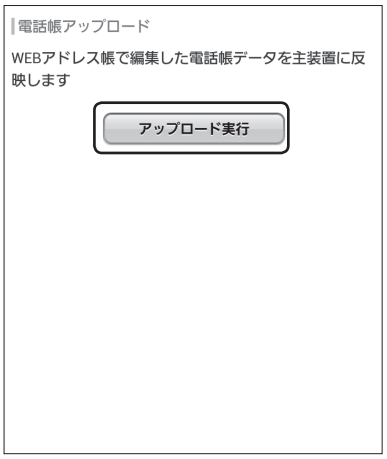
ワンポイント

- 画面最上部に表示される［編集した電話帳を主装置へ反映］をクリックして実行することもできます。
- 本機能を実行すると、以下のものが主装置へ反映されます。
  - 操作者が新規登録／編集／削除した個別電話帳データ
  - 操作者が新規登録／編集／削除した共通電話帳データ
  - 他ユーザや管理者が新規登録／編集／削除した共通電話帳データ
  - 操作者が編集した個別電話帳グループ名（α NX/NXⅡ主装置 type-L 接続時のみ）
  - 操作者が編集した共通電話帳グループ名
  - 他ユーザが編集した共通電話帳グループ名
- 管理者により共通電話帳の編集を許可されていないユーザは、共通電話帳データを主装置に反映させることはできません（「ユーザごとに共通電話帳の編集許可／不許可を設定する」（☛P123）参照）

【モバイル用画面／メディアIP電話機】

1 画面上部のメニューから「電話帳アップロード」をタップする。

2 [アップロード実行] をタップする。



4 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をタップする。

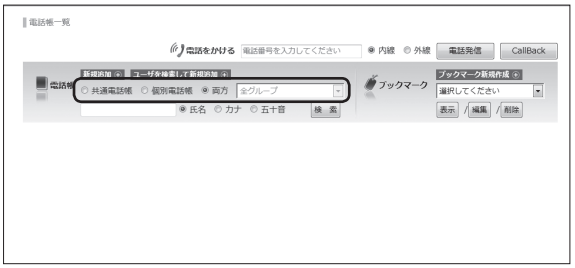
条件を指定して絞り込み表示する

電話帳種別や氏名などを指定し、条件に一致する内容のみ表示することができます。

1 画面上部のメニューから「電話帳」をクリックする。

2 ラジオボタンで「共通電話帳」「個別電話帳」「両方」のいずれかを選択する。

電話帳種別で絞り込まない場合は「両方」を選択します。



3 電話帳グループを選択する。

電話帳グループで絞り込まない場合は、「全グループ」を選択します。

α NX/NX Ⅱ主装置 type-L 接続時、手順 ***2*** で「両方」を選択した場合は、電話帳グループの選択はできません。

4 検索文字を入力する。

カナ検索のときは、半角で入力、五十音検索のときは、半角 1 文字で入力します。氏名で検索しないときは入力不要です。

ワンポイント

- 氏名の一部のみを入力して検索することができます。たとえば、「田」を氏名検索条件として入力した場合、「田中」「山田」などを検索することができます。
- 氏名が未登録であることを氏名検索条件として指定することはできません。
- カナ検索の場合は、カナの一部のみを入力して検索することができます。たとえば、「ｲｹ」をカナ検索条件として入力した場合、「ｲｹﾀﾞ」「ｺｲｹ」などを検索することができます。
- 五十音検索の場合、濁音・半濁音も含めた検索となります。たとえば、「ﾊ」を五十音検索条件として入力した場合、「ﾊﾟ」や「ﾊﾞ」で始まるデータも表示されます。

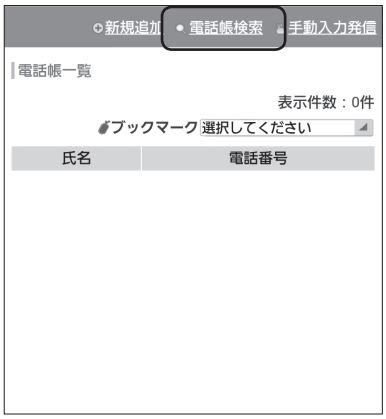
5 手順 ***4*** で入力した内容の検索条件をラジオボタンで選択する。

6 ［検索］をクリックする。

【モバイル用画面／メディア IP 電話機】

1 画面上部のメニューから「電話帳」をタップする。

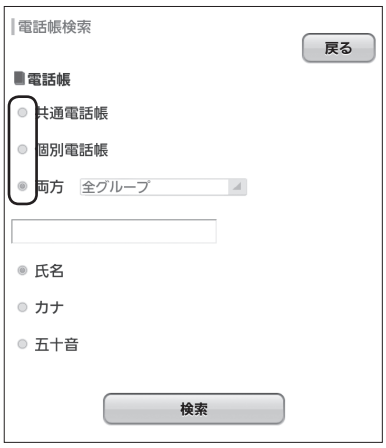
2 「電話帳検索」をタップする。



3 ラジオボタンで「共通電話帳」「個別電話帳」「両方」のいずれかを選択する。

電話帳種別で絞り込まない場合は「両方」を選択します。

α NX/NX Ⅱ主装置 type-L 接続時、手順 ***2*** で「両方」を選択した場合は、電話帳グループの選択はできません。



4 電話帳グループを選択する。

電話帳グループで絞り込まない場合は、「全グループ」を選択します。

（次ページに続く）

条件を指定して絞り込み表示する

5 **検索文字を入力する。**

カナ検索のときは、半角で入力、五十音検索のときは、半角１文字で入力します。氏名で検索しないときは入力不要です。

ワンポイント

- 氏名の一部のみを入力して検索することができます。たとえば、「田」を氏名検索条件として入力した場合、「田中」「山田」などを検索することができます。
- 氏名が未登録であることを氏名検索条件として指定することはできません。
- カナの一部のみを入力して検索することができます。たとえば、「ｲｹ」をカナ検索条件として入力した場合、「ｲｹﾀﾞ」「ｺｲｹ」などを検索することができます。
- 五十音検索の場合、濁音・半濁音も含めた検索となります。たとえば、「ハ」を五十音検索条件として入力した場合、「ﾊﾟ」や「ﾊﾞ」で始まるデータも表示されます。

6 **手順 *5* で入力した内容の検索条件をラジオボタンで選択する。**

7 **［検索］をタップする。**

よく連絡する相手を登録する（ブックマーク）

共通電話帳と個別電話帳のデータの中からよく連絡する相手を選択し、見つけやすくすることができます。
電話帳一覧を表示するときは、最後に選択表示したブックマークの内容が初期表示されます。

ブックマークを作成する

1 画面上部のメニューから「電話帳」をクリックする。

2 ［ブックマーク新規作成］をクリックする。

3 ブックマーク名を入力し、［作成］をクリックする。

4 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

ブックマークを編集する

1 画面上部のメニューから「電話帳」をクリックする。

2 編集するブックマークをプルダウンメニューから選択する。

3 ［編集］をクリックする。

4 ブックマーク名を変更する場合は、ブックマーク名を入力する。

5 電話帳検索条件を入力し、［検索］をクリックする。
絞り込み表示をしない場合は、何も入力せずに［検索］をクリックします。

6 表示された氏名からブックマークに登録したいものを選択し、［ブックマークへ追加］をクリックする。
複数選択してまとめて追加することもできます。
登録したい相手が表示されない場合は、手順 ***5*** を再度行い、登録済みの氏名を表示し直してください。

7 ブックマークから削除する場合は、削除したいものを選択し、［ブックマークから削除］をクリックする。
複数選択してまとめて削除することもできます。

ワンポイント

- ブックマークは、ユーザ ID ごとに 10 個まで作成することができます。
- 最後に表示したブックマークを削除した場合は、すでに作成済みのブックマークの中で最も先に作成されたブックマークの登録内容が初期表示されます。

（次ページに続く）

よく連絡する相手を登録する（ブックマーク）

8 ［変更］をクリックする。

ワンポイント

●［変更］をクリックせずに他の画面に移動、またはWeb ブラウザを終了した場合、編集前の内容に戻ります。

9 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

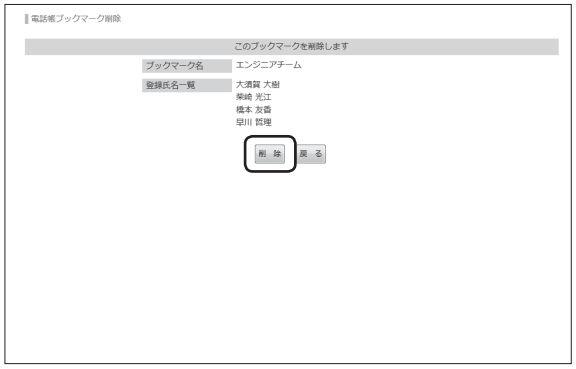
ブックマークを削除する

1 画面上部のメニューから「電話帳」をクリックする。

2 削除するブックマークをプルダウンメニューから選択する。

3 ［削除］をクリックする。

4 削除してもよいか再度内容を確認し、［削除］をクリックする。



5 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

お知らせ

●ブックマークを削除しても、電話帳のデータは削除されません。

ブックマークによる電話帳絞り込み表示をする

1 画面上部のメニューから「電話帳」をクリックする。

2 表示したいブックマークをプルダウンメニューから選択する。

3 [表示] をクリックする。

【モバイル用画面／メディアIP電話機】

1 画面上部のメニューから「電話帳」をタップする。

2 表示したいブックマークをプルダウンメニューから選択する。

個別電話帳データをPCで扱う（インポート／エクスポート）

WEB アドレス帳ボックスの個別電話帳のデータを PC のファイルとして管理、編集することができます。
これにより、データの保存や PC での編集を行うことができます。

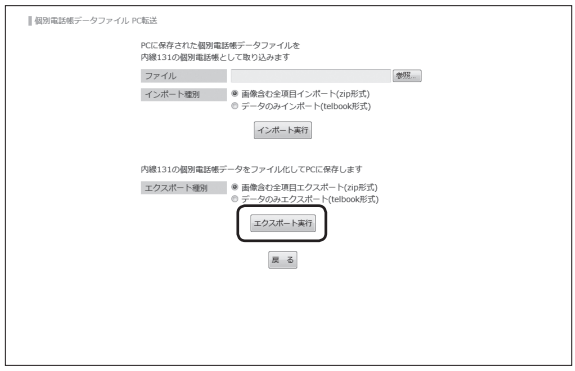
電話帳データをファイルとしてPCに保存する（エクスポート）

1 画面上部のメニューから「ユーザ設定」をクリックする。

2 「個別電話帳データファイル PC 転送」をクリックする。

3 エクスポート種別をラジオボタンで選択する。

4 ［エクスポート実行］をクリックする。



5 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

6 Windows で表示される手順に従って、ファイルを保存する。

エクスポートした電話帳データファイルをPCで編集する

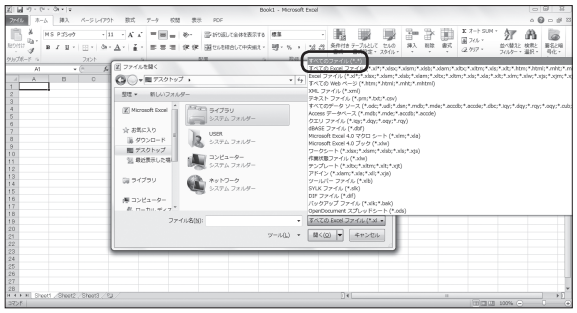
お知らせ

- 編集できるのは、telbook 形式のファイルのみです。「画像含む全項目エクスポート（zip 形式）」により保存したファイルは編集することができません。
- 本取扱説明書は、Microsoft Excel 2010 での編集例を記載しています。

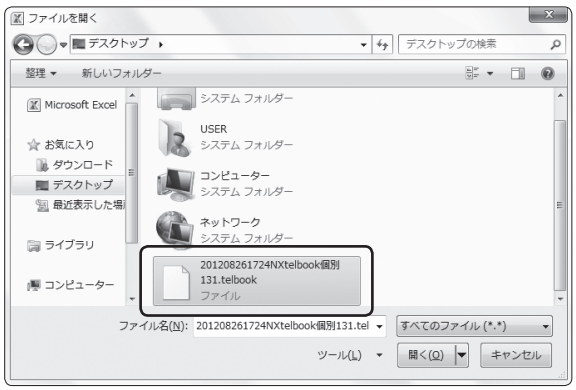
1 Microsoft 社のアプリケーション「Excel」を起動する。

2 メニューから「ファイル」を選択し、「開く」をクリックする。

3 プルダウンメニューから「すべてのファイル」を選択する。

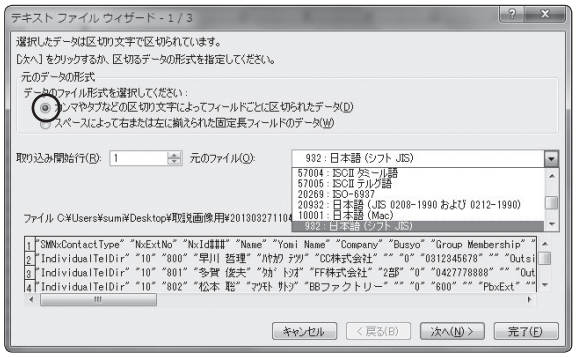


4 エクスポートした電話帳データのファイル名を指定する。



5 [開く] をクリックする。

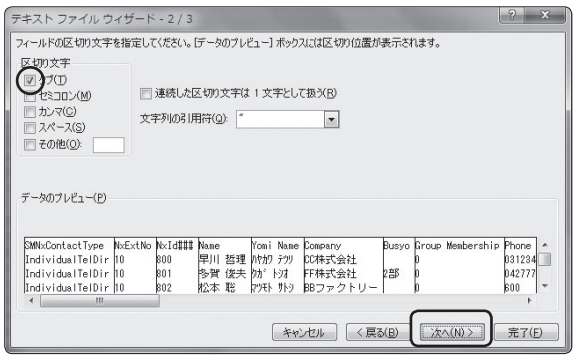
6 「元のデータの形式」を「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」に選択する（ラジオボタン）。



7 「元のファイル」をプルダウンメニューから「932 : 日本語（シフト JIS)」を選択する。

8 [次へ] をクリックする。

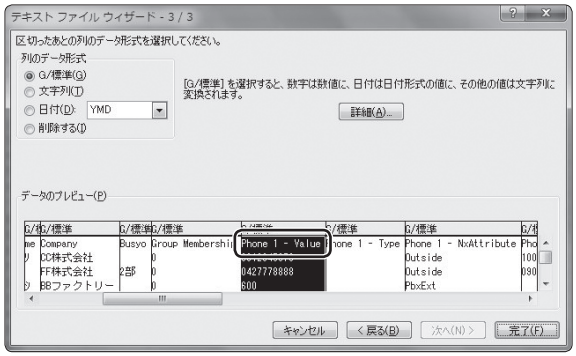
9 「区切り文字」から「タブ」のみにチェックを入れ、[次へ] をクリックする。



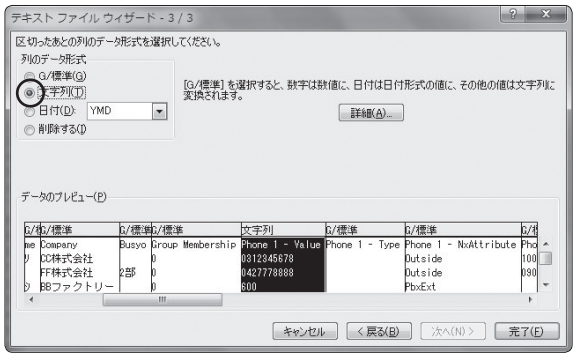
（次ページに続く）

個別電話帳データをPCで扱う（インポート／エクスポート）

10 ウィンドウ内下部に表示されるスクロールバーで右側の項目を表示させ、「Phone 1 - Value」をクリックする。



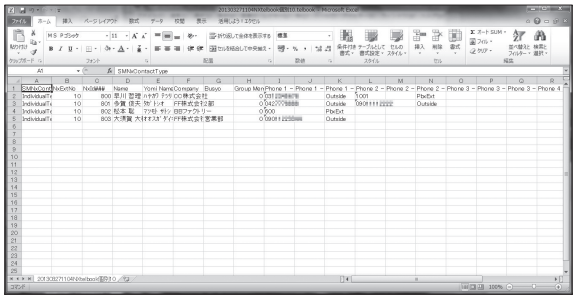
11 ウィンドウ内左上の「列のデータ形式」からラジオボタンで「文字列」を選択する。



12 手順 ***10***、***11*** を繰り返し、「Phone 2 - Value」、「Phone 3 - Value」、「Phone 4 - Value」も「文字列」を選択する。

13 [完了] をクリックする。

14 編集する。



15 メニューから「ファイル」を選択し、「上書き保存」をクリックする。

16 保存形式のダイアログが表示されたら、[はい] をクリックする。

17 Excel を終了する。変更保存のダイアログが表示されたら、[保存しない] をクリックする。

ワンポイント

●編集できる項目は以下の通りです。
（登録可能な文字数や桁数、記号の種類などは「電話帳データの項目詳細」（☛P45）参照）

ファイル1行目の表記	意味	備考	必須
（α NX/NXⅡ主装置 type-L 接続時） LNxContactType （α NX/NXⅡ主装置 type-S/M 接続時） SMNxContactType	電話帳種別	IndividualTelDir と記述します。それ以外の文字は記述しないでください。	○
NxExtNo	内線番号	新規に追加するときは、記述する必要はありません。	
（α NX/NXⅡ主装置 type-S/M と接続していて、電話帳メモリ番号を2桁で運用している場合） NxId## （上記以外） NxId###	メモリ番号	各行で異なる番号にする必要があります。範囲については、接続しているα NX/NXⅡ主装置のタイプや設定により異なります。	○
Name	氏名		
Yomi Name	氏名（カナ）		
Company	企業名		
Busyo	部署名		
Group Membership	電話帳グループ	グループ名ではなく、0（指定なし）、1 ～ 9 を半角で記述します。	○
Phone 1 - Value	電話番号 1 －電話番号	必ず記述する必要があります。	○
Phone 1 - Type	電話番号 1 －登録種別	新規に追加するときは、“一般電話”と記述します。	○
Phone 1 - NxAttribute	電話番号 1 －属性	内線の場合は“Ext”（α NX/NXⅡ主装置 type-L 接続時のみ）、外線の場合は“Outside”、PBX の場合は“PbxExt”と記述します。	○
Phone 2 - Value	電話番号 2 －電話番号		
Phone 2 - Type	電話番号 2 －登録種別	新規に追加するときは、“一般電話”と記述します。	
Phone 2 - NxAttribute	電話番号 2 －属性	内線の場合は“Ext”（α NX/NXⅡ主装置 type-L 接続時のみ）、外線の場合は“Outside”、PBX の場合は“PbxExt”と記述します。	
Phone 3 - Value	電話番号 3 －電話番号		
Phone 3 - Type	電話番号 3 －登録種別	新規に追加するときは、“一般電話”と記述します。	
Phone 3 - NxAttribute	電話番号 3 －属性	内線の場合は“Ext”（α NX/NXⅡ主装置 type-L 接続時のみ）、外線の場合は“Outside”、PBX の場合は“PbxExt”と記述します。	
Phone 4 - Value	電話番号 4 －電話番号		
Phone 4 - Type	電話番号 4 －登録種別	新規に追加するときは、“一般電話”と記述します。	
Phone 4 - NxAttribute	電話番号 4 －属性	内線の場合は“Ext”（α NX/NXⅡ主装置 type-L 接続時のみ）、外線の場合は“Outside”、PBX の場合は“PbxExt”と記述します。	
Mail 1	メールアドレス 1		
Mail 2	メールアドレス 2		
Mail 3	メールアドレス 3		
Mail 4	メールアドレス 4		
URL	URL		
Remarks	備考	改行は“¥n”と記述します。	

個別電話帳データをPCで扱う（インポート／エクスポート）

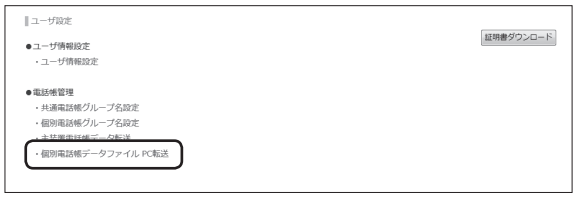
ファイルとしてPCに保存された個別電話帳データをWEBアドレス帳ボックスに反映させる（インポート）

お知らせ

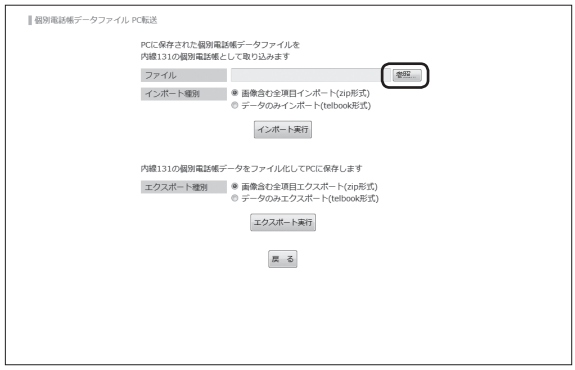
●電話帳自動ダウンロード時刻が近いときは、以下の操作は行わないでください。

1 画面上部のメニューから「ユーザ設定」をクリックする。

2 「個別電話帳データファイル PC 転送」をクリックする。

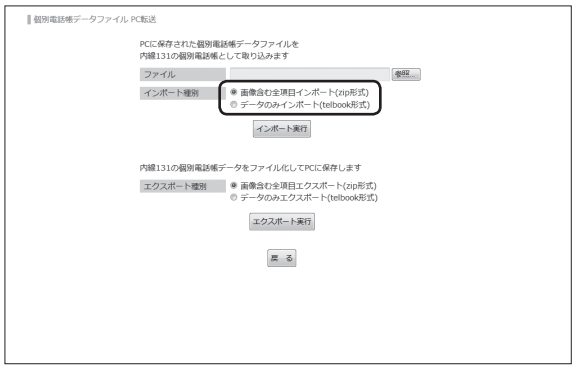


3 [参照] をクリックする。



4 インポートするファイルを選択する。

5 インポート種別をラジオボタンで選択する。



6 [インポート実行] をクリックする。

7 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

お知らせ

●電話帳データをインポートすると、その内線の個別電話帳データはすべて削除され、インポートファイルの内容に書き換わります。

●連携内線以外の内線番号の個別電話帳データをインポートすることができます。たとえば、内線 100 の電話帳データ（エクスポートしたファイル）を指定して、内線 200 と連携しているユーザがインポートした場合、内線 200 の電話帳データとして WEB アドレス帳ボックスに書き込まれます。

●運用中の電話帳データに追加したい場合は、telbook 形式で最新の電話帳データのエクスポートを行い、編集して行を追加したファイルをインポートしてください。

●ファイル内の記述に書式誤りがある場合はインポートできません。

●電話帳データをインポートしたときは、WEB アドレス帳ボックスの電話帳データを主装置へ反映してください。主装置へ反映していない状態で主装置の個別電話帳データを取り込むと、氏名や電話番号などが主装置のデータに更新され、インポートしたデータの企業名やメールアドレスなどと整合性が崩れる場合があります。（「WEB アドレス帳ボックスの電話帳データを主装置に反映させる」（☛P76）参照）

発信履歴を表示する

連携設定された内線電話機の発信履歴情報を主装置から取得し、表示することができます。

1 画面上部のメニューから「発信履歴」をクリックする。

【モバイル用画面／メディアIP電話機】

1 画面上部のメニューから「発信履歴」をタップする。

ワンポイント

- 表示件数や表示条件などは、接続するα NX/NX Ⅱ主装置の仕様に従います。
- 相手の名前は、個別電話帳、共通電話帳の順に電話番号を検索して番号が一致した場合に表示します。

お知らせ

- 複数のユーザが同時に表示操作を行ったときなどは正常に表示されない場合があります。そのときは、少し経ってから［最新の情報に更新］をクリックまたはタップしてください。
- 電話番号ダイヤルがない発信履歴情報を主装置から取得した場合、そのデータは表示しません。

着信履歴を表示する

連携設定された内線電話機の着信履歴情報を主装置から取得し、表示することができます。

1 画面上部のメニューから「着信履歴」をクリックする。

【モバイル用画面／メディアIP電話機】

1 画面上部のメニューから「着信履歴」をタップする。

ワンポイント

- 表示件数や着信への応答状況を示すアイコン「応」「不」「他」の表示条件などは、接続するα NX/NX Ⅱ主装置の仕様に従います。
- 相手の名前は、個別電話帳、共通電話帳、内線名称（相手が内線の場合のみ）の順に電話番号を検索して番号が一致した場合、または主装置から取得した着信履歴データに名前情報が含まれていた場合に表示します。
- 非通知理由が通知された外線着信履歴は、非通知理由を表示します。

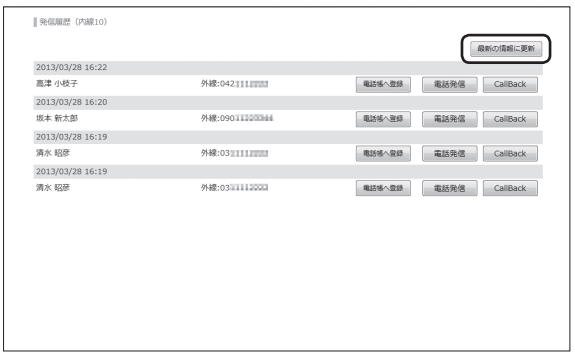
お知らせ

- 複数のユーザが同時に表示操作を行ったときなどは正常に表示されない場合があります。そのときは、少し経ってから［最新の情報に更新］をクリックまたはタップしてください。

最新の情報に更新する

発信履歴／着信履歴の情報は、WEB アドレス帳ボックスで表示を行った時点での最新の情報を取得しますが、表示後の発信履歴／着信履歴の情報を表示させるには、最新の情報に更新する必要があります。

1 （発信履歴／着信履歴共通）［最新の情報に更新］をクリックする。



【モバイル用画面／メディア IP 電話機】

1 （発信履歴／着信履歴共通）［最新の情報に更新］をタップする。

お知らせ

- 複数のユーザが同時に表示操作を行ったときなどは正常に表示されない場合があります。そのときは、少し経ってから［最新の情報に更新］をクリックまたはタップしてください。

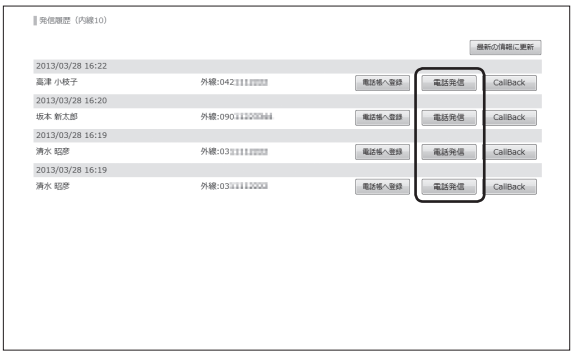
発信履歴／着信履歴から選択して電話をかける

発信履歴／着信履歴に表示された情報から相手を選択し、ボタンをクリックして電話をかけることができます。

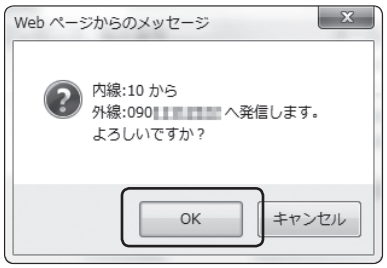
電話発信する

■ 連携内線電話機から発信する

1 ［電話発信］をクリックする。



2 表示されたダイアログの内容を確認し、［OK］をクリックする。



3 連携内線に設定された内線電話機のハンドセットをとり、相手の方が応答したらお話しする。

【メディア IP 電話機】

1 ［電話発信］をタップする。

2 表示されたダイアログの内容を確認し、［OK］をタップする。

3 ハンドセットをとり、相手の方が応答したらお話しする。

お知らせ

●本機能を行うには、メディア IP 電話機の操作によりログインしている必要があります。

（次ページに続く）

■ 携帯電話回線を使って発信する

【モバイル用画面】

1 **［電話発信］をタップする。**

2 **スマートフォンの操作手順に従って発信する。**

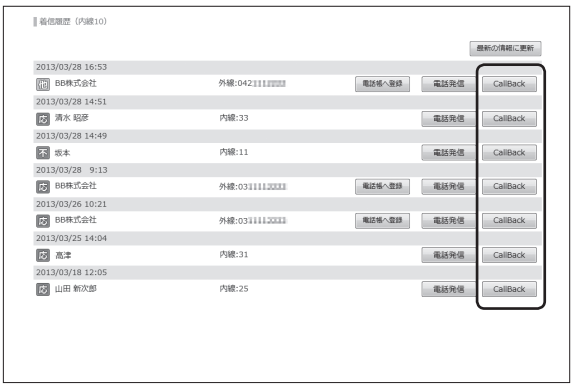
お知らせ

- ●本機能を行うには、モバイル用画面にログインしている必要があります。
- ●ビジネスフォンαクライアントからアクセスしたときは、携帯電話回線ではなく、ビジネスフォンαクライアントを使った発信となります（内線または PBX への発信も可能です）。詳細については、ビジネスフォンαクライアントの取扱説明書を参照してください。
- ●ビジネスフォンαクライアントからアクセスしたとき以外は、内線または PBX として登録された電話番号に発信することはできません。
- ●スマートフォンの操作については、スマートフォンの取扱説明書を参照してください。

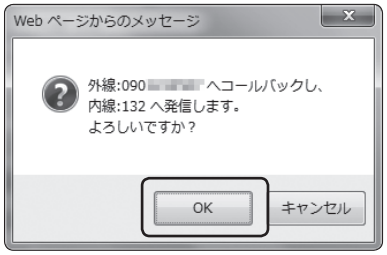
発信履歴／着信履歴から選択して電話をかける

ワンタッチコールバック発信する

1 [CallBack] をクリックする。



2 表示されたダイアログの内容を確認し、[OK] をクリックする。



3 主装置からの着信に応答する。

4 相手の方が応答したら、お話しする。

ワンポイント

●詳細については、「ワンタッチコールバック発信する」（☛P101）を参照してください。

お知らせ

●ワンタッチコールバック機能をお使いになるには、特別な工事や設定が必要です。

【モバイル用画面】

1 [CallBack] をタップする。

2 表示されたダイアログの内容を確認し、[OK] をタップする。

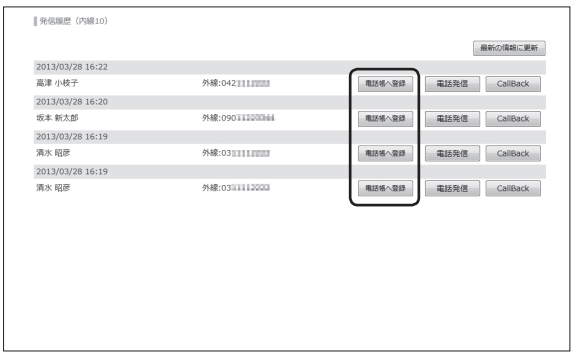
3 主装置からの着信に応答する。

4 相手の方が応答したら、お話しする。

発信履歴／着信履歴から選択して電話帳に登録する

発信履歴／着信履歴に表示された電話番号に情報を追加して個別電話帳に登録することができます。

1 （発信履歴／着信履歴共通）［電話帳へ登録］をクリックする。



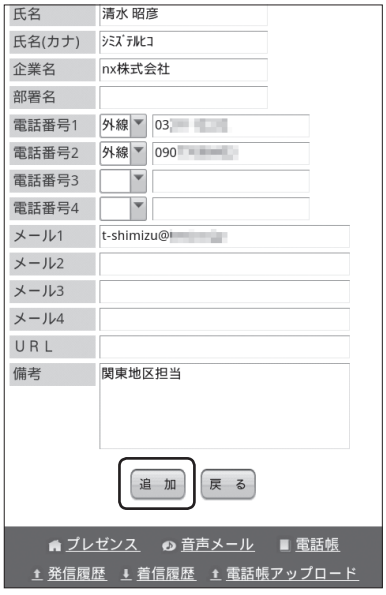
2 追加で登録したい項目を入力し、［追加］をクリックする。

3 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

【モバイル用画面／メディアIP電話機】

1 （発信履歴／着信履歴共通）［電話帳へ登録］をタップする。

2 追加で登録したい項目を入力し、［追加］をタップする。



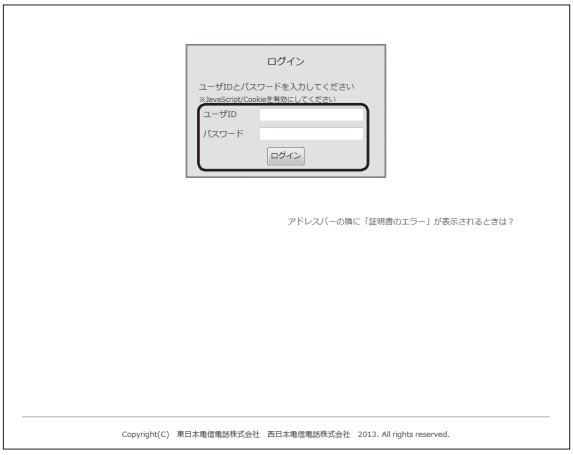
3 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をタップする。

受付端末にログインする

PC またはメディア IP 電話機を来客者が操作するための受付端末として、WEB アドレス帳ボックスにログインすることができます。
また、受付端末でのログイン時は、自動ログアウト機能が動作せず、ログイン状態が継続します。

1 Web ブラウザを起動し、https://（本商品の IP アドレス）/telbook/ にアクセスする。

2 受付端末 ID とパスワードを入力し、［ログイン］をクリックする。



ワンポイント

- メディア IP 電話機からアクセスするときは、本ページ記載のログイン画面からログインせず、メディア IP 電話機の操作でログインしてください。詳細については、メディア IP 電話機の取扱説明書を参照してください。
- 受付端末 ID でログインした場合、ユーザ検索と内線呼び出しの機能のみお使いいただけます。

お知らせ

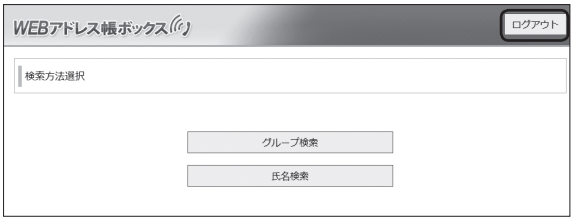
- モバイル用ログイン画面、ビジネスフォンαクライアントからは、受付端末 ID でログインすることはできません。

受付端末からログアウトする

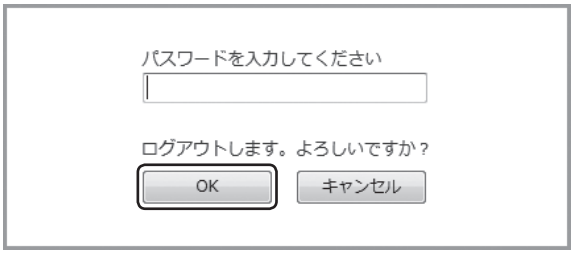
受付端末としてログインしたPCまたはメディアIP電話機をログアウトさせることができます。

1 「最初からやり直す」をクリックする。
ログインした直後は、クリックしなくても初期表示されます。

2 画面右上に表示される［ログアウト］をクリックする。



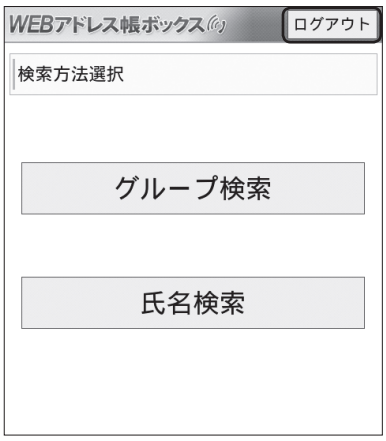
3 ログイン時に入力したパスワードを入力し、［OK］をクリックする。



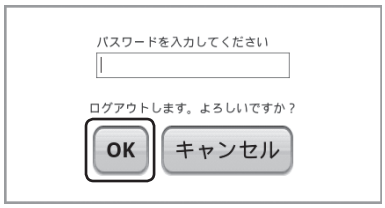
【メディアIP電話機】

1 「最初からやり直す」をタップする。
ログインした直後は、タップしなくても初期表示されます。

2 画面右上に表示される［ログアウト］をタップする。



3 ログイン時に入力したパスワードを入力し、［OK］をタップする。



ワンポイント

●本ページ記載の手順以外にも管理者の操作によるログアウトさせることもできます。（「ユーザ情報やログイン状態を管理する」（☛P112）参照）

お知らせ

●メディアIP電話機でログアウト操作をしたときは、ブラウザ画面を閉じてください。

条件を指定してユーザを検索する

グループ（ID グループ）または氏名（カナ）のどちらかを指定し、条件に一致するユーザを検索することができます。

IDグループでユーザを検索する

1 「最初からやり直す」をクリックする。

ログインした直後は、クリックしなくても初期表示されます。

2 「グループ検索」をクリックする。

ワンポイント

●「グループ検索」ボタンの名称は変更することができます。(「ボタンの表示を変更する」(☛P156)参照)

3 表示したいグループをクリックする。

【メディア IP 電話機】

1 「最初からやり直す」をタップする。

ログインした直後は、タップしなくても初期表示されます。

2 「グループ検索」をタップする。

ワンポイント

●「グループ検索」ボタンの名称は変更することができます。(「ボタンの表示を変更する」(☛P156)参照)

3 表示したいグループをタップする。

五十音でユーザを検索する

1 **「最初からやり直す」をクリックする。**
ログインした直後は、クリックしなくても初期表示されます。

2 **「氏名検索」をクリックする。**

ワンポイント

●「氏名検索」ボタンの名称は変更することができます。（「ボタンの表示を変更する」（☛P156）参照）

3 **表示したい行をクリックする。**

4 **表示したい頭文字をクリックする。**

【メディア IP 電話機】

1 **「最初からやり直す」をタップする。**
ログインした直後は、タップしなくても初期表示されます。

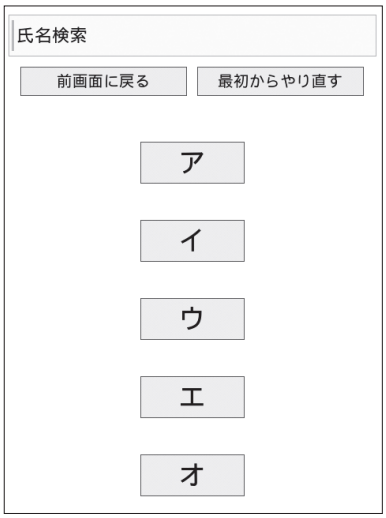
2 **「氏名検索」をタップする。**

ワンポイント

●「氏名検索」ボタンの名称は変更することができます。（「ボタンの表示を変更する」（☛P156）参照）

3 **表示したい行をタップする。**

4 **表示したい頭文字をタップする。**



ワンポイント

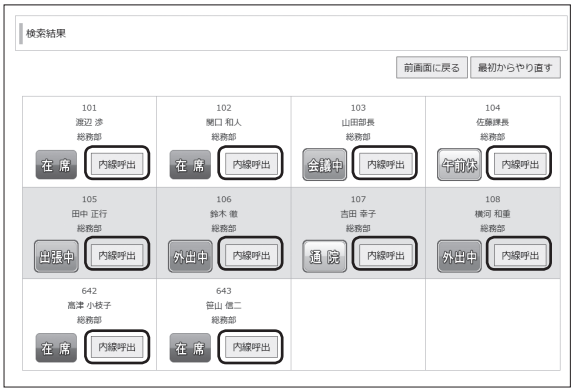
●検索の対象は氏名（カナ）の頭文字です。また、濁点半濁点の有無は区別しません。
たとえば、「ｼ」を氏名検索条件として入力した場合、「ｼﾊﾞﾀ」「ｼﾞﾝﾎﾞ」などを検索することができますが、「ｶｼﾑﾗ」は検索されません。

●手順 ***3*** で「その他」を選択した場合は、五十音に該当しないすべてを表示します。

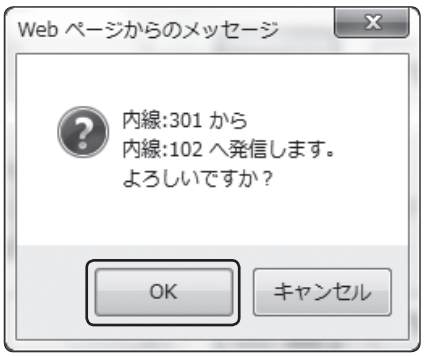
検索結果から内線呼び出しする

検索結果に表示されたユーザから相手を選択し、内線呼び出しすることができます。

1 「ID グループ検索」または「氏名検索」を行い、[内線呼出] をクリックする。



2 表示されたダイアログの内容を確認し、[OK] をクリックする。

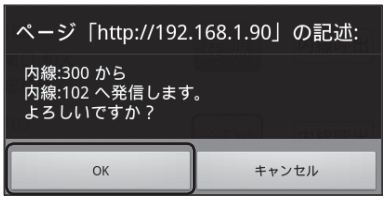


3 連携内線に設定された内線電話機のハンドセットをとり、相手の方が応答したらお話しする。

【メディア IP 電話機】

1 [内線呼出] をタップする。

2 表示されたダイアログの内容を確認し、[OK] をタップする。



3 連携内線に設定された内線電話機のハンドセットをとり、相手の方が応答したらお話しする。

ワンポイント

●「プレゼンスアイコン表示」が有効になっている場合、約 3 秒ごとにプレゼンスアイコンの自動更新を行います。（「プレゼンスアイコンを表示しないようにする」(☛P155) 参照）

お知らせ

●呼び出すことができるのは、ユーザごとに設定された連携内線番号のみです。外線などその他の電話番号に発信することはできません。

電話発信する

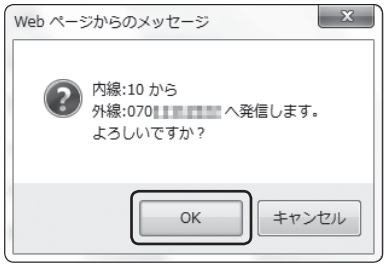
プレゼンス一覧や電話帳から相手を選択して電話発信することができます。

相手を選択して連携内線電話機から発信する

プレゼンスや電話帳で表示される電話番号から相手を選択して連携設定されている内線電話機から電話をかけることができます。

1 ［電話発信］をクリックする。

2 ダイアログに表示された内容を確認し、［OK］をクリックする。



3 連携内線に設定された内線電話機のハンドセットをとり、相手の方が応答したらお話しする。

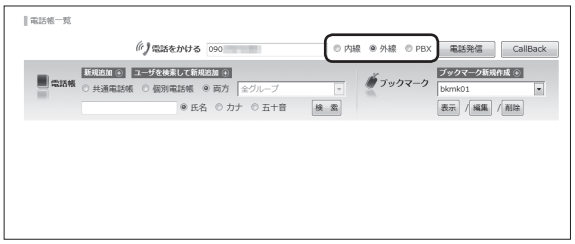
相手の電話番号を入力して連携内線電話機から発信する

相手の電話番号を WEB アドレス帳ボックスのブラウザ画面から入力して連携設定されている内線電話機から電話をかけることができます。

1 画面上部のメニューから「電話帳」をクリックする。

2 「電話をかける」のテキストボックスにダイヤルを入力する。

3 入力したダイヤルの発信種別をラジオボタンで選択する。



4 ［電話発信］をクリックする。

5 ダイアログに表示された内容を確認し、［OK］をクリックする。

6 連携内線に設定された内線電話機のハンドセットをとり、相手の方が応答したらお話しする。

お知らせ

- 連携内線に設定された内線電話機が使用中または使用できない状態のときは、発信できません。
- お客様が接続するα NX/NX Ⅱ主装置の環境構成や設定によっては、PBX を選択して電話発信できない場合があります。

電話発信する

相手を選択して携帯電話回線を使って発信する

モバイル用ログイン画面から WEB アドレス帳ボックスにログインしているときは、操作している端末（携帯電話機）の契約回線を使用して電話をかけることができます。

【モバイル用画面】

1 ［電話発信］をタップする。

2 スマートフォンの操作手順に従って発信する。

お知らせ

- ビジネスフォンαクライアントからアクセスしたときは、携帯電話回線ではなく、ビジネスフォンαクライアントを使った発信となります（内線または PBX への発信も可能です）。詳細については、ビジネスフォンαクライアントの取扱説明書を参照してください。
- ビジネスフォンαクライアントから連携モードでアクセスしたときは、携帯電話回線ではなく、ビジネスフォンαクライアントで設定した連携先内線電話機からの発信となります（内線または PBX への発信も可能です）。
  詳細については、ビジネスフォンαクライアントの取扱説明書を参照してください。
- ビジネスフォンαクライアントからアクセスしたとき以外は、内線または PBX として登録された電話番号に発信することはできません。
- ポーズダイヤルが含まれた電話番号を選択した場合、正しく発信できない場合があります。
- 携帯電話機が発信できない状態のときは、発信できません。
- スマートフォンの操作については、スマートフォンの取扱説明書を参照してください。

ワンタッチコールバック発信する

ユーザ情報に設定した外線電話番号に主装置からコールバック着信させ、応答することにより、その電話機を使って相手とお話しすることができます。

お知らせ

- ワンタッチコールバック機能をお使いになるには、特別な工事や設定が必要です。
- α NX/NX Ⅱ主装置 type-L 接続時にワンタッチコールバック機能をお使いになるには、別途ユニットが必要になります。詳しくは販売店やサービス取扱所にご相談ください。
- メディア IP 電話機の操作でログインしているときは、ワンタッチコールバック機能を使うことはできません。
- ユーザ情報に外線電話番号が登録されている必要があり、本機能起動時はα NX/NX Ⅱ主装置からその電話番号へコールバック着信が入ります。ユーザ情報に複数の外線電話番号が登録されている場合は、最大 3 つ登録できる電話番号のうち、一番上に登録された外線電話番号が適用されます。
- ポーズダイヤルが含まれる電話番号を相手として選択（またはダイヤル入力）して、ワンタッチコールバックすることはできません。ポーズダイヤルを除いた電話番号を選択（またはダイヤル入力）してください。
- α NX/NX Ⅱ主装置 type-L 接続時は、PBX の電話番号を指定してワンタッチコールバック発信することはできません。
- ワンタッチコールバック利用時は、主装置に接続している回線に対して以下の通話料金がかかります。

  ①コールバック着信に応答後：主装置とコールバック先の通話料金

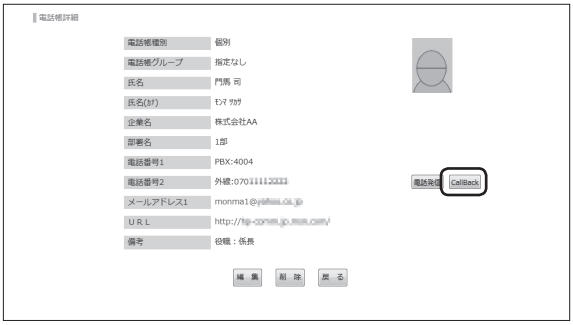
  ②相手応答後：主装置とコールバック先の通話料金＋主装置と相手先の通話料金

  ※①の課金は、電話をかけた相手の応答有無にかかわらず発生します。
- ワンタッチコールバック発信時に使う回線や着信側に通知される番号、表示や動作などは、接続するα NX/NX Ⅱ主装置の仕様に従います。

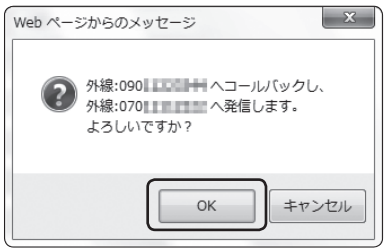
ワンタッチコールバック発信する

相手を選択してワンタッチコールバック発信する

1 電話帳などで表示された相手電話番号の右にある［CallBack］をクリックする。



2 ダイアログに表示された内容を確認し、［OK］をクリックする。



3 主装置からの着信に応答する。

4 相手の方が応答したら、お話しする。

【モバイル用画面】

1 電話帳などで表示された相手電話番号の右にある［CallBack］をタップする。

2 ダイアログに表示された内容を確認し、［OK］をタップする。

3 主装置からの着信に応答する。

4 相手の方が応答したら、お話しする。

相手の電話番号を入力してワンタッチコールバック発信する

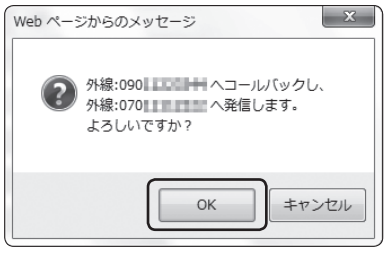
1 画面上部のメニューから「電話帳」をクリックする。

2 「電話をかける」のテキストボックスに相手電話番号を入力する。

3 入力したダイヤルの発信種別をラジオボタンで選択する。

4 [CallBack] をクリックする。

5 ダイアログに表示された内容を確認し、[OK] をクリックする。



6 主装置からの着信に応答する。

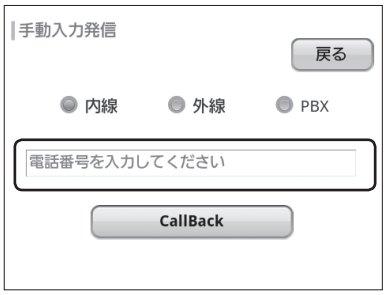
7 相手の方が応答したら、お話しする。

【モバイル用画面】

1 画面上部のメニューから「電話帳」をタップする。

2 「手動入力発信」をタップする。

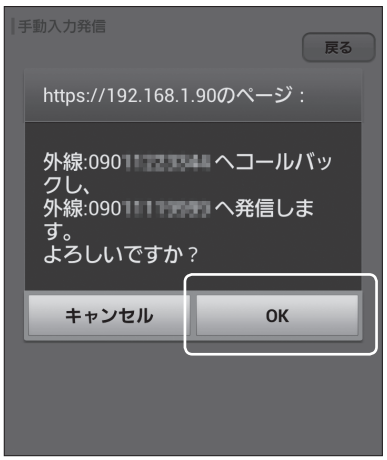
3 相手電話番号を入力する。



4 入力したダイヤルの発信種別をラジオボタンで選択する。

5 [CallBack] をタップする。

6 ダイアログに表示された内容を確認し、[OK] をタップする。



7 主装置からの着信に応答する。

8 相手の方が応答したら、お話しする。

電子メールを送信する（メーラ起動）

ログインしている PC またはスマートフォンの電子メールアプリケーション（メーラ）を使用し、相手に電子メールを送ることができます。

1 プレゼンス一覧表示を行い、電子メールを送りたい相手の名前をクリックする。

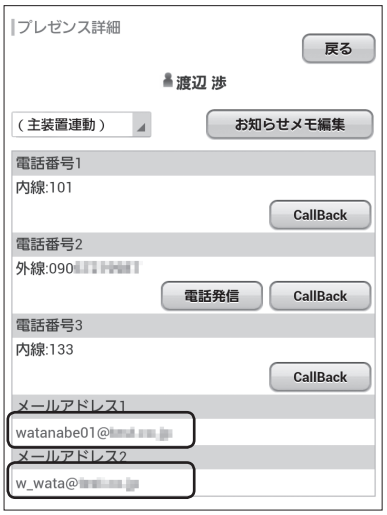
2 メールアドレスをクリックする。

3 起動した電子メールアプリケーションを確認し、件名や本文を入力してメール送信する。

【モバイル用画面】

1 プレゼンス一覧表示を行い、電子メールを送りたい相手の名前をタップする。

2 メールアドレスをタップする。



3 起動した電子メールアプリケーションを確認し、件名や本文を入力してメール送信する。

お知らせ

●本機能をお使いになるには、ログインした PC に電子メールアプリケーションがインストールされていて電子メールが送信できる状態である必要があります。

録音内容を一覧表示する

ログインしたユーザに設定されている連携内線番号に割り付けられたメールボックスの録音データおよび、共通メールボックスの録音データを一覧表示することができます。また、条件を指定して絞り込み表示することもできます。
αNX/NXⅡ主装置からアップロードされ、録音データメンテナンス(☛P144)が実行された録音データのみ表示されます。録音データメンテナンス実行前の録音データは表示されません。

1 画面上部のメニューから「音声メール」をクリックする。

ワンポイント

●直近３日以内の録音データが一覧表示されます。

2 「ボックスNo」のプルダウンメニューより表示したいボックスNoを選択する。

メールボックス番号で絞り込まない場合は、選択不要です。

3 ラジオボタンで「期間」または「最近」を選択し、期間または日数を入力する。

期間または日数で絞り込まない場合は入力不要です。

4 「未再生のみ表示」のチェックボックスにチェックを入れる。

未再生のみで絞り込まない場合はチェック不要です。

5 氏名を入力する。

氏名で絞り込まない場合は入力不要です。

ワンポイント

●氏名の一部のみを入力して検索することができます。たとえば、「田」を氏名検索条件として入力した場合、「田中」「山田」などを検索することができます。

●氏名が未登録であることを氏名検索条件として指定することはできません。

6 相手先番号を入力する。

相手先番号で絞り込まない場合は入力不要です。

7 [検索]をクリックする。

ワンポイント

●管理者によるログイン時は、すべてのメールボックスの録音データの表示や再生などができます。

●録音データは、最大20件まで表示されます。20件を超える場合は、複数ページに分けられ、画面下部に表示されるボタンによりページを切り替えることができます。

●保存可能残時間は、WEBアドレス帳ボックス内に保存できる残りの目安時間です。

●αNX/NXⅡ主装置の内線電話機などで識別できる「未再生／再生済」と本商品のWEBブラウザに表示される「未再生／再生済」は連動しません。たとえば、内線電話機からのみ再生した録音データは、本商品では「未再生」表示となります。

●共通メールボックスの録音データは、本商品のいずれかのユーザまたは管理者により再生されると、「再生済」表示となります。

お知らせ

●保存可能残時間は目安値であり、実際の時間と必ずしも一致しません。

●本商品で扱うことができるのは、αNX/NXⅡ主装置で録音し、アップロードされた音声メール録音データのみです。それ以外のデータについては、正しく動作できない場合があります。

録音内容を一覧表示する

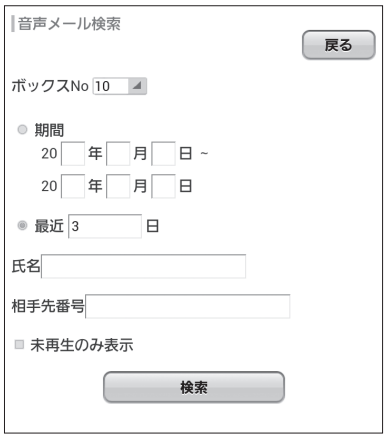
【モバイル用画面／メディアIP電話機】

1 画面上部のメニューから「音声メール」をタップする。

ワンポイント

●直近３日以内の録音データが一覧表示されます。

2 画面上部のメニューから「音声メール検索」をタップする。



3 「ボックス No」のプルダウンメニューより表示したいボックス No を選択する。

メールボックス番号で絞り込まない場合は、選択不要です。

4 ラジオボタンで「期間」または「最近」を選択し、期間または日数を入力する。

期間または日数で絞り込まない場合は入力不要です。

5 氏名を入力する。

氏名で絞り込まない場合は入力不要です。

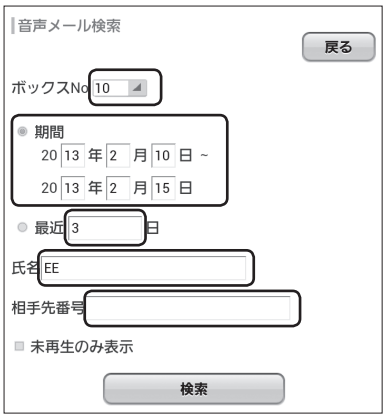
6 相手先番号を入力する。

相手先番号で絞り込まない場合は入力不要です。

ワンポイント

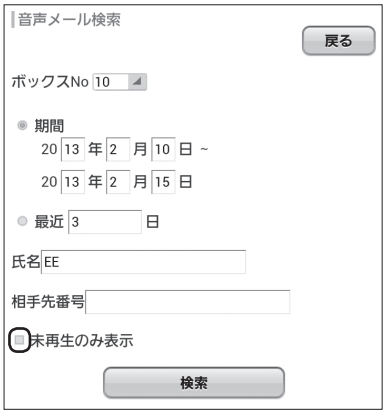
●氏名の一部のみを入力して検索することができます。たとえば、「田」を氏名検索条件として入力した場合、「田中」「山田」などを検索することができます。

●氏名が未登録であることを氏名検索条件として指定することはできません。



7 「未再生のみ表示」のチェックボックスにチェックを入れる。

未再生のみで絞り込まない場合はチェック不要です。



8 [検索] をタップする。

ワンポイント

●録音データは、最大 20 件まで表示されます。20 件を超える場合は、複数ページに分けられ、画面下部に表示されるボタンによりページを切り替えることができます。

録音内容を再生する

一覧表示された録音データから選択して、クライアントPCやスマートフォンで再生することができます。

1 録音データー覧表示を行い、再生したい録音データの再生ボタンをクリックする。

ワンポイント

- 再生中は再生ボタンが停止ボタンに変ります。再生中の録音データを停止する場合は停止ボタンをクリックします。
- 録音時間が赤色で表示されている録音データは、「録音データ再生可能時間」に設定された時間分までしか再生されません。
- 「録音データ再生可能時間」よりも長い録音データのすべてを聴取するには、録音データダウンロードを行い、WAV形式のファイルをクライアントPCに取り込んでから再生する必要があります。（「録音内容をファイルで保存する」（☛P108）参照）

【モバイル用画面／メディアIP電話機】

1 録音データー覧表示を行い、再生したい録音データの再生ボタンををタップする。

ワンポイント

- 再生中は再生ボタンが停止ボタンに変ります。再生中の録音データを停止する場合は停止ボタンをタップします。
- 録音時間が赤色で表示されている録音データは、「録音データ再生可能時間」に設定された時間分までしか再生されません。

お知らせ

- 再生操作した機器のハードウェア構成や設定、インストールされたソフトウェアなどにより、正常に再生されない場合があります。
- 再生されなかったとき、一時的に「再生済」表示になる場合があります。

録音内容をファイルで保存する（録音データダウンロード）

一覧表示された録音データから選択して、ファイルとしてクライアントPCにダウンロードすることができます。

1 録音データ一覧表示を行い、保存したい録音データを選択し、チェックを入れ、［選択した音声メールを一括ダウンロード］をクリックする。

ワンポイント

- ［全選択］と［全解除］ボタンにより、表示されているすべてを選択／解除することもできます。
- 表示されている一覧（最大20件）からのみ選択できます。表示されていない録音データをダウンロードするときは、検索やページ切り替えを行い、その都度ダウンロード操作を行う必要があります。

2 内容を確認し、［WAVダウンロード］または［MP3ダウンロード］をクリックする。

お知らせ

- 録音時間が赤色で表示されている録音データをダウンロードするときは、［WAVダウンロード］を選択してください。［MP3ダウンロード］を選択した場合、「録音データ再生可能時間」に設定された時間分までの録音データがダウンロードされます。

3 Windowsで表示される手順に従って、ファイルを保存する。

ワンポイント

- ダウンロードされる録音データのファイル名は、α NX/NX Ⅱ主装置の仕様によります。
- 複数選択してダウンロード実行したときは、zip形式で圧縮した以下の名前のファイルがダウンロードされます。
  vmdata_YYYYMMDDhhmmss.zip
  （YYYY:年,MM:月,DD:日,hh:時,mm:分,ss:秒）

録音内容を選択して消去する

一覧表示された録音データから選択して、WEB アドレス帳ボックスから消去することができます。

1 録音データー覧表示を行い、消去したい録音データを選択し、チェックを入れ、［選択した音声メールを一括削除］をクリックする。

ワンポイント

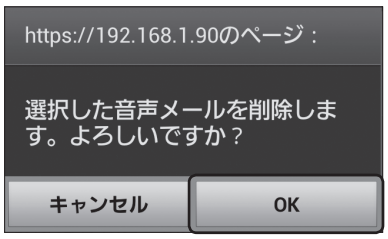
- ［全選択］と［全解除］ボタンにより、表示されているすべてを選択／解除することもできます。
- 表示されている一覧（最大 20 件）からのみ選択できます。表示されていない録音データを消去するときは、検索やページ切り替えを行い、その都度消去操作を行う必要があります。

2 ［OK］をクリックする。

【モバイル用画面／メディア IP 電話機】

1 録音データー覧表示を行い、消去したい録音データを選択し、チェックを入れ、［削除］をタップする。

2 ［OK］をタップする。



管理者画面にログインする

管理者 ID とパスワードを入力し、WEB アドレス帳ボックスの管理者としてログインすることができます。

1 Web ブラウザを起動し、https://（本商品の IP アドレス）/telbook/ にアクセスする。

2 管理者 ID とパスワードを入力し、[ログイン]をクリックする。

お知らせ

●モバイル用ログイン画面やメディア IP 電話機から管理者 ID でログインすることはできません。

WEBアドレス帳ボックスの証明書を管理者画面からPCにダウンロードする

Internet Explorer のセキュリティ警告画面や証明書のエラーを表示しないようにするために必要な証明書を管理者画面からもダウンロードすることができます。

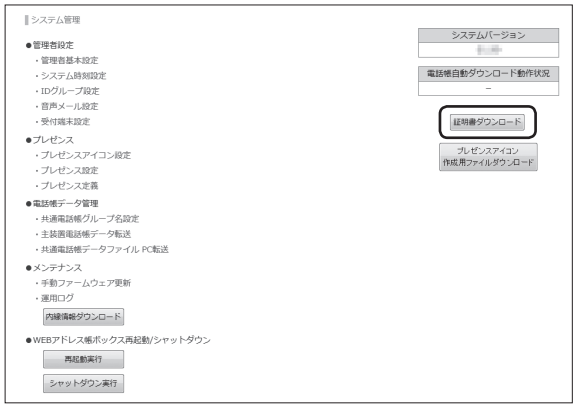
お知らせ

- セキュリティ警告や証明書エラーが表示される状態でも、問題なく WEB アドレス帳ボックスをお使いいただくことができます。
- セキュリティ設定を変更することにより、なりすましなど悪意のある外部サイトに対する Internet Explorer のセキュリティが低下する恐れがあります。PC の利用者（複数ユーザの利用有無）や用途、ネットワーク構成などを考慮し、慎重に判断してください。

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 ［証明書ダウンロード］をクリックする。



3 Windows で表示される手順に従って、証明書ファイル（Rootca.cer）をダウンロードする。

ワンポイント

- 管理者画面でダウンロードできる証明書は、一般ユーザ画面でダウンロードできるものと同じです。
- ダウンロードした証明書のインポート方法や Internet Explorer の設定については、「WEB アドレス帳ボックスの証明書を Internet Explorer にインポートする」（☛P49）、および「Internet Explorer の証明書警告の設定を変更する」（☛P51）を参照してください。

ユーザ情報やログイン状態を管理する

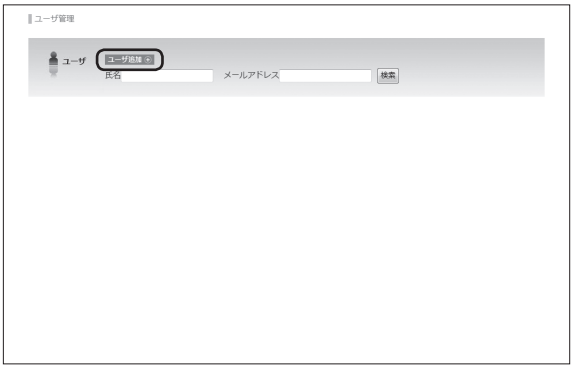
WEB アドレス帳ボックスにログインできるユーザの情報やログイン状態を管理します。

ユーザを新規登録する

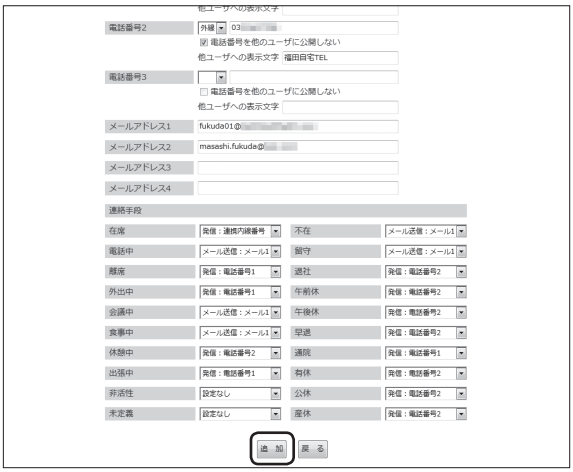
【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「ユーザ管理」をクリックする。

2 [ユーザ追加] をクリックする。



3 ユーザ ID やパスワードなどを入力して [追加] をクリックする。



ワンポイント

●ユーザ情報の詳細については、「ユーザ情報の項目詳細」（☛P44）を参照してください。

4 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

ワンポイント

●ID グループ、連携内線番号以外の項目は、各ユーザがログインして各自で変更できます。

●氏名を「主装置の内線名称を適用する」に設定するときは、連携内線番号を指定する必要があります。

●電話番号を登録するときは、電話番号 1 から順に入力してください。電話番号 1 を空欄のまま電話番号 2 に入力した場合、[追加] をクリックしたときに電話番号 1 として登録されます。メールアドレスについても同様にメールアドレス 1 を空欄のままメールアドレス 2 に入力すると、[追加] をクリックしたときにメールアドレス 1 として登録されます。（若番に詰めて登録されます）

●電話番号を「他のユーザに公開しない」として登録した場合、管理者以外の他ユーザに非表示となります。このとき、「他ユーザへの表示文字」で指定した文字が代わりに表示されます。

●連絡手段を設定するときは、[追加] をクリックしたあと、再度ユーザ情報表示を行い、電話番号やメールアドレスの登録内容を再確認してください。

●連携内線番号を登録した場合、プレゼンス詳細画面などでユーザの電話番号を表示するときに電話番号 1 として表示され、電話番号 1、電話番号 2、電話番号 3 は、それぞれ電話番号 2、電話番号 3、電話番号 4 として表示されます。

●受付端末 ID の設定は、本手順ではなく受付端末設定で行います。（「受付端末 ID を設定する」（☛P153）参照）

お知らせ

●氏名を「主装置の内線名称を適用する」に設定しているとき、α NX/NX Ⅱから取得した氏名に変更があった場合、設定していた氏名（カナ）は消去されます。

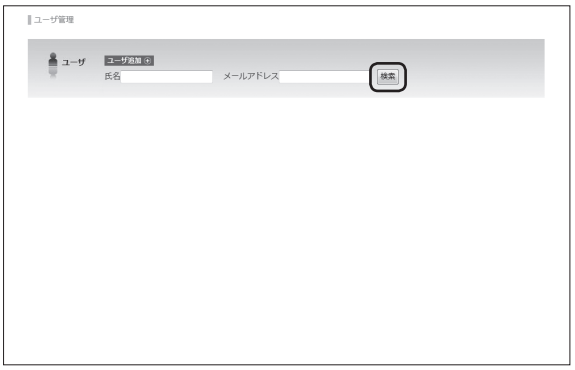
●電話番号を「他のユーザに公開しない」として登録しても、発信履歴や、α NX/NX Ⅱ主装置の電話機などへ電話番号が表示される場合があります。

登録されているユーザの一覧を表示する

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「ユーザ管理」をクリックする。

2 ［検索］をクリックする。



ワンポイント

●絞り込み表示を行う場合は、氏名やメールアドレスを入力してから［検索］をクリックします。

ワンポイント

●ユーザ一覧表示時、ログインしているユーザは IP アドレスと［ログアウト］が表示されます。

お知らせ

●IP アドレスは、WEB アドレス帳ボックスまたは WEB アドレス帳ボックスにアクセスした機器のネットワーク経路によって正しく表示されない場合があります。

ログイン中のユーザを強制ログアウトさせる

管理者がメンテナンスを行うときやユーザがログアウトし忘れたときなどに管理者の操作によりユーザをログアウトさせることができます。
また、受付端末をログアウトさせるときも、以下の手順で行います。

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「ユーザ管理」をクリックする。

2 ［検索］をクリックする。

ワンポイント

●絞り込み表示を行う場合は、氏名やメールアドレスを入力してから［検索］をクリックします。

3 ログアウトさせるユーザの［ログアウト］をクリックする。

4 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

お知らせ

●管理者によって強制ログアウトされたユーザの編集中データ（保存していないデータ）は破棄されます。（最後に保存された内容に戻ります）

●各ユーザのログイン状態は、管理者がユーザ一覧表示操作をした時点のものが表示され、画面の自動更新は行いません。そのため、タイミングによっては［ログアウト］をクリックした時点ではすでにログアウトされている、またはログインしているユーザの［ログアウト］が表示されない場合があります。

ユーザ情報やログイン状態を管理する

登録されているユーザ情報を編集する

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「ユーザ管理」をクリックする。

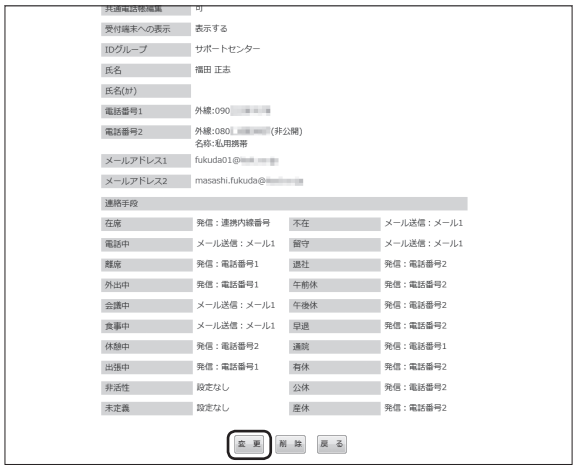
2 ［検索］をクリックする。

ワンポイント

●絞り込み表示を行う場合は、編集したいユーザの氏名やメールアドレスを入力してから［検索］をクリックします。

3 編集したい氏名をクリックする。

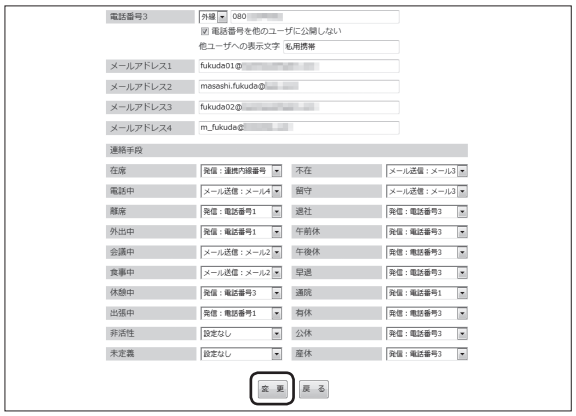
4 現在の設定内容を確認し、［変更］をクリックする。



ワンポイント

●ユーザ情報についての詳細は、「ユーザ情報の項目詳細」（☛P44）を参照してください。

5 内容を変更し、［変更］をクリックする。



6 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

ワンポイント

●パスワードは、現在設定されている文字数に関係なく“●●●●●●●●”と表示されます。

●パスワードを変更する場合は、「パスワード（確認用）」に同じものを入力する必要があります。

●氏名を「主装置の内線名称を適用する」に設定するときは、連携内線番号を指定する必要があります。

●電話番号を登録するときは、電話番号１から順に入力してください。電話番号１を空欄のまま電話番号２に入力した場合、［変更］をクリックしたときに電話番号１として登録されます。メールアドレスについても同様にメールアドレス１を空欄のままメールアドレス２に入力すると、［変更］をクリックしたときにメールアドレス１として登録されます。（若番に詰めて登録されます）

●電話番号を「他のユーザに公開しない」として登録した場合、管理者以外の他ユーザに非表示となります。このとき、「他ユーザへの表示文字」で指定した文字が代わりに表示されます。

●連絡手段を設定するときは、［変更］をクリックしたあと、再度ユーザ情報表示を行い、電話番号やメールアドレスの登録内容を再確認してください。

お知らせ

●電話番号を「他のユーザに公開しない」として登録しても、発信履歴や、α NX/NX Ⅱ主装置の電話機などへ電話番号が表示される場合があります。

●氏名を「主装置の内線名称を適用する」に設定しているとき、α NX/NX Ⅱから取得した氏名に変更があった場合、設定していた氏名（カナ）は消去されます。

登録されているユーザを削除する

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「ユーザ管理」をクリックする。

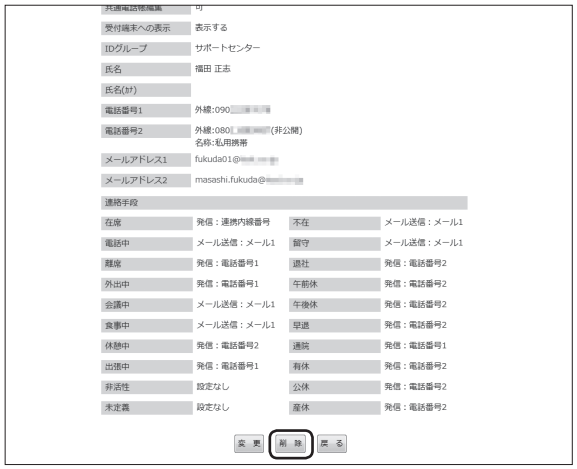
2 ［検索］をクリックする。

ワンポイント

●絞り込み表示を行う場合は、氏名やメールアドレスを入力してから［検索］をクリックします。

3 削除したいユーザ名をクリックする。

4 ［削除］をクリックする。



5 削除してもよいか再度内容を確認し、［削除］をクリックする。

6 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

IDグループを管理する

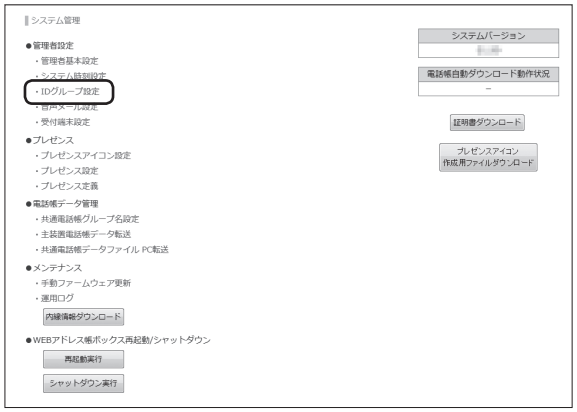
すべてのユーザは、グループ 1 ～ 20 のいずれかの ID グループに属します。
この ID グループの名前を変更したり、プレゼンス表示時に選択するときなどの表示順を設定することができます。

IDグループ名を設定する

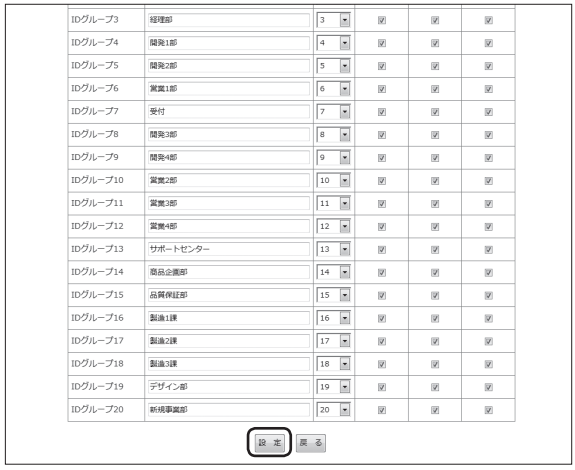
【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「ID グループ設定」をクリックする。



3 グループ名を編集し、[設定] をクリックする。



4 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

ワンポイント

●すべてのユーザは、グループ 1 ～ 20 のいずれかの ID グループに属します。各ユーザがログインしてプレゼンス表示を行うとき、ID グループごとに表示されます。

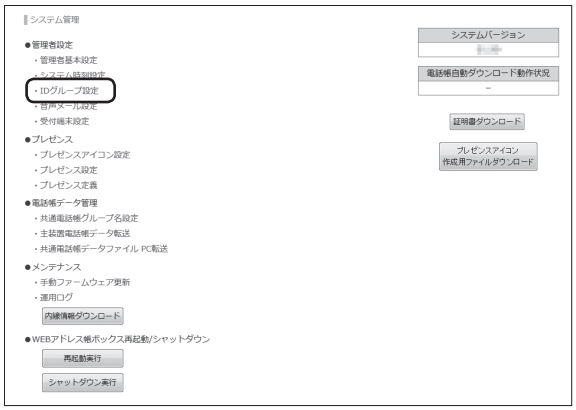
IDグループの表示順を設定する

表示順の設定は、主に以下の画面で適用されます。
・ プレゼンス一覧画面のプルダウンメニューの順序
・ 受付端末でグループ検索するときのボタン表示順序

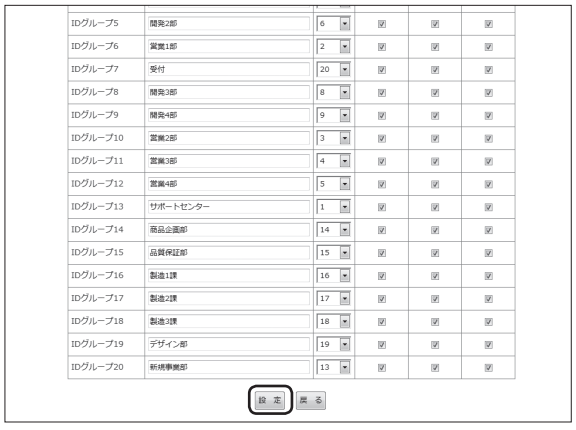
【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「ID グループ設定」をクリックする。



3 表示順を選択し、[設定] をクリックする。



ワンポイント

●表示順の値が低いものが上に表示されるようになります。ユーザが多い ID グループやよく検索される ID グループを低い値に設定すると便利です。

4 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

無操作状態が継続したときの自動ログアウト時間を設定する

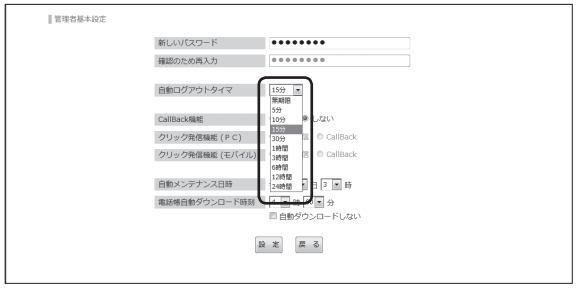
ユーザがログインしたまま何も操作しない状態が継続したとき、自動でログアウトさせることができます。管理者はログアウトさせるまでの時間の変更または自動ログアウトを無効にすることができます。

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「管理者基本設定」をクリックする。

3 「自動ログアウトタイマ」プルダウンメニューから選択する。



ワンポイント

●「無期限」を選択すると、自動ログアウトは動作せず、無操作状態が継続してもログイン状態が継続するようになります。

4 [設定] をクリックする。

5 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

お知らせ

●受付端末 ID でログインしている時に本機能は動作せず、ログイン状態が継続します。

●自動ログアウトされると、設定や表示ができなくなります。さらに時間が経過すると、ログイン画面に切り替わります。ログインするには再度ユーザ ID とパスワードを入力する必要があります。

●ログインしている状態のときに本商品の日時が変更されると、本機能が正常に動作しない場合があります。

●以下の操作を実行して処理が完了していない場合、操作したユーザは自動ログアウトされません。

- 電話帳アップロード
- 電話帳ダウンロード
- 電話帳インポート
- 電話帳エクスポート
- 録音データ再生

共通電話帳を管理する（管理者）

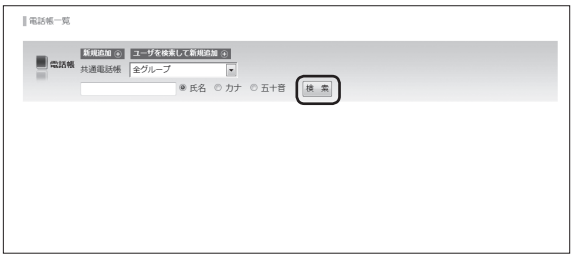
管理者は、共通電話帳のデータを主装置から読み込んだり、編集して主装置へ書き込んだりすることができます。
また、共通電話帳の編集許可／不許可をユーザごとに設定することもできます。

登録されている内容を表示する

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「共通電話帳管理」をクリックする。

2 ［検索］をクリックする。
絞り込み表示を行う場合は、電話帳グループ、氏名、カナの検索条件を 1 つ以上指定してから［検索］をクリックします。



ワンポイント

- 氏名が登録されていない電話帳データは、“(氏名未登録)”と表示されます。
- α NX/NX Ⅱ主装置 type-L と接続していてプレゼンス取得内線と電話帳登録した内線番号が一致した場合のみプレゼンスアイコンが表示されます。
- 電話帳一覧画面では、電話番号は 12 桁、メールアドレスは 21 文字まで表示します。それよりも長い内容が登録されている場合、氏名をクリックして詳細表示することにより確認することができます。

新規登録する

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「共通電話帳管理」をクリックする。

2 ［新規追加］をクリックする。

3 内容を入力し、［追加］をクリックする。

4 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

ワンポイント

- 登録できる件数は、接続するα NX/NX Ⅱ主装置のタイプや設定によって異なります。
- 画像として登録できるのは、ファイルサイズ 500KB 以下の JPEG または PNG 形式の画像ファイルで、横 72×縦 96 ピクセルのサイズを標準としています。

お知らせ

- 追加した内容は WEB アドレス帳ボックスに保存されますが、主装置の電話帳データには反映されません。主装置へ反映させるにはデータ転送を行う必要があります。（「WEB アドレス帳ボックスの共通電話帳データを主装置に反映させる」（☛P126）参照）
- 電話番号を「他のユーザに公開しない」として登録されている場合、その電話番号は電話帳に登録されません。

共通電話帳を管理する（管理者）

登録済みのユーザ情報を共通電話帳として登録する

【管理者画面】

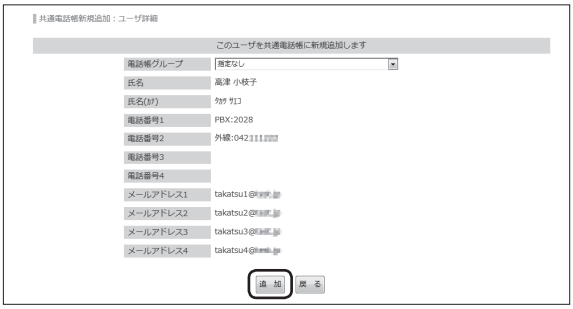
1 画面上部のメニューから「共通電話帳管理」をクリックする。

2 ［ユーザを検索して新規追加］をクリックする。

3 ［検索］をクリックする。
絞り込み表示を行う場合は、氏名やメールアドレスを入力してから［検索］をクリックします。

4 登録したいユーザ氏名をクリックする。

5 ［追加］をクリックする。



6 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

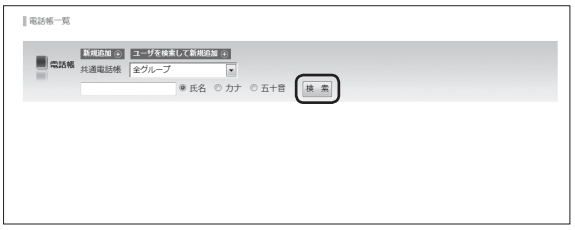
登録されている内容を編集する

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「共通電話帳管理」をクリックする。

2 ［検索］をクリックする。

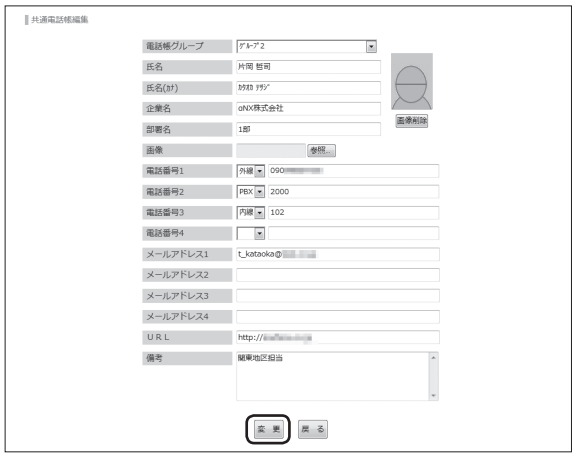
絞り込み表示を行う場合は、電話帳グループ、氏名、カナの検索条件を 1 つ以上指定してから［検索］をクリックします。



3 編集したいデータの氏名をクリックする。

4 ［編集］をクリックする。

5 内容を変更し、［変更］をクリックする。



6 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

ワンポイント

●画像として登録できるのは、ファイルサイズ 500KB 以下の JPEG または PNG 形式の画像ファイルで、横 72 ×縦 96 ピクセルのサイズを標準としています。

お知らせ

●編集した内容は WEB アドレス帳ボックスに保存されますが、主装置の電話帳データには反映されません。主装置へ反映させるにはデータ転送を行う必要があります。（「WEB アドレス帳ボックスの共通電話帳データを主装置に反映させる」（☛P126）参照）

共通電話帳を管理する（管理者）

登録されている内容を削除する

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「共通電話帳管理」をクリックする。

2 ［検索］をクリックする。

絞り込み表示を行う場合は、電話帳グループ、氏名、カナの検索条件を 1 つ以上指定してから［検索］をクリックします。

3 削除したいデータの氏名をクリックする。

4 ［削除］をクリックする。

5 削除してもよいか再度内容を確認し、［削除］をクリックする。

6 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

お知らせ

●削除した内容は WEB アドレス帳ボックスからは消去されますが、主装置の電話帳データからは消去されません。主装置のデータも削除するにはデータ転送を行う必要があります。（「WEB アドレス帳ボックスの共通電話帳データを主装置に反映させる」（☛P126）参照）

ユーザごとに共通電話帳の編集許可／不許可を設定する

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「ユーザ管理」をクリックする。

2 「検索」をクリックする。

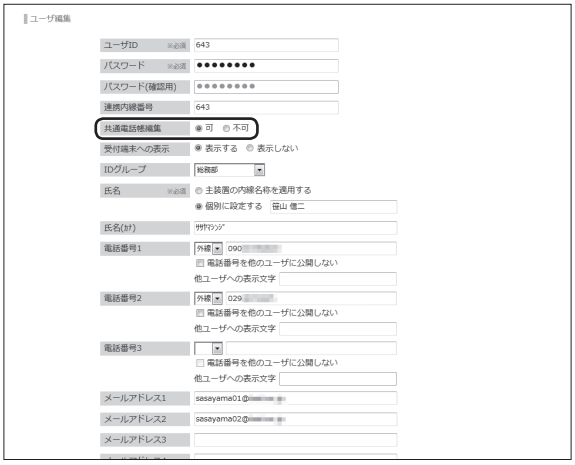
ワンポイント

●絞り込み表示を行う場合は、編集したいユーザの氏名やメールアドレスを入力してから［検索］をクリックします。

3 設定したい氏名をクリックする。

4 ［変更］をクリックする。

5 共通電話帳編集 可／不可をラジオボタンで選択する。



6 ［変更］をクリックする。

7 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

ワンポイント

●共通電話帳編集「不可」のユーザは、以下を行うことができません。

- 共通電話帳新規登録
- 共通電話帳編集
- 共通電話帳削除
- 共通電話帳グループ名変更
- 共通電話帳データの主装置への反映

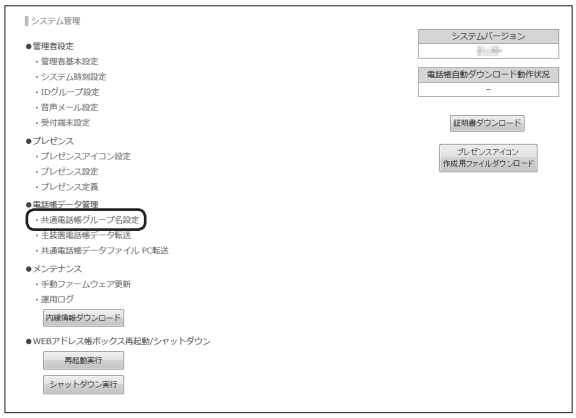
共通電話帳を管理する（管理者）

共通電話帳グループ名を設定する

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「共通電話帳グループ名設定」をクリックする。



3 内容を編集し、［設定］をクリックする。

4 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

ワンポイント

●α NX/NX Ⅱ主装置 type-S/M 接続時は、ここで設定した共通電話帳グループ名が個別電話帳のグループ名にも適用されます。

お知らせ

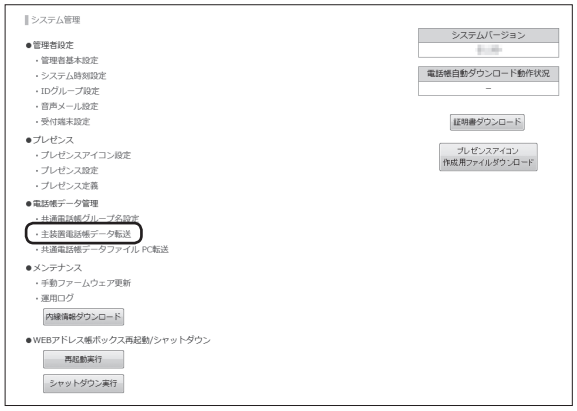
●編集した内容は WEB アドレス帳ボックスには保存されますが、主装置のデータには反映されません。主装置へ反映させるにはデータ転送を行う必要があります。（「WEB アドレス帳ボックスの共通電話帳データを主装置に反映させる」（☛P126）参照）

主装置の共通電話帳データをWEBアドレス帳ボックスに取り込む

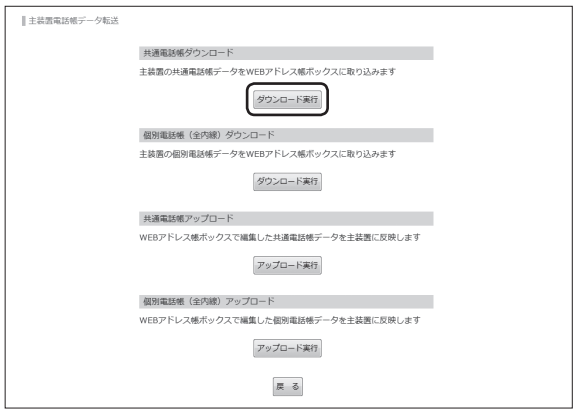
【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「主装置電話帳データ転送」をクリックする。



3 「共通電話帳ダウンロード」の［ダウンロード実行］をクリックする。



4 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

お知らせ

- 共通電話帳データに WEB アドレス帳ボックスでのみ使用するデータ（「電話帳データの項目詳細」（☛P45）参照）が登録されている状態で主装置から共通電話帳データを取り込んだとき、以下のいずれかに該当する場合、WEB アドレス帳ボックスでのみ使用するデータは削除されます。
  - 対象となる電話帳データが主装置に反映されていない、または主装置側で削除された場合
  - 対象となる電話帳データの「氏名」が主装置と WEB アドレス帳ボックスで一致しない場合
- 主装置から共通電話帳データを取り込むと、WEB アドレス帳ボックスに登録された共通電話帳データは、主装置から取り込んだデータに書き換わります。そのため、共通電話帳の内容を WEB アドレス帳ボックスで変更したときは、主装置へ反映させてから本操作を行ってください。（「WEB アドレス帳ボックスの共通電話帳データを主装置に反映させる」（☛P126）参照）
- 主装置の電話帳データのうち、電話番号が 1 つも登録されていないデータは、取り込まれません。

共通電話帳を管理する（管理者）

WEBアドレス帳ボックスの共通電話帳データを主装置に反映させる

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「主装置電話帳データ転送」をクリックする。

3 「共通電話帳アップロード」の［アップロード実行］をクリックする。

4 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

ワンポイント

●画面最上部に表示される［編集した電話帳を主装置へ反映］をクリックして実行することもできます。

お知らせ

●本機能を実行すると、共通電話帳データのうち、以下のものが主装置へ反映されます（他ユーザが操作した内容も反映されます）。

- 編集した共通電話帳グループ名
- 新規登録した共通電話帳データ
- 編集／削除した共通電話帳データ

共通電話帳データをPCで扱う（インポート／エクスポート）

WEB アドレス帳ボックスの共通電話帳のデータを PC のファイルとして管理、編集することができます。
これにより、データの保存や PC での編集を行うことができます。

電話帳データをファイルとしてPCに保存する（エクスポート）

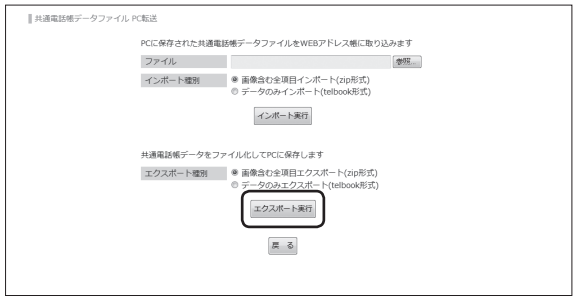
【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「共通電話帳データファイルPC転送」をクリックする。

3 エクスポート種別をラジオボタンで選択する。

4 [エクスポート実行] をクリックする。



5 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

6 Windows で表示される手順に従って、ファイルを保存する。

共通電話帳データをPCで扱う（インポート／エクスポート）

エクスポートした電話帳データファイルをPCで編集する

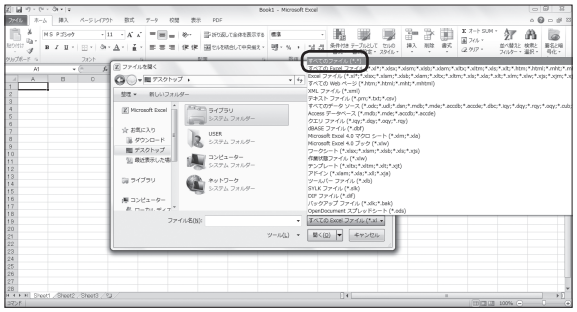
お知らせ

- 編集できるのは、telbook 形式のファイルのみです。「画像含む全項目エクスポート（zip 形式）」により保存したファイルは編集することができません。
- 本取扱説明書は、Microsoft Excel 2010 での編集例を記載しています。

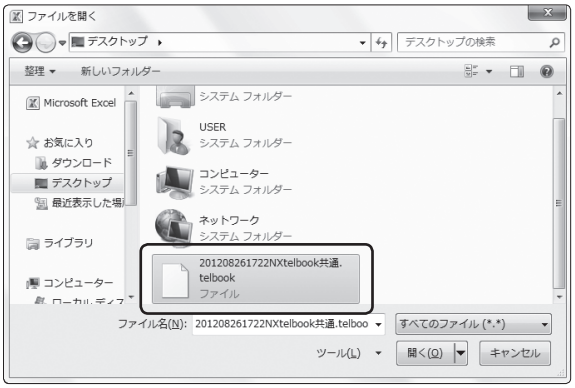
1 Microsoft 社のアプリケーション「Excel」を起動する。

2 メニューから「ファイル」を選択し、「開く」をクリックする。

3 プルダウンメニューから「すべてのファイル」を選択する。

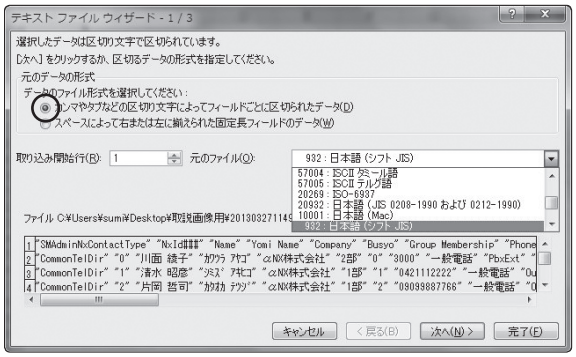


4 エクスポートした電話帳データのファイル名を指定する。



5 [開く] をクリックする。

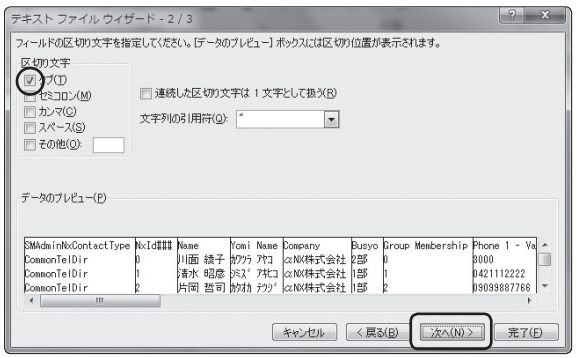
6 「元のデータの形式」を「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」に選択する（ラジオボタン）。



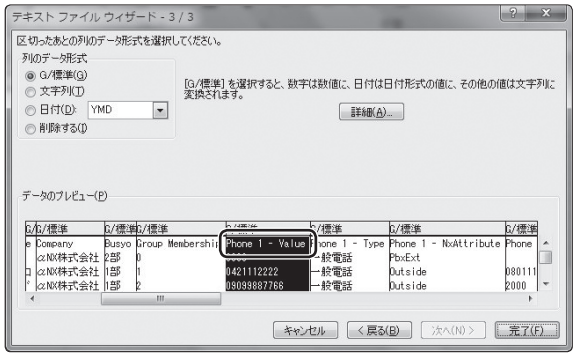
7 「元のファイル」をプルダウンメニューから「932 : 日本語（シフト JIS）」を選択する。

8 [次へ] をクリックする。

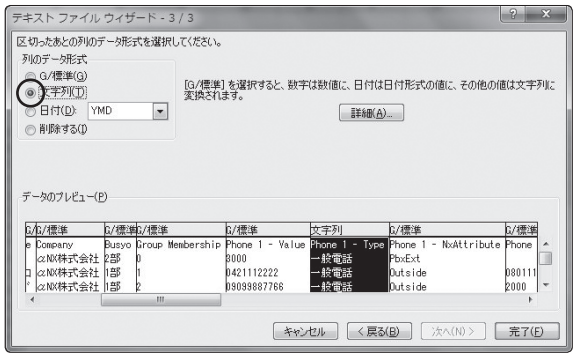
9 「区切り文字」から「タブ」のみにチェックを入れ、[次へ] をクリックする。



10 ウィンドウ内下部に表示されるスクロールバーで右側の項目を表示させ、「Phone 1 - Value」をクリックする。



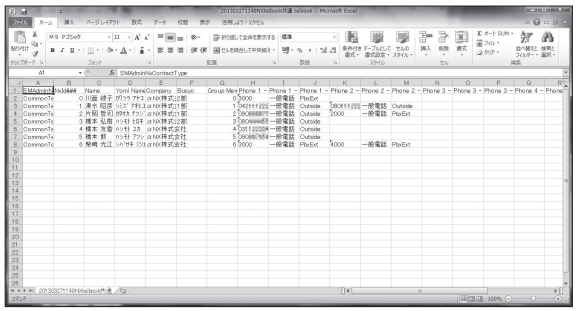
11 ウィンドウ内左上の「列のデータ形式」からラジオボタンで「文字列」に選択する。



12 手順 *10*、*11* を繰り返し、「Phone 2 - Value」、「Phone 3 - Value」、「Phone 4 - Value」も「文字列」に選択する。

13 [完了] をクリックする。

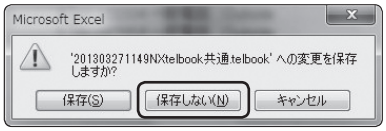
14 編集する。



15 メニューから「ファイル」を選択し、「上書き保存」をクリックする。

16 保存形式のダイアログが表示されたら、[はい] をクリックする。

17 Excel を終了する。変更保存のダイアログが表示されたら、[保存しない] をクリックする。



（次ページに続く）

共通電話帳データをPCで扱う（インポート／エクスポート）

ワンポイント

●編集できる項目は以下の通りです。
（登録可能な文字数や桁数、記号の種類などは「電話帳データの項目詳細」（☛P45）参照）

ファイル1行目の表記	意味	備考	必須
（α NX/NXⅡ主装置 type-L 接続時） LAdminNxContactType （α NX/NXⅡ主装置 type-S/M 接続時） SMAdminNxContactType	電話帳種別	CommonTelDir と記述します。それ以外の文字は記述しないでください。	○
（α NX/NXⅡ主装置 type-S/M と接続していて、電話帳メモリ番号を 2 桁で運用している場合） NxId## （上記以外） NxId###	メモリ番号	各行で異なる番号にする必要があります。範囲については、接続しているα NX/NX Ⅱ主装置のタイプや設定により異なります。	○
Name	氏名		
Yomi Name	氏名（カナ）		
Company	企業名		
Busyo	部署名		
Group Membership	電話帳グループ	グループ名ではなく、0（指定なし）、1 ～ 9 を半角で記述します。	○
Phone 1 - Value	電話番号 1 －電話番号	必ず記述する必要があります。	○
Phone 1 - Type	電話番号 1 －登録種別	新規に追加するときは、“一般電話”と記述します。	○
Phone 1 - NxAttribute	電話番号 1 －属性	内線の場合は“Ext”（α NX/NXⅡ主装置 type-L 接続時のみ）、外線の場合は“Outside”、PBX の場合は“PbxExt”と記述します。	○
Phone 2 - Value	電話番号 2 －電話番号		
Phone 2 - Type	電話番号 2 －登録種別	新規に追加するときは、“一般電話”と記述します。	
Phone 2 - NxAttribute	電話番号 2 －属性	内線の場合は“Ext”（α NX/NXⅡ主装置 type-L 接続時のみ）、外線の場合は“Outside”、PBX の場合は“PbxExt”と記述します。	
Phone 3 - Value	電話番号 3 －電話番号		
Phone 3 - Type	電話番号 3 －登録種別	新規に追加するときは、“一般電話”と記述します。	
Phone 3 - NxAttribute	電話番号 3 －属性	内線の場合は“Ext”（α NX/NXⅡ主装置 type-L 接続時のみ）、外線の場合は“Outside”、PBX の場合は“PbxExt”と記述します。	
Phone 4 - Value	電話番号 4 －電話番号		
Phone 4 - Type	電話番号 4 －登録種別	新規に追加するときは、“一般電話”と記述します。	
Phone 4 - NxAttribute	電話番号 4 －属性	内線の場合は“Ext”（α NX/NXⅡ主装置 type-L 接続時のみ）、外線の場合は“Outside”、PBX の場合は“PbxExt”と記述します。	
Mail 1	メールアドレス 1		
Mail 2	メールアドレス 2		
Mail 3	メールアドレス 3		
Mail 4	メールアドレス 4		
URL	URL		
Remarks	備考	改行は“¥n”と記述します。	

ファイルとしてPCに保存された共通電話帳データをWEBアドレス帳ボックスに反映させる（インポート）

お知らせ

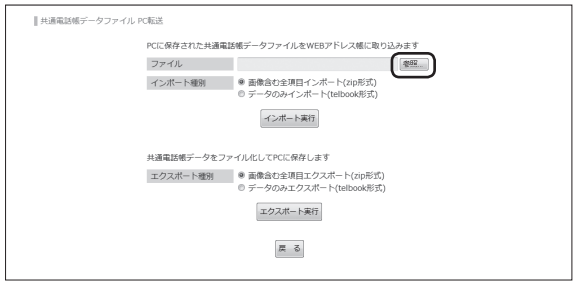
●電話帳自動ダウンロード時刻が近いときは、以下の操作は行わないでください。

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

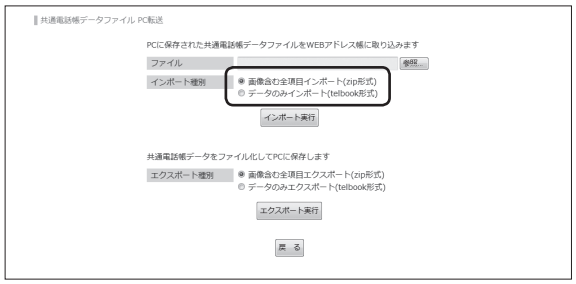
2 「共通電話帳データファイルPC転送」をクリックする。

3 「参照」をクリックする。



4 インポートするファイルを選択する。

5 インポート種別をラジオボタンで選択する。



6 「インポート実行」をクリックする。

7 確認ダイアログが表示されたら、「OK」をクリックする。

お知らせ

●電話帳データをインポートすると、WEB アドレス帳ボックスに登録されていた電話帳データが削除され、インポートファイルの内容に書き換わります。

●運用中の電話帳データに追加したい場合は、telbook 形式で最新の電話帳データのエクスポートを行い、編集して行を追加したファイルをインポートしてください。

●ファイル内の記述に書式誤りがある場合はインポートできません。

●電話帳データをインポートしたときは、WEB アドレス帳ボックスの電話帳データを主装置へ反映してください。主装置へ反映していない状態で主装置の共通電話帳データを取り込むと、氏名や電話番号などが主装置のデータに更新され、インポートしたデータの企業名やメールアドレスなどと整合性が崩れる場合があります。（「WEB アドレス帳ボックスの共通電話帳データを主装置に反映させる」（☛P126）参照）

すべての電話帳を管理する

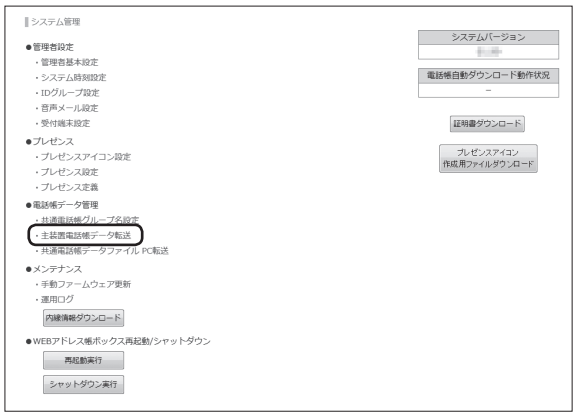
主装置のすべての内線の個別電話帳データをWEBアドレス帳ボックスに取り込む

すべての内線の個別電話帳データを管理者がまとめて主装置からダウンロードすることができます。

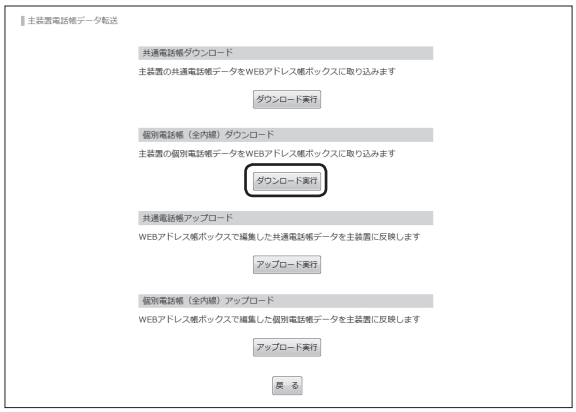
【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「主装置電話帳データ転送」をクリックする。



3 「個別電話帳（全内線）ダウンロード」の［ダウンロード実行］をクリックする。



4 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

お知らせ

- 連携設定されたすべての内線の個別電話帳のデータがダウンロード対象となるため、主装置とのデータ伝送量が一時的に多くなり、ダウンロード中はログインしている他のユーザからのデータアクセスが制限される場合があります。
- 個別電話帳データに WEB アドレス帳ボックスでのみ使用するデータ（「電話帳データの項目詳細」（☛P45）参照）が登録されている状態で主装置から個別電話帳データを取り込んだとき、以下のいずれかに該当する場合、WEB アドレス帳ボックスでのみ使用するデータは削除されます。
  - 対象となる電話帳データが主装置に反映されていない、または主装置側で削除された場合
  - 対象となる電話帳データの「氏名」が主装置と WEB アドレス帳ボックスで一致しない場合
- 主装置の電話帳データのうち、電話番号が 1 つも登録されていないデータは、取り込まれません。

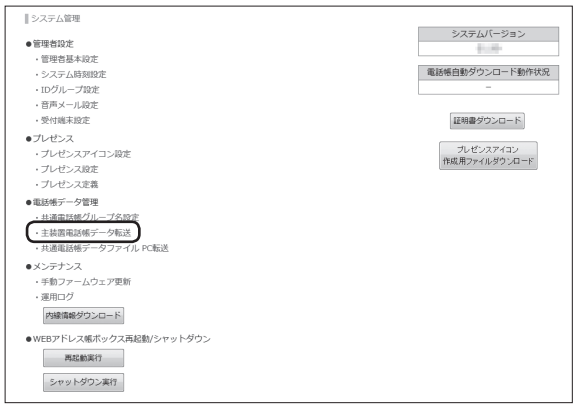
WEBアドレス帳ボックスのすべての内線の個別電話帳データを主装置に反映させる

すべての内線の個別電話帳データを管理者がまとめて主装置へアップロードすることができます。

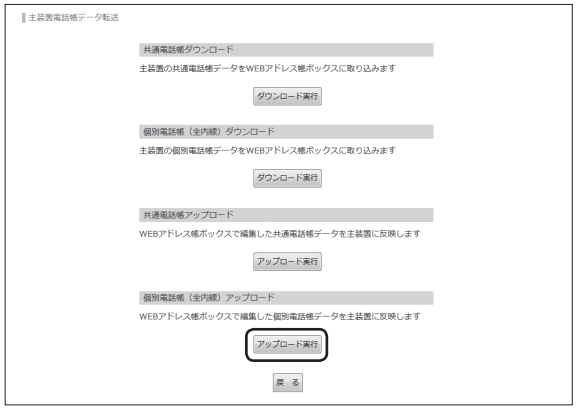
【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「主装置電話帳データ転送」をクリックする。



3 個別電話帳（全内線）アップロードの［アップロード実行］をクリックする。



4 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

お知らせ

●本機能を実行すると、以下のデータが主装置へ反映されます。
- 編集した全内線の電話帳グループ名
- 新規登録した全内線の個別電話帳データ
- 編集／削除した全内線の個別電話帳データ

すべての電話帳を管理する

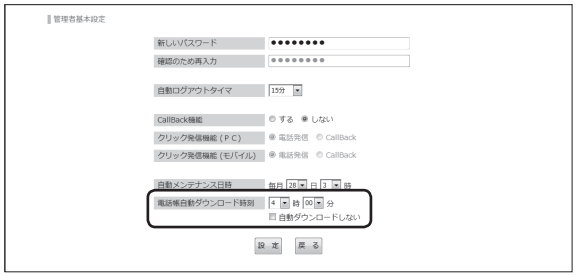
主装置の電話帳データを一日一回自動でWEBアドレス帳ボックスに取り込むようにする

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「管理者基本設定」をクリックする。

3 「電話帳自動ダウンロード時刻」で時刻を選択する。



ワンポイント

●自動ダウンロードを行わない場合は、「自動ダウンロードしない」にチェックを入れます。

4 [設定] をクリックする。

5 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

お知らせ

●通信が混みあっているなどの理由により自動ダウンロードできなかった場合、再実行は行いません。

●電話帳自動ダウンロード時刻は、深夜など WEB アドレス帳ボックスの使用が少ない時間帯を指定してください。また、自動メンテナンスの設定と 1 時間以上間隔をあけた時刻に設定してください。

●実行中に通信エラーなどが発生した場合、部分的にダウンロードされた状態でエラー終了する場合があります。

●連携設定されたすべての内線の個別電話帳と共通電話帳のデータがダウンロード対象となるため、主装置とのデータ伝送量が一時的に多くなります。そのため、自動ダウンロード時刻は、ユーザが WEB アドレス帳ボックスにアクセスしない時間帯に設定してください。

●主装置から電話帳データを取り込むと、WEB アドレス帳ボックスに登録された氏名、カナ、電話帳グループ、電話番号はすべて消去され、主装置から取り込んだデータに書き換わります。そのため、電話帳の内容を WEB アドレス帳ボックスで変更したときは、主装置へ反映させてから本操作を行ってください。（「WEB アドレス帳ボックスの共通電話帳データを主装置に反映させる」（☛P126）参照）

●主装置の電話帳データのうち、電話番号が 1 つも登録されていないデータは、取り込まれません。

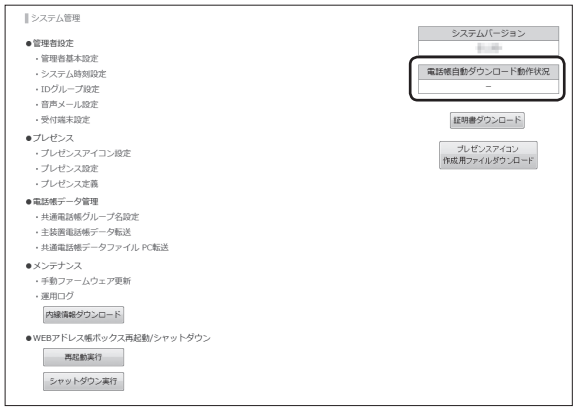
電話帳自動ダウンロード結果を確認する

直近に行われた電話帳自動ダウンロードの実行結果を管理者が確認することができます。

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 画面右上に表示される「電話帳自動ダウンロード動作状況」を確認する。



表示内容は以下の通りです。

内容	意　味
成功	すべての電話帳自動ダウンロードに成功した
失敗	一部またはすべての電話帳自動ダウンロードに失敗した
処理中	電話帳自動ダウンロード処理をおこなっている
－	電話帳自動ダウンロードが実行されていない または、電話帳自動ダウンロードしない設定になっている

プレゼンス表示を管理する

一般ユーザが確認することのできるプレゼンスに関して、プレゼンス名やアイコンなどを管理者が管理することができます。

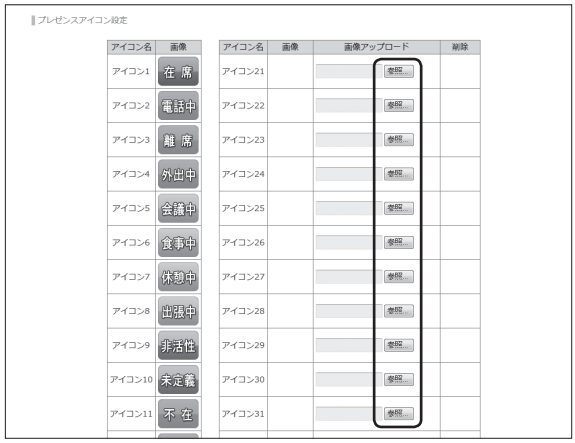
プレゼンス表示に使用する画像を変更する

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「プレゼンスアイコン設定」をクリックする。

3 [参照] をクリックし、用意した画像ファイルを選択する。



ワンポイント

- 画像として登録できるのは、ファイルサイズ500KB以下のJPEGまたはPNG形式の画像ファイルで、横70×縦50ピクセルのサイズを標準としています。
- アップロードした画像をキャンセルする場合は、[削除] をクリックします。

4 [設定] をクリックする。

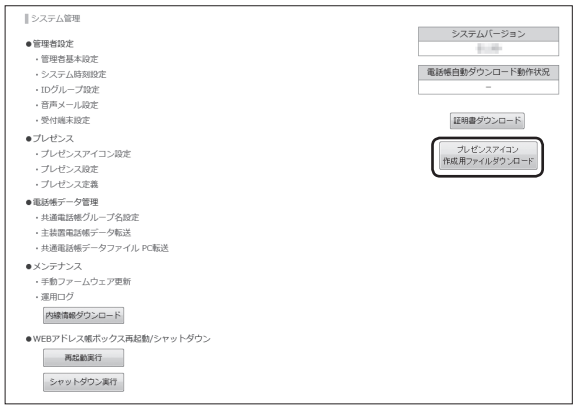
5 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

プレゼンスアイコンのベース画像（文字なし画像ファイル）をダウンロードする

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 ［プレゼンスアイコン作成用ファイルダウンロード］をクリックする。



3 Windows で表示される手順に従って、ファイルを保持する。

お知らせ

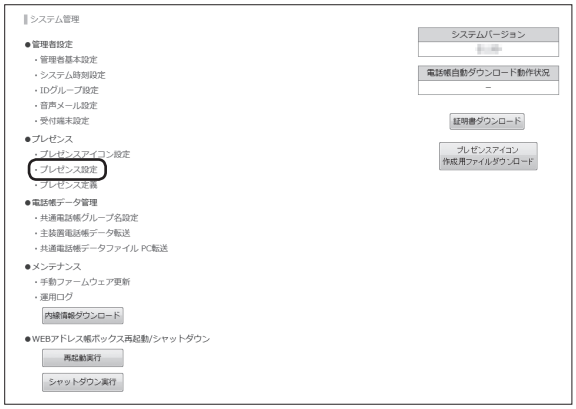
- ダウンロードされるファイルは、複数の画像ファイル（png 形式）を圧縮したファイル（zip 形式）です。
- ベース画像ファイルの加工方法（文字入れなど）は、使用するソフトウェアの説明書などを参照してください。

プレゼンスの状態名やプレゼンスごとのアイコンを変更する

【管理者画面】

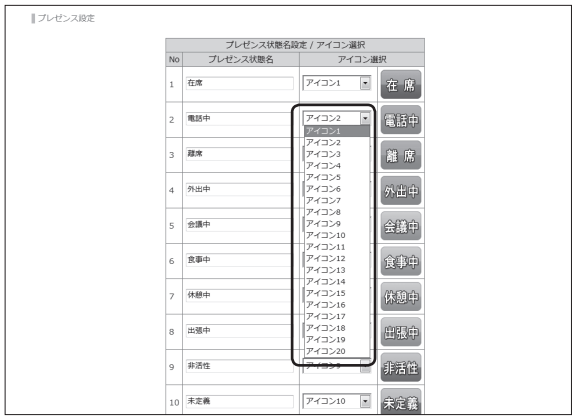
1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「プレゼンス設定」をクリックする。



3 「プレゼンス状態名」を入力する。

4 アイコンをプルダウンメニューから選択する。



ワンポイント

- あらかじめ用意された 20 種類の画像および管理者がアップロードした画像の中から選択できます。（「プレゼンス表示に使用する画像を変更する」（☛P136）参照）

（次ページに続く）

プレゼンス表示を管理する

5 ［設定］をクリックする。

6 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

プレゼンスの定義を変更する

主装置の内線電話機の状態によって随時変動する「判定項目」が「状態」と一致するかを判定順位 1 から判定し、WEB アドレス帳ボックスがプレゼンスを決定します。ここでは、複数の「判定項目」から 1 つの「プレゼンス」を決定するための定義を設定します。たとえば、「端末状態＝使用中」でかつ「不在着信転送設定状態＝起動中」の場合、プレゼンスを「電話中」と「離席中」のどちらとするかはここで設定した定義（判定順位 1 が最優先）に従います。

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「プレゼンス定義」をクリックする。

3 プレゼンス定義をプルダウンメニューから選択して編集する。

4 ［設定］をクリックする。

5 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

ワンタッチコールバック機能を設定する

接続するα NX/NX Ⅱ主装置にワンタッチコールバック機能を使うための工事や設定がされている場合、WEB アドレス帳ボックスからクリック操作で利用することができます。

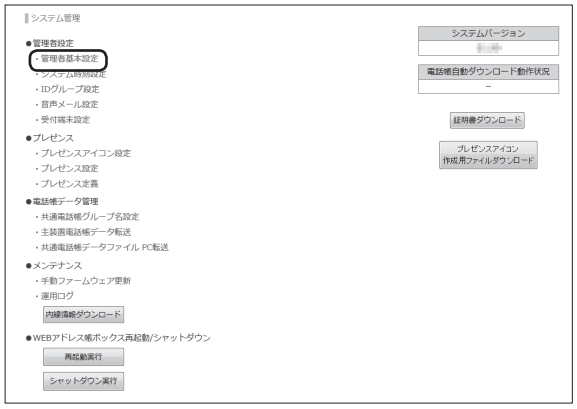
WEBアドレス帳ボックスからワンタッチコールバック機能を利用できるように設定する

電話帳や発信履歴画面などに［CallBack］を表示するための設定をします。

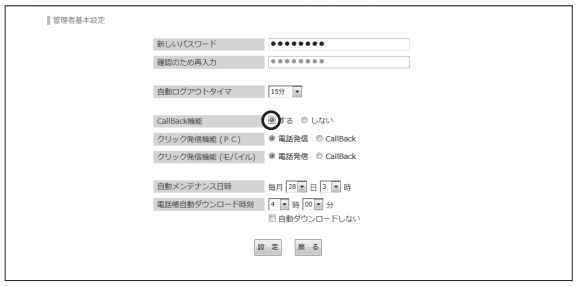
【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「管理者基本設定」をクリックする。



3 ラジオボタンで「CallBack 機能」の「する」を選択する。



4 ［設定］をクリックする。

5 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

お知らせ

- ワンタッチコールバック機能を使うための工事や設定がされていないお客様は設定できない、もしくは設定しても機能は動作しません。
- ワンタッチコールバック機能を使うには、ログインしたユーザ ID のユーザ情報に外線電話番号が登録されている必要があります。

ワンタッチコールバック機能を設定する

ワンタッチコールバック機能を主によく使う発信機能として設定する

以下の操作をしたときにクリックツーコール（電話発信）ではなく、ワンタッチコールバック機能が動作するようにします。

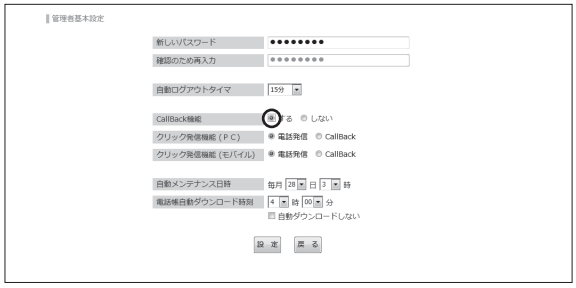
・ 電話帳一覧で相手の電話番号をクリック
・ 連絡手段が電話発信に設定されている相手のプレゼンスアイコンをクリック

【管理者画面】

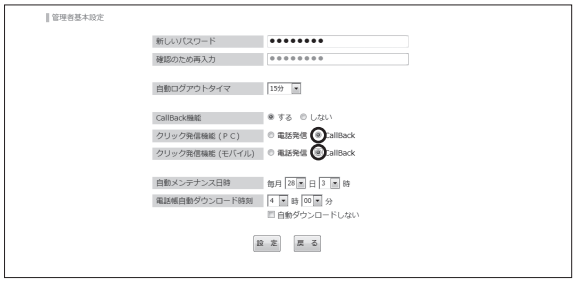
1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「管理者基本設定」をクリックする。

3 ラジオボタンで「CallBack 機能」の「する」を選択する。



4 ラジオボタンで「クリック発信機能（PC）」または「クリック発信機能（モバイル）」の「CallBack」を選択する。



ワンポイント

●「クリック発信機能（PC）」は、PC 用ログイン画面よりログインしたユーザに適用、「クリック発信機能（モバイル）」は、モバイル用ログイン画面よりログインしたユーザおよびビジネスフォンαクライアントからアクセスしたユーザに適用されます。

5 [設定] をクリックする。

6 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

内線名称などの内線情報を主装置から取得する

接続しているα NX/NX Ⅱ主装置で設定されている内線情報やビジネスフォンαクライアントを動作させるためのデータを取得して最新のものに更新することができます。

ワンポイント

●本機能は、本商品の起動時（再起動含む）にも実行されます。

内線名称などの内線情報を主装置から取得する

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「メンテナンス」の［内線情報ダウンロード］をクリックする。

3 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

お知らせ

●ビジネスフォンαクライアント動作用のデータは、ビジネスフォンαクライアントを使うための工事や設定がされている場合のみ取得します。

●主装置から取得したビジネスフォンαクライアント動作用データをビジネスフォンαクライアントに反映させるには、ビジネスフォンαクライアントの再起動が必要です。詳細については、ビジネスフォンαクライアントの取扱説明書を確認してください。

WEBアドレス帳ボックスシステムを管理する

管理者の操作により、WEB アドレス帳ボックスのシャットダウンや再起動、メンテナンス設定の変更などを行うことができます。

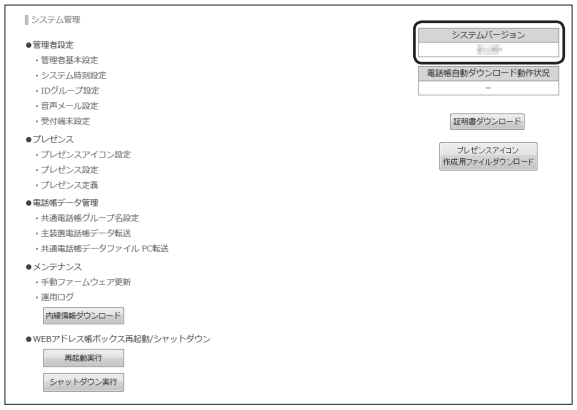
WEBアドレス帳ボックスのバージョンを確認する

お客様がお使いの WEB アドレス帳ボックスのプログラムバージョンを確認することができます。

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 画面右上に表示される「システムバージョン」を確認する。



お知らせ

●本商品について当社にお問い合わせ時、バージョンを確認させていただく場合があります。

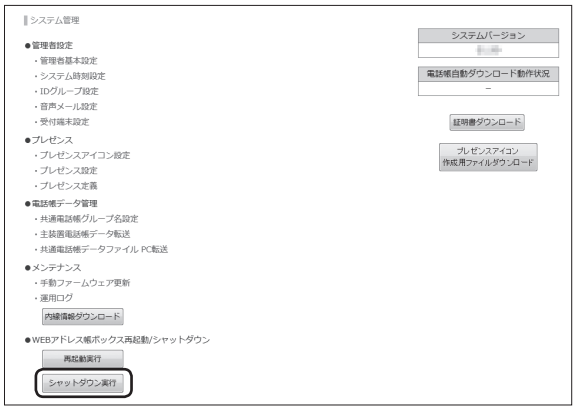
WEBアドレス帳ボックスをシャットダウンする

管理者の操作により、WEB アドレス帳ボックスをシャットダウンし、電源プラグを電源コンセントから抜いても問題がない状態にすることができます。

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「シャットダウン実行」をクリックする。



3 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

ログイン中のユーザがいる場合は、その旨表示されます。ログインしているユーザを特定する場合は、ユーザ管理画面で確認できます。（「ログイン中のユーザを強制ログアウトさせる」（☛P113）参照）

お知らせ

●シャットダウンせずに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜くと、データが一部消去される場合があります。

●ログインしているユーザがいる状態でシャットダウンを実行した場合、ユーザが編集していたデータ（保存していないデータ）は破棄されます。（最後に保存された内容に戻ります）

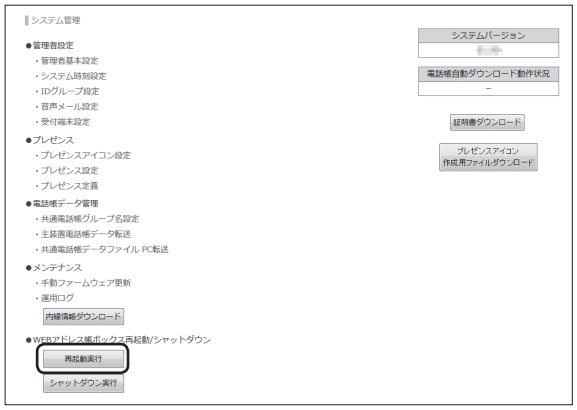
WEBアドレス帳ボックスを再起動する

管理者の操作により、WEB アドレス帳ボックスを再起動することができます。

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「再起動実行」をクリックする。



3 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

ログイン中のユーザがいる場合は、その旨表示されます。ログインしているユーザを特定する場合は、ユーザ管理画面で確認できます。(「ログイン中のユーザを強制ログアウトさせる」(☛P113) 参照)

自動メンテナンス日時を変更する

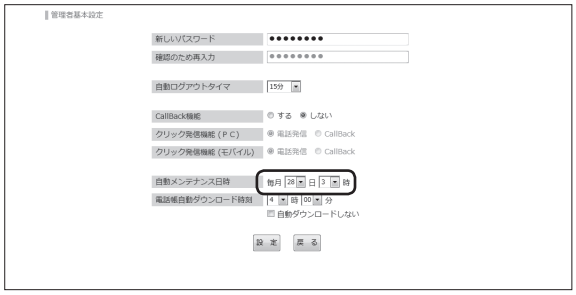
WEB アドレス帳ボックスを快適にお使いいただくために、不要となったデータの削除などを毎月指定日時に自動で行います。その日時を変更することができます。

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「管理者基本設定」をクリックする。

3 「自動メンテナンス日時」で日時を選択する。



4 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

お知らせ

- α NX/NX Ⅱ主装置の電源を入れたとき (再起動も含む) は、起動後に WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
- 再起動実行後は、数分間 WEB アドレス帳ボックスにアクセスできません。(ログイン画面も表示されません)
- ログインしているユーザがいる状態で再起動を実行した場合、ユーザが編集していたデータ (保存していないデータ) は破棄されます。(最後に保存された内容に戻ります)

お知らせ

- 自動メンテナンス中も WEB アドレス帳ボックスをお使いいただけますが、処理に時間がかかる場合があります。
- 自動メンテナンスの時刻は、深夜など WEB アドレス帳ボックスの使用が少ない時間帯を指定してください。また、電話帳自動ダウンロード機能を設定する場合は、1 時間以上間隔をあけた時刻に設定してください。
- 指定日が存在しない月 (たとえば、「31 日」に設定していたときの 2 月など) は、翌月の 1 日に実行されます。

録音データメンテナンスの設定をする

一日一回指定時刻に録音データメンテナンスを自動で実行し、以下の処理を実行します。（一部設定が必要です）

- α NX/NX Ⅱ主装置からアップロードされた音声メール録音データを本商品で再生可能なデータに変換（「録音データ再生可能時間を設定する」（☛P145）参照）
- 音声メール録音データの外部ストレージへの移動（「一日一回自動で外部ストレージに録音データを移動する」（☛P149）参照）
- 録音されてから時間が経過した音声メール録音データの消去（「録音データの保存日数を設定する」（☛P146）参照）
- 不要となった内部データの削除

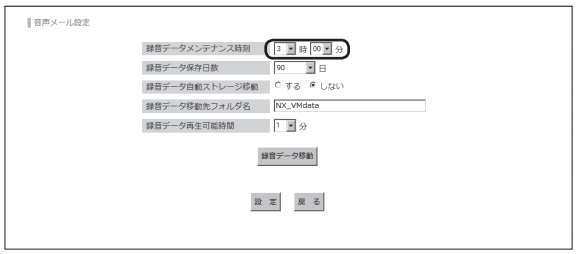
録音データメンテナンス時刻を設定する

お知らせ

- α NX/NX Ⅱ主装置で設定されたFTPアップロード時刻よりも後の時刻に設定してください。また、本商品にアクセスするユーザが多い時間帯を避けてください。

【管理者画面】

1. 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。
2. 「音声メール設定」をクリックする。
3. 「録音データメンテナンス時刻」の時刻を選択する。



4. 「設定」をクリックする。
5. 確認ダイアログが表示されたら、[OK]をクリックする。

録音データ再生可能時間を設定する

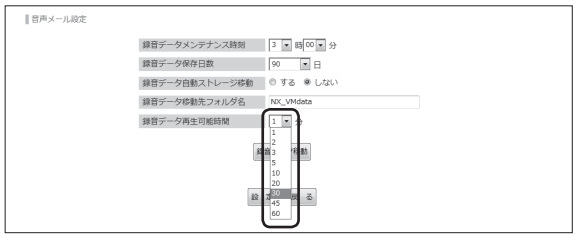
本商品の WEB ブラウザ画面から再生できるのは、α NX/NX Ⅱ主装置からアップロードされた音声メール録音データの冒頭部分のみです。このデータの長さ（冒頭からの時間）を設定することができます。

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「音声メール設定」をクリックする。

3 「録音データ再生可能時間」のプルダウンメニューから選択する。



4 「設定」をクリックする。

5 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

お知らせ

- 設定した時間よりも録音データの方が長い場合は、本設定の時間までしか再生できません。録音データを最後まで聞くには録音データを PC にダウンロードし、PC 上で再生する必要があります（「録音内容をファイルで保存する」（☛P108）参照）
- 長い時間に設定すると、WEB ブラウザで再生するときの処理が遅くなったり、複数ユーザからのアクセスが重なったときに再生開始までに数十秒かかる場合があります。
- すでに録音データメンテナンスが行われた録音データには適用されません。たとえば、本設定が「1 分」に設定されているときに録音データメンテナンスが行われた場合、後から本設定を「10 分」に変更しても、再生できるのは冒頭の 1 分のみです。本設定変更後に録音データメンテナンスが行われた録音データから冒頭 10 分の再生が可能になります。

録音データメンテナンスの設定をする

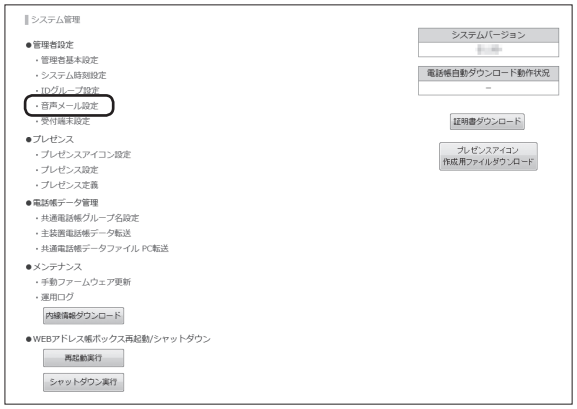
録音データの保存日数を設定する

録音から日数が経過した録音データを自動消去することができます。
自動消去は、録音データメンテナンス実行時に行われます。

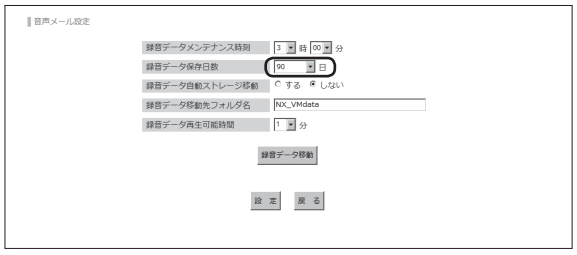
【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「音声メール設定」をクリックする。



3 「録音データ保存日数」を選択する。
自動消去しないときは「指定なし」を選択する。



4 「設定」をクリックする。

5 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

お知らせ

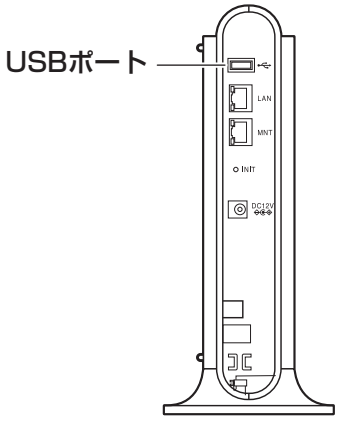
- 本機能は、α NX/NX Ⅱ主装置で録音された日時と本商品のシステム日時の比較により動作します。本商品がα NX/NX Ⅱ主装置と異なる日時に設定されているときは本機能を「指定なし」に設定してください。
- 外部ストレージに移動した録音データも自動消去の対象です。残しておきたい重要な録音データは、保存日数が経過する前にファイルで PC に保存してください（「録音内容をファイルで保存する」（☛P108）参照）

USBポートに外部ストレージを接続して運用する

本商品背面の USB ポートに外部ストレージ（外付けハードディスク）を接続して録音データを移動することにより、本商品で管理する録音データの容量を拡張することができます。

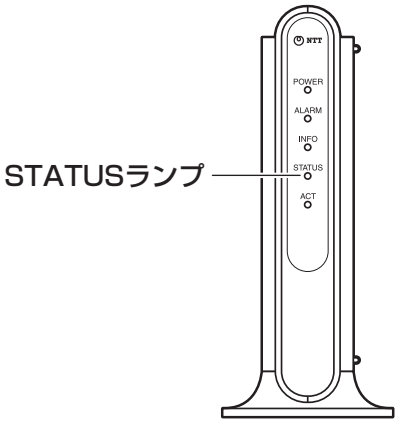
外部ストレージを接続する

1 **本商品背面の USB ポートに外部ストレージを差し込む。**



2 **本商品前面のランプ表示を確認する。**

外部ストレージの取り付けが正常に完了したときは、STATUS ランプが橙色に約 10 秒間点灯します。



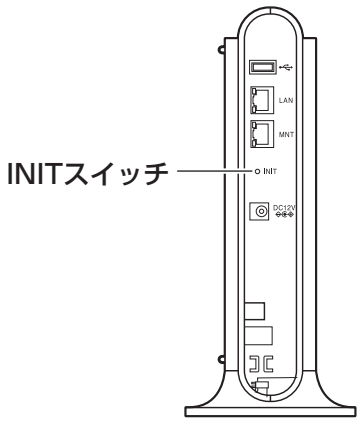
お知らせ

- しばらく待っても STATUS ランプが橙色で点灯しないときは、WEB アドレス帳ボックスを再起動してから再度行ってください。
- USB ポートに接続する外付けハードディスクは、電源コンセントにより別途給電する必要があります。
- USB ポートに USB HUB を接続して使用することはできません。
- 本商品に接続して使用した外付けハードディスクを PC に接続して録音データファイルの参照や編集を行わないでください。録音データの再生や消去または PC にファイル保存したいときは外付けハードディスクを本商品に接続した状態でログインし、録音データー覧画面より行ってください。

USBポートに外部ストレージを接続して運用する

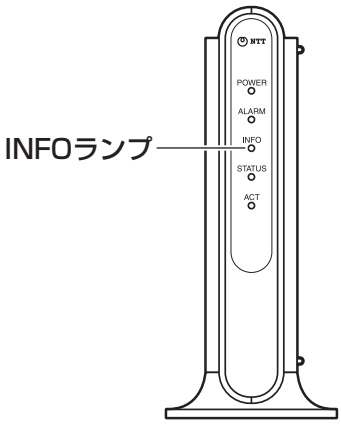
外部ストレージの接続を解除する

1 細い棒などを使って本商品背面の INIT スイッチを 5 秒以上押し続ける。



2 本商品前面のランプ表示を確認する。

外部ストレージが取り外し可能な状態になったときは、INFO ランプが赤色に約 10 秒間点滅します。



お知らせ

- INFO ランプが点滅しないときは、外部ストレージにアクセスしているなどの理由で接続解除できない状態です。その場合は、しばらく経ってから再度実行してください。

お知らせ

- INIT スイッチによる接続解除手順を行わずに外部ストレージを取り外したり、電源を切った場合、データが破損することがあります。
- 録音データメンテナンス時刻が近いときは、外部ストレージの接続を解除しないでください。

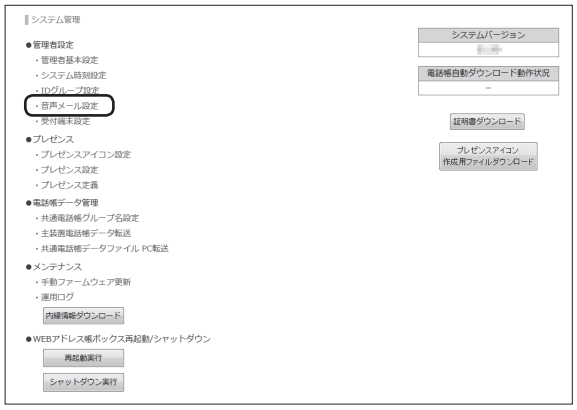
一日一回自動で外部ストレージに録音データを移動する

本商品のUSBポートに外部ストレージを接続しているとき、αNX/NX Ⅱ主装置からアップロードされた音声メール録音データを外部ストレージに移動することにより本商品で管理する録音データの容量を拡張することができます。

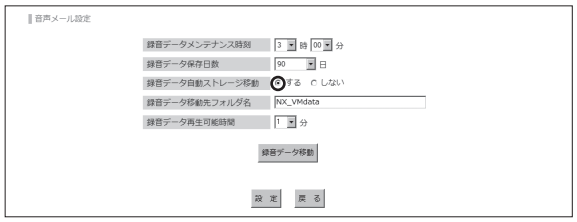
【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「音声メール設定」をクリックする。



3 「録音データ自動ストレージ移動」の「する」を選択する。



4 [設定] をクリックする。

5 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

ワンポイント

- USBポートに外部ストレージ（外付けハードディスクなど）を接続したときのみ可能です。
- 「録音データメンテナンス時刻」に到達したときに録音データが移動します。
- 移動した録音データをWEBアドレス帳ボックスに戻すことはできません。

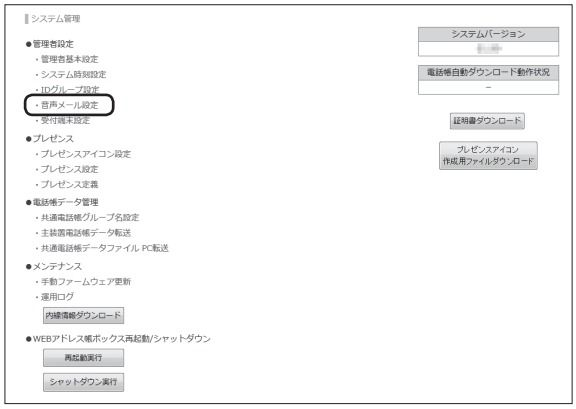
USBポートに外部ストレージを接続して運用する

管理者の操作により外部ストレージに録音データを移動する

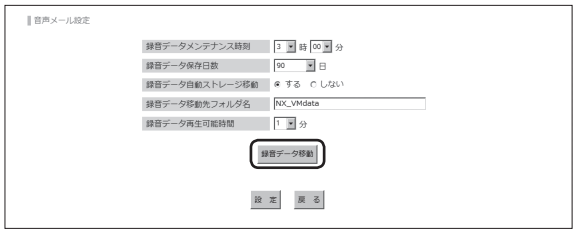
【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「音声メール設定」をクリックする。



3 「録音データ移動」をクリックする。



4 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

ワンポイント

- USB ポートに外部ストレージ（外付けハードディスクなど）を接続したときのみ可能です。
- 移動した録音データを WEB アドレス帳ボックスに戻すことはできません。

外部ストレージ内に生成するフォルダ名を変更する

USB ポートに外部ストレージを接続したとき、外部ストレージのルートディレクトリに本商品が使用するためのフォルダを一つ生成します。そのフォルダ名を変更することができます。

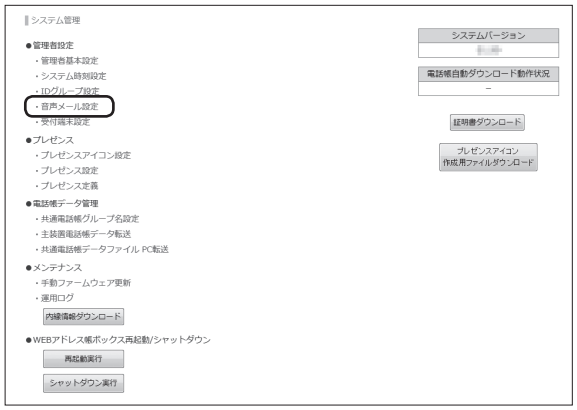
お知らせ

- 外部ストレージに同名のディレクトリがすでに存在しているなど、特に理由がない限り本設定は変更しないでください。
- すでに外部ストレージに移動した録音データがあるときは、本設定を変更しないでください。変更した場合、過去の録音データは WEB ブラウザに表示されなくなり、再生や消去などの操作ができなくなります。

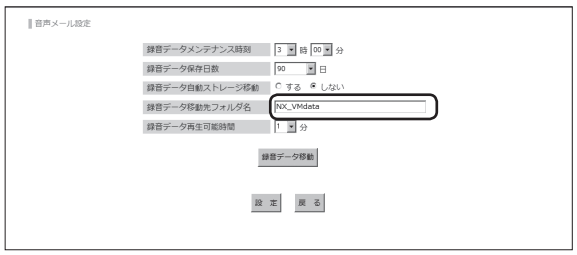
【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「音声メール設定」をクリックする。



3 「録音データ移動先フォルダ名」を入力する。



4 「設定」をクリックする。

5 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

お知らせ

- 本設定に基づいて外部ストレージのルートディレクトリに生成したフォルダ内のファイル名を変更したり、新たにファイルを格納したりしないでください。WEB ブラウザに正常に表示されなくなる場合があります。

受付端末機能を管理する

管理者の操作により、受付端末 ID の設定や受付端末の表示画面の変更などを行うことができます。

お知らせ

- WEB アドレス帳ボックスにアクセスしたとき、Internet Explorer のセキュリティ警告画面が表示されたり、アドレスバーの隣に証明書のエラーが表示される場合があります。
  これらを表示させないようにするには、受付機能を使用する PC から、管理者 ID で WEB アドレス帳ボックスにログインし、証明書の設定を行ってください。
  （「WEB アドレス帳ボックスの証明書を管理者画面から PC にダウンロードする」（☛P111）参照）
- 受付端末が 1 つでもログイン状態のときは、受付端末設定はできません。設定を変更するときは、受付端末をログアウトしてから行ってください。
- 受付端末をログアウトするときは、ログイン時に入力したパスワードの入力または管理者の強制ログアウト操作が必要です。（「ユーザ情報やログイン状態を管理する」（☛P112）参照）

受付端末IDを設定する

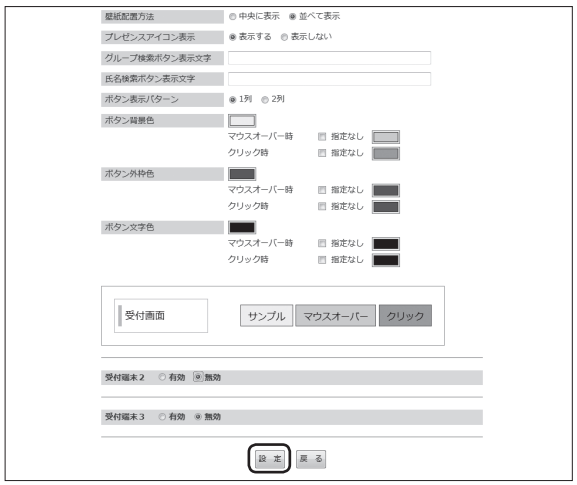
【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「受付端末設定」をクリックする。

3 「受付端末有効／無効」の「有効」を選択する。

4 受付端末 ID やパスワード、連携内線番号などを入力して［設定］をクリックする。



ワンポイント

●受付端末 ID の設定詳細については「受付端末設定」（☛P40）を参照してください。

5 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

ワンポイント

●氏名を「主装置の内線名称を適用する」に設定するときは、連携内線番号を指定する必要があります。

●受付端末 ID は 3 つまで登録することができます。

●使用中の受付端末の「受付端末有効／無効」を「無効」に設定することで、受付端末の設定を削除することができます。

お知らせ

●氏名を「主装置の内線名称を適用する」に設定しているとき、α NX/NX Ⅱから取得した氏名に変更があった場合、設定していた氏名（カナ）は消去されます。

受付端末機能を管理する

受付端末に表示しないユーザを設定する（IDグループ）

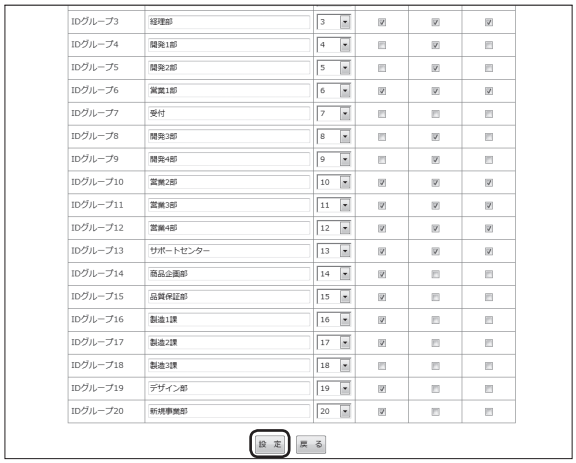
ID グループを選択し、ID グループに所属するユーザを受付端末による検索結果に表示しないようにできます。

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「ID グループ名設定」をクリックする。

3 「受付端末への表示／非表示」の ID グループのチェックを外し、［設定］をクリックする。



ワンポイント

●受付端末ごとに、検索結果に表示しないユーザの設定を行うことができます。

4 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

受付端末に表示しないユーザを設定する（ユーザ）

ユーザを受付端末の検索結果に表示しないようにできます。

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「ユーザ管理」をクリックする。

2 ［検索］をクリックする。

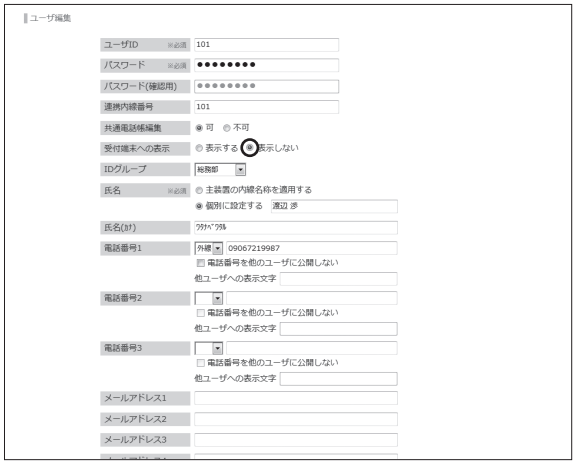
ワンポイント

●絞り込み表示を行う場合は、編集したいユーザの氏名やメールアドレスを入力してから［検索］をクリックします。

3 編集したい氏名をクリックする。

4 現在の設定内容を確認し、［変更］をクリックする。

5 「受付端末への表示」の「表示しない」を選択する。



6 ［変更］をクリックする。

7 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

ワンポイント

●本機能はユーザの新規登録でも設定することができます。

●受付端末を表示しないようにするには「受付端末設定」にて行えます。

プレゼンスアイコンを表示しないようにする

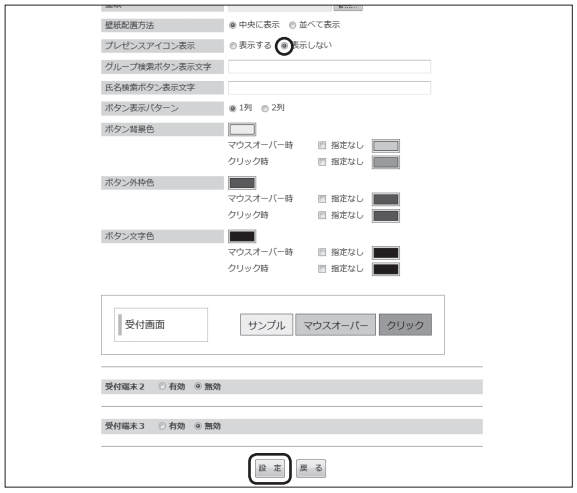
プレゼンスアイコンを受付端末の検索結果に表示しないようにできます。

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「受付端末設定」をクリックする。

3 「プレゼンスアイコン表示」の「表示しない」を選択し、［設定］をクリックする。



4 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

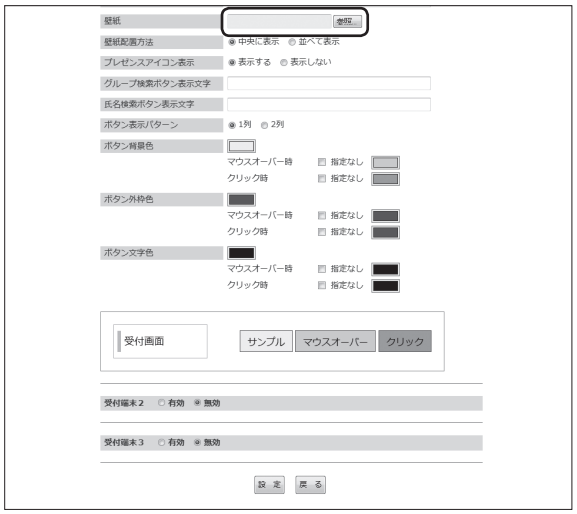
壁紙を設定する

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「受付端末設定」をクリックする。

3 壁紙に設定する画像を選択する。
壁紙の変更を行わない場合は設定不要です。



お知らせ

●画像として登録できるのは、ファイルサイズ 3MB 以下のJPEGまたはPNG形式の画像ファイルです。

4 壁紙の配置方法を選択する。
壁紙の配置を変更しない場合は設定不要です。

ワンポイント

●「中央に表示」にすると、左右中央の位置に上詰めで背景画像が表示されます。

5 ［設定］をクリックする。

6 確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする。

受付端末機能を管理する

ボタンの表示を変更する

受付端末の各検索ボタンの配置方法や、配色を変更することができます。

【管理者画面】

1 **画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。**

2 **「受付端末設定」をクリックする。**

3 **「グループ検索ボタン表示文字」を選択する。**
グループ検索ボタンの表示文字の変更を行わない場合は設定不要です。

4 **「氏名検索ボタン表示文字」を選択する。**
氏名検索ボタンの表示文字の変更を行わない場合は設定不要です。

5 **「ボタン表示パターン」を選択する。**
検索ボタンの配置方法の変更を行わない場合は設定不要です。

6 **「ボタン背景色」を選択する。**
検索ボタンの背景色の変更を行わない場合は設定不要です。

ワンポイント

●マウスオーバー、クリック時の配色を指定しない場合は、「指定なし」にチェックを入れます。

7 **「ボタン外枠色」を選択する。**
検索ボタンの外枠色の変更を行わない場合は設定不要です。

ワンポイント

●マウスオーバー、クリック時の配色を指定しない場合は、「指定なし」にチェックを入れます。

8 **「ボタン文字色」を選択する。**
検索ボタンの文字色の変更を行わない場合は設定不要です。

ワンポイント

●マウスオーバー、クリック時の配色を指定しない場合は、「指定なし」にチェックを入れます。

9 **「設定」をクリックする。**

10 **確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。**

お知らせ

●マウスオーバー時、クリック時の配色は PC でログインしたときのみ適用され、メディア IP 電話機でログインしたときは通常時の配色で表示されます。

システム時刻を設定する

本商品のシステム時刻を設定します。
α NX/NX Ⅱ主装置の内線電話機のディスプレイなどを参照して、α NX/NX Ⅱ主装置とほぼ同じとなるように時刻設定して本商品を使用してください。
また、NTP サーバに接続して時刻を取得したり、周期的に時刻の誤差を補正することもできます。

お知らせ

●この操作を行うとログイン中の全ユーザはログアウト状態になります。ログインして操作しているユーザがいないことを確認してから行ってください。

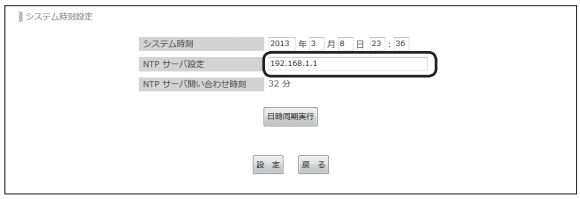
NTPサーバを設定する

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「システム時刻設定」をクリックする。

3 「NTP サーバ設定」に NTP サーバの IP アドレスや URL を入力する。



4 [設定] をクリックする。

5 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

ワンポイント

●[日時同期実行] をクリックすることにより、設定した NTP サーバへの問い合わせをすぐに行うこともできます。

お知らせ

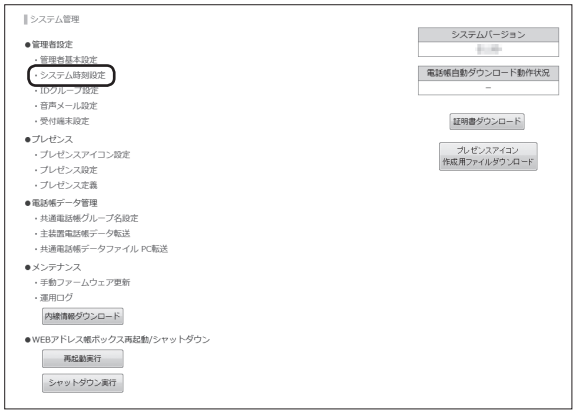
●NTP サーバへの問い合わせは、「NTP サーバ問い合わせ時刻」に表示された時間に毎時行われます。「NTP サーバ問い合わせ時刻」を変更することはできません。たとえば、32 分と表示されている場合は、0 時 32 分、1 時 32 分、2 時 32 分･･･(以後 1 時間ごと) に行われます。

時刻を指定してセットする

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「システム時刻設定」をクリックする。



3 「システム時刻」に年、月、日、時刻を入力する。

4 [設定] をクリックする。

5 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

お知らせ

●NTP サーバにより取得できる状態のときは、時刻をセットした 1 時間以内に NTP サーバから取得した時刻に更新されます。

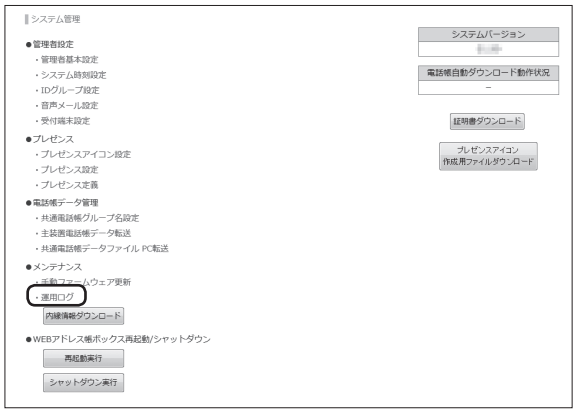
運用ログを確認する

WEB アドレス帳ボックスの運用状態のログを表示することができます。
α NX/NX Ⅱ主装置との通信が正常にできない場合は、装置のランプ状態などとともにこちらの画面にて動作を確認してください。
また、ネットワークから自動で新しいファームウェアをダウンロードしたときも、こちらの画面で確認することができます。

【管理者画面】

1 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。

2 「運用ログ」をクリックする。



ワンポイント

●運用ログには、主に以下の内容が表示されます。
- 本商品の起動履歴
- 装置登録（α NX/NX Ⅱ主装置との接続）状態
- 録音データメンテナンス実行結果
- 定期自動メンテナンス実行結果
- 電話帳自動ダウンロード実行結果
- 録音データ保存容量の残量（30 %、10 %以下）
- ファームウェア更新結果
- 工事担当者によるメンテナンスの内容や結果

●WEB ブラウザ画面に最大 1000 件表示されます。表示されていないログを確認するときは、［ダウンロード］ボタンにより、ダウンロードして確認することができます。

●表示されているログの内容は自動更新されません。［最新の情報に更新］ボタンをクリックすることにより更新されます。

●運用ログは、最大で過去一年分保存されます。

お知らせ

●本商品のシステム時刻が正しく設定されていないとき、ログの記録または表示が正しく行われない場合があります。

ファームウェアをバージョンアップする

インターネットに接続するための工事設定がされている場合、定期的にネットワークに接続して新しいファームウェアのチェックを行い、新しいファームウェアがあるときは自動更新します。新しいファームウェアのチェックを Web ブラウザの操作によって行ったり、また、ファームウェアファイルを指定して更新することもできます。
更新したファームウェアは、本商品の再起動により適用されます。本商品の動作やセキュリティなど、重要なプログラム変更が発生した場合は、すぐに適用させるために更新後、自動で再起動する場合があります。

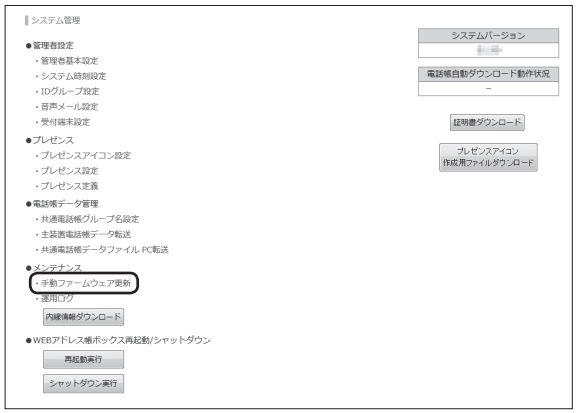
最新ファームウェアのチェックを手動で行う

お知らせ

- 本機能はインターネットに接続するための工事設定がされている場合のみ行うことができます。

【管理者画面】

1. 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。
2. 「手動ファームウェア更新」をクリックする。



3. 「最新ファームウェアチェック実行」をクリックする。
4. 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

お知らせ

- 最新ファームウェアをダウンロードできたときは、システム管理画面にてお知らせします。
- 更新されたファームウェアは、再起動後に適用されます。
- 動作中のバージョンと同じバージョンのファームウェアに更新することはできません。

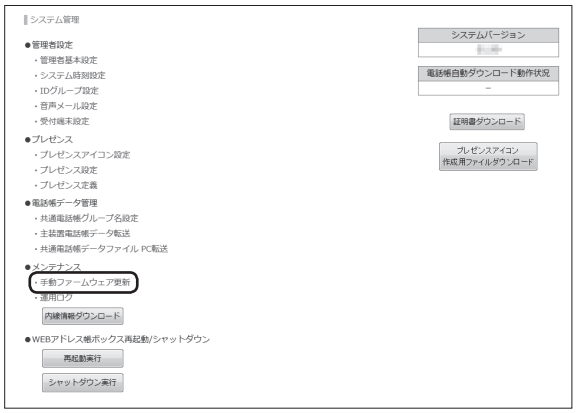
ファイルを指定してファームウェアを更新する

お知らせ

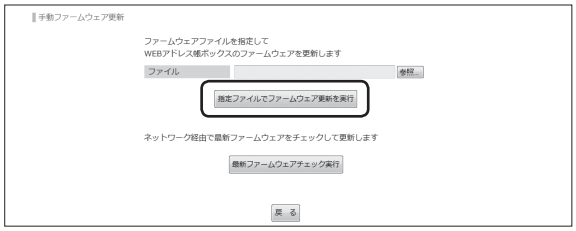
- 本操作を行うときは、必ず当社のサービス取扱所までご連絡ください。

【管理者画面】

1. 画面上部のメニューから「システム管理」をクリックする。
2. 「手動ファームウェア更新」をクリックする。



3. 「参照ボタン」から更新するファームウェアを選択する。
4. 「指定ファイルでファームウェア更新実行」をクリックする。



5. 確認ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックする。

こんな表示がでたら

誤った入力や操作をしたときや、正常に動作できなかったとき、画面左上部やポップアップにてお知らせします。
表示されるメッセージのうち原因や対処方法が分かりにくいものを以下に抜粋します。

■ WEBアドレス帳ボックスで表示されるメッセージと原因、対処（抜粋）

メッセージ末尾に表示されるコード	原　因	対　処
WAB01001-E	WEB アドレス帳ボックスのデータアクセスに失敗し、処理を実行できなかった	WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB01005-W	主装置との通信が必要な機能が同時に複数動作しようとしたため、動作できなかった	しばらく時間が経ってから再度実行してください。 特に全内線電話帳ダウンロード中などは、内線電話機の収容台数や電話帳件数が多い場合は数十分ほど時間をおく必要があります。
WAB01006-W	WEB アドレス帳ボックスと主装置の通信に失敗した	WEB アドレス帳ボックスと主装置のネットワーク接続に問題がないか確認してください。 問題ない場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB01010-W	指定したファイルが WEB アドレス帳ボックスから取得した内容から変更されている、または破損している	エクスポート後に変更していないファイル、もしくは破損していないファイルを指定して再度実行してください。
WAB01012-W	WEB アドレス帳ボックスと主装置の通信に失敗した	WEB アドレス帳ボックスと主装置のネットワーク接続に問題がないか確認してください。 問題ない場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB01017-W	ユーザや受付端末がログインしている状態で、管理者がユーザ情報や受付端末設定を変更しようとした。	ユーザがログアウトするのを待つか、もしくは管理者画面で対象のユーザや受付端末をログアウトさせて再度実行してください。
WAB01018-E WAB01019-E WAB01020-E	WEB アドレス帳ボックスのデータアクセス処理に失敗した	WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB01021-W	電話帳を編集したあとに、管理者の操作や電話帳自動ダウンロード機能が動作したため、アップロードするデータが存在しない状態になった	電話帳データを確認してください。電話帳データを編集するときは、電話帳ダウンロード実行時や、電話帳自動ダウンロードの設定時刻を避けてください。
WAB01022-W	ユーザ情報で登録した連携内線番号が、主装置から取得した内線番号と一致していない	主装置に設定されている内線番号か確認してください。 設定されている場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB01024-W	電話帳のアップロードを実行したが、送信対象となる変更データが存在しなかった	主装置へアップロードするのは WEB アドレス帳ボックスで編集された電話帳データのみです。そのため、対象となるデータが存在しない場合に表示されます。対処の必要はありません。
WAB01025-W	すでに他のユーザが設定している内線番号と同じ番号を連携内線番号に設定しようとした	ユーザ管理画面にて、ユーザ ID と連携内線番号の設定を確認してください。
WAB01026-E	WEB アドレス帳ボックスのデータアクセスに失敗し、電話帳データの削除ができなかった	しばらく時間が経ってから再度実行してください。 それでも改善しない場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB01027-W WAB01028-W	電話帳データをもたない種別の端末が主装置に接続されている、または主装置に端末種別「未定義」の内線番号が設定されている	電話帳データが存在する端末の個別電話帳データがダウンロード／アップロードできない場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動し、主装置の内線情報を取得し直してください。
WAB01031-W	選択した電話帳が管理者により削除された	管理者によってすでに削除された電話帳を選択したときに表示されます。対処の必要はありません。
WAB01032-W	ユーザ情報で登録されている連携内線番号が、主装置に登録されていません	管理者のユーザ編集で主装置登録済みの内線番号を設定してください。

メッセージ末尾に表示されるコード	原　因	対　処
WAB01040-W	音声メールファイルをダウンロードしようとしたが、すでにデータが削除されている または、USB ポートに接続した外部ストレージの接続が外れていて、データにアクセスできない	USB ポートに接続した外部ストレージが外れていないか確認し、外れている場合は再度接続し直してください。
WAB01042-W	NTP サーバに接続できなかった	ネットワーク接続を確認してください。
WAB01046-W	ダウンロードしようとした音声メールファイルの合計サイズが 2GB を越えている	ファイルを選択し直して再度実行してください。
WAB01047-W	USB ポートに接続した外部ストレージの空き容量が少ない	不要なファイルを消去するなどして空き容量を確保してください。
WAB01049-W	ダウンロードしようとしたファイルの中に、すでに削除されたファイルが含まれている または、USB ポートに接続した外部ストレージの接続が外れていて、データにアクセスできない	ファイルを選択し直して再度実行してください。USB ポートに接続した外部ストレージが外れていないか確認し、外れている場合は再度接続し直してください。
WAB01050-W	ファームウェア更新が行われているため、実行できない	しばらく時間をおき、ファームウェア更新が終わってから、再度実行してください。
WAB01052-W	USB ポートに接続した外部ストレージの接続が外れていて、データにアクセスできない	USB ポートに接続した外部ストレージが外れていないか確認し、外れている場合は再度接続し直してください。
WAB02001-W	WEB アドレス帳ボックスと主装置の通信に失敗した	WEB アドレス帳ボックスと主装置のネットワーク接続に問題がないか確認してください。 問題ない場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動し、それでも改善しない場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB02002-E WAB02005-E WAB02006-E WAB02007-E WAB02008-E WAB02009-E WAB02010-E WAB02011-E WAB02012-E WAB02014-E WAB02015-E WAB02016-E	WEB アドレス帳ボックスと主装置の通信に失敗した	WEB アドレス帳ボックスと主装置のネットワーク接続に問題がないか確認してください。 問題ない場合は、主装置を再起動してください。その次に WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB02017-W WAB02018-W	ユーザ情報で登録した連携内線番号が、主装置から取得した内線番号と一致していない	主装置に設定されている内線番号か確認してください。 設定されている場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB02020-E WAB02021-E WAB02022-E WAB02023-E WAB02024-E	ネットワーク障害などにより、主装置から WEB アドレス帳ボックスに送信されたデータが破損していた	WEB アドレス帳ボックスと主装置のネットワーク接続に問題がないか確認してください。 問題ない場合は、主装置を再起動してください。その次に WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。

（次ページに続く）

こんな表示がでたら

メッセージ末尾に表示されるコード	原　因	対　処
WAB02026-E	WEB アドレス帳ボックスと主装置の通信に失敗した	WEB アドレス帳ボックスと主装置のネットワーク接続に問題がないか確認してください。 問題ない場合は、主装置を再起動してください。その次にWEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB04031-W WAB04032-W WAB04034-W WAB04035-W WAB04036-W WAB04037-W WAB04038-W WAB04039-W	インポートしようとしたファイルの記述が間違っている	インポートするファイルの内容を修正し、再度実行してください。
WAB04042-W	選択したユーザが管理者により削除された	管理者によってすでに削除されたユーザを選択したときに表示されます。対処の必要はありません。
WAB04044-W WAB04045-W	インポートしようとしたファイルの記述が間違っている	インポートするファイルの内容を修正し、再度実行してください。
WAB05002-W	複数機能動作などにより、主装置が処理できない状態になっていた	しばらく時間が経ってから再度実行してください。 改善しない場合は、主装置を再起動してください。その次にWEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB05005-E	複数の PC からアクセスが集中するなどにより、WEB アドレス帳ボックスのデータアクセスができない状態になっていた	しばらく時間が経ってから再度実行してください。 改善しない場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB05006-W	連携内線番号が設定されていないため、表示する発信履歴／着信履歴データがない	ユーザ管理画面にて、ユーザ ID と連携内線番号の設定を確認してください。
WAB05007-E	複数の PC からアクセスが集中するなどにより、WEB アドレス帳ボックスのデータアクセスができない状態になっていた	しばらく時間が経ってから再度実行してください。 改善しない場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB05008-W	ユーザ情報に外線番号が登録されていない	操作するユーザのユーザ情報に外線電話番号を登録し、再度実行してください。
WAB05011-W	複数機能動作などにより、主装置が処理できない状態になっていた	しばらく時間が経ってから再度実行してください。 改善しない場合は、主装置を再起動してください。その次にWEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB05013-W WAB05014-W	WEB アドレス帳ボックスと主装置の通信に失敗した	WEB アドレス帳ボックスと主装置のネットワーク接続に問題がないか確認してください。 問題ない場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB05015-W WAB05016-W	主装置側の仕様により、情報取得できない端末種別や端末種別「未定義」の内線番号を WEB アドレス帳ボックスに連携設定している、または主装置側で内線番号が削除（変更）され、WEB アドレス帳ボックスへの反映がされていない	ユーザ ID と連携設定されている内線番号の端末について主装置の機器（接続の有無や種別）を確認してください。 問題がない場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動し、主装置の内線情報を取得し直してください。
WAB06008-E	WEB アドレス帳ボックスのデータアクセス処理に失敗した	WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。

メッセージ末尾に表示されるコード	原　因	対　　処
WAB06015-W WAB06016-W WAB06018-W WAB06019-W	WEB アドレス帳ボックスと主装置の通信が混み合っていて通信できなかった	しばらく時間が経ってから再度実行してください。 改善しない場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB06022-W	WEB アドレス帳ボックスと主装置の通信に失敗した	WEB アドレス帳ボックスと主装置のネットワーク接続に問題がないか確認してください。 問題ない場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB07042-E	WEB アドレス帳ボックスのデータアクセス処理に失敗した	しばらく時間が経ってから再度実行してください。 改善しない場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB08002-E WAB08003-E	WEB アドレス帳ボックスのデータアクセス処理に失敗した	WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB09002-E WAB09003-E	WEB アドレス帳ボックスのデータアクセス処理に失敗した	しばらく時間が経ってから再度実行してください。 改善しない場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB10002-E WAB10003-E WAB10009-E	WEB アドレス帳ボックスのデータアクセス処理に失敗した	WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB11008-W	ユーザ情報で登録した連携内線番号が主装置から取得した内線番号と一致していない	主装置に設定されている内線番号か確認してください。 設定されている場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB13017-E	日時の設定に失敗した	WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB14002-E WAB15002-E WAB16001-E WAB16002-E WAB17001-E WAB17002-E WAB17019-E WAB18001-E WAB18002-E WAB18003-E WAB18004-E WAB19001-E WAB19002-E WAB20001-E WAB20002-E WAB20003-E WAB20004-E	対象となるデータが存在しない、または複数の PC からアクセスが集中するなどにより、WEB アドレス帳ボックスのデータアクセスができない状態になっていた	しばらく時間が経ってから再度実行してください。 改善しない場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。
WAB23015-W	ログイン画面以外から WEB アドレス帳ボックスにアクセスしようとした。または、他の PC からの操作や内部処理などのタイミングにより、一時的に正常に表示できない状態になった	ログイン画面よりアクセスし直してください。
WAB24011-W WAB23014-W	音声メールデータにアクセスできなかった	ファイルを選択し直して再度実行してください。 USB ポートに接続した外部ストレージが外れていないか確認し、外れている場合は再度接続し直してください。

こんな表示がでたら

■ ランプ表示による通知・警告についての原因、対処

ランプ	色／状態	原 因	対　処
ALARM	赤／点灯	α NX/NX Ⅱ主装置との通信に失敗しているなど、異常が発生している	管理者画面にログインし、運用ログを確認してください。
INFO	緑／点滅	本商品に蓄積した録音データの増加により、空き容量が 30%以下になった	不要となった録音データを消去、または USB ポートに外部ストレージを接続して、録音データの移動を行ってください。
	緑／ 早い点滅	本商品に蓄積した録音データの増加により、空き容量が 10%以下になった	不要となった録音データを消去、または USB ポートに外部ストレージを接続して、録音データの移動を行ってください。
	赤／点灯	ファームウェア更新が完了したが、本商品に適用されていない状態になっている	更新したファームウェアは、再起動により適用となります。管理者画面にログインし、再起動を行ってください。
STATUS	消灯	α NX/NX Ⅱ主装置との接続が完了していない	5 分ほど待っても解決しない場合は、α NX/NX Ⅱ主装置を再起動してください。それでも解決しない場合は、本商品の再起動を行ってください。
		α NX/NX Ⅱ主装置との通信ができていない	ネットワーク機器の設定や配線を確認してください。
ACT	消灯	接続しているケーブルやネットワーク機器が使用できない状態になっている	LAN ケーブルや接続している HUB の状態、機器の配線などを確認してください。

故障かな？と思ったら

当社にお問い合わせいただく前に以下をご確認ください。

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
本商品に接続できない	ネットワークに接続した機器のIP 設定や配線が間違っている	ネットワーク環境を確認してください。	—
	LAN ケーブルを接続するポートが間違っている	LAN ケーブルが LAN ポートに接続され、MNT ポートには何も接続されていないことを確認してください。	☛P22
再起動できない	処理中のため、再起動できない状態になっている	しばらく時間をあけてから、再度実行してください。	☛P143
運用中にシステムが再起動した	ネットワーク経由で重要ファームウェア更新が自動で行われた	本商品の動作やセキュリティなど、重要なプログラム変更が発生した場合、自動ファームウェア更新後に自動で再起動する場合があります。	—
Web ブラウザから WEB アドレス帳ボックスにアクセスできない（ログイン画面が表示されない）	接続しようとしている PC（スマートフォン）のネットワーク設定が誤っている	PC（スマートフォン）のネットワーク設定を確認し、IP アドレスやサブネットマスクが WEB アドレス帳ボックスに接続できるように設定されているか確認してください。	—
	WEB アドレス帳ボックスと接続した LAN ケーブルが外れている	LAN ケーブルを接続し、ネットワークの配線を確認してください。	—
	WEB アドレス帳ボックスと接続した HUB が動作していない	HUB の動作を確認し、ネットワークの配線を確認してください。	—
	WEB アドレス帳ボックスが動作していない	WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。	—
WEB アドレス帳ボックスにログインできない	ユーザ ID が登録されていない、または削除された	管理者設定でユーザの一覧を確認し、登録されていない場合は登録してください。	☛P112 ☛P113
	ユーザ ID やパスワードが間違っている	正しいユーザ ID とパスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、管理者設定で再設定してください。	☛P114
WEB アドレス帳ボックスにログインしていたのにログイン画面が表示された	自動タイムアウトによりログアウトされた	ログインした状態のまま一定時間操作がなかったとき、ログアウト状態になります。管理者設定によりタイムアウトまでの時間を変更、または自動ログアウトさせないようにすることができます。	☛P117
	他の PC（スマートフォン）から同じユーザ ID でログインされた	他の機器から同じユーザ ID でログインされると、先にログインしていた機器はログアウト状態になります。第三者がログインできないようにパスワード変更などを行ってください。	☛P52 ☛P114
	管理者によりログアウト操作が行われた	メンテナンスなどの理由により、管理者の操作でログイン中のユーザをログアウトさせることができます。ログアウト操作が行われたかどうか確認してください。	☛P113
	NTP サーバの時刻同期や管理者操作によるシステム時刻設定変更が行われた	再度ログインしてください。	☛P157
	WEB アドレス帳ボックスの再起動が行われた	再度ログインしてください。	—
画面が表示されるまでに時間がかかったり正しく表示されない。またはクリック（タップ）しても正常に動作しない	他のユーザが操作しているなどにより、処理が混み合っている	しばらく時間が経ってから、再度操作してください。	—
	Web ブラウザを起動したままの状態が長時間継続している	ログアウトして Web ブラウザを終了し、再度アクセスしてください。	—

（次ページに続く）

故障かな？と思ったら

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
画面が崩れて表示される、または何も表示されない	Internet Explorer によるデータ読み出しが不完全になっている	画面を表示し直すか、または Web ブラウザを終了し、再度アクセスしてください。頻繁に発生する場合は、Internet Explorer の「インターネットオプション」の［詳細設定］タブにある「TLS 1.0 を使用する」のチェックを外して設定してください。	—
処理中の表示が長い時間（数十分以上）継続する	WEB アドレス帳ボックスとα NX/NX Ⅱ主装置の間で大量のデータ通信が行われている	件数が多い電話帳データをα NX/NX Ⅱ主装置と通信するときなど、通信が終わるまでに長時間かかる場合があります。 その場合は、しばらく待ってから次の操作を行ってください。	—
	操作した PC と WEB アドレス帳ボックスの通信ができない状態になっている	ネットワーク設定や配線を確認し、PC、WEB アドレス帳ボックス、α NX/NX Ⅱ主装置が正しく接続されているか確認してください。 LAN ケーブルが抜けていた場合などは、再接続したあと、ログイン操作からやり直してください。	—
	時間がかかる処理が WEB アドレス帳ボックスで行われている	件数が多い電話帳データをインポート／エクスポートするときなど、処理が終わるまでに長時間かかる場合があります。 その場合は、しばらく待ってから次の操作を行ってください。	—
プレゼンス一覧に他のユーザが表示されない	表示する ID グループの指定が誤っている	プルダウンメニューで表示させたいユーザの ID グループを選択してください。いつもすぐに表示させたい相手は、フェイバリット登録しておくとグループ指定せずに表示させることができます。	☛P55 ☛P116
	ユーザ ID が登録されていない、または削除された	管理者設定でユーザ一覧を確認し、登録されていることを確認してください。	☛P113
	内線連携されていない	内線連携されていないユーザは、プレゼンス表示対象外です。 管理者画面で連携設定する必要があります。	☛P114
	α NX/NX Ⅱ主装置から取得した内線情報に含まれていない内線番号と連携設定されている	WEB アドレス帳ボックスを再起動し、α NX/NX Ⅱ主装置から内線情報の再取得を行ってください。	☛P141 ☛P143
	接続しているα NX/NX Ⅱの時刻が大きく変更された	本商品を再起動してください。	☛P143
	プレゼンス取得できない内線番号と連携設定されている	α NX/NX Ⅱ主装置に接続されている端末の種別や WEB アドレス帳ボックス導入時の設定によっては、内線連携してもプレゼンス表示の対象外となります。	—
電話機の状態と異なるプレゼンスが表示される	連携内線が正しく設定されていない	プレゼンス一覧で表示される内線番号と、実際にそのユーザが使用している電話機の内線番号が合っているか確認し、異なる場合は管理者設定で連携内線の設定を修正してください。	☛P53 ☛P114
	手動でプレゼンスがセットされている	プレゼンス一覧画面でプレゼンスを“（主装置連動）”にセットしてください。	☛P63
	プレゼンス設定のアイコンが変更されている	管理者設定でプレゼンス設定を確認してください。	☛P137

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
電話機の状態と異なるプレゼンスが表示される（つづき）	プレゼンス定義の優先順位が変更されている	管理者設定でプレゼンス定義を確認してください。	☛P138
	α NX/NX Ⅱ主装置との通信状態により、新しい状態に反映されていない	しばらく待ってプレゼンスが更新されるか確認してください。	―
	α NX/NX Ⅱ主装置との通信に失敗している	ネットワーク設定や配線を確認し、WEB アドレス帳ボックスとα NX/NX Ⅱ主装置が正しく接続されているか確認してください。それでも解決しない場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。	☛P143
ユーザ氏名を「主装置の内線名称を適用する」に設定したが、主装置の設定と異なる名称が表示される	WEB アドレス帳ボックスが主装置と通信したあとに内線名称が変更された	WEB アドレス帳ボックスを再起動し、主装置から最新の情報を取得してください。	☛P143
ユーザ氏名を「主装置の内線名称を適用する」に設定したが、“(氏名未登録)”と表示される	WEB アドレス帳ボックスが主装置と通信したあとに内線名称が設定された	WEB アドレス帳ボックスを再起動し、主装置から最新の情報を取得してください。	☛P143
	主装置で内線名称が設定されていない	「個別に設定する」を選択し、ユーザ氏名を設定してください。	☛P52 ☛P114
	主装置で登録されていない内線番号を連携内線に設定している	主装置で登録されている内線番号を確認し、連携内線を正しく設定し直してください。	☛P52 ☛P114
ユーザ情報に登録した電話番号が表示されない	電話番号を公開しない登録になっている	ユーザ情報編集で、「電話番号を他のユーザに公開しない」のチェックを外してください。	☛P52 ☛P114
電話帳に何も表示されない	ブックマーク登録していない	電話帳一覧画面で最初に表示されるのはブックマークした相手の一覧です。ブックマーク登録していないときは、検索条件を指定することで表示できます。	☛P79
	α NX/NX Ⅱ主装置に電話帳が登録されていない	α NX/NX Ⅱ主装置に電話帳が登録されていない状態で WEB アドレス帳ボックスにダウンロードすると、WEB アドレス帳ボックスには電話帳が 1 件も登録されていない状態になります。	―
	α NX/NX Ⅱ主装置から電話帳をダウンロードしていない	「主装置電話帳データ転送」画面にアクセスし、ダウンロードを行ってください。	☛P75 ☛P125
電話帳に登録した画像が小さすぎて見にくい	登録した画像の縦横比が標準値と大きく異なっている	横：縦の比率が 3：4 に近い画像をアップロードしてください。	☛P45
α NX/NX Ⅱ主装置に登録されている電話帳が WEB アドレス帳ボックスで表示されない	α NX/NX Ⅱ主装置から WEB アドレス帳ボックスに電話帳データを取り込んでいない	「主装置電話帳データ転送」画面にアクセスし、ダウンロードを行ってください。	☛P75 ☛P125 ☛P132
WEB アドレス帳ボックスで登録した電話帳が内線電話機の電話帳に表示されない	WEB アドレス帳ボックスで編集した電話帳データがα NX/NX Ⅱ主装置に反映されていない	「主装置電話帳データ転送」画面にアクセスし、アップロードを行ってください。	☛P76 ☛P126 ☛P133
WEB アドレス帳ボックスで削除した電話帳が内線電話機の電話帳に表示される	WEB アドレス帳ボックスで削除した電話帳データが、α NX/NX Ⅱ主装置に反映されていない	「主装置電話帳データ転送」画面にアクセスし、アップロードを行ってください。	☛P76 ☛P126 ☛P133

（次ページに続く）

故障かな？と思ったら

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
WEB アドレス帳ボックスで登録した電話帳が消えてしまった	WEB アドレス帳ボックスで登録後、α NX/NX Ⅱ主装置に反映せずにα NX/NX Ⅱ主装置から電話帳をダウンロードしてしまった	WEB アドレス帳ボックスで登録したあと、「主装置電話帳データ転送」画面にアクセスし、アップロードを行ってください。	☛P76 ☛P126 ☛P133
WEB アドレス帳ボックスで編集した電話帳の内容が編集前のものに戻ってしまった	WEB アドレス帳ボックスで編集後、α NX/NX Ⅱ主装置に反映せずにα NX/NX Ⅱ主装置から電話帳をダウンロードしてしまった	WEB アドレス帳ボックスで編集したあと、「主装置電話帳データ転送」画面にアクセスし、アップロードを行ってください。	☛P76 ☛P126 ☛P133
電話帳ダウンロード時、WEB アドレス帳ボックスに取り込めない電話帳データがある	電話番号が１つも登録されていない	α NX/NX Ⅱ主装置に登録されている電話帳データのうち、電話番号が１つも登録されていない（電話番号１～４がすべて未登録）データは、WEB アドレス帳ボックスには取り込みません。	―
アップロード操作していない電話帳データが主装置に反映されてしまった	管理者または他のユーザの操作により電話帳アップロードが行われた	新規追加または編集した電話帳データは、操作したユーザ以外によるアップロードが可能です。他のユーザや管理者の操作を確認してください。	☛P76 ☛P133
電話帳データを削除しようとしたら、すでに削除されていると表示された	他のユーザによる操作が行われた	他のユーザや管理者の操作を確認してください。	☛P68 ☛P69 ☛P70 ☛P119 ☛P120 ☛P121
	α NX/NX Ⅱ主装置には当該データが存在していない状態で電話帳自動ダウンロード機能が動作した	α NX/NX Ⅱ主装置に登録されている電話帳データを確認してください。	☛P134
クリックツーコールで相手に電話がかからない	電話番号が間違っている	相手の方の電話番号を正しく設定してください。	―
	相手の方がお話し中などで着信できない状態になっている	しばらく経ってから再度おかけ直しください。	―
	α NX/NX Ⅱ主装置の回線が使用中などで発信できない状態になっている（外線発信時）	外線に電話をかけるときに使用できるのは、α NX/NX Ⅱ主装置で捕捉設定された回線のみです。使用中などにより回線に空きがない場合は、しばらく経ってから再度おかけ直しください。	―
	発信できない番号へ電話をかけようとしている（外線発信時）	α NX/NX Ⅱ主装置の設定で規制された電話番号へ発信することはできません。	―
	連携内線が正しく設定されていない	発信しようとしている電話機の内線番号と連携内線の設定が合っているか確認し、異なる場合は管理者設定で連携内線の設定を修正してください。	☛P114
	連携設定した内線電話機が発信できない状態になっている	発信しようとしている電話機が発信できる状態かどうか確認してください。たとえば、すでに誰かとお話ししている場合、その電話機では発信することができません。	―
	α NX/NX Ⅱ主装置との通信に失敗している	ネットワーク設定や配線を確認し、WEB アドレス帳ボックスとα NX/NX Ⅱ主装置が正しく接続されているか確認してください。それでも解決しない場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。	―

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
ワンタッチコールバックで電話がかからない（コールバック着信しない）	ユーザ情報に外線電話番号が正しく設定されていない	ユーザ情報に外線電話番号が正しく設定されているか確認し、設定されていない場合は設定を修正してください。	☛P52 ☛P114
	α NX/NX Ⅱ主装置の回線が使用中などで発信できない状態になっている（外線発信時）	α NX/NX Ⅱ主装置で捕捉設定された回線が使用中などにより空いていない場合は、しばらく経ってから再度おかけ直しください。	—
	設定された外線電話番号が着信できない状態になっている	コールバック着信を受ける電話機が着信できる状態かどうか確認してください。 たとえば、スマートフォンで電波圏外の場合、ワンタッチコールバック機能は動作しません。	—
	α NX/NX Ⅱ主装置との通信に失敗している	ネットワーク設定や配線を確認し、WEB アドレス帳ボックスとα NX/NX Ⅱ主装置が正しく接続されているか確認してください。それでも解決しない場合は、WEB アドレス帳ボックスを再起動してください。	☛P143
	α NX/NX Ⅱ主装置が発信動作できない状態になっている	α NX/NX Ⅱ主装置の取扱説明書を参照してください。α NX/NX Ⅱ主装置 type-L 接続時は、音声メールユニット／ボックス取扱説明書もあわせて参照してください。	—
ワンタッチコールバックで電話がかからない（コールバック着信に応答したあと、話中音）	電話番号が間違っている	相手の方の電話番号を正しく設定してください。	–
	相手の方がお話し中などで着信できない状態になっている	しばらく経ってから再度おかけ直しください。	–
	α NX/NX Ⅱ主装置の回線が使用中などで発信できない状態になっている（外線発信時）	α NX/NX Ⅱ主装置で捕捉設定された回線が使用中などにより空いていない場合は、しばらく経ってから再度おかけ直しください。	–
	発信できない番号へ電話をかけようとしている（外線発信時）	α NX/NX Ⅱ主装置の設定で規制された電話番号へ発信することはできません。	—
	α NX/NX Ⅱ主装置が発信動作できない状態になっている	α NX/NX Ⅱ主装置の取扱説明書を参照してください。α NX/NX Ⅱ主装置 type-L 接続時は、音声メールユニット／ボックス取扱説明書もあわせて参照してください。	–
ビジネスフォンαクライアントが動作しない	接続しようとしているスマートフォンのネットワーク設定が誤っている	機器のネットワーク設定を確認し、α NX/NX Ⅱ主装置と WEB アドレス帳ボックスの両方に接続できるように IP アドレスやサブネットマスクが設定されているか確認してください。	–
	WEB アドレス帳ボックスが動作していない	WEB アドレス帳ボックスをインストールした PC を再起動してください。	–
	ユーザ ID やパスワードが間違っている	正しいユーザ ID とパスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、管理者設定で再設定してください。	☛P114
	ビジネスフォンαクライアントが動作するために必要な設定データをα NX/NX Ⅱ主装置から取得できていない	管理者画面より、ビジネスフォンαクライアント動作用データ取得を実行、または WEB アドレス帳ボックスを再起動し、α NX/NX Ⅱ主装置からデータの再取得を行ってください。	☛P141 ☛P143
	ビジネスフォンαクライアントの設定や操作方法が間違っている	ビジネスフォンαクライアントの取扱説明書を確認してください。	–

（次ページに続く）

故障かな？と思ったら

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
メディア IP 電話機で WEB アドレス帳にアクセスできない。または、ログインできない	ネットワーク設定や WEB アドレス帳設定が間違っている	メディア IP 電話機の取扱説明書を確認してください。	–
	ユーザ ID やパスワードが間違っている	WEB アドレス帳で設定した ID、パスワードとメディア IP 電話機で設定した ID、パスワードが一致しているか確認してください。	☛P114
	正しくない手順でログイン操作が行われ、不要なデータが機器内に残っている	cookie の削除、またはメディア IP 電話機の再起動を行ってください。	–
	ログアウト操作した後、ブラウザ画面が閉じられていない	開かれているブラウザ画面を確認し、すべて閉じてから再度操作してください。それでも改善しない場合は、キャッシュや cookie の削除、メディア IP 電話機の再起動などを行ってください。	–
	表示した情報が Android ブラウザ内に残って画面が更新されない	ブラウザ画面を閉じてから再度操作してください。それでも改善されない場合は、Android の設定画面よりキャッシュ情報を消去してください。	–
メディア IP 電話機からクリックツーコールできない	間違った手順でログインしている	WEB アドレス帳のログイン画面を介さず、メディア IP 電話機の［WEB アドレス帳］ボタン操作でログインしてください。	–
	連携内線が正しく設定されていない	メディア IP 電話機に表示される内線番号と WEB アドレス帳で設定した連携内線が一致しているか確認してください。	☛P114
録音データ一覧画面に表示されないデータがある	録音データが多いため、Web ブラウザに表示しきれていない	表示ページを切り替えるか、または条件を指定して表示する内容を絞り込んでください。	☛P105 ☛P106
	α NX/NX Ⅱ主装置よりアップロードされたあと、録音データメンテナンス（一日一回指定時刻に動作）が実行されていない	録音データ一覧画面に表示されるのは、α NX/NX Ⅱ主装置よりアップロードされたあと、録音データメンテナンスにより再生用ファイルが生成されたデータのみが対象です。	☛P149
	本商品のシステム時刻が正しくセットされていない	管理者画面より、システム時刻が正しくセットされているか確認してください。NTP サーバによる時刻取得を行っている場合は、NTP サーバにアクセスするためのネットワーク環境を確認してください。	☛P157
	録音データメンテナンスが終了していない	α NX/NX Ⅱ主装置よりアップロードされた録音データが複数あるときは再生用ファイルを一つずつ作成していくため、表示されないデータがある場合や表示し直すことで表示件数が増える場合があります。	☛P105 ☛P106
	他のユーザや管理者などにより消去されている	他のユーザや管理者の操作を確認してください。	–
	α NX/NX Ⅱ主装置で設定された保存日数超過により自動消去されている	設定を確認してください。	☛P146
	本商品で設定された保存日数超過により自動消去されている	録音データ保存日数の設定を確認してください。	☛P146
	保存できる空き容量が足りない	不要な録音データを消去、または USB に外部ストレージを接続して、移動を行ってください。	☛P109 ☛P147

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
録音データ一覧画面に表示されないデータがある（つづき）	USB ポートに接続していた外部ストレージが外れた状態になっている	USB ポートに外部ストレージを接続し直してください。接続したときに STATUS ランプが橙色で 10 秒間点灯しなかった場合は、一度抜いてから接続し直してください。	☛P147
	録音データ移動先フォルダ名が正しく設定されていない、または運用中に変更された	外部ストレージのフォルダ構成などを確認し、録音データ移動先フォルダ名を正しく設定し直してください。	☛P151
Web ブラウザでの音声メール再生ができない（音が聞こえない）	PC にサウンドカードが搭載されていない。または PC が消音もしくは小さい音量に設定されている	PC の環境や設定を確認してください。	–
	ウィルスソフトやセキュリティソフトの動作により、データがブロックされている	インストールしているアプリケーションの仕様や設定を確認してください。	–
音声メールファイルのダウンロードができない	他のユーザや管理者などにより消去されている	他のユーザや管理者の操作を確認してください。	–
	α NX/NX Ⅱ主装置で設定された保存日数超過により自動消去されている	設定を確認してください。	☛P146
	本商品で設定された保存日数超過により自動消去されている	録音データ保存日数の設定を確認してください。	☛P146
	USB ポートに接続していた外部ストレージが外れた状態になっている	USB ポートに外部ストレージを接続し直してください。	☛P147
ダウンロードした録音データの内容が途中で終わってしまっている	録音再生可能時間を超えた録音データを MP3 形式でダウンロードした	ダウンロード操作時に「WAV ダウンロード」を選択してください	☛P108
USB ポートに接続した外部ストレージへの音声メールデータ移動ができない	USB ポートに接続した外部ストレージの空き容量が少ない	不要なファイルを消去するなどして空き容量を確保してください。	☛P109
	USB ポートに接続した外部ストレージデバイスの仕様や FAT32 の制約により、書き込み可能なデータの数（約 2 万件が目安）などが制限されて移動できなかった	移動できなかった録音データと同じメールボックスでかつ外部ストレージに移動済みの録音データを消去してください。	☛P109
	USB ポートに接続した外部ストレージが正しくフォーマットされていない	外部ストレージ機器の取扱説明書を確認してください。機器メーカーからフォーマットツールが提供されている場合は必ずそちらを使用してください	–
	USB ポートに接続していた外部ストレージが外れた状態になっている	USB ポートに外部ストレージを接続し直してください。	☛P147
	USB ポートに接続している外部ストレージが故障している、または書き込めない状態になっている	USB ポートに接続した外部ストレージを取り外して確認してください。	☛P147

（次ページに続く）

故障かな？と思ったら

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
受付端末でログインできない	モバイル画面からログインしようとしている	PC またはメディア IP 電話機のログイン手順で操作してください。	☛P94
	受付端末 ID やパスワードが間違っている	WEB アドレス帳で設定した受付端末 ID、パスワードとメディア IP 電話機で設定した ID、パスワードが一致しているか確認してください。	☛P153
受付端末からの検索で表示されないユーザがいる	ユーザの氏名（カナ）が正しく設定されていない	氏名だけでなく、氏名（カナ）も正しく設定されているか確認してください。	☛P52 ☛P114
	連携内線が設定されていない	連携内線設定を確認してください。	☛P52 ☛P114
	α NX/NX Ⅱ主装置に登録されていない内線番号が連携内線として設定されている	連携内線設定を確認してください。	☛P52 ☛P114
	受付端末に表示しない ID グループに所属している	管理者画面の ID グループ設定で、受付端末への表示にチェックが入っているか確認してください。	☛P154
	ユーザ設定で受付端末に表示しない設定になっている	ユーザ設定を確認してください。	☛P52 ☛P114
受付端末に設定した壁紙が綺麗に表示されない（歪むなど）	指定した画像ファイルのサイズが合っていない	使用する画像ファイルの大きさを調整して設定し直してしてください。	☛P155
壁紙を設定したらボタンが見えにくくなった	壁紙とボタンの色合いにより見にくくなっている	壁紙の色に合ったボタン色に変更してください。	☛P156

パソコンの設定（設定の流れ）

本商品の LAN ポートにパソコンを接続する

↓

本商品の電源を入れる

↓

パソコンの電源を入れる

↓

パソコンを設定する

Windows 8 の場合（☛P174）
Windows 7 の場合（☛P180）
Windows Vista の場合（☛P186）
Windows XP の場合（☛P192）

↓

Web ブラウザを設定する（☛P198）

↓

PC からログインする（☛P46）

パソコンの設定（Windows 8の場合）

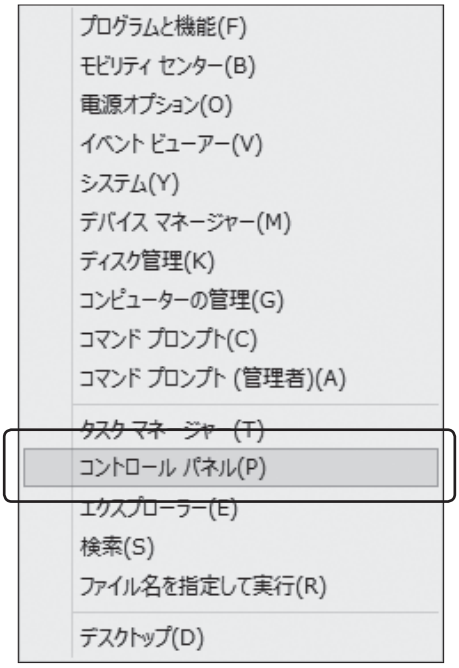
Windows 8 の場合は、下記の手順に従ってパソコンを設定します。設定後は「Web ブラウザの設定」に進んでください。（☛P198）
本書では Windows 8 の通常の画面イメージで説明しています。お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

お知らせ

- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
- Internet Explorer を初めて起動したとき、「インターネットへの接続」というダイアログが起動することがあります。この場合は［キャンセル］をクリックして、ダイアログをいったん終了してください。
- この取扱説明書に記載の画面の一部に不鮮明な箇所があります。これは特定の製品名などの表示を避けるためです。

1 コントロールパネルを表示する。

デスクトップ画面で、マウスカーソルを画面左下端に移動し、マウス右クリックでメニューを表示します。メニューから［コントロールパネル］をクリックします。

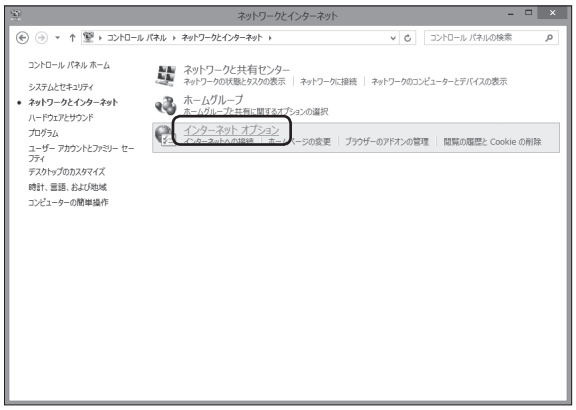


2 「ネットワークとインターネット」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークとインターネット」をクリックします。

3 「インターネットのプロパティ」を表示する。

［インターネット オプション］をクリックします。

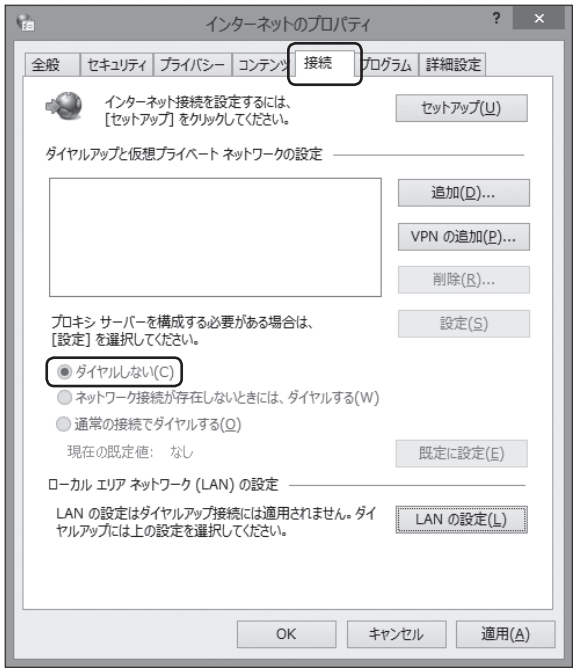


4 「接続」タブで［ダイヤルしない］を選択する。

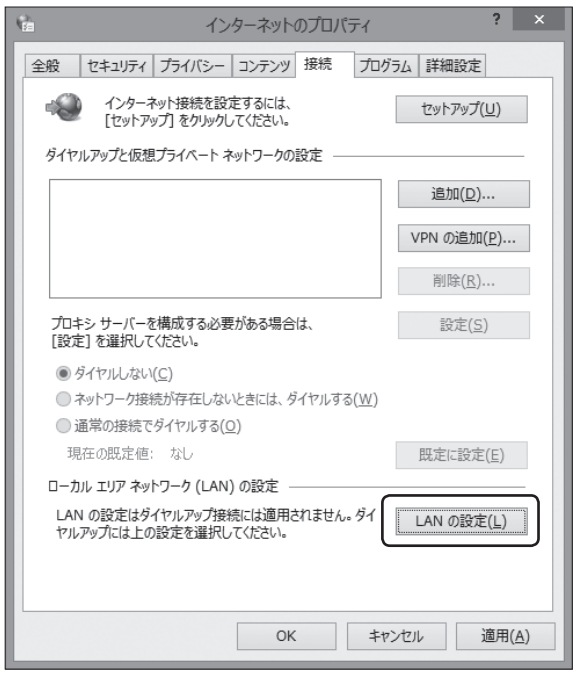
「インターネットのプロパティ」の「接続」タブをクリックします。

「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」で［ダイヤルしない］が選択されていることを確認してください。

［ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする］や［通常の接続でダイヤルする］が選択されている場合は、［ダイヤルしない］をクリックします。



5 「ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定」の［LAN の設定］をクリックする。



6 「ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定」を設定する。

次のように設定します。

①「自動構成」のチェックを外す

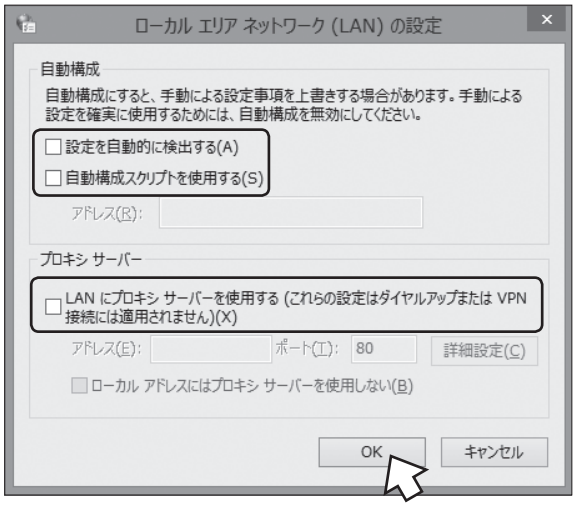
［設定を自動的に検出する］、［自動構成スクリプトを使用する］のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、すべてのチェックを外してください。

②「プロキシ サーバー」のチェックを外す

［LAN にプロキシ サーバーを使用する］のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、チェックを外し、［OK］をクリックしてください。

お知らせ

●いずれにもチェックがついていないことを確認してください。



③「インターネットのプロパティ」の［OK］をクリックする

「インターネットのプロパティ」の設定はこれで終了です。

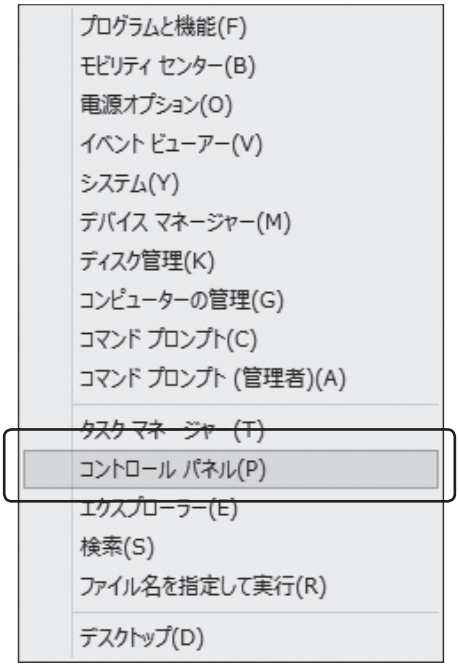
パソコンの設定（Windows 8の場合）

ネットワークの設定

LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、ご利用機器メーカのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 コントロールパネルを表示する。

デスクトップ画面で、マウスカーソルを画面左下端に移動し、マウス右クリックでメニューを表示します。
メニューから［コントロールパネル］をクリックします。

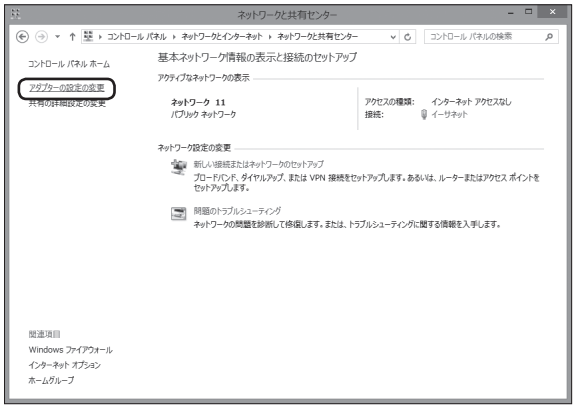


2 「ネットワークと共有センター」を表示する。

コントロールパネルの［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。

3 「ネットワーク接続」を表示する。

［アダプターの設定の変更］をクリックします。

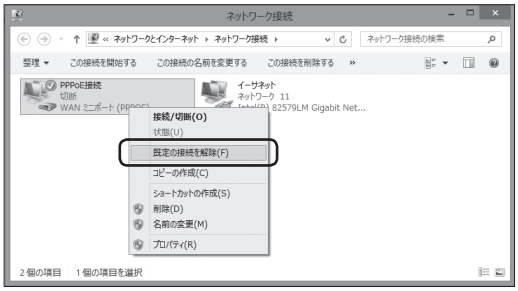


4 「イーサネットの状態」を表示する。

［イーサネット］をダブルクリックします。

ワンポイント

●「ネットワーク接続」の画面に、PPPoE 設定がされていて、その設定が既定の接続に設定されている場合には、PPPoE のアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの［既定の接続を解除］を選択し、クリックしてください（例では、「PPPoE 接続」となっています）。



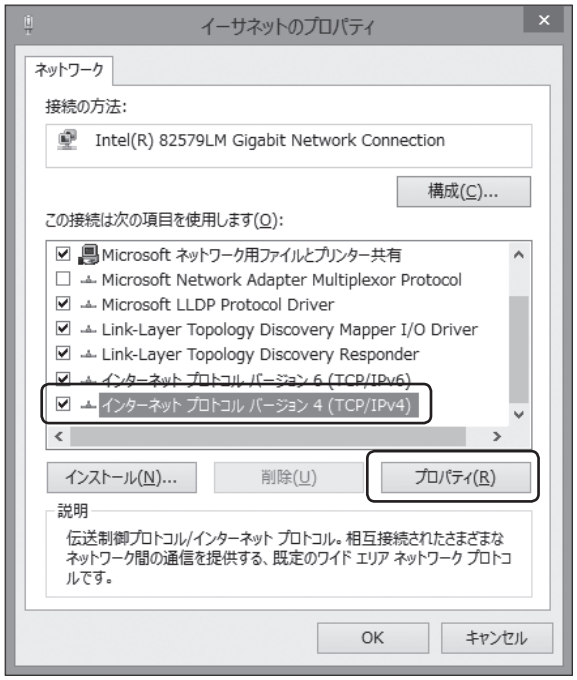
5 **「イーサネットのプロパティ」を表示する。**

「イーサネットの状態」の［プロパティ］をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は［続行］をクリックします。

6 **「インターネット プロトコル バージョン４（TCP/IPv4）のプロパティ」を表示する。**

「イーサネットのプロパティ」の一覧から［インターネット プロトコル バージョン４(TCP/IPv4)］を選択し、［プロパティ］をクリックしてください。

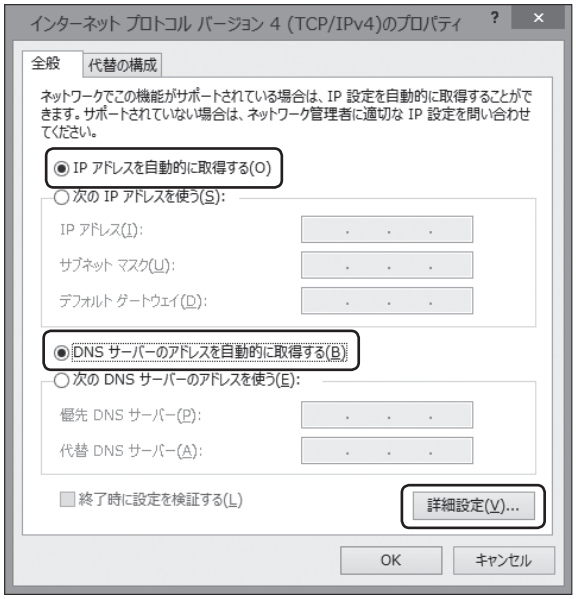


※一覧に表示されているチェックは外さないでください。

7 **IP アドレスと DNS を設定する。**

「インターネット プロトコル バージョン４（TCP/IPv4）のプロパティ」の［IP アドレスを自動的に取得する］と、［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択してください。

IP アドレスと DNS の設定を確認したら［詳細設定］をクリックします。

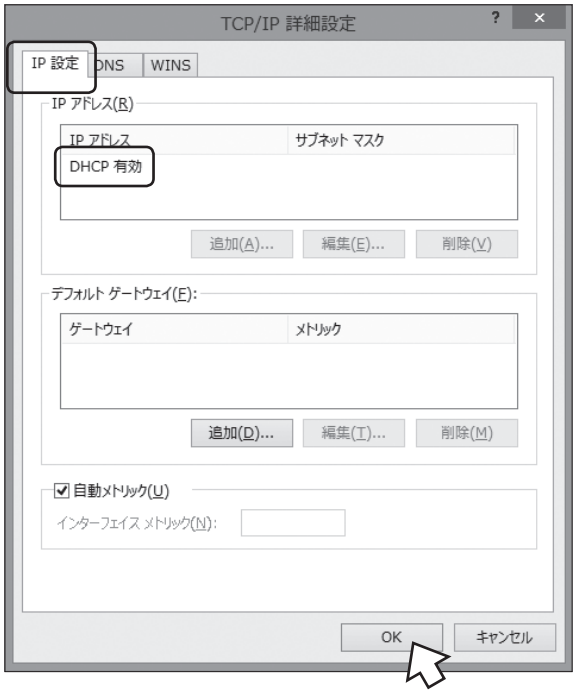


（次ページに続く）

パソコンの設定（Windows 8の場合）

8 DHCP 設定を確認し、［OK］をクリックする。

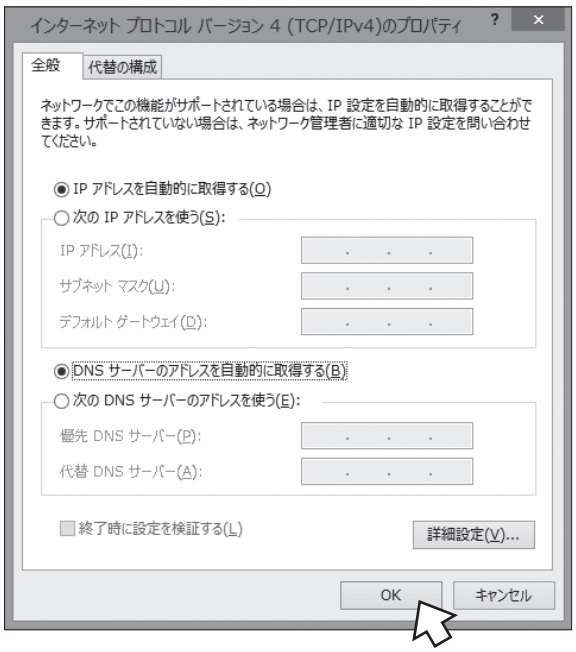
「TCP/IP 詳細設定」の「IP 設定」タブをクリックして、一覧に「DHCP 有効」と表示されているか確認します。



ワンポイント

●「DHCP 有効」となっていない場合、手順 ***7*** の画面で［IP アドレスを自動的に取得する］と、［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択してあるか、再度確認してください。

9 「インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）のプロパティ」の［OK］をクリックする。



10 「イーサネットのプロパティ」の［閉じる］をクリックする。

11 「イーサネットの状態」の［閉じる］をクリックする。

ネットワークの設定を確認する

パソコン（LAN カード）と本商品が正しく接続・設定されているか確認する場合、Windows 8 では次の手順で確認します。

1 **「イーサーネットの状態」を表示する。**

「ネットワークの設定」の手順 ***1***～***4***を行います。(☛P176)

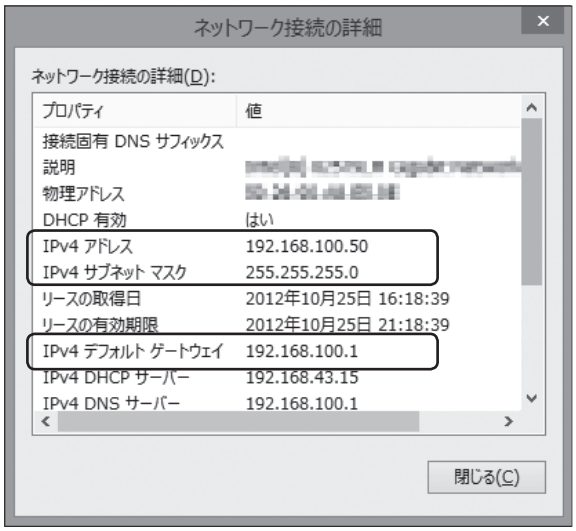
2 **「イーサネットの状態」で［詳細］をクリックする。**

3 **IP アドレスを確認する。**

以下の箇所に設定が反映されたことを確認します。

- IPv4 IP アドレス
- IPv4 サブネット マスク
- IPv4 デフォルト ゲートウェイ

これらのアドレスはすべて自動で設定されます。



ワンポイント

- 各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンと本商品の電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、本商品の電源を入れてからパソコンの電源を入れ、手順 ***1*** からやり直してください。

4 **［閉じる］をクリックする。**

パソコンの設定（Windows 7の場合）

Windows 7 の場合は、下記の手順に従ってパソコンを設定します。設定後は「Web ブラウザの設定」に進んでください。（☛P198）
本書では Windows 7 の通常の画面イメージで説明しています。お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

お知らせ

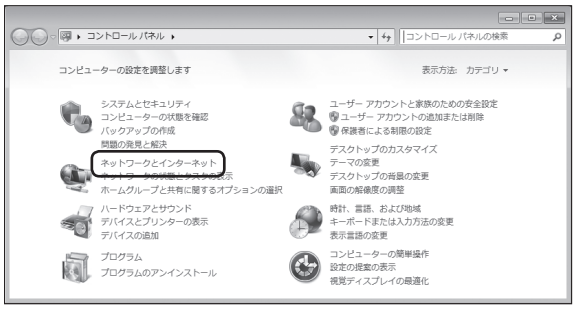
- Windows 7 ではスタートメニューの表示モードに［スタート］メニューとクラシック［スタート］メニューがあります。この取扱説明書の画面では［スタート］メニューを例に記述しています。
- Windows 7 ではコントロールパネルの表示モードにホームモード（カテゴリ表示モード）とクラシック表示モードがあります。この取扱説明書の画面ではホームモードを例に記述しています。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
- Internet Explorer を初めて起動したとき、「インターネットへの接続」というダイアログが起動することがあります。この場合は［キャンセル］をクリックして、ダイアログをいったん終了してください。
- この取扱説明書に記載の画面の一部に不鮮明な箇所があります。これは特定の製品名などの表示を避けるためです。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows 7 を起動し、「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックします。

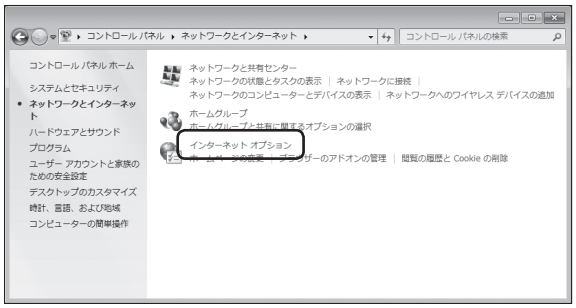
2 「ネットワークとインターネット」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークとインターネット」をクリックします。



3 「インターネット オプション」を表示する。

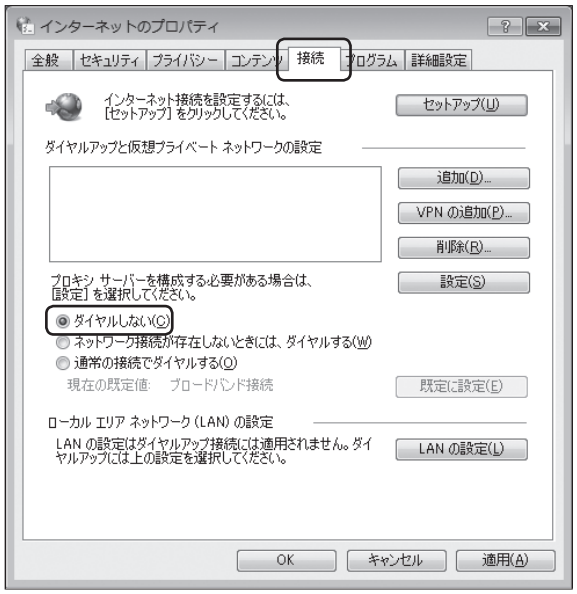
［インターネット オプション］をクリックします。



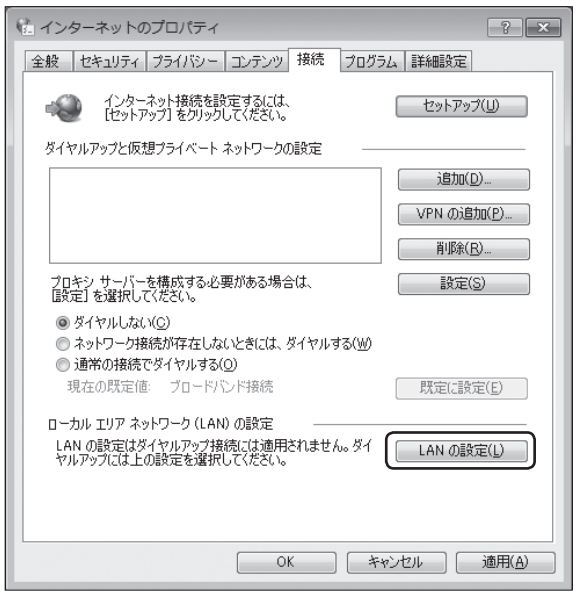
4 「接続」タブで［ダイヤルしない］を選択する。

「インターネットのプロパティ」の「接続」タブをクリックします。

「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」で［ダイヤルしない］が選択されていることを確認してください。［ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする］や［通常の接続でダイヤルする］が選択されている場合は、［ダイヤルしない］をクリックします。



5 「ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定」の［LAN の設定］をクリックする。



6 「ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定」を設定する。

次のように設定します。

①「自動構成」のチェックを外す

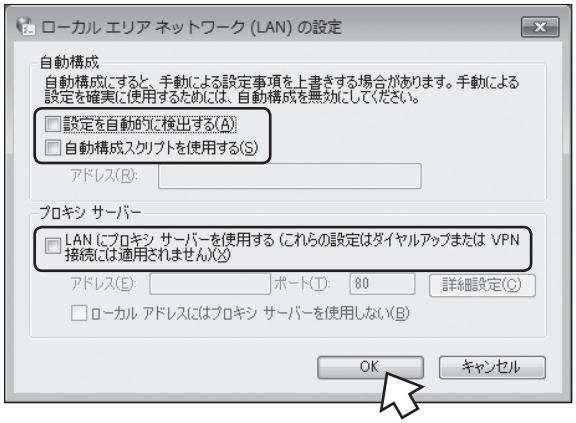
「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、すべてのチェックを外してください。

②「プロキシ サーバー」のチェックを外す

「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、チェックを外し、［OK］をクリックしてください。

お知らせ

●いずれにもチェックがついていないことを確認してください。



③最後に「インターネットのプロパティ」の［OK］をクリックする

「インターネットのプロパティ」の設定はこれで終了です。

パソコンの設定（Windows 7の場合）

ネットワークの設定

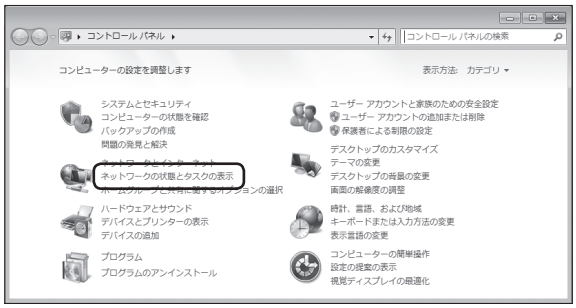
LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、ご利用機器メーカのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows 7 を起動し、「スタート」メニューから［コントロールパネル］をクリックします。

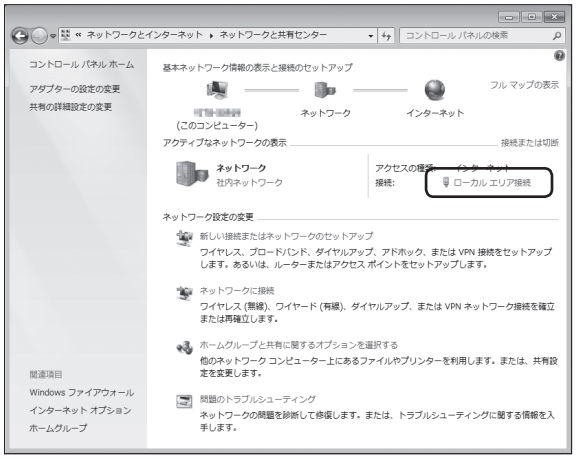
2 「ネットワークと共有センター」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



3 「ローカル エリア接続の状態」を表示する。

「ローカル エリア接続」をクリックします。

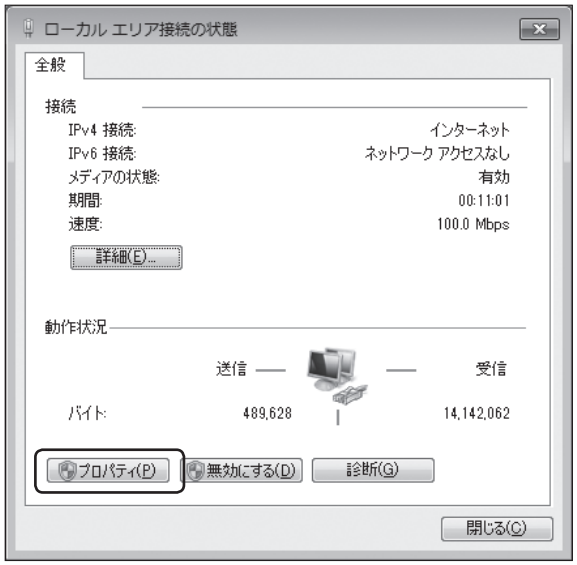


ワンポイント

●「ネットワーク接続」に PPPoE 設定がされていて、その設定が既定の接続に設定されている場合には、PPPoE のアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」を選択し、クリックしてください。

4 「ローカル エリア接続のプロパティ」を表示する。

「ローカル エリア接続の状態」の［プロパティ］をクリックします。



5 「インターネット プロトコル バージョン４（TCP/IPv4）のプロパティ」を表示する。

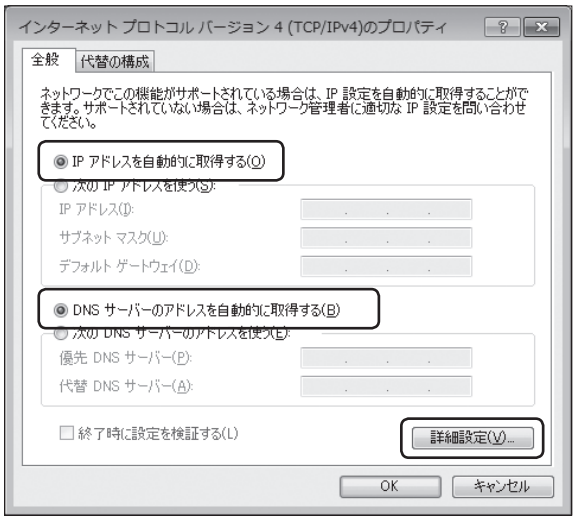
「ローカル エリア接続のプロパティ」の一覧から［インターネット プロトコル バージョン４（TCP/IPv4）］を選択し、［プロパティ］をクリックしてください。

※一覧に表示されているチェックは外さないでください。

6 IP アドレスと DNS を設定する。

「インターネット プロトコル バージョン４（TCP/IPv4）のプロパティ」の［IP アドレスを自動的に取得する］と、［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択してください。

IP アドレスと DNS の設定を確認したら［詳細設定］をクリックします。



7 DHCP 設定を確認し、［OK］をクリックする。

「TCP/IP 詳細設定」の「IP 設定」タブをクリックして、一覧に「DHCP 有効」と表示されているか確認します。

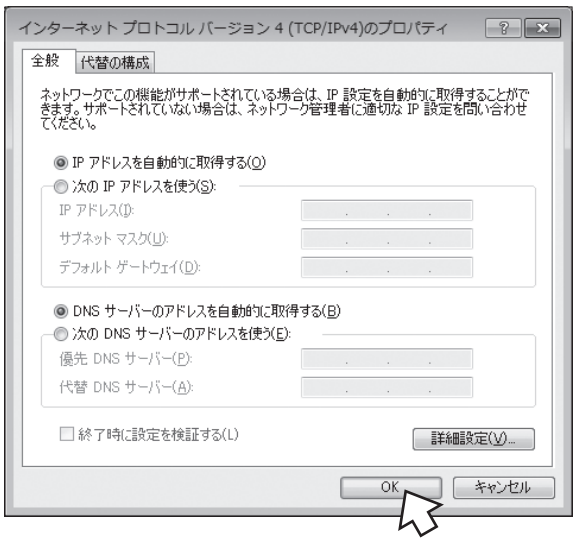
ワンポイント

●「DHCP 有効」となっていない場合、手順 ***6*** の画面で「IP アドレスを自動的に取得する」と、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してあるか、再度確認してください。

（次ページに続く）

パソコンの設定（Windows 7の場合）

8 「インターネット プロトコル バージョン４（TCP/IPv4）のプロパティ」の［OK］をクリックする。



9 「ローカル エリア接続のプロパティ」の［閉じる］をクリックする。

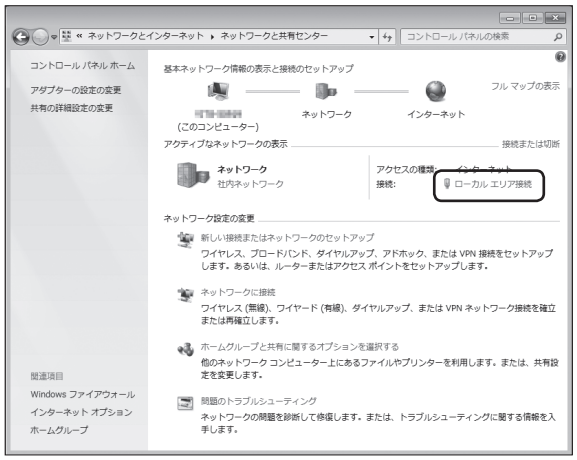
10 「ローカル エリア接続の状態」の［閉じる］をクリックする。

ネットワークの設定を確認する

パソコン（LAN カード）と本商品が正しく接続・設定されているか確認する場合、Windows 7 では次の手順で確認します。

1 **「ローカル エリア接続の状態」を表示する。**

「ネットワークの設定」の手順 ***1***～***3***を行います。(☛P182)



2 **「ローカル エリア接続の状態」で「詳細」をクリックする。**

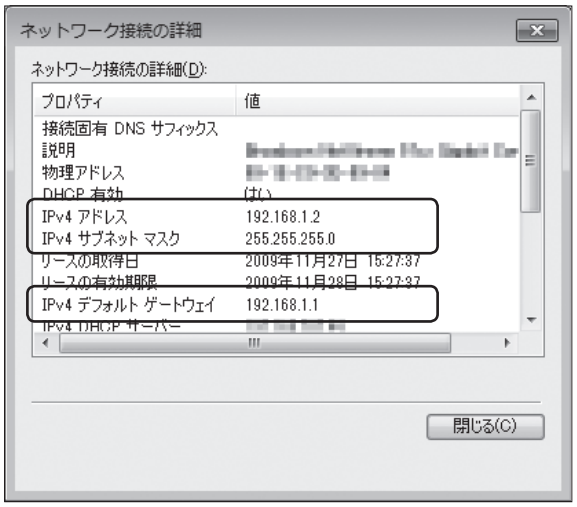
［詳細］をクリックします。

3 **IP アドレスを確認する。**

以下の箇所に設定が反映されたことを確認します。

・IPv4 IP アドレス
・IPv4 サブネット マスク
・IPv4 デフォルト ゲートウェイ

これらのアドレスはすべて自動で設定されます。



ワンポイント

●各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンと本商品の電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、本商品の電源を入れてからパソコンの電源を入れ、手順 ***1*** からやり直してください。

4 **［閉じる］をクリックする。**

パソコンの設定（Windows Vistaの場合）

Windows Vista の場合は、下記の手順に従ってパソコンを設定します。設定後は「Web ブラウザの設定」に進んでください。（☛P198）
本書では Windows Vista の通常の画面イメージで説明しています。お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

お知らせ

- Windows Vista ではスタートメニューの表示モードに［スタート］メニューとクラシック［スタート］メニューがあります。この取扱説明書の画面では［スタート］メニューを例に記述しています。
- Windows Vista ではコントロールパネルの表示モードにホームモード（カテゴリ表示モード）とクラシック表示モードがあります。この取扱説明書の画面ではホームモードを例に記述しています。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
- Internet Explorer を初めて起動したとき、「インターネットへの接続」というダイアログが起動することがあります。この場合は［キャンセル］をクリックして、ダイアログをいったん終了してください。
- この取扱説明書に記載の画面の一部に不鮮明な箇所があります。これは特定の製品名などの表示を避けるためです。

1 コントロールパネルを表示する。

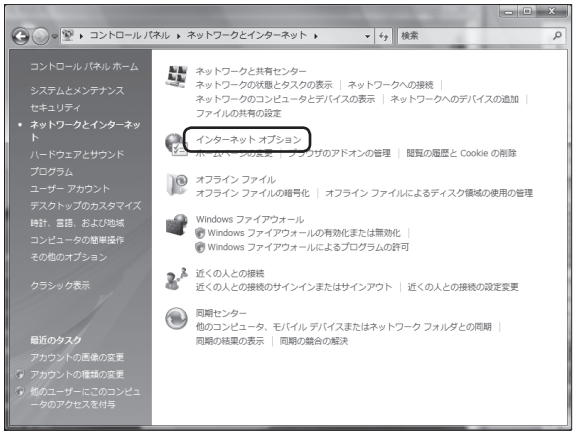
Windows Vista を起動し、「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックします。

2 「ネットワークとインターネット」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークとインターネット」をクリックします。

3 「インターネット オプション」を表示する。

［インターネット オプション］をクリックします。

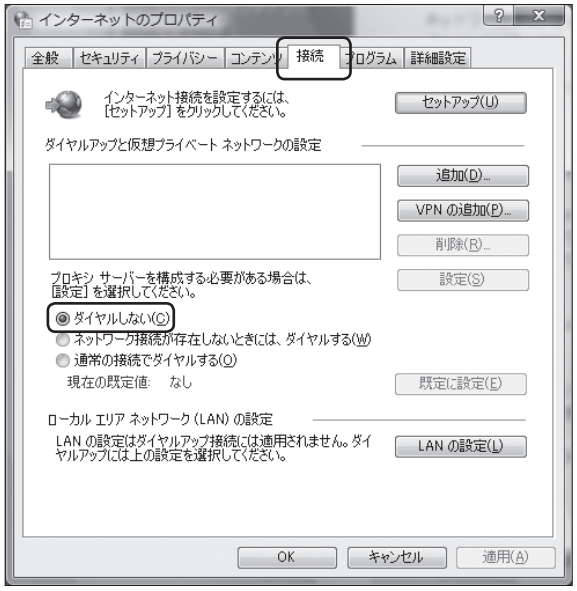


4 「接続」タブで［ダイヤルしない］を選択する。

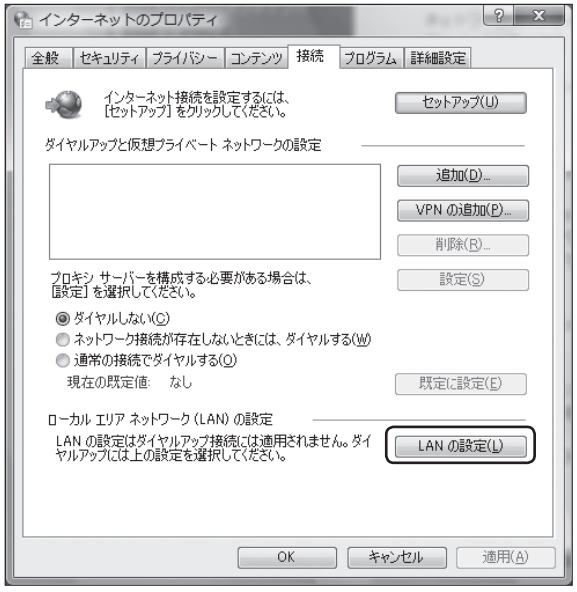
「インターネットのプロパティ」の「接続」タブをクリックします。

「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」で［ダイヤルしない］が選択されていることを確認してください。

［ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする］や［通常の接続でダイヤルする］が選択されている場合は、［ダイヤルしない］をクリックします。



5 「ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定」の［LAN の設定］をクリックする。



6 「ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定」を設定する。

次のように設定します。

①「自動構成」のチェックを外す

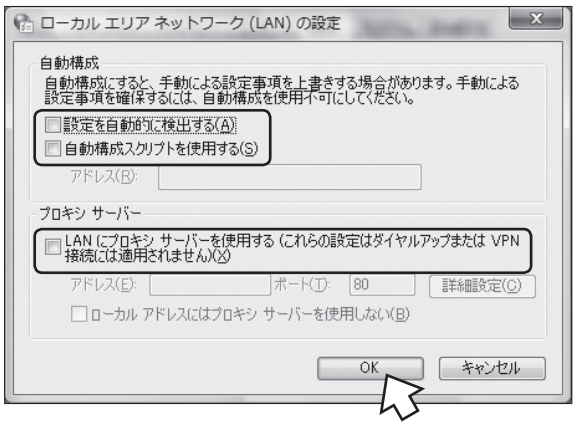
「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、すべてのチェックを外してください。

②「プロキシ サーバー」のチェックを外す

「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、チェックを外し、［OK］をクリックしてください。

お知らせ

●いずれにもチェックがついていないことを確認してください。



③最後に「インターネットのプロパティ」の［OK］をクリックする

「インターネットのプロパティ」の設定はこれで終了です。

パソコンの設定（Windows Vistaの場合）

ネットワークの設定

LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、ご利用機器メーカのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows Vista を起動し、「スタート」メニューから［コントロールパネル］をクリックします。

2 「ネットワークと共有センター」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。

3 「ネットワーク接続」を表示する。

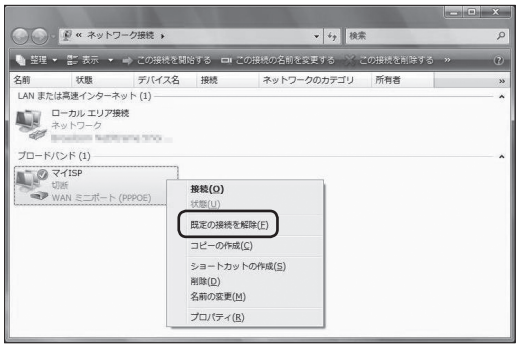
「ネットワーク接続の管理」をクリックします。

4 「ローカル エリア接続の状態」を表示する。

「LAN または高速インターネット」内の「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。

ワンポイント

●「ネットワーク接続」の「ブロードバンド」の欄にPPPoE 設定がされていて、その設定が既定の接続に設定されている場合には、PPPoE のアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」を選択し、クリックしてください（例では、「マイ ISP」となっています）。



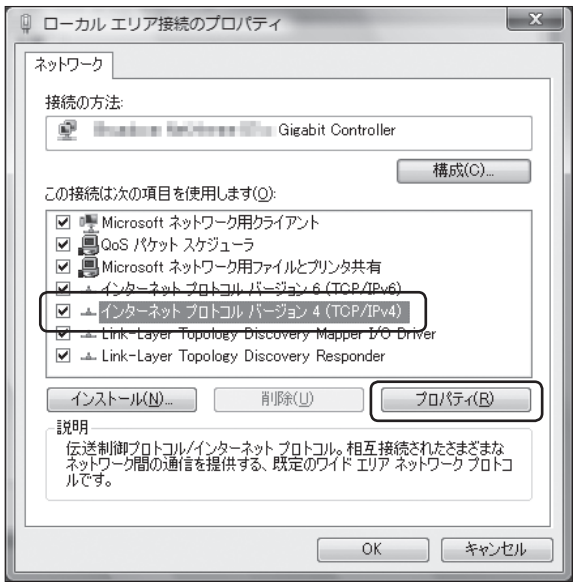
5 「ローカル エリア接続のプロパティ」を表示する。

「ローカル エリア接続の状態」の［プロパティ］をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されるので、［続行］をクリックします。

6 「インターネット プロトコル バージョン４（TCP/IPv4）のプロパティ」を表示する。

「ローカルエリア接続のプロパティ」の一覧から［インターネット プロトコル バージョン４（TCP/IPv4)］を選択し、［プロパティ］をクリックしてください。

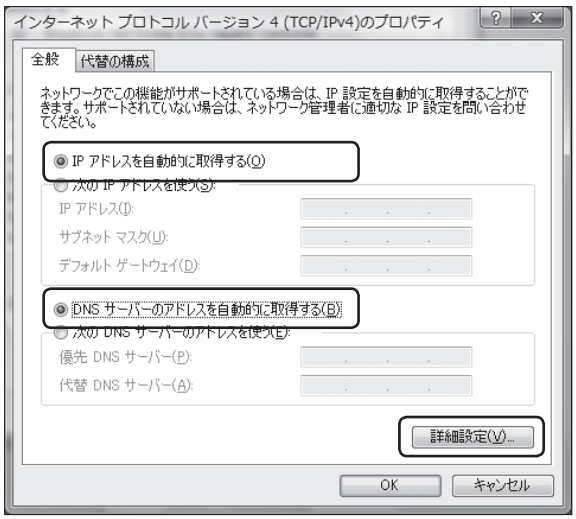


※一覧に表示されているチェックは外さないでください。

7 IP アドレスと DNS を設定する。

「インターネット プロトコル バージョン４（TCP/IPv4）のプロパティ」の［IP アドレスを自動的に取得する］と、［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択してください。

IP アドレスと DNS の設定を確認したら［詳細設定］をクリックします。

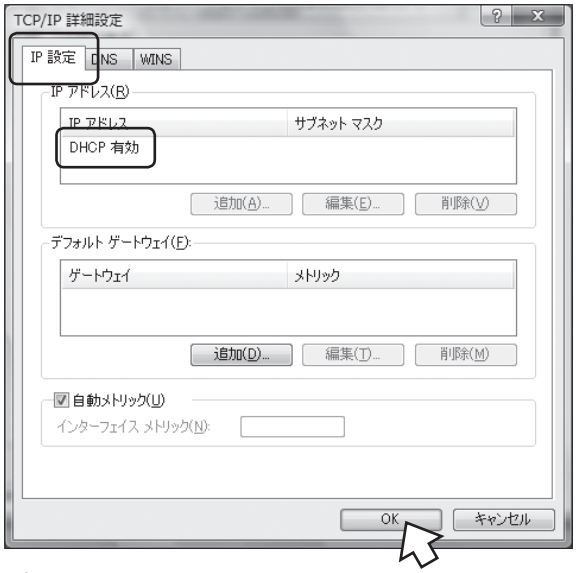


（次ページに続く）

パソコンの設定（Windows Vistaの場合）

8 **DHCP 設定を確認し、［OK］をクリックする。**

「TCP/IP 詳細設定」の「IP 設定」タブをクリックして、一覧に「DHCP 有効」と表示されているか確認します。



ワンポイント

●「DHCP 有効」となっていない場合、手順 **7** の画面で「IP アドレスを自動的に取得する」と、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してあるか、再度確認してください。

10 **「ローカル エリア接続のプロパティ」の［閉じる］をクリックする。**

11 **「ローカル エリア接続の状態」の［閉じる］をクリックする。**

ネットワークの設定を確認する

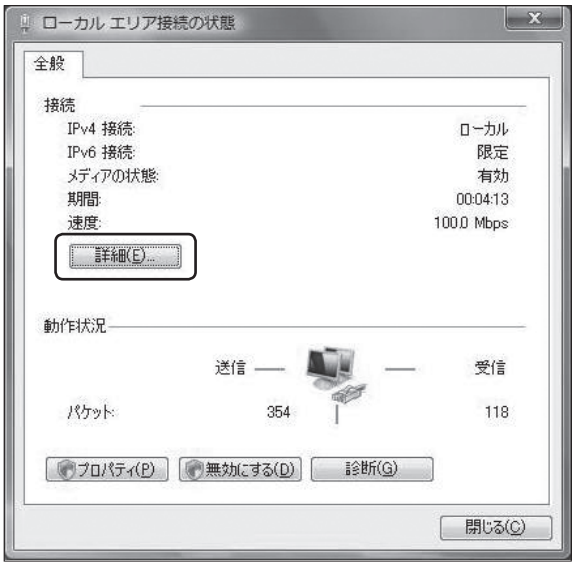
パソコン（LAN カード）と本商品が正しく接続・設定されているか確認する場合、Windows Vista では次の手順で確認します。

1 **「ローカル エリア接続の状態」を表示する。**

「ネットワークの設定」の手順 ***1***～***4***を行います。(☛P188)

2 **「ローカル エリア接続の状態」で「詳細」をクリックする。**

［詳細］をクリックします。

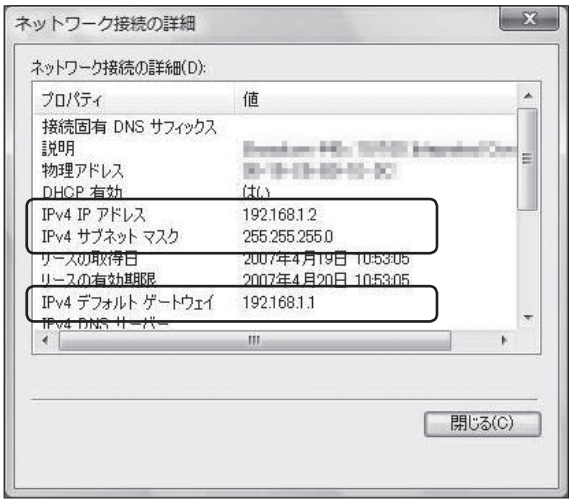


3 **IP アドレスを確認する。**

以下の箇所に設定が反映されたことを確認します。

・IPv4 IP アドレス
・IPv4 サブネット マスク
・IPv4 デフォルト ゲートウェイ

これらのアドレスはすべて自動で設定されます。



ワンポイント

●各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンと本商品の電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、本商品の電源を入れてからパソコンの電源を入れ、手順 ***1*** からやり直してください。

4 **［閉じる］をクリックする。**

パソコンの設定（Windows XPの場合）

Windows XP の場合は、下記の手順に従ってパソコンを設定します。設定後は「Web ブラウザの設定」に進んでください。（☛P198）
本書では Windows XP の通常の画面イメージで説明しています。お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

お知らせ

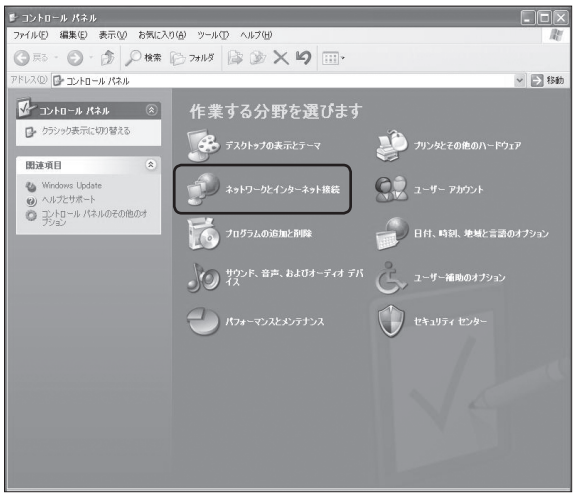
- Windows XP ではスタートメニューの表示モードに［スタート］メニューとクラシック［スタート］メニューがあります。この取扱説明書の画面では［スタート］メニューを例に記述しています。
- Windows XP ではコントロールパネルの表示モードに通常表示モード（カテゴリ表示モード）とクラシック表示モードがあります。この取扱説明書の画面では通常表示モードを例に記述しています。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
- Internet Explorer8.0 がインストールされていることをご確認ください。
- Internet Explorer を初めて起動したとき、「インターネット接続ウィザード」というダイアログが起動することがあります。この場合は［キャンセル］をクリックして、ウィザードをいったん終了してください。
- この取扱説明書に記載の画面の一部に不鮮明な箇所があります。これは特定の製品名などの表示を避けるためです。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows XP を起動し、「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックします。

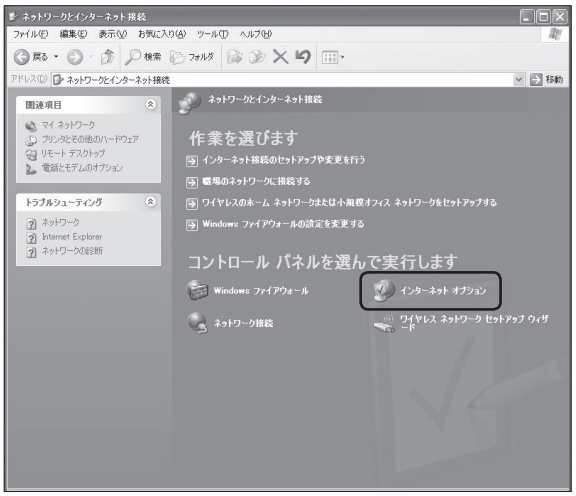
2 「ネットワークとインターネット接続」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



3 「インターネット オプション」を表示する。

「ネットワークとインターネット接続」の［インターネット オプション］をクリックします。

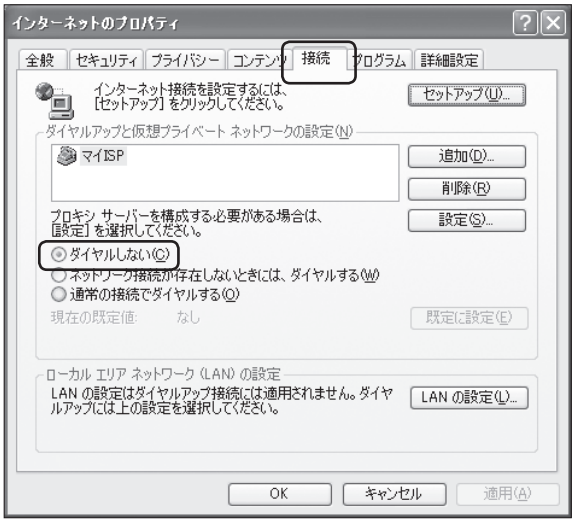


4 「接続」タブで［ダイヤルしない］を選択する。

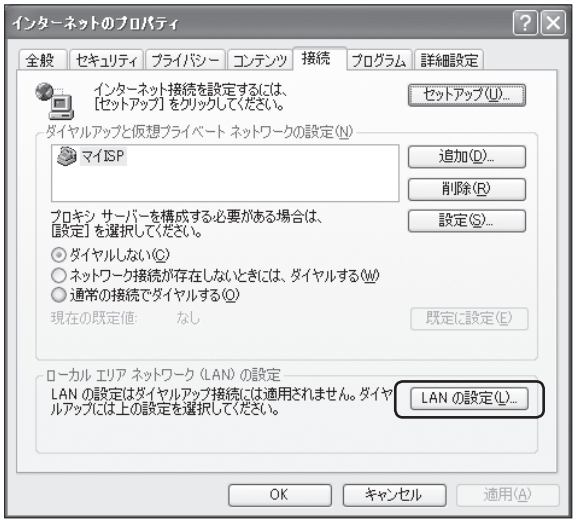
「インターネットのプロパティ」の「接続」タブをクリックします。

「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」で［ダイヤルしない］が選択されていることを確認してください。

［ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする］や［通常の接続でダイヤルする］が選択されている場合は、［ダイヤルしない］をクリックします。



5 「ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定」の［LAN の設定］をクリックする。



6 「ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定」を設定する。

次のように設定します。

①「自動構成」のチェックを外す

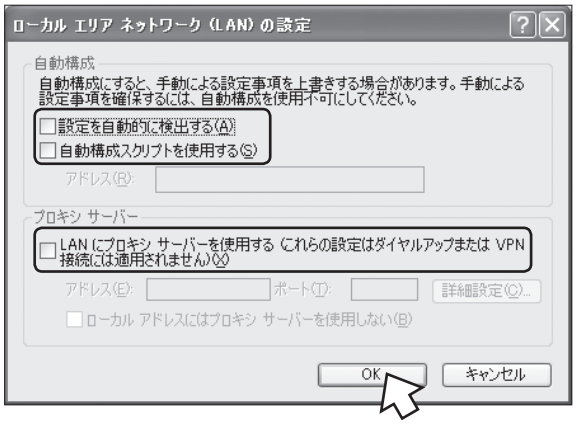
「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、すべてのチェックを外してください。

②「プロキシ サーバー」のチェックを外す

「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックがついていないことを確認してください。チェックがついている場合は、チェックを外し、［OK］をクリックしてください

お知らせ

●いずれにもチェックがついていないことを確認してください。



③最後に「インターネットのプロパティ」の［OK］をクリックする

「インターネットのプロパティ」の設定はこれで終了です。

パソコンの設定（Windows XPの場合）

ネットワークの設定

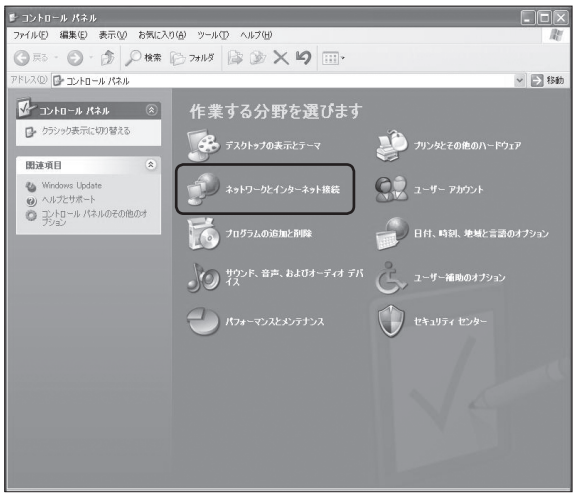
LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、ご利用機器メーカのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows XP を起動し、「スタート」メニューから［コントロールパネル］をクリックします。

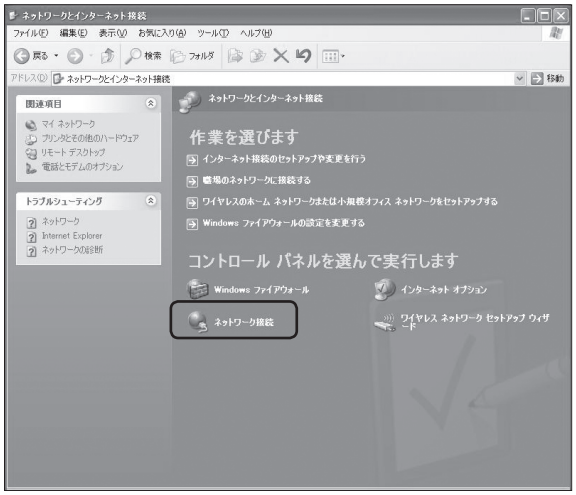
2 「ネットワークとインターネット接続」を表示する。

コントロールパネルの「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



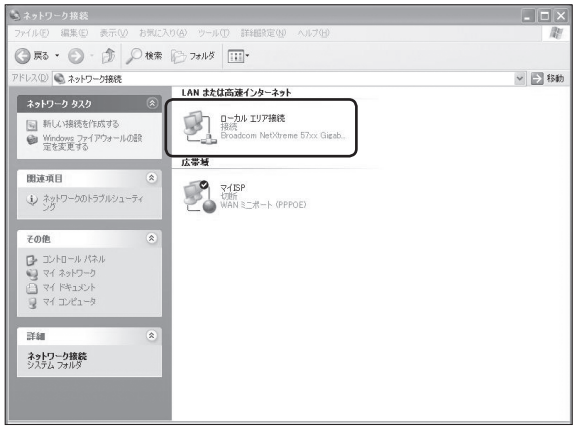
3 「ネットワーク接続」を表示する。

「ネットワークとインターネット接続」の「ネットワーク接続」をクリックします。



4 「ローカル エリア接続の状態」を表示する。

「LAN または高速インターネット」内の「ローカル エリア接続」をダブルクリックします。



ワンポイント

●「ネットワーク接続」の「広帯域」の欄に、PPPoE 設定がされていて、その設定が既定の接続に設定されている場合には、PPPoE のアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューの「既定の接続を解除」を選択し、クリックしてください（例では、「マイ ISP」となっています）。

5 「ローカル エリア接続のプロパティ」を表示する。

「ローカル エリア接続の状態」の［プロパティ］をクリックします。

6 「インターネット プロトコル（TCP/IP）のプロパティ」を表示する。

「ローカル エリア接続のプロパティ」の一覧から［インターネット プロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックしてください。

※一覧に表示されているチェックは外さないでください。

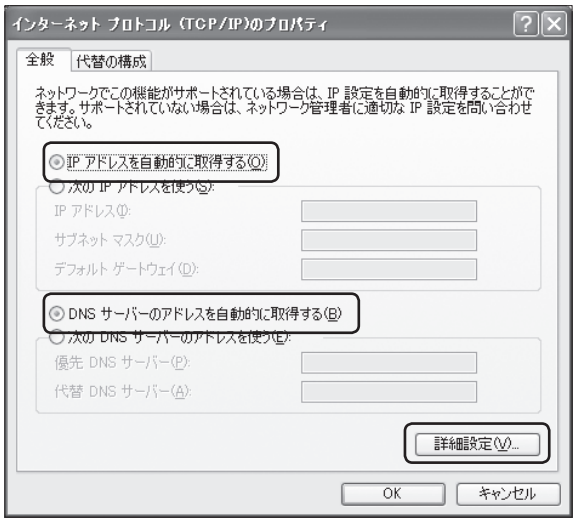
（次ページに続く）

パソコンの設定（Windows XPの場合）

7 **IP アドレスと DNS を設定する。**

「インターネット プロトコル（TCP/IP）のプロパティ」の［IP アドレスを自動的に取得する］と、［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択してください。

IP アドレスと DNS の設定を確認したら［詳細設定］をクリックします。



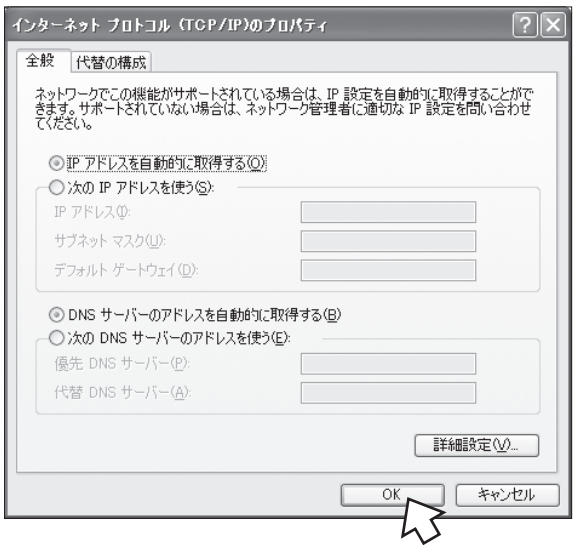
8 **DHCP 設定を確認し、［OK］をクリックする。**

「TCP/IP 詳細設定」の「IP 設定」タブをクリックして、一覧に「DHCP 有効」と表示されているか確認します。

ワンポイント

●「DHCP 有効」となっていない場合、手順 ***7*** の画面で「IP アドレスを自動的に取得する」と、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してあるか、再度確認してください。

9 **「インターネット プロトコル（TCP/IP）のプロパティ」の［OK］をクリックする。**



10 **「ローカル エリア接続のプロパティ」の［閉じる］をクリックする。**

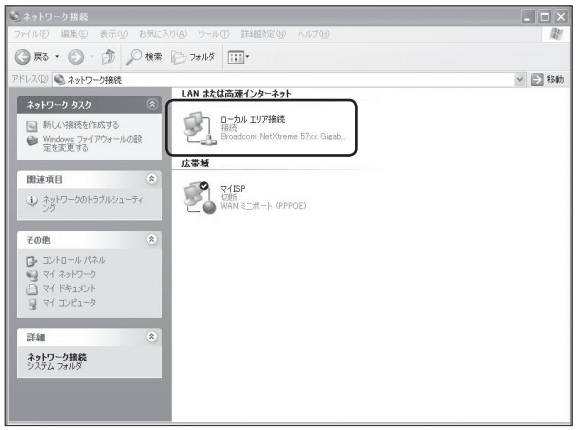
11 **「ローカル エリア接続の状態」の［閉じる］をクリックする。**

ネットワークの設定を確認する

パソコン（LAN カード）と本商品が正しく接続・設定されているか確認する場合、Windows XP では次の手順で確認します。

1 「ローカル エリア接続の状態」を表示する。

「ネットワークの設定」の手順 ***1*** ～ ***4*** を行います。
（☛P194 ～ P195）



2 「サポート」タブで「接続状態」を確認する。

「ローカル エリア接続の状態」の「サポート」タブをクリックします。

3 IP アドレスを確認する。

以下の箇所に設定が反映されたことを確認します。

- IP アドレス
- サブネット マスク
- デフォルト ゲートウェイ

これらのアドレスはすべて自動で設定されます。

ワンポイント

- 各情報が正常に設定されていない場合は、［修復］をクリックしてください。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの各情報が再度表示されます。
- ［修復］をクリックしても各情報が正常に設定されていない場合は、パソコンと本商品の電源を切ってから電源やケーブルなどの接続を確認し、本商品の電源を入れてからパソコンの電源を入れ、手順 ***1*** からやり直してください。

4 ［閉じる］をクリックする。

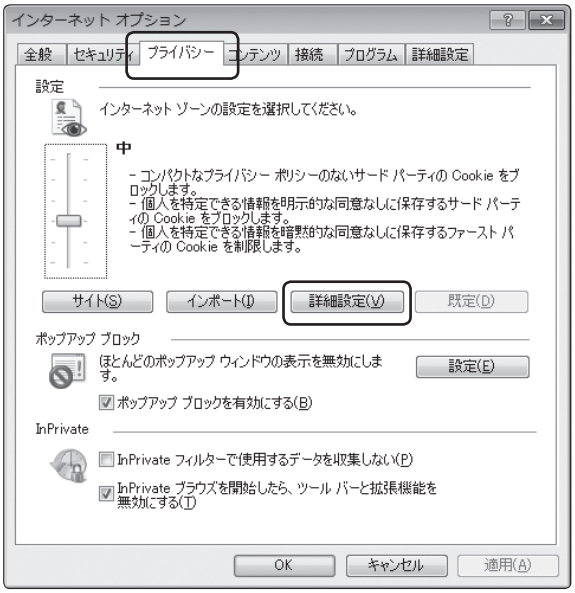
Webブラウザの設定

本商品は、各種の設定をWebブラウザで実施します。Windows 8ではInternet Explorer10.0、Windows 7（SP1）ではInternet Explorer8.0、または、Internet Explorer9.0、Windows Vista（SP2）ではInternet Explorer8.0、または、Internet Explorer9.0、Windows XP Home/Professional（SP3）ではInternet Explorer8.0がインストールされていることを確認してください。
画面はWindows 7の例です。

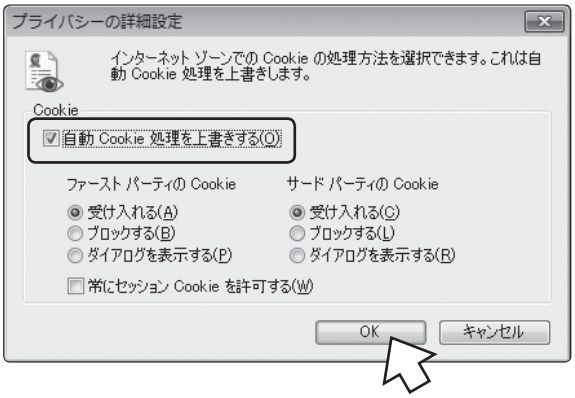
＜ Cookie の設定＞

① Internet Explorer を起動し、ツールバーの「ツール」→「インターネット オプション」をクリックする。

② 「プライバシー」タブをクリックし、［詳細設定］をクリックする。

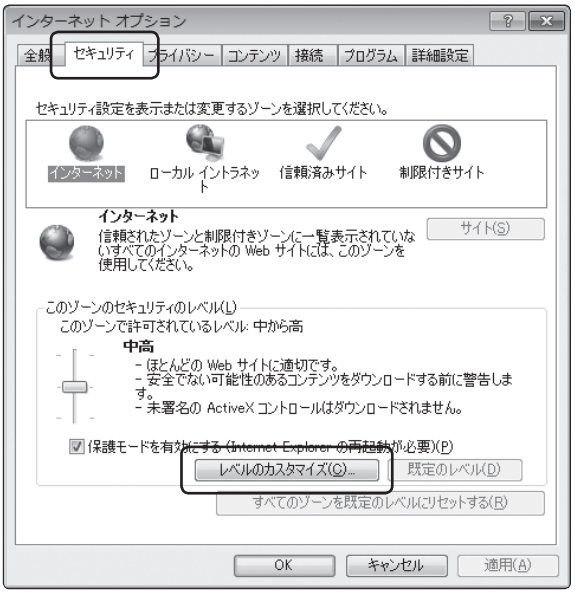


③ 「自動 Cookie 処理を上書きする」にチェックがついていることを確認し、［OK］をクリックする。

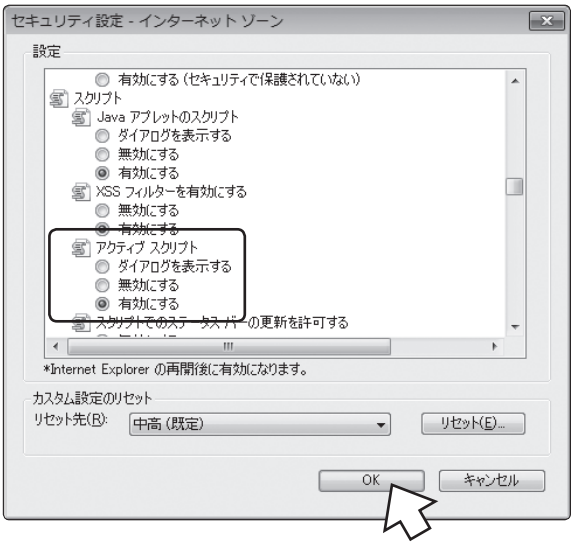


＜ Javascript の設定＞

① 「セキュリティ」タブをクリックし、［レベルのカスタマイズ］をクリックする。

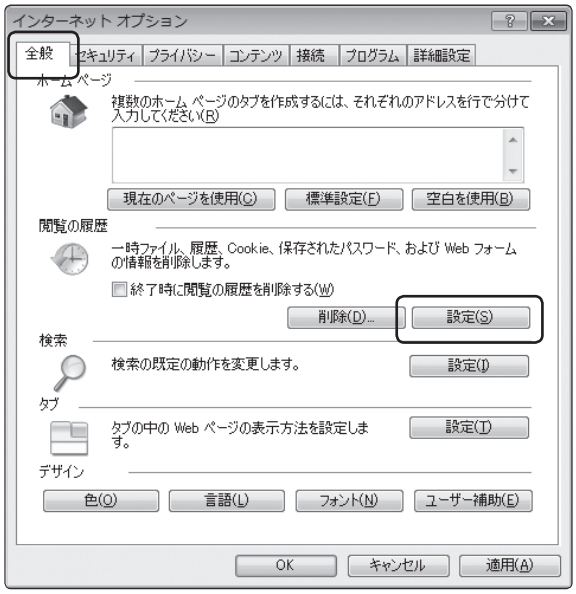


② スクリプト項目の「アクティブスクリプト」が「有効にする」に設定されていることを確認し、［OK］をクリックする。

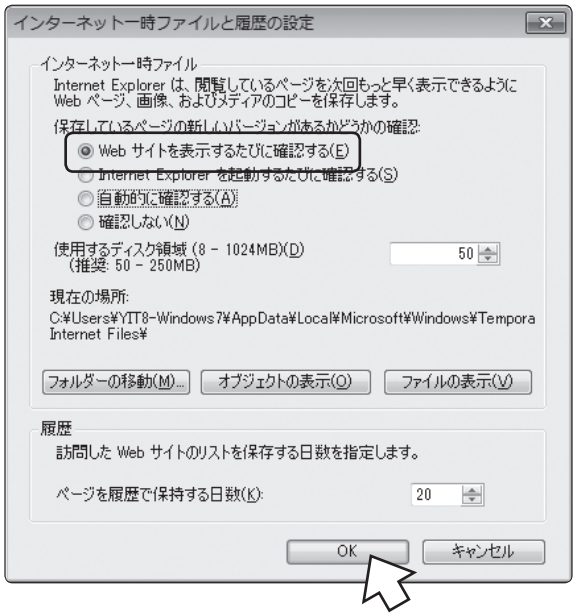


＜キャッシュ機能の設定＞

① 「全般」タブをクリックし、「閲覧の履歴」の［設定］をクリックする。



② 「Web サイトを表示するたびに確認する」に設定されていることを確認し、［OK］をクリックする。



お知らせ

- Internet Explorer を初めて起動したとき、「インターネットへの接続」というダイアログが起動することがあります。この場合は［キャンセル］をクリックして、ダイアログを終了してください。
- ブラウザの［戻る］、［進む］は使用しないでください。
- 画面はお使いのパソコンによって一部異なる場合があります。
- 本商品の設定終了後、必要に応じて Web ブラウザの設定を変更前の設定に戻してください。

用語の説明

数　字

100BASE-TX ..... Ethernetの通信方式の1つです。100Mbpsの伝送速度を持ちます。
ツイストペアケーブルを使用します。

1000BASE-T ..... Ethernetの通信方式の1つです。1Gbps（1000Mbps）の伝送速度を持ちます。
ツイストペアケーブルを使用します。

アルファベット

CallBack ..... 本商品では、ワンタッチコールバック機能の略称としてボタンなどに表記しています。

DNS ..... Domain Name Systemの略です。IPアドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をするための機能です。

DNSサーバ ..... ホスト名とIPアドレスとの対応表を持っており、ホスト名の問い合わせにIPアドレスを通知するサーバです。

IDグループ ..... ユーザIDをグループ分けするものです。すべてのユーザIDはグループ１～10のいずれかに振り分けられます。

IDグループ名 ..... IDグループごとの名称です。初期設定として「グループ1」などが設定されており、変更することもできます。

NTP ..... Network Time Protocolの略です。ネットワーク上のサーバとクライアント機器のシステム時計を同期するためのプロトコルのことです。

NTPサーバ ..... クライアント機器からの問い合わせに現在時刻を通知するサーバのことです。

PBX ..... 構内交換機の略称です。WEBアドレス帳ボックスに接続したαNX/NXⅡ主装置を別の構内交換機装置に収容して運用することができます。

telbook形式 ..... WEBアドレス帳ボックスの電話帳データ出力ファイル形式です。
タブ区切りデータ形式（tsv形式）としてPCで編集することができます。

五十音

【ア行】

インポート ..... PC上のファイルをWEBアドレス帳ボックスに書き込むことです。

受付端末ID ..... 受付端末機能を使うために登録するIDです。3つまで登録することができます。

受付端末機能 ..... PC、またはメディアIP電話機を来客者向けの受付端末として使うことができる機能です。

エクスポート ..... WEBアドレス帳ボックスの電話帳データをPCのファイルとして取得することです。

お知らせメモ ..... プレゼンスの補足情報として、簡易的なスケジュールや行き先などを記入できる機能のことです。

音声メール ..... 通話や留守番メッセージなどを録音するαNX/NXⅡ主装置の機能です。

【カ行】

外線 ..... WEBアドレス帳ボックスに接続したαNX/NXⅡ主装置に接続された公衆網のことです。

管理者 ..... WEBアドレス帳ボックスにユーザを新規登録したり、共通電話帳を管理することができます。

管理者設定 ..... 管理者のみが行うことができるWEBアドレス帳ボックス設定項目です。

共通電話帳 ..... すべてのユーザが参照することができる電話帳です。変更は管理者、または管理者に許可されたユーザのみ行うことができます。

クリックツーコール ..... 電話番号やボタンをクリックすることで電話をかけることができる機能です。

個別電話帳 ..... 内線電話機ごとの電話帳です。αNX/NXⅡ主装置の内線番号と連携設定することにより、WEBアドレス帳ボックスで参照や編集などができます。

【サ行】

サブネット ..... 大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の、管理単位となる小さなネットワークのことです。IPアドレスは、所属するサブネットを特定するアドレス（ネットワークアドレス）とサブネット内での端末を特定するアドレス（ホストアドレス）から構成されており、ネットワークアドレスが上位何ビットかをサブネットマスク（マスク長）で指定します。

自動メンテナンス ..... WEBアドレス帳ボックスを快適にお使いいただくために、不要となったデータの削除などを毎月指定日時に自動で行う機能のことです。

スマートフォン ..... 携帯電話としての機能をもったネットワーク端末の総称です。WEBアドレス帳ボックスの電話帳から相手を選択し、ワンタッチコールバックなどを行うことができます。

設定データ ..... WEBアドレス帳ボックスの動作を変更するためのデータです。一般ユーザや管理者の操作により変更することができます。

【タ行】

着信履歴 ..... 電話がかかってきた記録です。本商品ではαNX/NXⅡ主装置に記録されている着信履歴情報を読み出し、表示することができます。

電話帳グループ ..... 電話帳データをグループ分けするものです。αNX/NXⅡ type-L主装置と接続したときは共通電話帳と各個別電話帳ごとにグループ名を設定することができます。αNX/NXⅡ type-S/M主装置と接続したときは、共通電話帳グループとして設定したグループ名が個別電話帳にも適用されます。

電話帳データ転送 ..... αNX/NXⅡ主装置からの電話帳データ取り込み、およびαNX/NXⅡ主装置への電話帳データの書き込みのことです。

電話帳ファイルPC転送 ..... WEBアドレス帳ボックスに接続したPCを使って電話帳データをファイルとして取得すること、および電話帳データが格納されたファイルでWEBアドレス帳ボックスを更新することです。

【ナ行】

内線 ..... αNX/NXⅡ主装置に収容されている電話機のことです。

内線番号 ..... αNX/NXⅡ主装置の電話機に割り振られる最大4桁の電話番号です。

内線情報取得 ..... αNX/NXⅡ主装置と通信し、割り振られている内線番号などの情報をWEBアドレス帳ボックスに取り込むことです。

【ハ行】

発信履歴 ..... 電話をかけた記録です。本商品ではαNX/NXⅡ主装置に記録されている発信履歴情報を読み出し、表示することができます。

（次ページに続く）

用語の説明

ビジネスフォンαクライアント .... Android OSのスマートフォンにインストールしてα NX/NXⅡ主装置の内線電話機として使用するアプリケーションです。

ファームウェア..... 本商品を動作させるためのソフトウェアのことです。

フェイバリット表示..... 複数のユーザIDの中から特定の相手のプレゼンスのみピックアップして表示する機能です。

ブックマーク ..... 頻繁に連絡する相手を電話帳データから探しやすくするためにカテゴリごとに分類する機能です。

プレゼンス／プレゼンス状態 ..... 相手が今どういう状態にあるのかを示すものです。本商品では内線電話機の状態などから「電話中」や「離席」などをアイコンで表示することができます。

プレゼンスアイコン..... プレゼンスを示す画像です。管理者の操作により、お客様で用意した画像ファイルに差し替えることもできます。

プレゼンス手動設定..... 接続したα NX/NXⅡ主装置から読み出した内線電話機の状態ではなく、WEBアドレス帳ボックスにログインしたユーザが自分でセットすることができる機能です。「食事中」や「会議中」など、簡易的な行き先通知機能として使うことができます。

プレゼンス定義..... 内線電話機の様々な状態からプレゼンスを決定するための定義です。

保存可能残時間..... WEBアドレス帳ボックス内に保存できる残りの目安時間です。

【マ行】

メーラ..... 電子メールを送受信し管理するためのアプリケーションソフトウェアのことです。

メールボックス..... 音声メール録音データの管理単位です。内線番号に紐付いて管理される個別メールボックスと、利用者が共通で再生や消去ができる共通メールボックスがあります。

メディアIP電話機 ..... Androidブラウザを搭載した内線電話機です。

【ヤ行】

ユーザID..... 管理者が割り当てるWEBアドレス帳ボックスへのログイン可能ユーザのIDです。8文字以内の半角英数文字列です。

ユーザ情報 ..... ユーザIDごとの連携内線番号や外線電話番号、メールアドレスなどの情報です。

【ラ行】

連携内線..... α NX/NXⅡ主装置に収容されている内線電話機と本商品のユーザIDを連携させることにより、個別電話帳や着信履歴などを表示することができます。ユーザIDごとにどの内線番号と連携させるかを管理者が設定します。

連絡手段..... プレゼンスごとに自分への連絡手段を相手に指定することができる機能です。

録音データメンテナンス..... 一日一回、α NX/NXⅡ主装置からアップロードされた音声メール録音データをチェックするシステム管理メンテナンスです。録音データを外付けストレージに移動したり、指定保存日数を超過した録音データの削除なども行います。

【ワ行】

ワンタッチコールバック..... あらかじめ指定した電話番号へα NX/NXⅡ主装置からコールバック着信させ、応答することにより、その電話機を使って相手とお話しすることができる機能です。

索　引

アルファベット

CallBack ……28、58、92、101、102、103、139、140
IDグループ ……39、96、116、154
IDグループ名 ……116
INITスイッチ ……22、148
LANポート ……22、173
USBポート ……22、147
Webブラウザ ……198
Windows 7 ……180
Windows 8 ……174
Windows Vista ……186
Windows XP……192

五十音

【ア行】

インポート……49、86、131
受付端末機能……29、94、152
エクスポート……82、127
お知らせメモ…… 64、65
音声メール…… 30、39、105、106

【カ行】

外部ストレージ…… 147、148、149、150、151
壁掛け…… 20、24、25
管理者設定…… 38
管理者パスワード……31、110
共通電話帳…… 67、118、127
共通電話帳グループ名……74、124
クリックツーコール…… 28
個別電話帳…… 67、82、132、133
個別電話帳グループ名…… 74

【サ行】

再起動……143
自動メンテナンス……143
自動ログアウト……117
シャットダウン……142
証明書……49、51、111
設置…… 23、24、25

【タ行】

着信履歴…… 27、88、90、92、93
電源アダプタ…… 20、25
電源アダプタコード…… 22
電話帳自動ダウンロード時刻……134
電話帳データ転送…… 75、76、125、126、132、133
電話帳ファイルPC転送 …… 82、86、127、131

【ナ行】

内線情報取得…… 87、88、132、133、141
内線名称……44、141

【ハ行】

発信機能選択……140
発信履歴…… 27、87、90、91、92、93
ビジネスフォンαクライアント……141
ファームウェア……159
フェイバリット表示…… 55
ブックマーク…… 79、80、81
プレゼンスアイコン…… 137、155
プレゼンス手動設定…… 62、63
プレゼンス定義……138
プレゼンス表示……53、54、136
保存可能残時間……105

【マ行】

メーラ……104
メディアIP電話機 …… 29、36、37
メンテナンス用ポート（MNT）…… 22

【ヤ行】

ユーザID ……31、46、47、112
ユーザ情報……44、52、69、114、120
ユーザパスワード……31、46、47、112

【ラ行】

ランプ表示…… 21、22、147、148、164
連携内線…… 56、90、99
連絡手段…… 66
録音…… 105、106、107、108、109、144、145、146、149、150

【ワ行】

ワンタッチコールバック……28、58、92、101、102、103、139、140

仕　様

項目			仕様
録音データ記憶部	記憶装置		内蔵 Flash SSD
		最大時間	約 1200 時間
	ブラウザ再生用音声ファイル		
		圧縮方式	MPEG Audio Layer-3
		サンプリング周波数	8 kHz
		ビットレート	8 kbps
LAN インタフェース	物理インタフェース		IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX）、IEEE802.3ab（1000BASE-T）
		伝送速度	10/100/1000 Mbps 自動認識（AUTO-MDIX 対応）
		ポート数	1
		接続コネクタ	RJ45（8 ピンモジュラジャック）
		最大伝送距離	100 m
MNT インタフェース	物理インタフェース		IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX）、IEEE802.3ab（1000BASE-T）
		伝送速度	10/100/1000 Mbps 自動認識（AUTO-MDIX 対応）
		ポート数	1
		接続コネクタ	RJ45（8 ピンモジュラジャック）
		最大伝送距離	100 m
USB インタフェース	物理インタフェース		USB 2.0
		転送速度	最大 480 Mbps
		ポート数	1
		接続コネクタ	USB TypeA
		最大伝送距離	5 m
		給電	5 V ／ 500 mA
電源	使用電源		AC 100 V ± 10 V（50/60 Hz）（AC アダプタ使用）
	消費電力		最大 20 W
その他	取得規格		JATE 技術基準適合認定 VCCI（クラス A）
	外形寸法		※縦置き設置時（専用スタンド使用） 約 100 mm（W）× 約 170 mm（D）× 約 244 mm（H）
	質量（本体）		約 0.6 kg
	環境条件		動作温度：5 ℃～ 35 ℃ 動作湿度：45 %～ 80 %（結露しないこと）

搭載されているソフトウェアの著作権と使用許諾に関する情報

本商品はフリーウェアとして使用許諾されるソフトウェアモジュールを使用しています。
当該ソフトウェアモジュールの使用条件等の詳細につきましては、以下に記載する各ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。尚、第三者による規定であるため、原文（英文）を掲載いたします。

(1) PostgreSQL

PostgreSQL Database Management System
(formerly known as Postgres, then as Postgres95)

Portions Copyright (c) 1996-2012, The PostgreSQL Global Development Group

Portions Copyright (c) 1994, The Regents of the University of California

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose, without fee, and without a written agreement is hereby granted, provided that the above copyright notice and this paragraph and the following two paragraphs appear in all copies.

IN NO EVENT SHALL THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE TO ANY PARTY FOR DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, INCLUDING LOST PROFITS, ARISING OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE AND ITS DOCUMENTATION, EVEN IF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA SPECIFICALLY DISCLAIMS ANY WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE SOFTWARE PROVIDED HEREUNDER IS ON AN “AS IS” BASIS, AND THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA HAS NO OBLIGATIONS TO PROVIDE MAINTENANCE, SUPPORT, UPDATES, ENHANCEMENTS, OR MODIFICATIONS.

(2) Apache

Apache License Version 2.0, January 2004
http://www.apache.org/licenses/

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

“License” shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

“Licensor” shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

“Legal Entity” shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, “control” means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

“You” (or “Your”) shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

“Source” form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

“Object” form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

“Work” shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

“Derivative Works” shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

“Contribution” shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, “submitted” means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as “Not a Contribution.”

“Contributor” shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License.
Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License.
Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution.
You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

(a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and

(b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and

(c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

（次ページに続く）

搭載されているソフトウェアの著作権と使用許諾に関する情報

(d) If the Work includes a “NOTICE” text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions.
Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks.
This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty.
Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability.
In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability.
While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets “[ ]” replaced with your own identifying information. (Don’t include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same “printed page” as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the “License”); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

保守サービスのご案内

● 保証について

保証期間（1 年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

● 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

● 補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、販売終了後、7 年間保有しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：FREE 0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間　9：00～17：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：FREE 0120-248995

受付時間　9：00～17：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2013 NTTEAST・NTTWEST

NTT

本 3251-2（2013.10）
NX-APS-<WEBADBOX> トリセツ -<1>
4441060000 H02